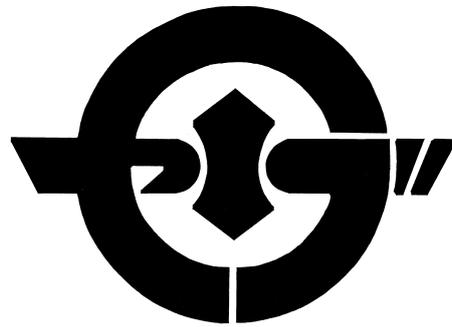


令和元年度

事業実績及び主要施策成果説明書



小 布 施 町

地方自治法第 233 条第 5 項の規定により、令和元年度決算に係る主要施策
成果説明書を次のとおり提出する。

令和 2 年 8 月 31 日

小布施町長 市 村 良 三

目 次

1. はじめに	1
2. 令和元年度決算の概要	1
3. 令和元年度会計別歳入歳出決算の状況	2
4. 普通会計決算の状況	3
普通会計決算状況調書（決算カード）	9
5. 令和元年度重点施策の成果・概要	11
6. 会計別決算概要		
I 一般会計	20
歳入	23
歳出		
款1 議会費	36
款2 総務費	39
項1 議会費	67
項2 総務管理費	68
項3 徴税費	71
項4 戸籍住民基本台帳費	73
項5 選挙費	74
項6 統計調査費	76
項7 監査委員費	100
款3 民生費	109
項1 社会福祉費	111
項2 児童福祉費	125
項3 災害救助費	133
款4 衛生費	145
項1 保健衛生費	147
項2 環境保全費	157
款5 農林水産業費	158
項1 農業費	165
項2 林業費	169
款6 商工費	172
款7 土木費	175
項1 土木管理費	177
項2 道路橋梁費	180
項3 河川費	183
項4 都市計画費	185
項5 まちづくり費	187
項6 住宅費	188
款8 消防費	199
款9 教育費	201
項1 教育総務費	203
項2 小学校費	203
項3 中学校費	204
項4 幼稚園費	204
項5 社会教育費	208
項6 保健体育費	223
項7 給食センター費	227
款10 公債費	247
款11 予備費	253
款12 災害復旧費	258
項1 農林水産業施設災害復旧費	253
項2 公共土木施設災害復旧費	258
II 国民健康保険特別会計	208
III 後期高齢者医療特別会計	223
IV 介護保険特別会計	227
V 下水道事業特別会計	247
VI 農業集落排水事業特別会計	253
VII 水道事業会計	258

1. はじめに

本説明書（事業実績及び主要施策成果説明書）は、地方自治法第 233 条第 3 項の規定に基づき、町長が決算を議会の認定に付すにあたり、同法同条第 5 項の規定により施策の成果を説明するものです。

一般会計ほか 5 会計の各決算概要および総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計（平成 30 年度末をもって廃止）の合計額から会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要とそれらの令和元年度の主要な施策の成果について取りまとめたものです。

なお、予算科目区分と施策の目的、成果をよりわかりやすくするため、成果を示す事業の区分については、原則として「平成 31 年度小布施町予算事業説明書 ここに使います ことしの予算！」にあわせて作成しています。

2. 令和元年度決算の概要

令和元年度各会計歳入歳出決算の状況は「3. 令和元年度 会計別歳入歳出決算の状況」のとおりとなっています。

普通会計の歳入のうち基幹収入である町税は、個人町民税が855万5千円（前年比1.7%）の増、固定資産税が927万円（前年比1.8%）の増、軽自動車税が154万7千円（前年比3.9%）の増、町たばこ税が130万5千円（前年比2.5%）の増、入湯税が1万3千円（前年比3.4%）の増となりましたが、法人町民税が204万1千円（前年比5.6%）の減となり、全体では1,864万9千円（前年比1.6%）の増となりました。

同じく基幹収入である地方交付税は、普通交付税が4,220万円（前年比3.0%）の増、特別交付税が3億66万4千円（前年比291.2%）の増となり、全体として3億4,286万4千円（前年比22.6%）の増となりました。また、地方消費税交付金については1,036万4千円（前年比5.3%）の減、株式等譲渡所得割交付金は62万7千円（前年比17.3%）の減となりました。

国庫支出金については、公共土木施設災害復旧事業負担金、災害等廃棄物処理事業補助金の増などにより1億747万8千円（前年比33.5%）の増となり、県支出金については、長野県地域医療介護総合確保基金事業補助金（繰越明許分）の減などにより4,644万3千円（前年比16.8%）の減となりました。その他、繰越金が1億7,224万2千円（前年比40.0%）の減、寄付金が1億7,145万1千円（前年比56.2%）の増、諸収入が9,176万2千円（前年比52.4%）の増、町債が8,790万円（前年比36.1%）の増、繰入金は2億6,039万5千円（前年比107.6%）の増となり、歳入全体では8億9,655万7千円（前年比17.6%）の増となりました。

歳出では性質別に見ると、扶助費が1億474万1千円（前年比18.9%）の増、投資的経費が686万5千円（前年比1.3%）の増、積立金が7,394万円9千円（前年比18.2%）の増、補助費等が4,665万6千円（前年比9.9%）の増、繰出金が2,624万4千円（前年比4.0%）の減となり、全体としては4億612万7千円（前年比8.4%）の増となりました。また、目的別歳出について見ると、総務費が1億8,200万7千円（前年比15.8%）の増、民生費が4,476万3千円（前年比3.3%）の増、衛生費が8,220万8千円（前年比47.5%）の増、公債費が1,856万1千円（前年比4.8%）の減、災害復旧費が2億1,927万3千円の増となっています。

地方債残高は、新規発行額を償還額以下に抑え、利率の高い起債を繰上償還することで前年より2,271万6千円減の27億2,609万9千円となり、毎年減少しています。

3. 令和元年度 会計別歳入歳出決算の状況

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	令和元年度	6,041,699	5,292,848	748,851	120,870	627,981	378,860
	平成30年度	5,127,409	4,868,988	258,421	9,300	249,121	△ 91,414
	差引	914,290	423,860	490,430	111,570	378,860	470,274
国民健康保険特別会計	令和元年度	1,286,344	1,268,523	17,821	-	17,821	△ 57,766
	平成30年度	1,343,328	1,267,741	75,587	-	75,587	△ 67,514
	差引	△ 56,984	782	△ 57,766	-	△ 57,766	9,748
後期高齢者医療特別会計	令和元年度	157,978	157,245	733	-	733	364
	平成30年度	150,073	149,704	369	-	369	300
	差引	7,905	7,541	364	-	364	64
介護保険特別会計	令和元年度	1,044,908	976,327	68,581	-	68,581	△ 3,750
	平成30年度	976,325	903,994	72,331	-	72,331	29,671
	差引	68,583	72,333	△ 3,750	-	△ 3,750	△ 33,421
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	令和元年度	-	-	-	-	-	-
	平成30年度	2,269	2,269	0	-	0	△ 76
	差引	△ 2,269	△ 2,269	0	-	0	76
下水道事業特別会計	令和元年度	587,426	586,389	1,037	113	924	410
	平成30年度	498,341	493,237	5,104	4,590	514	3
	差引	89,085	93,152	△ 4,067	△ 4,477	410	407
農業集落排水事業特別会計	令和元年度	52,349	52,023	326	-	326	△ 76
	平成30年度	48,961	48,559	402	-	402	△ 83
	差引	3,388	3,464	△ 76	-	△ 76	7
計	令和元年度	9,170,704	8,333,355	837,349	120,983	716,366	318,042
	平成30年度	8,146,706	7,734,492	412,214	13,890	398,324	△ 129,113
	差引	1,023,998	598,863	425,135	107,093	318,042	447,155

水道事業会計 (収益的収支)	令和元年度	219,831	156,673	63,158	/
	平成30年度	219,453	159,334	60,119	
	差引	378	△ 2,661	3,039	
水道事業会計 (資本的収支)	令和元年度	5,702	65,131	△ 59,429	
	平成30年度	6,890	76,842	△ 69,952	
	差引	△ 1,188	△ 11,711	10,523	

※ 原則として表示単位未満を四捨五入していますが、端数処理の関係で合わない場合があります。

4. 普通会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
町 税	1,155,057	19.3%	1,136,408	22.3%	18,649	1.6%
個人町民税	511,229	8.5%	502,674	9.9%	8,555	1.7%
法人町民税	34,265	0.6%	36,306	0.7%	△ 2,041	△ 5.6%
固定資産税	513,957	8.6%	504,687	9.9%	9,270	1.8%
軽自動車税	41,356	0.7%	39,809	0.8%	1,547	3.9%
町たばこ税	53,850	0.9%	52,545	1.0%	1,305	2.5%
入湯税	400	0.0%	387	0.0%	13	3.4%
地方譲与税	50,859	0.8%	50,820	1.0%	39	0.1%
利子割交付金	1,177	0.1%	2,530	0.1%	△ 1,353	△ 53.5%
配当割交付金	5,195	0.1%	4,304	0.1%	891	20.7%
株式等譲渡所得割交付金	2,995	0.0%	3,622	0.1%	△ 627	△ 17.3%
地方消費税交付金	186,122	3.1%	196,486	3.8%	△ 10,364	△ 5.3%
自動車取得税交付金	7,086	0.1%	12,007	0.2%	△ 4,921	△ 41.0%
環境性能割交付金	1,718	0.0%	-	-	1,718	皆増
地方特例交付金	54,503	0.9%	6,319	0.1%	48,184	762.5%
地方交付税	1,862,854	31.1%	1,519,990	29.8%	342,864	22.6%
普通交付税	1,458,952	24.3%	1,416,752	27.8%	42,200	3.0%
特別交付税	403,902	6.8%	103,238	2.0%	300,664	291.2%
震災復興特別交付税	-	-	-	-	-	-
交通安全対策特別交付金	1,167	0.1%	1,209	0.1%	△ 42	△ 3.5%
分担金及び負担金	14,717	0.2%	13,201	0.3%	1,516	11.5%
使用料	123,722	2.1%	145,956	2.9%	△ 22,234	△ 15.2%
手数料	5,372	0.1%	5,410	0.1%	△ 38	△ 0.7%
国庫支出金	428,712	7.2%	321,234	6.3%	107,478	33.5%
県支出金	230,012	3.8%	276,455	5.4%	△ 46,443	△ 16.8%
財産収入	28,267	0.5%	6,293	0.1%	21,974	349.2%
寄 付 金	476,525	7.9%	305,074	6.0%	171,451	56.2%
繰 入 金	502,353	8.4%	241,958	4.7%	260,395	107.6%
繰 越 金	258,421	4.3%	430,663	8.4%	△ 172,242	△ 40.0%
諸 収 入	266,815	4.4%	175,053	3.4%	91,762	52.4%
町 債	331,400	5.5%	243,500	4.8%	87,900	36.1%
うち臨時財政対策債	117,000	2.0%	145,000	2.8%	△ 28,000	△ 19.3%
合 計	5,995,049	100.0%	5,098,492	100.0%	896,557	17.6%

※ 普通会計：決算統計上の分類で、町の会計のうち企業会計、収益事業会計等を除いた、一般会計、同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計（平成30年度末をもって廃止）を合算したもの。なお、借換債は普通会計決算額には含めない。

【歳 出】

目的別決算状況

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
議 会 費	72,138	1.4%	70,505	1.6%	1,633	2.3%
総 務 費	1,333,749	25.4%	1,151,742	23.8%	182,007	15.8%
民 生 費	1,383,023	26.4%	1,338,260	27.6%	44,763	3.3%
衛 生 費	255,358	4.9%	173,150	3.6%	82,208	47.5%
労 働 費	34,624	0.6%	34,723	0.7%	△ 99	△ 0.3%
農林水産業費	271,495	5.2%	250,437	5.2%	21,058	8.4%
商 工 費	62,730	1.2%	84,812	1.7%	△ 22,082	△ 26.0%
土 木 費	493,600	9.4%	643,611	13.3%	△ 150,011	△ 23.3%
消 防 費	268,589	5.1%	235,786	4.9%	32,803	13.9%
教 育 費	485,648	9.2%	472,513	9.7%	13,135	2.8%
公 債 費	365,971	7.0%	384,532	7.9%	△ 18,561	△ 4.8%
災害復旧費	219,273	4.2%	-	-	219,273	-
合 計	5,246,198	100.0%	4,840,071	100.0%	406,127	8.4%

性質別決算状況

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
人 件 費	778,569	14.9%	763,424	15.8%	15,145	2.0%
うち職員給	488,560	9.3%	474,737	9.8%	13,823	2.9%
扶 助 費	657,860	12.5%	553,119	11.4%	104,741	18.9%
公 債 費	365,971	7.0%	384,526	7.9%	△ 18,555	△ 4.8%
元利償還金	365,971	7.0%	384,526	7.9%	△ 18,555	△ 4.8%
一時借入金利子	-	-	-	-	-	-
物 件 費	1,145,758	21.8%	947,369	19.6%	198,389	20.9%
維持補修費	90,820	1.7%	79,399	1.6%	11,421	14.4%
補 助 費 等	517,736	9.9%	471,080	9.7%	46,656	9.9%
うち一組負担金	108,087	2.1%	94,184	1.9%	13,903	14.8%
繰 出 金	623,509	11.9%	649,753	13.4%	△ 26,244	△ 4.0%
積 立 金	479,221	9.1%	405,272	8.4%	73,949	18.2%
投資及び出資金・貸付金	35,500	0.7%	41,740	0.9%	△ 6,240	△ 14.9%
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	-
投資の経費	551,254	10.5%	544,389	11.2%	6,865	1.3%
うち人件費	-	-	-	-	-	-
内 訳	331,981	6.3%	544,389	11.3%	△ 212,408	△ 39.0%
うち単独事業費	242,326	4.6%	334,772	6.9%	△ 92,446	△ 27.6%
災害復旧事業費	219,273	4.2%	-	-	219,273	皆増
失業対策事業費	-	-	-	-	-	-
合 計	5,246,198	100.0%	4,840,071	100.0%	406,127	8.4%

【財政構造】

令和元年度普通会計決算における各財政指標は次のとおりです。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去3ヵ年平均）は0.43（平成30年度0.43）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は21.0%（平成30年度8.4%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は88.6%（平成30年度89.1%）

【財政の健全化】

財政健全化法に基づき平成19年度決算から審査と公表が義務付けられた、健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）は次のとおりです。

- ・ 普通会計における実質収支の赤字比率を示す実質赤字比率、全会計の実質収支の赤字比率を示す連結赤字比率は実質収支が黒字であったため、数値はありません。
- ・ 公営企業会計や一部事務組合の公債費も考慮した、実質公債費比率は7.0%（平成30年度7.7%）
- ・ 第三セクター等の負債も含めた、町の将来にわたる負債の規模を示す将来負担比率は将来負担額を充当可能財源等が上回っているため数値はありません。

各指数がそれぞれの基準を上回る場合は、早期健全化計画や財政再生計画の策定が必要となります。

財政健全化法における基準

	令和元年度 決算数値	平成30年度 決算数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	15%	20%
連結実質赤字比率	—	—	20%	30%
実質公債費比率	7.0%	7.7%	25%	35%
将来負担比率	—	—	350%	—

※市町村の財政規模によって異なります。

【地方債現在高】

令和元年度末における地方債の現在高は27億2,609万9千円となり、2,271万6千円減少しました。これは、新規発行額を償還額以下に抑え、また、利率の高い起債を繰上償還（5,850万円）したことによるもので、借入地方債残高は平成11年度から毎年減少し続けています。

【基金残高】

基金の令和元年度末現在高（積立基金、定額運用基金）は、11億5,103万2千円で、前年度末に比べ2,203万4千円減少しました。これは、財政調整基金に2億1,029万1千円、小布施ふるさと応援基金に2億3,259万3千円、**大規模建設事業資金積立基金**に3,581万2千円の積立てを行い、同時に財政調整基金2億2,656万7千円、減債基金5,850万円、小布施ふるさと応援基金1億3,600万円、公会堂耐震改修資金貸付基金1,020万円、**土地開発基金**7,000万円の取崩しなどを行ったためです。

町債の概要（普通会計）

[町債発行額の推移]

（単位：千円）

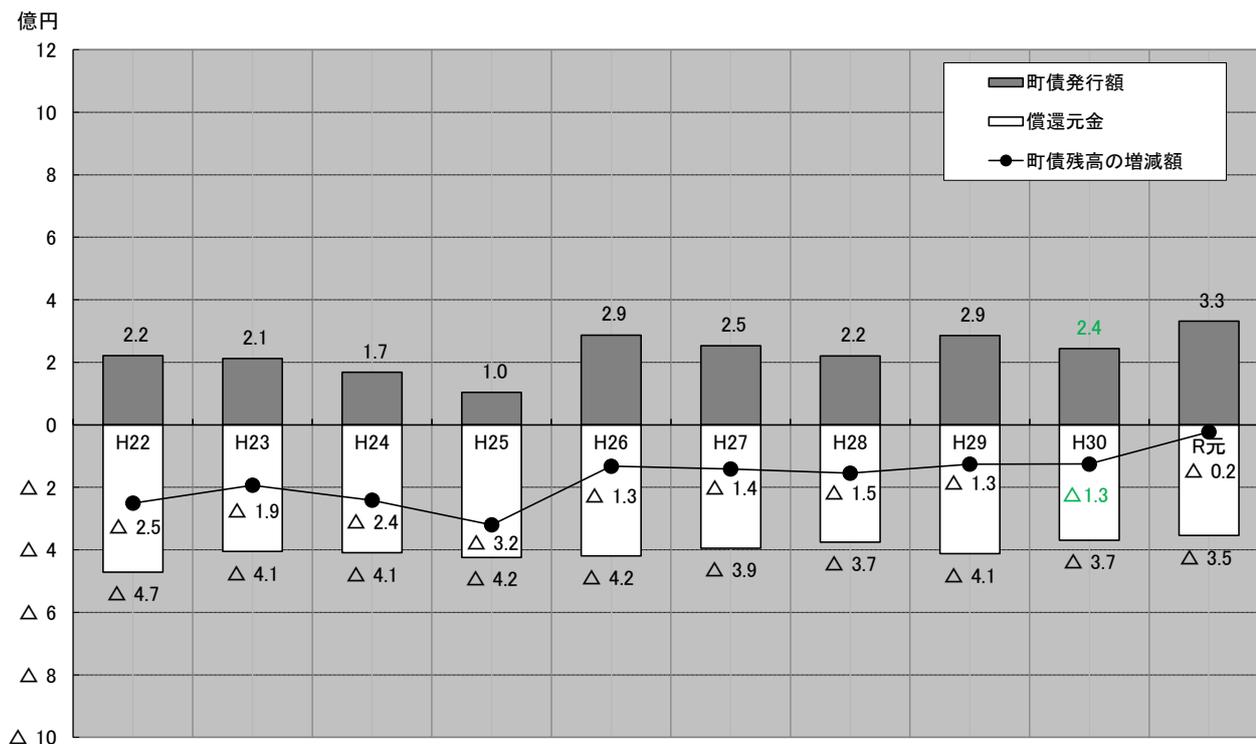
	H22決算	H23決算	H24決算	H25決算	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	R元決算
町債発行額	221,000	212,100	167,900	104,000	287,200	252,900	220,600	285,900	243,500	331,400
うち減税補てん債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	150,000	150,000	100,000	80,000	150,000	150,000	80,000	128,000	145,000	117,000

[公債費(町債元利償還金額)の推移]

（単位：千円）

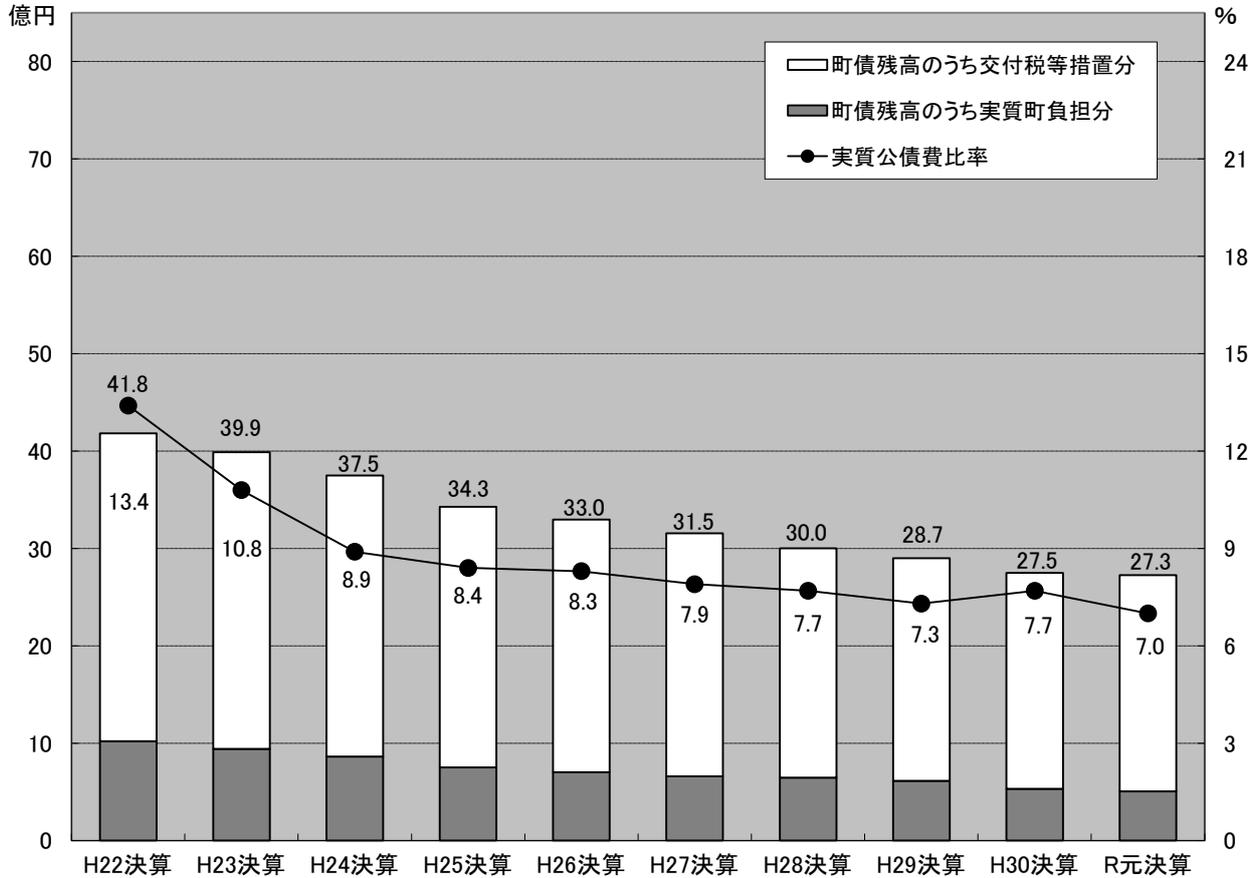
	H22決算	H23決算	H24決算	H25決算	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	R元決算
町債元利償還金額	548,374	474,335	470,849	477,773	463,974	429,476	402,513	432,538	384,526	365,971
償還元金	471,298	405,070	409,068	423,896	419,739	394,309	374,966	411,571	368,937	354,116
うち繰上償還分	-	-	-	-	-	-	-	43,000	31,850	58,500
支払利子	77,076	69,265	61,781	53,877	44,235	35,167	27,547	20,967	15,589	11,855

※平成26年度からは、借換債を除いた実質的な借入及び元利償還金額です。



町債の概要（普通会計）

[年度末町債残高と実質公債費比率の推移]



○町債残高:

新たな起債を極力抑え、計画的に繰上償還を実施してきた結果、普通会計の町債残高は、平成11年度の75億1千万円をピークに年々減少しています。

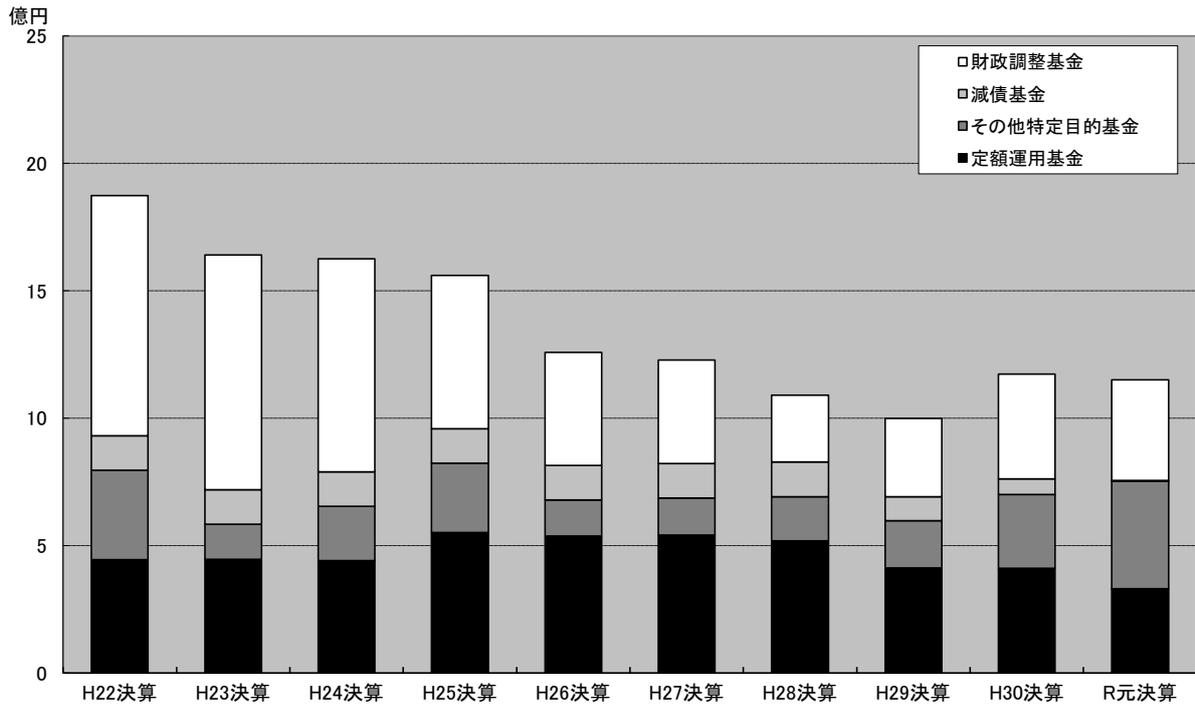
令和元年度末の残高27億2,609万9千円のうち、22億2,100万円(82%)程度は後年度に地方交付税で措置されたり、貸付金の回収金や住宅家賃など特定の収入でまかなうなど、実質的には町の負担となりません。

○実質公債費比率:

地方債協議制度への移行に伴い新設された指標です。従来 of 起債制限比率の算定においては対象とされていなかった公営企業会計(上水道事業、下水道事業等)の公債費に充当した繰出金や、一部事務組合の公債費に係る負担金等を含め、実質的な公債費が標準財政規模に占める割合を示したものです。18%以上の場合は、地方債の発行に際し許可が必要となります。

(H30県平均: 6.0%)

基金残高の推移（普通会計）



- 財政調整基金**： 年度間の財源の不均衡を調整し、財政の健全な運営を図るための基金□
- 減債基金**： 町債償還の財源を確保し、計画的な償還と信用維持を図るための基金
- その他特定目的基金**： 教育文化基金、社会福祉積立基金、大規模建設事業積立基金 ほか□
- 定額運用基金**： 土地開発基金、芸術文化振興基金、育英金貸付基金 ほか□

[年度末基金残高の推移]

（単位：千円）

	H22決算	H23決算	H24決算	H25決算	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	R元決算
財政調整基金	943,246	921,074	835,452	601,775	444,160	406,140	262,475	307,223	411,378	395,102
減債基金	135,129	135,235	135,339	135,438	135,553	135,670	135,769	92,851	61,056	2,556
その他特定目的基金	350,533	138,559	213,544	271,820	141,532	146,212	173,020	185,531	290,058	422,988
定額運用基金	445,026	445,417	440,701	551,422	537,470	540,536	519,172	412,629	410,574	330,386
計	1,873,934	1,640,285	1,625,036	1,560,455	1,258,715	1,228,558	1,090,436	998,234	1,173,066	1,151,032

令和元年度 普通会計決算状況調書 (決算カード)		国調人口		世帯数		
		H27年国調		10,702人	H27年国調 3,528世帯	
		H22年国調		11,072人	H22年国調 3,511世帯	
		増減率		△ 3.3%		
住民基本台帳人口		R2.1.1		11,031人	人口集中地区人口	
		H31.1.1		11,004人	H27年国調 -	
		増減率		0.2%	H22年国調 -	
歳入の状況 (単位 千円・%)						
区分	決算額	構成比	増減率	経常一般財源等	構成比	
地方税	1,155,057	19.3	1.6	1,155,057	39.2	
地方譲与税	50,859	0.8	0.1	50,859	1.7	
利子割交付金	1,177	0.1	△ 53.5	1,177	0.0	
配当割交付金	5,195	0.1	20.7	5,195	0.2	
株式等譲渡所得割交付金	2,995	0.0	△ 17.3	2,995	0.1	
地方消費税交付金	186,122	3.1	△ 5.3	186,122	6.3	
自動車取得税交付金	7,086	0.1	△ 41.0	7,086	0.2	
環境性能割交付金	1,718	0.0	皆増	1,718	0.1	
地方特例交付金	54,503	0.9	762.5	54,503	1.8	
地方交付税	1,862,854	31.1	22.6	1,458,952	49.5	
普通交付税	1,458,952	24.3	3.0	1,458,952	49.5	
特別交付税	403,902	6.8	291.2	-	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	-	
(一般財源計)	3,327,566	55.7	13.5	2,923,664	99.2	
交通安全対策特別交付金	1,167	0.1	△ 3.5	1,167	0.1	
分担金及び負担金	14,717	0.2	11.5	-	-	
使用料	123,722	2.1	△ 15.2	4,467	0.2	
手数料	5,372	0.1	△ 0.7	-	-	
国庫支出金	428,712	7.2	33.5	-	-	
県支出金	230,012	3.8	△ 16.8	-	-	
財産収入	28,267	0.5	349.2	5,153	0.2	
寄付金	476,525	7.9	56.2	-	-	
繰入金	502,353	8.4	107.6	-	-	
繰越金	258,421	4.3	△ 40.0	-	-	
諸収入	266,815	4.4	52.4	13,420	0.5	
地方債	331,400	5.5	36.1	-	-	
うち都道府県貸付金	-	-	-	-	-	
うち減税補てん債	-	-	-	-	-	
うち臨時財政対策債	117,000	2.0	△ 19.3	-	-	
歳入合計	5,995,049	100.0	17.6	2,947,871	100.0	
性質別歳出の状況 (単位 千円・%)						
区分	決算額	構成比	増減率	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
人件費	778,569	14.9	2.0	707,904	686,772	22.4
うち職員給	488,560	9.3	2.9	426,179	-	-
扶助費	657,860	12.5	18.9	226,434	220,729	7.2
公債費	365,971	7.0	△ 4.8	337,629	278,868	9.1
元利償還金	365,971	7.0	△ 4.8	337,629	278,868	9.1
一時借入金利息	-	-	-	-	-	-
(義務の経費計)	1,802,400	34.4	6.0	1,271,967	1,186,369	38.7
物件費	1,145,758	21.8	20.9	680,263	593,358	19.4
維持補修費	90,820	1.7	14.4	69,732	35,477	1.2
補助費等	517,736	9.9	9.9	435,690	399,216	13.0
うち一組負担金	108,087	2.1	14.8	106,940	106,652	3.5
繰出金	623,509	11.9	△ 4.0	560,501	500,012	16.3
積立金	479,221	9.1	18.2	285,672	-	-
投資及び出資金・貸付金	35,500	0.7	△ 14.9	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	-
投資の経費	551,254	10.5	1.3	104,075	-	-
うち人件費	-	-	-	-	-	-
普通建設事業費	331,981	6.3	△ 39.0	104,075	-	-
うち単独事業費	242,326	4.6	△ 27.6	84,048	-	-
災害復旧事業費	219,273	4.2	皆増	45,181	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-	-
(臨時財政対策債含む)	-	-	-	-	-	-
歳入一般財源等	-	-	-	-	-	-
歳出合計	5,246,198	100.0	8.4	3,453,081	4,201,932千円	88.6%

面積		19.12km ²	人口密度(H27年国調)		560人		指定団体等の指定状況		都道府県名	団体名	市町村類型																
産業構造							20		5419	Ⅲ-0																	
区分	H27年国調(構成比)		H22年国調(構成比)		旧	新	産	×	ナガノケン	オブセマチ	地方交付税種地																
第1次産業	1,376人	23.0%	1,488人	24.1%	旧	工	特	×	長野県	小布施町	Ⅱ-2																
第2次産業	1,455人	24.3%	1,593人	25.7%	低	開	発	×																			
第3次産業	3,150人	52.7%	3,106人	50.2%	旧	産	炭	×																			
市町村税の状況(単位千円・%)							山	振	×	区分	R元年度(千円)	H30年度(千円)															
区分	収入済額	構成比	増減率	超過課税分	過	疎	×	歳入総額	5,995,049	5,098,492																	
市町村民税	個人均等割	19,969	1.7	2.8	-	近	畿	×	歳出総額	5,246,198	4,840,071																
	所得割	491,260	42.5	3.1	-	中	部	○	歳入歳出差引	748,851	258,421																
	法人均等割	20,466	1.8	△0.7	-	財	政	健	全	化	等	○	翌年度繰越財源	120,870	9,300												
	法人税割	13,799	1.2	△31.6	-	指	数	表	選	定	○	実質収支	627,981	249,121													
固定資産税	513,957	44.5	△3.3	-	財	源	超	過	×	指	数	表	選	定	○	単年度収支	378,860	△91,491									
うち純固定資産税	513,685	44.5	△3.3	-	財	源	超	過	×	積	立	金	210,291	254,155													
軽自動車税	41,356	3.6	8.2	-						線	上	償	還	額	58,500	31,850											
市町村たばこ税	53,850	4.7	5.7	-						積	立	金	取	崩	し	額	226,567	150,000									
鉱産税	-	-	-	-						実	質	単	年	度	収	支	421,084	44,514									
特別土地保有税	-	-	-	-						一	組	加	入	の	状	況											
(法定普通税計)	1,154,657	100.0	3.8	-						一	般	職	等	数	給	料	月	額	(百円)	1人当給料月額(百円)							
法定外普通税	-	-	-	-						議	員	公	務	災	害	×	一	般	職	員	83	252,236	3,039				
旧法による税	-	-	-	-						非	常	勤	公	務	災	害	○	う	ち	技	能	労	務	職		*	*
目的税	400	0.0	16.3	-						退	職	手	当	○	教	育	公	務	員	6	13,914	2,319					
入湯税	400	0.0	16.3	-						事	務	機	共	同	×	消	防	職	員								
事業所税	-	-	-	-						税	務	事	務	○	臨	時	職	員									
都市計画税	-	-	-	-						老	人	福	祉	○	合	計	89	266,150	2,990								
水利地益税	-	-	-	-						伝	染	病	×	ラ	ス	パ	イ	レ	ス	指	数	(R元年度)	93.1				
合計	1,155,057	100.0	△0.2	-						ご	み	処	理	○	特	別	職	等	数	適	用	開	始	年	月	日	1人当平均月額(百円)
適用税率の状況	個人均等割	個人所得割		固定資産税		中	学	校	×	議	会	議	長	1	H19.4.1	2,640											
	法人均等割	6.0%		1.4%		そ	の	他	○	議	会	副	議	長	1	H19.4.1	1,930										
	1号法人	2号法人	3号法人	4号法人	5号法人	議	会	議	員	12	H19.4.1	1,720															
	50,000円	120,000円	130,000円	150,000円	160,000円																						
	法人税割	6号法人	7号法人	8号法人	9号法人																						
	9.7%	400,000円	410,000円	1,750,000円	3,000,000円																						
目的別歳出の状況(単位千円・%)							区分(単位千円)																				
区分	決算額(A)	構成比	増減率	(A)のうち普通建設	(A)の充当一財等	R元年度		標準財政収入額等																			
議会費	72,138	1.4	2.3	780	71,359	基準財政収入額	1,118,210																				
総務費	1,333,749	25.4	15.8	38,589	812,014	基準財政需要額	2,587,307																				
民生費	1,383,023	26.4	3.3	6,747	769,275	標準税収入額等	1,408,368																				
衛生費	255,358	4.9	47.5	4,276	190,584	標準財政規模(臨財債含む)	2,984,764																				
労働費	34,624	0.6	△0.3	-	1,574	財政力指数(H29~R元年度)					0.43																
農林水産業費	271,495	5.2	8.4	58,465	171,229	実質収支比率(%)					21.0																
商工費	62,730	1.2	△26.0	7,323	43,414	經常一般財源等比率(%)					98.8																
土木費	493,600	9.4	△23.3	130,576	408,969	財政健全化判断比率	実質赤字比率(%)			-																	
消防費	268,589	5.1	13.9	58,079	211,516		連結実質赤字比率(%)			-																	
教育費	485,648	9.2	2.8	27,146	390,337		実質公債費比率(%)			7.0																	
災害復旧費	219,273	4.2	皆増		45,181	積立金現在高	将来負担比率(%)			-																	
公債費	365,971	7.0	△4.8		337,629		財政調整基金			395,102																	
諸支出金	-	-	-	-	-	減債基金	2,556																				
歳出合計	5,246,198	100.0	8.4	331,981	3,453,081	その他特定目的基金	422,988																				
へ公営の事業線業出等(千円)	上水道事業	634	国保会計の状況(千円)	実質収支	17,822	地方債現在高		2,726,099																			
	下水道事業(農集排含む)	250,264		再差引収支	13,886	債務負担行為(支出予定額)	うち政府資金			488,212																	
	国民健康保険事業会計	82,794		加入世帯数(世帯)	1,565		物件等購入			-																	
	介護保険事業会計	155,034		被保険者数(人)	2,717		保証・補償			-																	
	後期高齢者医療事業会計	135,405		被保険者1人当たり	101.3		その他			30,068																	
	基金、その他	12		国保税収入額	-	その他実質的なもの			-																		
	合計	624,143		国庫支出金	-	土地開発基金現在高			94,720																		
		保険給付額	298.9	徴収率(現年)(%)		市町村民税			99.2																		
						純固定資産税			98.7																		
						町税全体			99.0																		

※正式なものは数値確定後に総務省にて公表

5. 令和元年度重点施策の成果・概要

当初予算における重点施策の取組内容と成果・今後の課題等については、次のとおりです。

1. 健康と福祉の充実

医療機関や社会福祉協議会、保健福祉委員の皆さんなどと連携し、中高年の皆さんが健康を維持しながら活躍できる環境整備と医療・福祉の充実により平均寿命と健康寿命の延伸を目指します。誰もが安心して住み慣れた地域で健康で暮らしていけるまちづくりを進めます。

◆高齢者等のタクシー利用助成 ⇒ P85

75歳以上高齢者と重度の障がい者の皆さんに、安心して外出してもらうための移動支援として実施しています。今後、高齢者や免許返納者の増加が予想されます。移動支援の実施方法や対象者の見直しを進めていきます。

◆障がい福祉サービスの充実 ⇒ P89

平成30年度を初年度とする障がい福祉計画及び障がい児福祉計画に基づき自立支援給付事業や地域生活支援事業を行いました。地域社会における共生の実現に向けて、障がい者児の日常生活及び社会生活の総合的な支援を行いました。

◆がん検診の充実 ⇒ P118

がんの早期発見と早期治療につなげるため、がん検診（肺・胃・大腸・子宮・乳房・前立腺）を実施しました。受診率向上のため、20歳、30歳等10歳刻みの節目年齢の方の受診料の無料を継続しています。

特に、長野県内では初となる胃の内視鏡による検診を平成30年度から須高地域一丸となり開始しました。内視鏡による検診の導入により早期がんの発見も可能になりました。引き続き、受診率の向上に努めていきます。

◆風しん予防接種の実施 ⇒ P124

風しんの感染拡大が発生すると、妊婦が感染し、先天性風しん症候群が発生する可能性が高くなります。患者のうち男性が約8割を占めていることから、抗体値が低かった年代の方を対象に抗体検査と予防接種を行いました。（令和2年度も続けています。）

◆特定健診の受診率向上を図ります（国民健康保険特別会計） ⇒ P219

生活習慣病が増え、その元となるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の早期発見を目的に「特定健診」を行い、健診の結果に基づき生活習慣の改善が必要な場合は、家庭訪問等による「特定保健指導」などを実施し、健康づくりの支援を行いました。

◆介護予防・日常生活支援総合事業（介護保険特別会計） ⇒ P239

介護予防に自ら努めていただくとともに、地域での支え合い体制の構築を促すため、町政懇談会で説明を実施しました。支え合い体制の構築には時間がかかります。住民の皆さんの関心を高め、議論の高まった地域を優先して進めていきます。

【総括】

介護保険や障害福祉サービスでは、在宅支援サービスや居住、生活環境の整備に努め高齢者等を地域で支える環境整備に取り組んできました。令和元年度は生活支援コーディネーターが中心となり地区学習会等を開催する中で、松村自治会が協議体「ハッピーライフまつぼっくり」を立ち上げました。今後、全ての自治会で、このような住民自ら運営する支え合いの仕組みをつくりあげることが急務となっています。組織を立ち上げるため、町と社協、生活支援コーディネーターが一体となって粘り強く住民の皆さんに働きかけていきます。

2. 相談支援体制の充実

生き心地の良い小布施町を目指して、心の健康づくりの保持・増進、若者の引きこもり、生活困窮問題などさまざまな悩みに対応し、相談事業による支援を推進します。どなたもが住みやすく、暮らしやすい町と感じていただけるよう、県の関係機関との連携を強化します。

◆消費生活対策活動の推進 ⇒ P64

消費生活に対する意識を高めるため、悪徳商法や特殊詐欺の被害に遭わないよう情報の提供や相談活動を実施しました。随時、警察から詐欺等の情報が入り次第、同報無線等により被害防止のため町民への周知に努めました。

◆民生児童委員の活動支援 ⇒ P76

高齢者福祉のみにとどまることなく、障がい者の地域での生活を支えること。また、生活困窮者やひきこもり者の把握等、様々な観点から訪問・相談活動を充実させ、「まいさぼ信州長野」等関係機関と連携した支援体制づくりを進めました。

◆多機関協働包括的支援推進事業と母子支援の推進 ⇒ P80、116、124

心配ごとを抱えた方の中には、複数の事案による課題がある場合があります。育児・介護・障がい・貧困など、相談を単体で考えるのではなく、世帯全体として複合・複雑化した課題を的確に捉え必要な支援を行っていくことが大切です。分野を超えた対応ができるよう、相談支援包括化推進員を設置し、令和元年度は主として、子どもとその保護者の相談体制の構築に向けた話し合いを進めました。

・産後ケア事業や乳幼児健康相談など母子保健の充実

毎月1回、保健師・栄養士が乳幼児の身体計測、発育・発達相談、離乳食等各種相談を行ったほか、言語聴覚士・臨床心理士等による相談を行い子どもの成長を確認し、親との関係づくりと、発育発達の支援を行いました。

特に、妊娠期から子育て期に渡り、育児不安等を抱え虐待のおそれやリスクを抱える家庭に対する相談支援・養育技術の提供を行いました。

産後ケア事業は、産後1年未満の産婦及び乳児のうち、家族や親族から産後の十分な援助が受けられない、体調不良や育児不安が強い母親を対象に身体的回復と精神的な安定を促進し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援する取り組みです。令和元年度の利用はありませんでした。

・心のサポート相談と心の健康づくり

子どもから高齢者までの様々な悩みなどへの対応を進めています。心の悩みを持つ人やその家族への相談支援を行うため、相談を週2日実施しました。ひきこもりや不登校のほか、勤め先、家庭内等でのさまざまな問題から心の不調に悩む方に対するカウンセリングなど、相談員（臨床心理士）や保健師、関係機関等が連携して支援を行いました。

【総括】

精神保健、福祉と教育の担当者が連携し子育て世代を支援するため、母子保健から始まる相談支援体制の充実に向けた話し合いを始めました。令和元年度は、精神保健福祉士を確保し、補助を得ることで、町職員が多くの機関の専門職とも有機的に連携し協力し合える体制を構築することができました。精神保健、母子保健、児童虐待、生活困窮など様々な課題を抱えてしまっても、誰もが気軽に相談できるよう職員全員のスキルアップを図っていきます。

3. 子育て環境の充実

核家族化や共働き世帯、ひとり親世帯などが増加し、子育ての負担を一人で抱えてしまうケースが多く見受けられることから、気軽に相談できる体制づくりをさらに進めます。認定子ども園や保育園、エンゼルランドセンター、小学校、中学校が連携、情報共有し子育て支援につなげていきます。また、家庭・地域とのつながりを深め、地域全体の教育力の向上を目指します。

◆乳幼児健康診査・子育て教室 ⇒ P115

安心して子どもを産み育てる環境づくりとして、乳幼児に対する疾病・障がいの早期発見・支援のために健診を実施しました。健診は内科診療・歯科診察・眼科健診です。さらに、月齢に応じた生活習慣、発達、栄養、歯の健康などについての講習を行いました。

また、育児に対する不安を抱える保護者に対しては、臨床心理士による相談を行うとともに言語聴覚士による言語相談を行いました。

◆コミュニティ・スクールの充実 ⇒ P182

保護者・地域の方々と園・学校が互いの信頼関係のもと、一体となって幼保小中一貫教育を推進し、子どもの声を反映した地域に開かれた園・学校づくり、共に育つ活力ある地域づくりを進めることを目的に、小布施学園コミュニティ・スクール運営委員会の活動を行いました。

幼保小中ごとの小委員会を中心に月1回程度の会合を持ち課題に向き合うとともに、文科省型への移行に向けて規則を制定しました。

◆障がい児等の施策の充実 ⇒ P183

障がいのある子もいない子も共に学校や地域の中で育ち、個々の能力や可能性を伸ばすことができるよう、福祉と教育の関係機関の連携を強化し、相談体制と受け皿の充実を図りました。

特別な支援が必要な子どもに対し加配の保育士や教員を配置するとともに、医療的ケアが必要なお子さんのために学校看護師を配置するなど、インクルーシブ教育の推進に努めました。

また、発達凸凹を早期に発見し支援につなげるため、幼保の巡回相談や発達支援教室に作業療法士や精神保健福祉士などの専門家を加え体制の充実を図りました。

◆不登校の児童・生徒を支援 ⇒ P184、186

増加傾向にある不登校やクラスに入れない児童・生徒やそのご家庭を支援するため、小学校に1名、中学校には1名増員し2名の不登校支援員を配置しました。

養護教諭や町の精神保健福祉士、臨床心理士等と連携しつつ本人や保護者の支援にあたり、学校内外における中間教室の利用や設置について検討しました。

◆グローバルコミュニケーション事業・HLABの開催 ⇒ P189

国内外の大学生、全国の高校生が集い、国際感覚を身につけ、多様な価値観に触れることで進路選択の幅を広げるHLAB 0BUSE サマースクールを開催しました。

県内外の高校生50名（この内小布施からは7名）が参加し、8月13日から19日の1週間、セミナーやワークショップのほか、ホームステイや祭りなどで町民の皆さんとの交流も行いました。

【総括】

若い子育て世代の健康づくりを支援するため母子保健の充実、妊産婦の育児不安解消など母子支援の取り組みを進めています。

核家族化や共働き世帯、ひとり親世帯などが増加し、子育ての負担を一人で抱えてしまうケースが多く見受けられることから、気軽に相談できる体制づくりを進めました。特に障がい児等の施策の充実については幼保巡回メンバーに作業療法士や精神保健福祉士などの専門家を加え体制の強化を図りました。また、不登校児童・生徒の支援につきましては、小中学校に不登校支援員の増員を図り、支援体制の充実を努めました。子育てがしやすいまちづくり、社会づくりに向けて小布施学園コミュニティ・スクールの運営など、地域の皆さんと一緒に事業に取り組むと共に、切れ目のないきめ細やかな支援を引き続き関係部署と連携して進めています。

4. 協働と交流 そして地方創生

安心してお子さんを産み育てることができる、若い皆さんが移住したい、どなたもが住み続けたいと思っただけの地域づくりを町民の皆さんとともに考え、進めています。空き家の有効活用を進め、移住定住希望者を全力でサポートしていきます。

◆官学協働事業 ⇒ P57

大学の専門機関や大学生など若い人の感性と考えに基づく提案から、地域課題の解決や地域活性化につながる事業に取り組みました。

慶應義塾大学SFCとの新事業創造プログラムは、「活動を構想する学生を支援する」段階から「未来のしごとづくり」段階への移行を見据え、プロジェクトを継続していきます。

東京大学先端科学技術研究センターとの共同研究「まちの周辺集落を含むコミュニティの再生、活性化の実践的研究」として、都住地区を中心に集落全員アンケート調査等の分析結果の発表会や、

ワークショップを実施し、地域コミュニティの今後の在り方に触れ、持続可能なコミュニティの研究を進めました。併せて、柔軟な土地利用のための具体的検討を進めていきます。

◆移住定住の促進、空き家活用の推進 ⇒ P59

移住定住希望者をサポートするため、移住相談窓口を役場に設け、移住定住コーディネーターを中心に移住希望者の皆さんからの相談をお受けし、空き家活用者とのマッチング等を行いました。空き家改修等補助金や移住促進補助金の効果もあり、町への移住者の増加に繋げることができました。

◆地方創生の推進 ⇒ P60

平成27年度に策定した小布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本目標を実現するための事業を実施しました。併せて、時代に合った的確な行政運営を行うため、町の総合的な振興・発展などを目的とした「総合計画」と、人口減少克服・地方創生を目的とした「総合戦略」を一体とし、令和2年度を初年度とする第六次小布施町総合計画を新たに策定しました。

町の特産品を都市圏に売り込む町振興公社の地域商社化やふるさと納税を活用した施策の一層の推進を図りました。また、国道403号整備に合わせた市庭の創生事業用地を取得しました。

◆若い外の力との協働による地域活性 ⇒ P60

体験型サテライトオフィス事業は、新たな企業誘致に成功しましたが、その後の台風災害の影響もあり、本格的な活用には至りませんでした。今後は、新たな利活用方法を検討し、官学連携事業など町内の他の事業と連携しながら企業家誘致等に向けて取り組みます。

◆子育てしやすい町を目指す ⇒ P62

小中学校1学年100人維持を目指し、移住定住を促進するために、子育て世帯の応援が重要な課題ととらえ、少子化対策として、二世帯住宅の整備、市街化調整区域への新築に係る費用、29歳以下の子育て世帯への家賃に対し補助しました。多子世帯の支援として、第3子以降の子の小中学校入学時に商品券を支給し経済的負担軽減を図りました。また、町社会福祉協議会等とともに婚活イベントを開催し、出会いの場の創出も行いました。

移住定住の促進事業や空き家活用の推進事業とも連携した施策を行うことにより、引き続き、子育て世帯を応援し、多くのお子さんが育つ小布施町を目指します。

【総括】

平成27年度に策定した小布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた具体的な施策の一つ一つが着実な成果を生み、小中学校1学年100人の目標を達成することができました。

この流れを滞らせることなく、令和元年度に新たに策定した第六次小布施町総合計画に基づき、多様化・複雑化する地域課題に適切に対応しながら、将来にわたり持続可能なまちづくりを進めていくことで、小布施町の地方創生が実現し、若い皆さんが魅力を感じ、多くの方が小布施町に住んでいただけることにつながっていくことを目指します。

5. 活力ある産業の創出

農業では、気候風土から生産される高品質な果物を、町の知名度を活用し有利販売につなげることで産地としての確立を目指します。

商工業では若い皆さんに起業しやすい環境を整備するとともに、小規模事業者等の皆さんが生産性向上を目的に行う製造ライン更新事業に対し、国の支援策の導入等経済負担の緩和を図り、活力ある地域産業を築きます。

◆小布施ブランド戦略事業 ⇒ P136

果物を取り扱う民間企業とのコラボ事業や町内企業との共同企画の開催により、小布施産農産物の認知度拡大、他産地との差別化及び小布施産果物の魅力度アップによる小布施ファンの増加を図りました。

また、墨田区や埼玉県戸田市、福井県鯖江市及び香川県宇多津町との交流物産展などにより、小布施の認知度アップを図りました。今後もさまざまな機関や民間企業と連携し、地域ブランドづくりを積極的に推進していきます。

◆新規就農者支援 ⇒ P139

農業次世代育成人材投資事業（旧青年等就農給付事業）は、14名に対し支援を行いました。

◆先進的農家支援事業 ⇒ P140

農業に関する共通課題を共有・対応するため、「おぶせファーマーズ」を立ち上げその活動を支援しました。農産物の販路の確保に向けて市場など物流関係の視察研修や、農家自らが行うマルシェへの参加やイベントを活用した販売を支援しました。

◆農業生産基盤の強化推進 ⇒ P141、144

- ・土地改良施設（北信濃くだもの街道、畑地かん水施設）整備事業支援
- ・農業施設（水田用排水路）の長寿命化に向けた個別診断実施
- ・有害鳥獣駆除従事者（猟友会員）の拡充・強化

◆起業支援事業・空き店舗活用事業 ⇒ P148、156

新たに事業を起こしたい新規創業者、既存の経営革新を考えている事業者など様々な課題解決策支援のための「おぶせスタートアップセミナー」を開催しました。

また、すでに起業している方との交流会を開催し、情報交換や課題に向けた良き相談者とのつながりを大切にした情報交換会を積極的に開催しました。

◆花のまち（緑化）推進事業 ⇒ P154

昨年に引き続き「オープンガーデン花巡り2019」を開催しました。オープンガーデンオーナーのご協力のもと、シャトルバスで開放いただいているお庭を巡る「花巡り・花によるおもてなし」で、大勢のお客様のご参加をいただき、交流の輪が大きく広がりました。

また、各種花の講習会の開催を通じて、小布施駅前を長野電鉄職員との共同による「駅を花で飾るおもてなし」として、ハンギングバスケットやコンテナガーデンを制作し、町を訪れた方や駅を利用する方々に心地よい空間を提供しています。

【総括】

台風19号災害により、千曲川河川敷内の農地には大量の土が堆積し、果樹等の農作物は大きな被害を受けました。復旧・復興に向け11月には1,000人規模のボランティアによるりんごの実落とし作業を実施し、翌年1月からは農地の排土事業を開始し、農地に流れ着いた流木・生産資材・生活ごみの除去も行いました。

同時に越水により水没した農機具の修繕や新規購入への補助金の支援も進めました。なお、排土事業は6月末には完了しました。

また、行楽トップシーズン中で、スマートインターも機器の修繕のため11月下旬まで閉鎖されたことから来町者が激減し、観光客相手に商いを営んでいる事業者も経営状況に大きな打撃を受けました。

町内中小事業者の経営を圧迫する状況が継続し、さらに、一旦収束したと思われた新型コロナウイルスの感染は7月に再び拡大し、経済状況は先行き不透明な状況が続いています。この危機的状況を乗り越えるため、今後もきめ細やかな支援策を継続し、魅力ある地域づくり強固な活力ある産業の創出を重点施策に掲げ取り組んでいきます。

6. 地域の安全と安心の推進

地域の支え合いを充実し災害に強いまちづくりを進める一環として、地域メディアの充実を図ります。現在、行政から町民の皆さんへお知らせをお届けする方法として、町報、同報無線、ホームページなどがありますが、時代とともに情報を得る手段が多様化しています。それぞれの世代やライフスタイルと結びついた情報をお届けできるよう検討を進めます。

また、道路や水路など生活基盤の整備を進め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。

◆ホームページをリニューアル ⇒ P47

平成30年度に地域メディア研究会で実施した調査により、ホームページの訪問者の6割強がスマートフォン利用者であった一方、旧ホームページはスマートフォンに対応していなかったことから、スマートフォンに対応したホームページのリニューアルが優先的な課題でした。また、ホームページのデザインが古くて見づらいという声も多く、洗練された小布施らしいデザインの実現と、必要な情報をわかりやすく探せる操作性の向上も課題となっていました。

これらの課題を踏まえて、令和元年度にホームページのリニューアルを実施し、令和2年3月16日に公開・運用を開始しました。リニューアルに際しては、行政情報を発信する公式サイト以外に、「観光」「まちづくり」「移住」に関する特設サイトを別途開設し、テーマを絞った情報発信にも積極的に取り組んでいます。

◆地域メディアの充実 ⇒ P48

平成30年度に引き続き、「地域メディア研究会」を開催し、町内外の専門家が協働して小布施町における情報発信のあり方について議論しました。平成30年度末に立ち上げた小布施町公式LINEは、登録者数が1,418人（令和2年7月1日現在）となり、多くの町民が行政情報を得る地域メディアの一つとして成長しています。

また、デジタル化への移行が課題となり、その継続も含めて検討を進めてきた防災無線については、台風19号災害の発生時に多くの町民が情報収集手段として活用し、その必要性が改めて示され

ました。今後は、コストを抑えつつ、防災無線の機能を担える手段を検討し、早急に取り組んでまいります。

◆再生可能エネルギーへの転換 ⇒ P62

令和元年度から欧州連合（EU）が主催する「国際都市間協力プロジェクト」（IUCプロジェクト）に環境分野の先進都市であるフィンランド・トゥルク市、長野市とともに参加しました。長野地域連携中枢都市圏などの枠組みを活用しながら環境に優しいまちづくりを近隣市町村と連携して進めています。

再生可能エネルギーの地産地消を目指し、景観に配慮した屋根貸し事業を実施し、公共施設に太陽光パネルを設置しました。災害時の電力を確保し、平常時の再生可能エネルギーの活用を図ります。

◆地域防災力の更なる強化 ⇒ P66

自主防災会を中心とした自治会同士の助け合いの仕組みである自主防災連絡協議会が平成29年12月1日に設立されました。台風19号災害においては、千曲川の越水により甚大な被害を受けた自治会において、避難の呼びかけや避難所運営における自治会の役割や重要性が再認識される一方で、自主防災連絡協議会については、その機能が十分に果たされたとはいえ今後の見直しが必要となっています。今後は、自主防災連絡協議会の有事における役割を改めて見直すとともに、自治会を防災力強化の基盤として捉え、地震、水害など様々な災害を想定した防災訓練の見直しや、防災力向上に向けた継続的な議論の場づくりに取り組んでまいります。

◆道路・水路・総合公園の整備等

- ・町道・橋梁の補修・改良 ⇒ P160～163
- ・交通安全施設の設置 ⇒ P164～165
- ・水路の補修・改良 ⇒ P167～168
- ・総合公園等の維持・整備 ⇒ P170～172

老朽化した道路・水路の修繕・改良や小学校通学路の交通安全施設の整備等を行うことにより、安心・安全に生活できる環境づくりに取り組みました。

小布施総合公園南側の松林を利活用した緑地公園予定地として、新たにお借りした飯田郷元神社の土地の除草を行うなど、景観面も含め、安心・安全で快適に今後ご利用いただけるよう取り組みました。

◆国道403号整備の推進 ⇒ P172

歩行者が安全で安心して歩ける快適な道空間整備を進めるため、毎月1回、沿道住民と町等で組織した「小布施町国道403号新しい市庭通りいちろばを創生する会」を道路管理者である長野県、また、電気事業者にも出席いただき開催し、情報共有を図りながら、小布施らしい道空間の実現に向け調整・協議を進めています。

道路管理者である長野県では、モデル整備区間100mを350mに範囲を広げ、国の防災・安全交付金事業により、無電柱化に向けた検討や一部用地の購入・物件補償を実施しています。

◆消防団編上げ長靴の購入 ⇒ P177

火災や水害等の災害時に団員が安全に活動できるよう、防火、踏み抜き防止等、安全性の高い編み上げ式の防火ゴム安全長靴を全団員に配備しました。

今後も団員が安全に活動できるよう今後も装備の充実化に取り組んでまいります。また、令和2年度は耐切創防火手袋の全団員への配備を予定しております。

◆水槽付消防ポンプ自動車の購入 ⇒ P177

24年を経過したタンク車（1,000L）を最新の車両に更新しました。新たな消火機能として、少ない水量でも消火機能の高い「キャプス」（圧縮空気泡装置）を導入し、タンク600Lの水量で10,000Lの放水と同等の放水能力となりました。また、車両も小型化され、狭い路地でも進入できる小回りの利く車両となりました。

【総括】

地域の皆様が安全・安心に暮らせる町をつくるためには、地震、水害、土砂災害など、さまざまな災害の発生やそれによる被害状況を想定し、多様な団体と連携を取りながら、事前準備を進めていく必要があります。

令和元年度には、小布施町公式 LINE など新たな情報発信手段の運用にも力を入れ、町内外どこにいてもリアルタイムの災害情報が届く基盤整備に取り組むとともに、台風19号災害での経験から、災害時の同報無線による情報発信の有効性・重要性が改めて認識されたことから、各家庭への戸別受信機の設置・交換に積極的に取り組んでまいりました。また、火災発生時の消火機能の向上を目指し、水槽付消防ポンプ自動車の更新にも取り組みました。

一方で、自主防災連絡協議会の運営方法や防災訓練のあり方、水害等を想定した避難場所や備蓄品の見直し、国や県と連携した千曲川や松川などにおける河川工事の推進など、取り組むべき課題は山積しています。災害に強い小布施町を目指し、各種団体と連携しながら、これらの課題に早急に取り組んでまいります。

また、台風19号災害をはじめとして近年日本各地で自然災害が頻発している原因の一つとして、世界的な気候変動の影響が考えられます。気候変動の根本原因である温室効果ガスの排出量削減に向けて、責任ある取り組みを推進してまいります。

安心・安全なまちづくりについては、道路・水路や交通安全施設等のインフラ施設の補修等に取り組むとともに、台風19号による災害復旧事業に取り組みました。

国道403号の小布施らしい道空間整備については、モデル整備区間が350mに範囲が広がり、用地購入・物件補償の契約や無電柱化に向けた検討も進められ、令和2年度工事着手に向けて取り組みが実施されています。

6. 会計別決算概要

I 一般会計

1 決算規模及び収支

一般財源に係る歳入は、町税が1,864万9千円（前年比1.6%）の増、地方交付税が特別交付税の増により、3億4,286万4千円（前年比22.6%）の増、地方消費税交付金が1,036万4千円（前年比5.3%）の減、地方特例交付金が4,818万4千円（前年比762.5%）の増となり、一般財源に係る歳入の総額は前年度に比べ9,404万1千円（前年比3.3%）の増となりました。

また、歳入全体では国庫支出金が1億747万8千円（前年比33.5%）の増、繰入金金が2億6,074万2千円（前年比108.4%）の増、町債が1億450万円（前年比39.1%）の増、県支出金が4,644万3千円（前年比16.8%）の減、寄付金が1億7,145万1千円（前年比56.2%）の増となり、歳入全体の総額は9億1,429万円（前年比17.8%）の増となりました。

歳出は、小布施ふるさと応援寄付金の増加に伴う基金積立金等により総務費が1億8,697万9千円（前年比16.3%）の増、民生費は4,572万8千円（前年比3.4%）の増、衛生費は災害廃棄物収集運搬処分等委託料により8,248万円（前年比46.0%）の増、土木費は台風19号災害の影響により1億4,995万7千円（前年比23.2%）の減、災害復旧費が2億1,927万3千円となり、歳出全体では4億2,386万円（前年比8.7%）の増となりました。

歳入から歳出を差し引いた形式収支額は7億4,885万1千円で、翌年度に繰り越すべき財源1億2,087万円を控除した実質収支額は6億2,798万1千円となりました。

2 収支状況

(1) 形式収支

歳入決算額と歳出決算額の差、すなわち形式収支は7億4,885万1千円の黒字（前年度2億5,842万1千円の黒字）となりました。

(2) 実質収支

形式収支から令和2年度への繰越事業に充当すべき財源1億2,087万円を差し引いた額、すなわち実質収支（剰余金）は6億2,798万1千円の黒字（前年度2億4,912万1千円の黒字）となりました。

(3) 単年度収支

実質収支には、平成30年度からの剰余金が含まれているので、これを差し引いた令和元年度だけの収支、すなわち単年度収支は3億7,886万円の黒字（前年度9,141万4千円の赤字）となりました。

(4) 実質単年度収支

一般会計の年度間調整の役割を持つ財政調整基金への積立金と地方債の繰上償還金を黒字要因とみなし、財政調整基金の取崩額を赤字要因とみなして単年度収支に加えた額、すなわち実質単年度収支は4億2,108万4千円の黒字（前年度4,451万4千円の黒字）となりました。

3 歳入

(1) 町税

町税収入は、11億5,505万7千円で前年比1.6%（1,864万9千円）の増となりました。個人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税が増、法人町民税が減となっています。

(2) 地方交付税

地方交付税収入は、普通交付税が14億5,895万2千円で前年比3.0%（4,220万円）の増、特別交付税が4億390万2千円で前年比291.2%（3億66万4千円）の増となり、地方交付税全体では18億6,285万4千円で前年比22.6%（3億4,286万4千円）の増となりました。

(3) 国庫支出金

国庫支出金は、4億2,871万2千円で前年比33.5%（1億747万8千円）の増となりました。これは、公共土木施設災害復旧事業負担金（5,552万3千円）、災害等廃棄物処理事業補助金（3,171万4千円）の増などによるものです。

(4) 県支出金

県支出金は2億3,001万2千円で、前年比16.8%（4,644万3千円）の減となりました。これは、繰越事業である長野県地域医療介護総合確保基金事業補助金の減などによるものです。

(5) 町債

町債の発行額は3億7,210万円で、前年比39.1%（1億450万円）の増となりました。これは現年発生一般単独災害復旧事業（道路橋梁災害復旧事業）の増（9,900万円）や災害対策債（災害廃棄物処理事業）（2,800万円）の増などによるものです。

(6) その他

寄付金はふるさと納税等により、前年比56.2%（1億7,145万1千円）増の4億7,652万5千円、各種基金等からの繰入金は前年比108.4%（2億6,074万2千円）増の5億126万7千円となりました。また、前年度からの繰越金は前年比40.0%（1億7,216万6千円）減の2億5,842万1千円、諸収入は前年比50.0%（9,246万1千円）増の2億7,737万6千円となりました。

4 歳出

(1) 衛生費

衛生費は2億6,175万7千円で前年比46.0%（8,248万円）の増となりました。これは、災害廃棄物収集運搬処分等委託料（5,373万4千円）の増などによるものです。

(2) 災害復旧費

災害復旧費2億1,927万3千円は、台風19号の災害復旧に伴い支出したもので、20億3,847万9千円は令和2年度に繰り越しました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

一般会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
町 税	1,155,057	19.1%	1,136,408	22.2%	18,649	1.6%
個人町民税	511,229	8.5%	502,674	9.8%	8,555	1.7%
法人町民税	34,265	0.6%	36,306	0.7%	△ 2,041	△ 5.6%
固定資産税	513,957	8.5%	504,687	9.8%	9,270	1.8%
軽自動車税	41,356	0.7%	39,809	0.8%	1,547	3.9%
町たばこ税	53,850	0.9%	52,545	1.0%	1,305	2.5%
入湯税	400	0.0%	387	0.0%	13	3.4%
地方譲与税	50,859	0.8%	50,820	1.0%	39	0.1%
利子割交付金	1,177	0.0%	2,530	0.1%	△ 1,353	△ 53.5%
配当割交付金	5,195	0.1%	4,304	0.1%	891	20.7%
株式等譲渡所得割交付金	2,995	0.1%	3,622	0.1%	△ 627	△ 17.3%
地方消費税交付金	186,122	3.1%	196,486	3.8%	△ 10,364	△ 5.3%
自動車取得税交付金	7,086	0.1%	12,007	0.2%	△ 4,921	△ 41.0%
環境性能割交付金	1,718	0.0%	-	-	1,718	皆増
地方特例交付金	54,503	0.9%	6,319	0.1%	48,184	762.5%
地方交付税	1,862,854	30.8%	1,519,990	29.6%	342,864	22.6%
交通安全対策特別交付金	1,167	0.0%	1,209	0.1%	△ 42	△ 3.5%
分担金及び負担金	72,172	1.2%	88,125	1.7%	△ 15,953	△ 18.1%
使用料及び手数料	68,114	1.1%	72,907	1.4%	△ 4,793	△ 6.6%
国庫支出金	428,712	7.1%	321,234	6.3%	107,478	33.5%
県支出金	230,012	3.8%	276,455	5.4%	△ 46,443	△ 16.8%
財産収入	28,267	0.5%	6,292	0.1%	21,975	349.3%
寄付金	476,525	7.9%	305,074	5.9%	171,451	56.2%
繰入金	501,267	8.3%	240,525	4.7%	260,742	108.4%
繰越金	258,421	4.3%	430,587	8.4%	△ 172,166	△ 40.0%
諸収入	277,376	4.6%	184,915	3.6%	92,461	50.0%
町 債	372,100	6.2%	267,600	5.2%	104,500	39.1%
うち臨時財政対策債	117,000	1.9%	145,000	2.8%	△ 28,000	△ 19.3%
合 計	6,041,699	100.0%	5,127,409	100.0%	914,290	17.8%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
議会費	72,138	1.6%	70,505	1.6%	1,633	2.3%
総務費	1,334,348	25.2%	1,147,369	23.6%	186,979	16.3%
民生費	1,378,171	26.0%	1,332,443	27.4%	45,728	3.4%
衛生費	261,757	4.9%	179,277	3.7%	82,480	46.0%
農林水産業費	272,110	5.1%	250,857	5.2%	21,253	8.5%
商工費	97,354	1.8%	119,535	2.5%	△ 22,181	△ 18.6%
土木費	496,677	9.4%	646,634	13.3%	△ 149,957	△ 23.2%
消防費	267,117	5.0%	239,843	4.9%	27,274	11.4%
教育費	487,232	9.2%	474,183	9.7%	13,049	2.8%
公債費	406,671	7.7%	408,342	8.4%	△ 1,671	△ 0.4%
災害復旧費	219,273	4.1%	-	-	219,273	皆増
合 計	5,292,848	100.0%	4,868,988	100.0%	423,860	8.7%

歳入歳出差引額 748,851 千円 258,421 千円
(うち翌年度に繰り越すべき財源) (120,870) 千円 (9,300) 千円

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績		
1	町税	1,155,057,384			
当初予算額 1,119,164,000 円 最終予算額 1,119,164,000 円 決算額 1,155,057,384 円					

(1) 主な収入の内訳

- ・ 町民税 5億4,549 万円
- ・ 固定資産税 5億1,396 万円
- ・ その他の税 9,561 万円

(2) 活動指標

- ・ 町税の状況

1) 町税決算額の推移

(単位：万円)

税 目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
町個 民 税人	均 等 割	1,931	1,954	1,943	1,959	1,997
	所 得 割	44,954	46,614	47,668	48,308	49,126
	計	46,885	48,568	49,611	50,267	51,123
町法 民 税人	均 等 割	1,737	2,002	2,060	1,955	2,046
	法人税割	1,697	1,920	2,018	1,676	1,380
	計	3,434	3,922	4,078	3,631	3,426
固定資産税		48,583	50,045	53,144	50,469	51,396
軽自動車税		3,067	3,659	3,823	3,981	4,136
町たばこ税		5,446	5,299	5,094	5,254	5,385
入 湯 税		26	34	34	39	40
合 計		107,441	111,527	115,784	113,641	115,506

2) 個人町民税課税状況（現年課税分調定額）

(単位：万円)

区分	普通徴収		給与特別徴収		年金特別徴収		計		構成 比 (%)
	納税義務 者数(人)	税 額	納税義務 者数(人)	税 額	納税義務 者数(人)	税 額	納税義務 者数(人)	税 額	
均 等 割	1,307	457	3,370	1,180	958	335	5,635	1,972	3.9
所 得 割	1,342	10,767	3,167	35,467	542	2,346	4,925	48,580	96.1
計(実人数)	1,651	11,224	3,167	36,647	1,145	2,681	5,635	50,552	100.0

※ 特別徴収義務者数 1,248事業所

所得状況（令和元年度課税状況調べより）

(単位：万円)

所 得 区 分	所 得 額	人 数 (人)	1人当り所得額
給 与	1,100,305	3,740	294
営 業	68,223	173	394
農 業	79,278	200	396
そ の 他 所 得	124,953	752	166
譲 渡 等	18,821	60	314
計 (実人数)	1,391,580	4,925	283

※ 1. 所得額は、町民税（所得割）が課せられた者の所得額です。

2. 人数は2以上の所得を有する場合いずれか多い所得に算入しました。

3) 法人町民税課税状況（現年課税分調定額）（単位：万円）

区 分	法人数(社)	税 額	構 成 比 (%)
均 等 割	315	2,051	59.8
法 人 税 割	165	1,380	40.2
計 (実法人数)	318	3,431	100.0

法人数の内訳

1号法人	2号法人	3号法人	4号法人	5号法人	6号法人	7号法人	8号法人	9号法人	計
236	1	47	1	17	3	12	1	-	318

4) 固定資産税の課税状況等（現年課税分）（令和元年度概要調書より）

① 土地、家屋別課税の内容

・土 地（非課税除く）

（単位：万円）

地 目	総評価地積 (㎡)	筆 数 (筆)	総評価額	課税標準額
田	1,972,606	1,392	22,120	22,120
畑	6,096,815	10,810	410,642	160,447
宅 地	2,131,853	13,172	2,905,016	1,005,658
鉱 泉 地	3	1	113	113
山 林	995,868	428	1,823	1,823
原 野	287,695	156	214	214
雑 種 地	256,675	630	162,265	113,321
計	11,741,515	26,589	3,502,193	1,303,696

・家 屋（非課税除く）

（単位：㎡）

区 分	在 来 分		新 増 築 分		計	
	棟 数	床面積	棟 数	床面積	棟 数	床面積
木 造	6,799	662,870	59	6,829	6,858	669,699
非 木 造	1,866	265,059	18	1,871	1,884	266,930
計	8,665	927,929	77	8,700	8,742	936,629

② 課税状況

（単位：万円）

区 分	納税義務者数 (人)	固定資産税額 (賦課決定)
土 地	3,553	18,251
家 屋	3,743	26,717
償 却 資 産	279	7,612
合 計 (実人数)	4,690	52,580

③ 新增築分家屋評価状況 令和元年建築分（参考）

（単位：万円）

区 分	棟 数	床 面 積 (㎡)	総評価額	㎡当り単価
木 造	73	8,304	51,081	6.2
非 木 造	11	1,182	8,452	7.2
計	84	9,486	59,533	6.3

5) 国有資産等所在市町村交付金及び納付金 1件 27.2 万円

6) 軽自動車税の車種別台数推移

(単位：台)

車 種		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
原動機付自転車	50cc以下	475	450	408	384	
	90cc以下	56	50	45	45	
	125cc以下	41	41	45	51	
	ミニカー	19	20	22	21	
軽自動車	二輪小型 (250以下)	121	124	128	133	
	四輪貨物	営業用	10	9	12	13
		自家用	1,932	1,995	1,979	1,993
	四輪乗用	自家用	2,789	2,876	2,882	2,894
	ポーターレーダー・フルレーダー	2	2	3	4	
小型特殊自動車	農 耕 用	987	975	979	977	
	そ の 他	38	40	45	47	
二輪小型 (250cc超)		120	124	133	129	
合 計		6,590	6,706	6,681	6,691	
調定額 (万円) (現年度分)		3,681	3,853	3,978	4,063	

7) たばこ税の推移

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
消費本数 (千本)	10,276	9,829	10,254	9,479
調 定 額 (万円)	5,299	5,094	5,254	5,385
前年調定比 (%)	97.3	96.1	103.2	102.5

8) 入湯税の課税状況

(単位：万円)

特別徴収義務者数	税 率	入湯客数 (人)	税 額
1	宿泊 100円	3,998	40

9) 収入未済額の推移

(単位：万円)

税 目	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	未収額	徴収率	未収額	徴収率	未収額	徴収率	未収額	徴収率	未収額	徴収率
町 個 民 税 人	現年課税額	241 99.5	354 99.3	494 99.0	271 99.5	417 99.2				
	滞納繰越額	1,155 22.7	1,067 23.0	1,127 20.7	1,287 20.3	1,299 17.7				
	計	1,396 97.0	1,421 97.1	1,621 96.8	1,558 97.0	1,716 96.8				
町 法 民 税 人	現年課税額	15 99.6	10 99.7	5 99.9	1 99.9	5 99.9				
	滞納繰越額	78 16.1	76 18.8	59 23.3	59 7.8	60 0.0				
	計	93 97.4	86 97.9	64 98.3	60 98.4	65 98.1				
資 固 産 税 定	現年課税額	346 99.3	1,557 96.9	495 99.0	672 98.7	683 98.7				
	滞納繰越額	1,572 21.1	1,268 28.7	954 60.7	1,174 19.0	1,608 12.9				
	交付金等	0 100	0 100	0 100	0 100	0 0				
	計	1,918 96.2	2,825 94.5	1,449 97.1	1,846 96.5	2,291 95.7				
軽 自 動 車 税	現年課税額	19 99.4	35 99.1	46 98.8	32 99.2	31 99.2				
	滞納繰越額	39 25.8	43 22.7	62 20.2	73 32.3	69 35.0				
	計	58 98.1	78 97.9	108 97.3	105 97.4	100 97.7				
町たばこ税	0 100	0 100	0 100	0 100	0 100					

入湯税	現年課税額	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100
	滞納繰越額	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100
	計	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100
合計		3,465		4,410		3,242		3,569		4,172	
合計徴収率		96.8%		96.1%		97.1%		97.0%		96.5%	

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績				
2	地方譲与税	50,859,005					
当初予算額		50,000,000 円	最終予算額		50,600,000 円	決算額	50,859,005 円

- (1) 主な収入の内訳
- ・ 地方揮発油譲与税 1,297 万円
 - ・ 自動車重量譲与税 3,736 万円
 - ・ 森林環境譲与税 52 万円

(2) 活動指標

- ・ 地方譲与税の状況

(単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地方揮発油譲与税	1,576	1,500	1,482	1,467	1,297
自動車重量譲与税	3,612	3,636	3,633	3,615	3,736
地方道路譲与税	-	-	-	-	-
森林環境譲与税	-	-	-	-	52
合計	5,188	5,136	5,115	5,082	5,085

※ 国に納めた税金のうちから、特別の理由により町が譲り受けるものです。

地方揮発油譲与税 … ガソリンなどの購入時に国に納めた地方道路税の一部を譲り受けるものです。

自動車重量譲与税 … 国に納めた自動車重量税の一部を譲り受けるものです。

森林環境譲与税 … 国に納めた森林環境税の一部を譲り受けるものです。

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績				
3	利子割交付金	1,177,000					
当初予算額		1,400,000 円	最終予算額		1,400,000 円	決算額	1,177,000 円

- (1) 主な収入の内訳
- ・ 利子割交付金 117 万円

(2) 活動指標

- ・ 利子割交付金の状況

(単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利子割交付金	195	127	217	253	117

※ 預金利子などの収入があったときに納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績				
4	配当割交付金	5,195,000					
当初予算額		4,200,000 円	最終予算額		4,200,000 円	決算額	5,195,000 円

- (1) 主な収入の内訳

・ 配当割交付金 519 万円

(2) 活動指標

・ 配当割交付金の状況 (単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
配当割交付金	546	389	519	430	519

※ 株式の配当があった方に納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績		
5	株式等譲渡所得割交付金	2,995,000			

当初予算額 3,000,000 円 最終予算額 3,000,000 円 決算額 2,995,000 円

(1) 主な収入の内訳

・ 株式等譲渡所得割交付金 299 万円

(2) 活動指標

・ 株式等譲与取得割交付金の状況 (単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
株式等譲渡所得割交付金	561	226	564	362	299

※ 株式などの譲渡所得があった方に納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績		
6	地方消費税交付金	186,122,000			

当初予算額 188,000,000 円 最終予算額 188,000,000 円 決算額 186,122,000 円

(1) 主な収入の内訳

・ 地方消費税交付金 (一般財源分) 1億282 万円
 ・ 地方消費税交付金 (社会保障分) 8,330 万円

(2) 活動指標

・ 地方消費税交付金の状況 (単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地方消費税交付金 (一般財源分)	10,907	10,065	10,407	10,855	10,282
地方消費税交付金 (社会保障分)	9,138	8,164	8,429	8,794	8,330

※ 消費税のうち地方分の一部を譲り受けるものです。(平成26年4月1日税率改正)

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績		
7	自動車取得税交付金	7,086,000			

当初予算額 5,700,000 円 最終予算額 5,700,000 円 決算額 7,086,000 円

(1) 主な収入の内訳

・ 自動車取得税交付金 708 万円

(2) 活動指標

・ 自動車取得税交付金の状況 (単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自動車取得税交付金	965	918	1,309	1,201	708

※ 自動車を取得したときに納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績		
8	環境性能割交付金	1,718,000			
当初予算額		2,100,000 円	最終予算額	2,100,000 円	決算額 1,718,000 円
(1) 主な収入の内訳 ・ 環境性能割交付金 171 万円					
(2) 活動指標 ・ 環境性能割交付金の状況 (単位: 万円)					
		区 分	令和元年度		
		環境性能割交付金	171		
※ 自動車取得税が廃止され、自動車の環境性能に応じて課税された税金に対し、市町村道等の延長及び面積に応じて交付されるものです。					

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績				
9	地方特例交付金	54,503,000					
当初予算額		6,966,000 円	最終予算額	24,760,000 円	決算額 54,503,000 円		
(1) 主な収入の内訳 ・ 地方特例交付金 888 万円 ・ 子ども・子育て支援臨時交付金 4,562 万円							
(2) 活動指標 ・ 地方特例交付金の状況 (単位: 万円)							
		区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		地方特例交付金	394	481	514	632	888
※ 平成20年度から、所得税で控除しきれない住宅ローン減税額を住民税から控除することによる地方公共団体の減収を補てんするために交付されています。							
・ 子ども・子育て支援臨時交付金 (単位: 万円)							
		区 分	令和元年度				
		子ども・子育て支援臨時交付金	4,562				
※ 幼児教育・保育の無償化に係る法令上の負担割合に基づき、市町村が負担する部分に対して交付されるものです。							

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績		
10	地方交付税	1,862,854,000			
当初予算額		1,480,000,000 円	最終予算額	1,548,952,000 円	決算額 1,862,854,000 円
(1) 主な収入の内訳 ・ 普通交付税 14億5,895 万円 ・ 特別交付税 4億390 万円					
(2) 活動指標 ・ 地方交付税等の状況 (単位: 千円)					

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
A	基準財政需要額(算定額)	2,803,992	2,723,559	2,671,212	2,677,706	2,704,751	
B	臨時財政対策債発行可能額	181,909	140,084	142,282	145,437	117,444	
C	錯誤措置額(※1)	-	798	-	-	-9,537	
D	基準財政需要額	A+B+C	2,622,083	2,584,273	2,528,930	2,532,269	2,577,770
E	基準財政収入額(算定額)	1,041,949	1,073,930	1,091,037	1,115,517	1,118,210	
F	錯誤措置額(※1)	-	-3,253	-	-	-1,662	
G	基準財政収入額	E+F	1,041,949	1,070,677	1,091,037	1,115,517	1,116,548
H	普通交付税交付基準額	D-G	1,580,134	1,513,596	1,437,893	1,416,752	1,461,222
I	調整額(※2)	-	2,126	1,995	2,452	2,270	
J	普通交付税決定額	H-I	1,580,134	1,511,470	1,435,898	1,414,300	1,458,952
K	(普通交付税+臨財債発行額)	J+B	1,762,043	1,651,554	1,578,180	1,559,737	1,576,396
L	特別交付税		159,144	158,741	109,929	103,238	403,902
M	震災復興特別交付税		0	0	0	0	0
N	地方交付税相当額	K+L+M	1,921,187	1,810,295	1,688,109	1,662,975	1,980,298
O	地方特例交付金		3,944	4,814	5,144	6,319	54,503
P	減税補てん債発行額		-	-	-	-	-
Q	財政力指数(3カ年平均)		0.39	0.40	0.42	0.43	0.43

※1 地方交付税法第17条の3第2項等に基づき3年に一度行われる地方交付税等検査による修正額

※2 普通交付税の算定上、各地方団体の財源不足額の合算額が普通交付税の総額を超える場合、財源不足額の合算額を普通交付税の総額にあわせるために減額した額

款	款名	決算額(円)	款別歳入決算の説明及び実績				
11	交通安全対策特別交付金	1,167,000					
		当初予算額	1,100,000円	最終予算額	1,100,000円	決算額	1,167,000円
(1) 主な収入の内訳							
		交通安全対策特別交付金	116万円				
(2) 活動指標							
		交通安全対策特別交付金の状況	(単位:万円)				
	区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	交通安全対策特別交付金	152	130	126	121	116	
※ 交通反則金が町に交付されるもので、交通安全施設の設置費などに要する経費に充てます。							
款	款名	決算額(円)	款別歳入決算の説明及び実績				
12	分担金及び負担金	72,171,403					
		当初予算額	88,041,000円	最終予算額	71,662,000円	決算額	72,171,403円
(1) 主な収入の内訳							
		高齢者施設入所負担金	245万円	【民生費負担金】			
		保育料負担金(町外児童受託負担金含む)	4,628万円	【民生費負担金】			
		後期高齢者医療広域連合負担金等	262万円	【衛生費負担金】			
		水路・道路事業分担金	226万円	【土木費負担金】			
		幼稚園保育料負担金	1,856万円	【教育費負担金】			
(2) 活動指標							
		分担金及び負担金の状況	(単位:万円)				

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
民生費負担金	5,953	6,113	5,806	5,890	4,873
衛生費負担金	222	210	196	201	262
土木費分担金	251	136	105	192	226
教育費負担金	1,339	2,301	2,607	2,529	1,856
合 計	7,765	8,760	8,714	8,812	7,217

・ 保育料負担金（町外児童受託負担金含む）の状況 (単位：万円・%)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
調 定	5,828	6,040	5,765	5,854	4,710
収 入	5,757	5,966	5,668	5,737	4,628
徴 収 率	98.8	98.8	98.3	98.0	98.3

・ 教育費負担金（幼稚園入園料、授業料、預かり保育）の状況 (単位：万円・%)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
調 定	1,446	2,302	2,609	2,532	1,856
収 入	1,339	2,301	2,607	2,529	1,856
徴 収 率	92.6	100.0	99.9	99.9	100.0

※ 平成27年度まで…幼稚園入園料、授業料、預かり保育料
平成28年度…幼稚園保育料負担金、預かり保育料

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績					
13	使用料及び手数料	68,113,860	当初予算額	75,556,000 円	最終予算額	75,556,000 円	決算額	68,113,860 円

(1) 主な収入の内訳

- ・ 駐車場使用料（森の駐車場・松村駐車場） 1,254 万円 【観光使用料】
- ・ 公営住宅使用料 1,605 万円 【土木使用料】
- ・ 入館料・公民館使用料等 2,427 万円 【教育使用料】
- ・ 戸籍謄本・住民票等交付手数料 416 万円 【総務手数料】

(2) 活動指標

・ 使用料及び手数料の状況 (単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成元年度
総務使用料	-	-	-	119	107
民生使用料	260	167	171	227	139
衛生使用料	129	129	68	66	99
観光使用料	1,177	1,375	1,388	1,394	1,254
土木使用料	2,344	2,372	2,344	2,249	2,248
教育使用料	2,965	2,077	2,663	2,695	2,427
総務手数料	547	540	551	494	490
衛生手数料	44	44	43	42	43
農林水産業手数料	1	1	2	1	1
土木手数料	3	3	4	4	3
合 計	7,470	6,708	7,234	7,291	6,811

・ 公営住宅使用料（町営住宅駐車場使用料、滞納繰越含む）の状況（単位：万円・％）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
調 定	1,938	1,937	1,931	1,892	1,959
収 入	1,785	1,810	1,779	1,660	1,605
徴 収 率	92.1	93.4	92.1	87.7	81.9

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績		
14	国庫支出金	428,712,173			
当初予算額 327,053,000 円 最終予算額 2,548,008,000 円 決算額 428,712,173 円					

(1) 主な収入の内訳

- ・ 児童手当負担金 1億1,899 万円 【民生費国庫負担金】
- ・ 障害者自立支援給付費負担金 1億1,387 万円 【民生費国庫負担金】
- ・ 保険基盤安定負担金 1,020 万円 【民生費国庫負担金】
- ・ 公共土木施設災害復旧事業負担金 5,552 万円 【災害復旧費国庫負担金】
- ・ 災害等廃棄物処理事業補助金 3,171 万円 【衛生費国庫補助金】
- ・ 農業次世代人材投資事業給付金 1,407 万円 【農林水産業費国庫補助金】
- ・ 道路ストック総点検（橋梁）交付金 1,555 万円 【土木費国庫補助金】

(2) 活動指標

・ 国庫支出金の状況（単位：万円）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
民生費国庫負担金	23,248	24,121	23,962	24,961	26,262
衛生費国庫負担金	6	25	6	7	102
保険基盤安定国庫負担金					
災害復旧国庫負担金					
災害復旧費国庫負担金	6	25	6	7	5,553
総務費国庫補助金	7,305	5,564	1,918	2,136	537
民生費国庫補助金	2,620	6,164	3,417	1,005	2,115
衛生費国庫補助金	13	-	-	-	3,240
農林水産業費国庫補助金	3,201	1,988	2,589	2,115	2,116
土木費国庫補助金	3,052	3,564	1,139	1,431	1,558
教育費国庫補助金	44	1,280	59	113	175
商工費国庫補助金	-	-	-	-	-
災害復旧費国庫補助金	-	-	-	-	380
総務費委託金	20	509	476	18	529
民生費委託金	389	357	362	337	304
土木費委託金					
教育費委託金	-	-	-	-	-
合 計	39,898	43,572	33,928	32,123	42,871

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績		
15	県支出金	230,011,893			
当初予算額 211,395,000 円 最終予算額 287,863,000 円 決算額 230,011,893 円					

(1) 主な収入の内訳

- ・ 障害者自立支援給付費負担金 5,648 万円 【民生費県負担金】
- ・ 国民健康保険保険基盤安定負担金 2,940 万円 【民生費県負担金】
- ・ 児童手当負担金 2,643 万円 【民生費県負担金】
- ・ 後期高齢者医療保険基盤安定負担金 2,366 万円 【民生費県負担金】
- ・ 福祉医療費給付事業補助金 1,892 万円 【民生費県補助金】
- ・ 県民税取扱事務費交付金 1,754 万円 【総務費委託金】

(2) 活動指標

・ 県支出金の状況

(単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
民生費県負担金	12,810	13,513	13,758	14,140	14,451
衛生費県負担金	12	-	3	-	99
総務費県補助金	41	-	523	168	224
民生費県補助金	2,620	2,575	4,397	9,280	3,814
衛生費県補助金	342	183	515	191	208
農林水産業費県補助金	990	2,003	2,669	1,134	1,547
商工費県補助金	-	-	-	82	-
土木費県補助金	2	3	95	121	146
教育費県補助金	107	290	647	111	159
総務費委託金	2,481	1,852	1,787	2,307	2,237
民生費委託金	110	114	112	111	116
農林水産業費委託金	42	40	395	-	-
土木費委託金	-	-	103	-	-
教育費委託金	-	-	-	-	-
合 計	19,557	20,573	25,004	27,645	23,001

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績					
16	財産収入	28,267,238	当初予算額	14,994,000 円	最終予算額	27,791,000 円	決算額	28,267,238 円

(1) 主な収入の内訳

- ・ 町有地貸地料 234 万円 【財産貸付収入】
- ・ 教員住宅貸家料 68 万円 【財産貸付収入】
- ・ 小布施ハウェイオアシス配当金等 111 万円 【利子及び配当金】
- ・ 町有地売払収入 1,615 万円 【不動産売払収入】
- ・ 町有林売払収入 559 万円 【不動産売払収入】

(2) 活動指標

・ 財産収入の状況

(単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
財産貸付収入	256	261	314	440	443
利子及び配当金	129	132	140	126	117
不動産売払収入	44	13	528	63	2,266
物品売払収入	2	-	-	-	-
合 計	431	406	982	629	2,826

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
17	寄付金	476,525,239				
当初予算額		328,101,000 円	最終予算額		442,751,000 円	決算額 476,525,239 円
(1) 主な収入の内訳						
・ 一般寄付金 338 万円						
・ 信州おぶせふるさと応援寄付金 4億7,314 万円						
(2) 活動指標						
・ 寄付金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般寄付金		10,673	10,559	19,131	30,507	47,652
内ふるさと応援寄付金		10,272	9,953	18,801	30,080	47,314
土木費寄付金		-	-	-	-	-
消防費寄付金		-	-	-	-	-
教育費寄付金		-	-	-	-	-
合 計		10,673	10,559	19,131	30,507	47,652
款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
18	繰入金	501,267,000				
当初予算額		254,778,000 円	最終予算額		504,516,000 円	決算額 501,267,000 円
(1) 主な収入の内訳						
・ 特別会計繰入金 0 万円						
・ 基金繰入金 5億126 万円						
(2) 活動指標						
・ 繰入金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
後期高齢者医療特別会計繰入金		-	-	-	-	-
介護保険特別会計繰入金		-	-	-	-	-
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計繰入金		10	-	2	197	-
財政調整基金繰入金		21,137	33,208	11,300	15,000	22,656
減債基金繰入金		-	-	4,300	3,185	5,850
土地開発基金繰入金		-	-	9,600	-	7,000
社会福祉積立基金繰入金		-	-	-	-	-
芸術文化振興基金繰入金		-	80	300	-	-
教育文化施設資金積立基金繰入金		-	-	-	-	-
大規模建設事業資金積立基金繰入金		9,444	-	7,359	-	-
職員の退職特別措置積立基金繰入金		-	-	-	-	-
小布施中学校建設基金繰入金		-	-	-	-	-
ボランティア事業積立基金繰入金		-	-	-	-	-
高齢者福祉積立基金繰入金		-	-	-	-	-
国外研修資金貸付基金繰入金		-	-	-	-	-
小布施ふるさと応援基金繰入金		-	743	-	4,464	13,600
公会堂耐震改修資金貸付基金繰入金		6,700	3,000	1,757	1,207	1,020
合 計		37,291	37,031	34,618	24,053	50,126

款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績																																													
19	繰越金	258,420,984																																														
当初予算額		50,000,000 円	最終予算額	258,420,000 円	決算額	258,420,984 円																																										
<p>(1) 主な収入の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰越金 2億8,542 万円 (うち930万円は繰越明許費繰越財源分) <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰越金の状況 (単位：万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰越金</td> <td>33,984</td> <td>35,451</td> <td>28,706</td> <td>43,059</td> <td>28,542</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	繰越金	33,984	35,451	28,706	43,059	28,542																														
区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																																											
繰越金	33,984	35,451	28,706	43,059	28,542																																											
款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績																																													
20	諸収入	277,376,048																																														
当初予算額		175,852,000 円	最終予算額	318,319,000 円	決算額	277,376,048 円																																										
<p>(1) 主な収入の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域総合整備資金貸付金収入 1,692 万円 【貸付金元利収入】 起業者支援貸付預託金収入 3,000 万円 【貸付金元利収入】 セル苗、ポット鉢上げ売上代金 2,520 万円 【雑入】 県営土地改良事業土地改良区負担金 2,520 万円 【雑入】 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸収入の状況 (単位：万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延滞金</td> <td>24</td> <td>46</td> <td>146</td> <td>37</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>町預金利子</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>14</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>貸付金元利収入</td> <td>6,772</td> <td>6,772</td> <td>6,772</td> <td>7,032</td> <td>5,028</td> </tr> <tr> <td>弁償金</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>雑入</td> <td>10,585</td> <td>11,347</td> <td>187,383</td> <td>11,417</td> <td>22,677</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>17,421</td> <td>18,204</td> <td>194,317</td> <td>18,491</td> <td>27,737</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	延滞金	24	46	146	37	29	町預金利子	30	30	14	5	3	貸付金元利収入	6,772	6,772	6,772	7,032	5,028	弁償金	10	9	2	-	-	雑入	10,585	11,347	187,383	11,417	22,677	合 計	17,421	18,204	194,317	18,491	27,737
区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																																											
延滞金	24	46	146	37	29																																											
町預金利子	30	30	14	5	3																																											
貸付金元利収入	6,772	6,772	6,772	7,032	5,028																																											
弁償金	10	9	2	-	-																																											
雑入	10,585	11,347	187,383	11,417	22,677																																											
合 計	17,421	18,204	194,317	18,491	27,737																																											
款	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績																																													
21	町債	372,100,000																																														
当初予算額		269,600,000 円	最終予算額	639,244,000 円	決算額	372,100,000 円																																										
<p>(1) 主な収入の内訳 (単位：万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>起 債 名</th> <th>借入額</th> <th>年利率</th> <th>償還 (据置) 期間</th> <th>交付税措置率</th> <th>資金区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共事業等債 (県営農道整備事業)</td> <td>1,490</td> <td>0.250%</td> <td>10(3)年</td> <td>20%</td> <td>長野信用金庫</td> </tr> <tr> <td>公共事業等債 (橋梁補修事業)</td> <td>1,070</td> <td>0.250%</td> <td>10(3)年</td> <td>20%</td> <td>八十二銀行</td> </tr> <tr> <td>地域活性化事業債 (水路新設改良事業)</td> <td>2,600</td> <td>0.250%</td> <td>10(3)年</td> <td>27%</td> <td>八十二銀行</td> </tr> <tr> <td>施設整備事業債 (一般財源化分) (水槽付消防ポンプ自動車整備事業)</td> <td>1,900</td> <td>0.250%</td> <td>10(3)年</td> <td>70%</td> <td>長野信用金庫</td> </tr> <tr> <td>現年発生補助災害復旧事業 (道路橋梁災害復旧事業)</td> <td>800</td> <td>0.250%</td> <td>20(3)年</td> <td>95%</td> <td>長野信用金庫</td> </tr> <tr> <td>現年発生一般単独災害復旧事業 (道路橋梁災害復旧事業)</td> <td>9,900</td> <td>0.250%</td> <td>20(3)年</td> <td>47.5%</td> <td>長野信用金庫</td> </tr> </tbody> </table>							起 債 名	借入額	年利率	償還 (据置) 期間	交付税措置率	資金区分	公共事業等債 (県営農道整備事業)	1,490	0.250%	10(3)年	20%	長野信用金庫	公共事業等債 (橋梁補修事業)	1,070	0.250%	10(3)年	20%	八十二銀行	地域活性化事業債 (水路新設改良事業)	2,600	0.250%	10(3)年	27%	八十二銀行	施設整備事業債 (一般財源化分) (水槽付消防ポンプ自動車整備事業)	1,900	0.250%	10(3)年	70%	長野信用金庫	現年発生補助災害復旧事業 (道路橋梁災害復旧事業)	800	0.250%	20(3)年	95%	長野信用金庫	現年発生一般単独災害復旧事業 (道路橋梁災害復旧事業)	9,900	0.250%	20(3)年	47.5%	長野信用金庫
起 債 名	借入額	年利率	償還 (据置) 期間	交付税措置率	資金区分																																											
公共事業等債 (県営農道整備事業)	1,490	0.250%	10(3)年	20%	長野信用金庫																																											
公共事業等債 (橋梁補修事業)	1,070	0.250%	10(3)年	20%	八十二銀行																																											
地域活性化事業債 (水路新設改良事業)	2,600	0.250%	10(3)年	27%	八十二銀行																																											
施設整備事業債 (一般財源化分) (水槽付消防ポンプ自動車整備事業)	1,900	0.250%	10(3)年	70%	長野信用金庫																																											
現年発生補助災害復旧事業 (道路橋梁災害復旧事業)	800	0.250%	20(3)年	95%	長野信用金庫																																											
現年発生一般単独災害復旧事業 (道路橋梁災害復旧事業)	9,900	0.250%	20(3)年	47.5%	長野信用金庫																																											

現年発生補助災害復旧事業 (都市公園災害復旧事業)	270	0.250%	20(3)年	95%	長野信用金庫
現年発生一般単独災害復旧事業 (都市公園災害復旧事業)	360	0.250%	20(3)年	47.5%	長野信用金庫
災害対策債(災害廃棄物処理事業)	2,800	0.250%	20(3)年	95%	八十二銀行
災害援護資金貸付金	250	—	5年	—	長野県危機管理部
臨時財政対策債	5,850	0.250%	20(3)年	100%	八十二銀行
	5,850				長野信用金庫
借換債(H20臨時財政対策債)	4,070	0.300%			長野信用金庫
合 計	37,210				

(2) 活動指標

・ 町債の年度別借入の状況

(単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総務債	-	-	-	-	-
民生債	-	-	-	-	250
衛生債	-	-	-	-	-
農林水産債	-	-	590	430	1,490
土木債	10,290	12,170	9,200	8,320	3,670
教育債	-	-	-	-	-
消防債	-	1,890	6,000	1,100	1,900
臨時財政対策債	15,000	8,000	12,800	14,500	11,700
災害復旧債	-	-	-	-	14,130
借換債	5,360	6,370	17,100	2,410	4,070
合 計	30,650	28,430	45,690	26,760	37,210

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績						
1			議会費	72,138,509	決算事項別明細書 P94～95						
	1		議会費	72,138,509							
		1	議会費	72,138,509							
議会の運営（議会事務局）											
予算事業名：議会運営費											
当初予算額 2,971,000 円 最終予算額 3,050,000 円 決算額 2,662,691 円											
会期を約1年とする通年議会を実施し、議会閉会中の制限がないため、活発に委員会の審査や調査を行っています。また、町民の皆さんからの請願や陳情などにもすぐに対応できる体制を整えています。議会の活性化のために新たなる議会活性化検討特別委員会を設置しました。台風19号災害に関連する補正予算の審議のために議会を再開し迅速に対応しました。											
(1) 主な支出											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 議長交際費 8 万円 ・ 議会会議録筆耕料 74 万円 ・ 県議長会等負担金 15 万円 ・ 消耗品費 45 万円 											
(2) 活動指標											
通年議会											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年小布施町議会 会期：令和元年5月8日～令和2年2月29日 <ul style="list-style-type: none"> 5月会議 審議期間 5月8日 6月会議 審議期間 6月4日～14日 7月会議 審議期間 7月17日 9月会議 審議期間 9月2日～20日 11月会議 審議期間 11月5日 12月会議 審議期間 12月2日～13日 R2年1月会議 審議期間 1月15日 R2年2月会議 審議期間 2月20日 ・ 令和2年小布施町議会 会期：令和2年3月2日～令和3年2月28日(予定) <ul style="list-style-type: none"> R2年3月会議 審議期間 3月2日～19日 											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会、その他の主な会議の実施 (単位：回) 											
			総務産業	社会文教	政策立案	議会広報	議会運営	予算・決算	議会全協	新議会活性化	計
4月											0
5月					1	2			2		5
6月	2	3	3	3	2				2		15
7月	1		2	1	1				2		7
8月			1		1				1		3
9月	3	3	1	2	1	4			2	1	17
10月			2	2	2				2	1	9
11月	1				2				2		5
12月	4	2	3	2	1				2	1	15
1月	1		2	1	1				1		6
2月	1	1			1				2		5
3月	2	2	1	2	1	4			1	2	15
合計	15	11	15	14	15	8			19	5	102

・ 議決件数 (単位：件)

区 分	提出件数	審議結果					
		原案可決 (採択)	否決 (不採択)	認定	承認	同意	適任
専決処分(報告)	6						
条 例	25	25					
予 算	39	39					
決 算	8			8			
請願・陳情	3	3					
発議及び発委	8	8					
そ の 他	11	8				2	1
合 計	100	83	0	8	0	2	1

・ 一般質問 (単位：人)

	6月	9月	12月	3月	合計
質問者数	12	12	11	12	47

・ 議会傍聴者数 (単位：人)

	6月	9月	12月	3月	合計
議会傍聴者数	37	11	137	9	194

(3) 活動指標の推移

- ・ 議会日程を同報無線、ホームページ、新聞折込みでお知らせするほか、庁舎玄関、金融機関など町内数箇所に大判の日程表を掲示し、議会について関心が高まるよう努めています。台風19号災害の対応による議会の再開、議会業務継続計画の策定、町長の専決処分事項の見直しを行いました。

・ 議会傍聴者数の推移 (単位：人)

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
議会傍聴者数	160	197	194	153	204	194

「議会だより」の発行(議会事務局)

予算事業名：議会報発行事業費

当初予算額 1,224,000 円 最終予算額 1,214,000 円 決算額 1,042,576 円

「議会だより」を年4回(4月、7月、10月、1月)町内全戸に配布し、議会の審議内容についてお知らせしました。表紙をカラー化し、一般質問の枠を拡大し読みやすい議会だよりの発行に努めています。

(1) 主な支出

- ・ 議会だより印刷 104 万円
- ・ 臨時議会報(災害関係)発行 11/23

(2) 活動指標

- ・ 年4回発行(議会開催月の翌月) 4,000部印刷/1回

(3) 成果指標

- ・ 常任委員会の審議内容、一般質問の内容などについて、広く町民の皆さんにお知らせすることができました。また、災害時における議員活動を臨時議会報として発行しました。

議員視察研修の実施（議会事務局）

予算事業名：議員研修費

当初予算額 1,211,000 円 最終予算額 1,142,000 円 決算額 1,032,498 円

定住促進、地域振興、議会活性化等をテーマに先進地の視察を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 視察の旅費等 103 万円

(2) 活動指標

- ・ 研修期日 11月6日～8日（2泊3日） 参加者 議員10名、事務局2名
- ・ 視察先と研修内容

愛媛県内子町	・ 地元の農産物を活用した直売所（マルシェ事業）の運営
	・ 街並み保存事業
愛媛県四国中央市	・ 議会ICT化の推進
香川県宇多津町	・ 子ども若者発達支援センター視察
	・ 移住定住促進事業（ふるさとファンミーティング事業等）
	・ 妊婦さんタクシー券・制服購入補助の助成
徳島県三好市	・ バイオマスによるエコエネルギーの活用状況等

(3) 成果指標

- ・ 地方自治体や民間企業で先進的な取り組みをしている事例について調査研究し、その内容を十分に踏まえ一般質問などを行うことができました。また、議会の活性化については共通の課題として議会運営の参考として役立てることができました。

議会報告・意見交換会の開催（議会事務局）

予算事業名：ゼロ予算

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

一年間の活動を町民の皆さんに報告し、併せて町民の皆さんのご意見をお聞きし、町政に反映するため意見交換会を開催しました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・ 6月6日 自治会長懇談会 出席14名
- ・ 9月26日 まちづくり委員懇談会 出席10名
- ・ 11月20日 教育委員懇談会 出席12名

(3) 成果指標

- ・ 町民の皆さんと懇談会を開催し意見交換を行いました。意見は議会活動等に反映されました

議員人件費（議会事務局）

予算事業名：議員人件費

当初予算額 53,787,000 円 最終予算額 53,965,000 円 決算額 53,301,108 円

(1) 主な支出

- ・ 議員人件費 3,046 万円
- ・ 議員共済会負担金 1,075 万円

職員人件費（総務係）

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 14,374,000 円 最終予算額 14,716,000 円 決算額 14,099,636 円

(1) 主な支出

- ・ 一般職人件費 1,409 万円

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績	
2			総務費	1,334,347,938		
	1		総務管理費	1,216,563,832		
		1	一般管理費	329,892,463	決算事項別明細書	P94~97
役場の共通経費（総務係）						
予算事業名：一般行政管理費						
当初予算額 30,778,000 円 最終予算額 30,646,000 円 決算額 27,936,522 円						
役場庁舎内で使用する消耗品や図書の購入、例規集の印刷、コピー機の使用料、郵便や電話料などです。						
(1) 主な支出						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 例規集追録、システム使用料 363 万円 ・ 給与システム使用料・保守料 33 万円 ・ 郵便、宅配、コピー、電話料 1,315 万円 ・ テレビ受信料 11 万円 ・ 自動車借上料 18 万円 ・ 臨時職員の賃金 352 万円 ・ 式典、懇談会、会食等の食糧費 38 万円 ・ 理事者、職員の旅費 90 万円 ・ 書籍購入、消耗品、印刷費 197 万円 ・ 暑中見舞い等広告料 58 万円 ・ 賠償責任保険料 101 万円 ・ 事務備品 7 万円 ・ 給与システム委託料 176 万円 ・ 各種団体等会費・負担金 20 万円 ・ その他の経費 15 万円 						
(2) 活動指標						
● 例規集追録と法規等の追録回数						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 例規システムの更新・追録回数 1 回 (30冊、497ページ) 						
● 郵便、メール便、コピー						
参考：平成30年度使用枚数						
		郵便		155,421 通	郵便	
		メール便・ゆうメール		7,410 通	メール便	
		コピー枚数		白黒 1,308,816 枚	白黒コピー	
				カラー 131,333 枚	カラーコピー	
					80,691 枚	
(3) 成果指標						
● 郵便、メール便、宅配、コピー						
区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
郵便	料金	947万円	983万円	1,094万円	1,212万円	1,420万円
メール便 ゆうメール	料金	82万円	75万円	69万円	66万円	69万円
宅配	料金	11万円	10万円	9万円	11万円	9万円
コピー	白黒	203万円	227万円	209万円	245万円	223万円
	カラー	153万円	112万円	106万円	137万円	159万円
合 計		1,396万円	1,407万円	1,487万円	1,671万円	1,880万円
※平成18年度よりコピー単価変更 白黒：4円→1.7円/1枚 カラー：40円→16円/1枚						
※郵便・宅配料金は、役場全体分として算出						
※平成17年度からメール便、平成22年度からゆうメール利用						

● 職員給与計算の委託、採用試験の実施

・職員数の推移

年 度	採用	職員数 (4月1日現在)	退職
平成26年度	0 人	94 人	4 人
平成27年度	2 人	92 人	5 人
平成28年度	9 人	96 人	3 人
平成29年度	7 人	100 人	3 人
平成30年度	2 人	99 人	6 人
令和元年度	8 人	99 人	7 人

・類似団体職員数の状況（平成31年4月1日現在）

類似団体区分（Ⅲ－0類型）

人口10,000人以上15,000人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次80%未満の団体（全国37団体）

団 体 名	普通会計 職 員 数	人口1万人 当たり職員数	人口1万人当 たりの職員が少な い団体の順位	*参考 住基人口 (H31.1.1)
青森県板柳町	99 人	72.08 人	1 位	13,735 人
長野県小布施町	89 人	80.87 人	4 位	11,005 人
長野県松川町	115 人	86.65 人	6 位	13,272 人
熊本県氷川町	114 人	95.53 人	10 位	11,934 人
長野県飯綱町	127 人	113.61 人	20 位	11,179 人
長野県山ノ内町	143 人	114.25 人	21 位	12,516 人
北海道美瑛町	145 人	144.38 人	30 位	10,043 人
島根県邑南町	185 人	171.22 人	37 位	10,805 人
平 均	135.43 人	113.86 人	—	11,894 人

※類似団体：全国の地方公共団体を人口規模、産業構造の類似している団体ごとに分類したもの

文化の日の表彰(総務係)

予算事業名：文化の日表彰事業費

当初予算額 379,000 円 最終予算額 391,000 円 決算額 386,991 円

産業の発展や芸術文化の向上などに貢献された方を11月3日の文化の日に表彰しました。
なお、台風災害で被災された方々へのお気持ちを考慮して、酒類の提供は行いませんでした。

(1) 主な支出

- ・ 記念品の贈呈 19 万円
- ・ 筆耕等御礼 3 万円
- ・ 昼食会 11 万円
- ・ 消耗品 6 万円

(2) 活動指標

- ・ 期日及び会場 11月3日 公民館講堂
- ・ 令和元年度 5受章者・団体

- 定例表彰
 - 丸田喜六様（産業）
 - 小林靖子様（福祉）
 - 土屋雅弘様（保健衛生）
 - 三田雅彦様（保健衛生）
 - 小布施からみ大根組合様（産業）

(3) 活動指標の推移

- ・ 表彰者の累計（昭和56年度～令和元年度）

産業の発展	56 人、	2 団体
地方自治功労	34 人	
教育振興	16 人	
学術、芸術、体育その他文化の向上	19 人、	7 団体
社会福祉増進	16 人	
消防・水防功労	16 人	
保健衛生向上	11 人、	2 団体
多年勤続	1 人	
優れた善行	25 人	
- ・ 感謝状の累計（昭和56年度～令和元年度） 80 人、14 団体

町長の交際費（総務係）

予算事業名：町長交際費

当初予算額	1,800,000 円	最終予算額	1,920,000 円	決算額	1,919,357 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

町長に案内のあった各種会議やイベント等の会費や祝儀などを支出しました。

主な支出

- ・ 祝儀、香典、会費 126 万円
- ・ 御礼、土産等 66 万円

活動指標

- ・ 祝儀、会費、香典 208 件
- ・ 土産用菓子等 177 件

庁内LANの運用など（企画係）

予算事業名：情報政策推進事業費

当初予算額	35,893,000 円	最終予算額	35,893,000 円	決算額	34,697,645 円
-------	--------------	-------	--------------	-----	--------------

窓口を含む全ての住民サービスを適切、安定的に実施するため、庁内LAN機器の運用に必要な管理を行いました。令和元年度は改元に伴うOSやOfficeのプログラム更新作業を実施しました。また、特定個人情報保護評価に関する規則の一部改正に伴い基礎項目評価書の修正を実施しました。5年経過したファイルサーバなどの庁内LAN機器等について、経年劣化による故障の恐れがあるため、機器の更改を行いました。

(1) 主な支出

- ・ プリンタートナー等の消耗品費 158 万円
- ・ コンピュータ機器の修繕費 28 万円
- ・ ネットワーク等の通信費 187 万円
- ・ 機器等保守管理の委託など 382 万円
- ・ 特定個人情報保護評価支援サービス 11 万円
- ・ OSバージョンアップ作業 123 万円

・ 庁内LANパソコン設定作業	72 万円
・ 基幹系等業務用プリンター延長保守	30 万円
・ 中間サーバVPN装置ライセンス更新ほか	22 万円
・ 電算業務クラウドサービスの利用料、機器等のリース料等	759 万円
・ IBN機器回線の移設工事	29 万円
・ LGWAN接続系・インターネット系パソコンの購入	583 万円
・ 庁内LAN機器の更改	298 万円
・ IBN（情報ブロードウェイながの）負担金	159 万円
・ マイナンバー・自治体中間サーバー	531 万円
・ 長野県自治体情報セキュリティクラウド利用負担金	84 万円
・ ながの電子申請サービス等負担金 など	14 万円

(2) 活動指標

- ・ LGWAN接続系・インターネット系端末の設置 43 台
- ・ 改元に伴うOSやOfficeのプログラム更新作業の実施
- ・ ファイルサーバなどの庁内LAN機器等の更改
- ・ 特定個人情報保護評価に関する基礎項目評価書の修正

(3) 活動指標の推移

- ・ 庁内LAN用パソコン等の整備

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
パソコン	基幹系	15台	43台	—	2台	—
	LGWAN接続系		33台	25台	15台	41台
	インターネット系	36台	—	—	3台	2台
プリンター	基幹系	—	5台 (モノクロ)	—	—	—
	LGWAN接続系		—	—	—	—

※H28年度整備のLGWAN接続系端末は、繰越予算で整備したもの

- ・ データセンターの利用（機器の管理運用の外部委託）
 - 平成20年度 インターネット・メール・ファイアーウォール等の機器
 - 平成21年度 総合行政システム機器
 - 平成24年度 新ホームページ
 - 平成26年度 電算業務のクラウド化、WSUSの導入（H26.7～）
- ・ 広域的な電子自治体の推進
 - 平成15年3月 長野県電子自治体協議会の設立
 - 平成21年3月 長野県電子自治体協議会の解散
 - 平成21年4月 長野県市町村電子自治体推進委員会及び電子自治体推進部門（自治振興組合内）の設立
 - 平成22年6月 長野県市町村行政情報ネットワーク LGWAN-ASP移行
 - 平成22年10月 公的個人認証サービス窓口機器共同調達の検討
 - 平成25年10月 基幹系業務システム共同化検討会
 - 平成25年12月 共同化推進責任者会議（第1回）
 - 平成26年6月 共同化推進責任者会議（第6回） →基幹系電算システム共同化不参加
 - 平成27年3月 長野県市町村内部情報系システム共同化検討会
→内部情報系システム共同化不参加
 - 平成31年2月 ながの電子申請サービス新システム稼働

- 自治体情報システム強靱化の推進
 - 平成27年9月 マイナンバー施行前の基幹系とインターネットの緊急分離
 - 平成29年2月 国の強靱化モデルに基づく庁内ネットワーク強化対策完了
 - 平成29年3月 長野県自治体情報セキュリティクラウドへの移行

防犯活動の推進（住民係）

予算事業名：防犯活動費

当初予算額 696,000 円 最終予算額 696,000 円 決算額 620,658 円

各種イベント時のパトロールや年末年始に防犯指導カードを巡回時に家庭に配布し、防犯意識の高揚を図りました。また、小布施町防犯協会が中心となり、関係団体による青パト（防犯指導車）の巡回や啓発活動を実施しました。

(1) 主な支出

- 防犯指導員会交付金 15 万円
- 須高防犯協会連合会負担金 37 万円
- その他経費 10 万円

(2) 活動指標

- 振り込め詐欺、不審者、悪質な訪問販売等に対し、随時同報無線で周知しました。

〈町防犯指導員会の活動〉

- 春・秋・年末の町内防犯巡回
- 登校児童・生徒の見守り（小・中学校）
- くりんこ祭り警戒
- お花市巡回
- 安市警戒
- 研修会（須高防犯、須坂警察署等）
- 駅前、銀行、病院前での街頭啓発

(3) 成果指標

【刑法犯の須高地区発生状況】

（単位：件）

年度	小布施町	須坂市	高山村	管外	須高地区計	長野県下
平成27年度	44	198	6	0	248	11,502
平成28年度	35	199	10	1	245	10,664
平成29年度	38	245	28	1	312	9,535
平成30年度	36	192	12	0	240	8,825
令和元年度	20	160	12	7	199	8,504

（須坂警察署：市町村別刑法犯認知件数報告書から）

人材育成・職員の能力向上（総務係）

予算事業名：職員研修費

当初予算額 3,944,000 円 最終予算額 3,944,000 円 決算額 3,038,458 円

それぞれの職員が自らのスキルアップをめざし、関連業務の研修をはじめ自己啓発研修及びマネジメント研修などに参加することにより、これからの時代に対応する職員の育成のための研修を行いました。

(1) 主な支出

- 講師謝礼 5 万円
- 需用費 2 万円
- 研修旅費 145 万円
- 職員研修委託料 54 万円
- 研修負担金 95 万円
- 自動車借上料 2 万円

(2) 活動指標（主な研修）

- 内部集合研修

・ 人材マネジメント研修	年4回	67 人
・ 心の健康づくり研修会	2月17日	30 人

● 派遣研修

① 早稲田人材マネジメント部会	年5回	15 人
② 早稲田大学人材マネジメント管理職部会	年3回	9 人
③ 小布施インキュベーションキャンプ	年6回	6 人
④ 長野県市町村職員研修センター		
・ 新規採用職員研修（前期）	4月9～10日	7 人
・ 新規採用職員研修（後期）	9月10日	7 人
⑤ その他		
・ 土地評価実務研修会	8月29日～30日	1 人
・ 木造家屋評価実務研修会	10月3日～4日	1 人
・ 非木造家屋評価実務研修会	10月10日～11日	1 人
・ 個人住民税をめぐる課税の実務	6月17、18日	1 人
・ 地方自治体における予算編成と財政計画（日本経営協会）	9月4、5日	1 人
・ 人事給与初任者管理事務研修会	9月20日	1 人
・ 法令実務（基礎）	1月20日～24日	1 人
・ 土地評価事務研修	10月31日	1 人
・ 住民税事務研修会	11月6日	2 人
・ 全国栗園経営研究会	1月13日～15日	2 人
・ 空き家対策～自治体の対処法～	2月26日～28日	1 人
・ 第24回アメニティフォーラム	2月7日～9日	1 人

(3) 活動指標の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加人数	362人	546人	536人	262人	155人
職員研修費	284万円	368万円	301万円	215万円	303万円

※2. 1. 1職員研修費での支出分のみ対象

職員の健康管理と福利厚生（総務係）

予算事業名：職員福利厚生費

当初予算額 5,386,000 円 最終予算額 5,386,000 円 決算額 4,187,140 円

職員の健康管理のため、健康診断や人間ドックの実施や福利厚生のため職員互助会へ助成しました。

(1) 主な支出

・ 職員の健康診断の委託	139 万円
・ 人間ドック検診の委託	91 万円
・ 職員団体生命保険料	41 万円
・ 職員への福利厚生への交付金	21 万円
・ 産業医委託料	42 万円
・ 相談業務委託料	61 万円
・ ストレスチェック委託料	24 万円

(2) 活動指標

・ 受診者数		
健康診断	161 人	(内 協会健保特定健診 64人)
人間ドック	53 人	

ストレスチェック 179 人

(3) 活動指標の推移

- 受診者数の推移

(単位：人)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
健康診断		144	160	164	162	161
人間ドック	1泊	1	1	1	1	0
	日帰り	55	57	53	56	53
ストレスチェック		—	171	185	178	179

※ストレスチェックは平成28年度から実施

行政相談委員活動の支援(総務係)

予算事業名：行政相談事業費

当初予算額 25,000 円 最終予算額 25,000 円 決算額 6,000 円

国や独立行政法人等の行政に対する苦情や相談に応じ、その問題解決を図る行政相談委員の活動に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

- 行政相談委員活動助成金等 0.6 万円

(2) 活動指標

- 行政相談委員活動
相談日：毎月第3金曜日及び随時
相談場所：北斎ホール
相談件数：5件（民事0件、行政5件）

(3) 活動指標の推移

- 行政相談受付件数

受付件数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	6	3	0	1	5

特別職人件費(総務係)

予算事業名：特別職人件費

当初予算額 32,638,000 円 最終予算額 32,729,000 円 決算額 30,949,211 円

(1) 主な支出

- 特別職人件費 3,094 万円

職員人件費(総務係)

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 236,022,000 円 最終予算額 244,359,000 円 決算額 226,150,481 円

(1) 主な支出

- 職員人件費 2億2,615 万円

2 広報広聴費 20,634,410 決算事項別明細書 P96~97

写真・映像の撮影とデータの保存(総務係)

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 1,864,000 円 最終予算額 1,864,000 円 決算額 1,227,932 円

今の小布施町を後世に伝えるため、カメラ・ビデオリポーターと共に写真やビデオなどの撮影を行い、映像の記録等の保存に努めました。

(1) 主な支出

・ 臨時職員の賃金	102 万円
・ カメラ・ビデオリポーターへの謝礼	14 万円
・ 日本広報協会の会費	2 万円
・ インクカートリッジ等消耗品	5 万円

(2) 活動指標

【リポーターの人数】

・ カメラリポーター	4 人
・ ビデオリポーター	3 人

【撮影内容】

・ 防災訓練	・ くりんこ祭り
・ 小布施見にマラソン	・ スラックラインワールドカップ
・ 安市	・ 防災講演会（まちづくり委員会主催） 等

地域でのイベントや行事、町のイベントなどを記録・整理することにより、皆さんの様々な活動を町内外に発信しています。カメラ・ビデオリポーターの皆さんにご協力いただき町や各地域の行事も撮影いただきました。撮影した写真や映像は、後世の貴重な資料として保存・活用していきます。

おぶせチャンネルの放送(総務係)

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 2,000,000 円 最終予算額 2,100,000 円 決算額 2,100,000 円

小布施町の情報を映像でも発信するため、グーライト（旧商号：須高ケーブルテレビ）に委託し、情報番組「おぶせチャンネル」を制作、放送しました。

(1) 主な支出

・ テレビ番組制作委託料	200万円
・ 忘れられた”小布施音頭”ふるさとCM大賞加工費用	10万円

(2) 活動指標

- ・ 30分番組、毎月7日間放送（1日6回）
- ・ 放送内容

4月	2018年度総集編	10月	台風19号 災害特集 ～その時、小布施町は～
5月	花のまち 小布施（桜堤・オープンガーデン）	11月	東京 小布施 ふるさと交流会
6月	忘れられた”小布施音頭”	12月	開館10周年記念！まちとしょテラスの魅力
7月	小布施見にマラソン	1月	小布施町成人式/町長インタビュー
8月	H L A B サマースクール	2月	台風災害からの復興
9月	スラックラインワールドカップ	3月	映画制作WS/第6次総合計画

(3) 活動指標の推移

- ・ グーライト（須高ケーブルテレビ）加入世帯数※番組ごとの視聴者数は把握できないため

	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
総加入数	11,812	11,909	11,919	11,914
内小布施町民加入数	1,393	1,395	1,401	1,407

テレビ番組を通じ、小布施町の情報を須高地域に広く発信することで、小布施町を知っていただいたり、観光や買い物に来る人を増やします。また小布施町民が、小布施町のことをもっと知っていただくことで、活動に参加していただいたり、地元への愛着をもっていただくきっかけを作ること为目标とします。2019年度は地域文化を掘り起こした6月放送「忘れられた小布施音頭」を加工しふるさとCM大賞に応募しました。また、同放送は日本広報協会の広報コンクール映像部門で奨励賞を受賞し好評価を得ています。

ホームページ・フェイスブック・LINEの運用(総務係)

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 958,000 円 最終予算額 958,000 円 決算額 882,900 円

情報を得る手段が多様化している現状に対応するため、ホームページのほかFacebookとLINEによる情報発信を行いました。

(1) 主な支出

- ・ ホームページ保守管理委託 88 万円

(2) 活動指標

- ・ 旧ホームページ閲覧件数（平成31年4月1日～令和2年3月15日）
1,212,666件（1日3,464件）
新ホームページ閲覧件数（令和2年3月16日～令和2年3月31日）
39,617件（1日2,641件）
- ・ SNS作成研修会 1回 7月26日
- ・ Facebookの作成件数 245件
- ・ LINEの作成件数 158件
(配信対象者「友だち」1418人/R2.7.3現在)

(3) 活動指標の推移

- ・ 閲覧件数の推移 (単位：件)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1,467,140	1,110,383	1,116,873	1,075,905	1,252,283

※旧HPは平成24年2月20日から令和2年3月15日まで運用、新HPは令和2年3月16日から運用

ホームページは、各担当係が重要なお知らせやイベント情報などを掲載しています。またFacebook及びLINEは、町報やホームページでお知らせできなかった情報や、短期間にお知らせしたい情報などを掲載しました。

また、公式LINEでは道路の通行制限や子どもの健診日程など暮らしに密着した情報を中心に月2回程度の頻度で発信しました。

台風19号災害の際は、防災無線（広報おぶせ）と同じ内容をスマートフォンユーザー向けにFacebookとLINEでも配信しました。

【重点】ホームページの更新(総務係)

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 4,931,000 円 最終予算額 4,831,000 円 決算額 4,310,000 円

前年に実施した町民アンケートをもとに、より分かりやすく、使いやすく、スマートフォンにも対応したホームページに更新しました。

(1) 主な支出

- ・ ホームページリニューアル業務委託料 374 万円
- ・ ホームページリニューアルに係る観光ページ制作 22万円
- ・ ホームページリニューアルに係る写真撮影業務 20万円
- ・ ホームページリニューアルに係る移住ページ制作 15万円

(2) 活動指標

- ・ ホームページリニューアル入札
 - ・ ・ プロポーザル入札により9社から金額が低廉かつ業務内容の優れた(株)電算を選出。
- ・ 地域メディア研究会によるホームページ制作会議を経て、旧ホームページからコンテンツを移行するだけでなく、新たに「観光・まちづくり・移住」のページを設けました。地域メディア研究会にて、委託者を選定し業務委託しました。

(3) 活動指標の推移

- ・ 入札8月2日第一次審査で9社から5社に選定。8月6日にプレゼンを行い電算に決定。
- ・ 8月～12月、地域メディア内にて移行内容を精査。旧ホームページの移行に加え、新ホームページでの新コンテンツを協議。12月に「観光・まちづくり・移住」新コンテンツのうち、観光を徳谷柿次郎氏、移住を久野紗都美氏、写真を藤原慶氏に依頼しました。
- ・ 1月～3月、新コンテンツを制作してもらい、3月16日に新ホームページを公開しました。

【重点】地域メディアの充実（総務係）

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額	832,000 円	最終予算額	832,000 円	決算額	826,800 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

多様化する媒体に対応するため、専門知識を持つ人たちとの協働でスマートフォンに対応したホームページへの更新などを行い、町の情報発信の充実を図りました。

(1) 主な支出

- ・ 地域メディア研究会藤原氏委託料 41万円
- ・ 地域メディア研究会筒木氏委託料（前期） 8万円
- ・ 地域メディア研究会筒木氏委託料（後期） 33万円

(2) 活動指標

- ・ ホームページリニューアル入札での仕様書作成・入札参加（藤原氏）
- ・ ホームページリニューアル入札参加・コンテンツ制作（藤原氏）

(3) 活動指標の推移

- ・ 4月から8月まで入札の仕様書を作成し、月に1回程度新ホームページの方向性を打ち合わせ。
- ・ 8月6日にプレゼンに参加し採点に参加。
- ・ 8月から12月まで新規コンテンツについて打ち合わせ及び新規コンテンツ制作。

町政懇談会の開催（総務係）

予算事業名：ゼロ予算事業

当初予算額	0 円	最終予算額	0 円	決算額	0 円
-------	-----	-------	-----	-----	-----

町民の皆さんとの情報共有を進め、町政への参画・提案をいただき協働のまちづくりをともに進めるため、町政に関する懇談会をコミュニティ単位で開催しました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- 【懇談会テーマ】
- ・ 町の総合戦略の策定について
 - ・ 支え合いの地域づくりについて
 - ・ 地域の課題について

コミュニティ	開催日	場 所	町民	職員等	計
--------	-----	-----	----	-----	---

第1コミュニティ	11月4日(月)	上町公会堂	30	20	50
第2コミュニティ	11月2日(土)	伊勢町公会堂	20	20	40
第3コミュニティ	10月16日(水)	福原公会堂	43	12	55
第4コミュニティ	台風のため中止	-	0	0	0
第5コミュニティ	台風のため中止	-	0	0	0
第6コミュニティ	10月6日(日)	北部コミュニティ	13	19	32
第7コミュニティ	10月17日(木)	六川公会堂	21	22	43
第8コミュニティ	台風のため中止	-	0	0	0
第9コミュニティ	9月28日(土)	上松川コミュニティ	15	25	40
合 計			142	118	260

- ・ 町政懇談会での意見、要望、質問など 55件

(3) 活動指標の推移

- ・ 町政懇談会参加者の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催回数	9	9	9	9	9	6
参加人数	349	333	325	390	380	260
1会場平均参加数	38.8	37.0	36.1	43.3	42.2	43.3

(職員等を含む)

私の意見箱の設置(総務係)

予算事業名：ゼロ予算事業

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

まちづくりに対して、町民の皆さんから広くご意見・ご提言をいただくため、町内各所(30カ所)に「私の意見箱」を設置しました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・ 「私の意見箱」設置箇所 町内30カ所(各公会堂、保健センター前 等)
- ・ 投書数 4通

(3) 活動指標の推移

- ・ 「私の意見箱」の投書数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
投書数	16通	58通	10通	21通	4通

※同一内容53通

「私の意見箱」は、町政に対して広く、また気軽に意見をいただけるよう設置しています。投書いただいた感想・意見は、担当部門で検討するとともに、施策への反映を検討しました。また、広くお知らせする必要があるものについて、町報で結果を報告しました。

「町報おぶせ」の発行(総務係)

予算事業名：町報発行事業費

当初予算額 5,451,000 円 最終予算額 5,451,000 円 決算額 5,220,393 円

住民と行政のパイプ役として、町からの情報提供、広報員やカメラ・ビデオリポーターの皆さんによる地域の情報発信、特集によるまちの動きを伝えるため、月1回発行しました。11月に台風19号の被災状況と復興への動きを伝える号外を発行しました。

(1) 主な支出

・ 町報の印刷	488 万円
・ 広報員への謝礼	11 万円
・ 編集ソフト使用料	21 万円
・ その他のプリンターインク、消耗品等	2 万円

(2) 活動指標

・ 毎月1回発行	4,500部/回
・ 町内全戸配布	3,676世帯（令和2年3月号）
・ 有償配布（個人）	41 部
・ 無償配布（団体・事業所）	148 団体
・ 無償配布（個人・寄付者）	83部

○ 令和元年度町報の主な内容

4月号	特集：ここに使います今年の予算	10月号	決算報告、スラックラインワールドカップ
5月号	平成から令和へ 小布施町平成の歩み	11月号	文化の日表彰、総合戦略町民アンケートの結果
6月号	特集：世界に届け ふるさとの歌	12月号	特集：北斎巴錦
7月号	特集：中島千波さん 小布施と歩んだ半生	1月号	特集：子年の決意、2019の出来事
8月号	人権に関する社会意識調査結果報告	2月号	特集：生き心地の良い町を目指して
9月号	特集：まちとしょテラソ10周年	3月号	寄稿：新型コロナウイルスに打ち勝つ

※ 11月7日に台風19号災害の号外を発行（6ページ）

(3) 活動指標の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
印刷費	536万円	561万円	532万円	488万円	484万円	488万円
総ページ数	288	292	283	264	260	260
月平均ページ数	24	24.3	23.6	22	21.6	21.6

同報無線(防災行政無線)の運用(総務係)

予算事業名：同報無線事業費

当初予算額 6,246,000 円 最終予算額 6,246,000 円 決算額 6,066,385 円

町民の皆さんに町のさまざまな情報をお知らせしたり、災害時に情報を伝達する手段として、同報無線の放送を行いました。また、親局操作卓、屋外放送施設等の保守点検と修繕や故障等による戸別受信機の交換を行いました。

(1) 主な支出

・ 保守点検の委託 年2回	74 万円
・ 同報無線戸別受信機購入（デジタル134台）	527 万円
・ 電波利用料ほか	6 万円

(2) 活動指標

・ 1日4回の定時放送（朝・昼・夜（2回））と2回のチャイムの実施	
・ 夕焼け小焼けの音楽放送	4月1日～8月31日 : 18時
	9月1日～30日 : 17時30分
	10月1日～31日 : 17時
	11月1日～1月31日 : 16時30分
	2月1日～3月31日 : 17時
・ 小学生下校時の見守りの放送（BGM いかのおすし）	平日
・ 戸別受信機の更新（転入世帯・故障世帯）	アナログ130台 デジタル49台 計179台

- ・保守点検の実施（8・1月の2回）～同報無線親局装置一式、屋外子局一式（8カ所）
※ 子局設置箇所 … 役場屋上、羽場、都住、雁田、吉島、中松、大島、北部の計8カ所

(3) 活動指標の推移

- ・戸別受信機の交換（アナログ⇒アナログ）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
交換自治会	転入・故障世帯	転入・故障世帯	転入・故障世帯	転入・故障世帯	転入・故障世帯	転入・故障世帯
交換台数	75台	114台	103台	113台	102台	93台
交換率	87.4%	87.4%	88.8%	91.0%	92.5%	91.7%

※アナログ⇒アナログの交換率の計測はデジタル移行のため平成30年に終了しました。

- ・戸別受信機の交換（アナログ⇒デジタル）

	令和元年度
交換自治会	故障世帯（65歳以上）
交換台数	49台
交換率	1.3%

令和2年3月1日戸数3,881世帯

3 財政管理費 7,981,186 決算事項別明細書 P96～97

財務会計システムの運用など（財政係）

予算事業名：財政管理費

当初予算額 2,399,000 円 最終予算額 2,736,000 円 決算額 2,719,430 円

予算の作成、収入支出伝票の処理などを行う財務会計システムの運用を行いました。この財務会計システムは、収入や支出の情報を一元的に管理することにより各種財政資料の作成にも活用しています。また、その年の予算の使い道や事業などをまとめた「ここに使います ことしの予算！」をホームページに掲載しました。

(1) 主な支出

- ・財務会計システムの保守委託 138 万円
- ・財務会計システムの使用料 98 万円
- ・印刷製本費 22 万円

(2) 活動指標

- ・機能等 予算編成、予算管理、決算統計、執行管理、決算管理、起債管理等
- ・財務会計システム保守及び改修 地方自治法改正(7節貸金廃止)に伴うシステムの改修
- ・「ここに使います ことしの予算！」の作成

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
印刷費	68万円	30万円	30万円	30万円	—
作成部数	冊子版（詳細版）	300部	—	—	—
	ダイジェスト版	3,700部	3,700部	3,700部	3,700部

※ 予算事業説明書の作成は、平成17年度から行っています。

※ 平成25年度からダイジェスト版を作成し、全戸配布するように変更しました。

※ 詳細版については平成29年度をもちまして作成を終了しました。ダイジェスト版につきましては全戸配布はせず、ご連絡をいただいた人へお渡しするとともにホームページへ掲載いたしました。

地方公会計の推進（財政係）

予算事業名：地方公会計整備事業費

当初予算額 5,262,000 円 最終予算額 5,262,000 円 決算額 5,261,756 円

財政状況をより分かりやすくご理解いただけるよう平成28年度決算分からの統一基準に基づく財務書類作成に向けて固定資産台帳の整備等を進めました。

(1) 主な支出

・ 固定資産台帳のデータ整備	298 万円
・ 公会計管理システムの保守委託	69 万円
・ 公会計アドバイザー業務委託	88 万円
・ 公会計システム使用料	59 万円

(2) 活動指標

- ・ 平成30年度普通会計財務4表作成

4	会計管理費	3,787,339	決算事項別明細書	P98～99
---	-------	-----------	----------	--------

会計事務（税務会計係）

予算事業名：会計管理費

当初予算額	3,794,000 円	最終予算額	3,794,000 円	決算額	3,787,339 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

町に入金されたお金や物品の管理と、町からのお金の支払い手続きを行いました。また、決算書を作成しました。

(1) 主な支出

・ 役場全体で使うコピー用紙など	158 万円
・ 口座振替などの手数料	146 万円
・ データ転送ソフト使用料など	5 万円
・ 封筒や決算書などの印刷代	64 万円
・ その他の経費	5 万円

(2) 活動指標

【会計事務の概要】

- ・ 現金、有価証券、担保物件の出納及び保管
- ・ 収入及び支出、証拠書類の整理及び保管
- ・ 給与の支払事務
- ・ 物品の出納及び保管
- ・ 決算の調製
- ・ 源泉徴収事務

5	財産管理費	762,922,487	決算事項別明細書	P98～99
---	-------	-------------	----------	--------

町有財産の維持管理（財政係）

予算事業名：町有財産管理費

当初予算額	25,879,000 円	最終予算額	262,373,000 円	決算額	260,928,524 円
-------	--------------	-------	---------------	-----	---------------

来庁者の駐車スペース確保のため役場西側駐車場等の土地を、新規就農者用倉庫等に活用するため、旧はなのみ倉庫の借り上げを引き続き行いました。

将来にわたり安定的な財政運営を行うため、昨年度の余剰金を財政調整基金へ積立てを行い、特定目的基金等への利子の積立てや土地開発基金への利子の繰出しを行いました。

また、信州の森林づくり事業(森林環境保全整備事業)補助金を活用し、町有林の間伐事業を実施しました。

(1) 主な支出

・ 土地借上料	426 万円
・ 財政調整基金への積立て	2億1,020 万円
・ 個別施設計画策定委託料	103 万円
・ 旧丸林倉庫改修工事	150 万円
・ 町有林間伐事業委託料	726 万円

(2) 活動指標

- ・ 役場西側駐車場の借り上げ 800 m²
 - ・ 旧丸林倉庫の敷地の借り上げ 5,330 m²
 - ・ 旧はなのみの敷地の借り上げ 1,071 m²
- 役場前駐車場、西側駐車場とあわせ85台の駐車可能台数を確保
旧丸林倉庫 役場倉庫として活用
旧はなのみ倉庫 新規就農者用倉庫等に活用
- ・ 町有林間伐事業による木材の販売収入 559 万円
(県補助金378万円)

役場庁舎の維持管理（総務係）

予算事業名：庁舎管理費

当初予算額	19,881,000 円	最終予算額	19,881,000 円	決算額	19,360,984 円
-------	--------------	-------	--------------	-----	--------------

役場庁舎にかかる光熱水費や灯油代など省エネや西側駐車場のケヤキの木の伐採などに努めながら適正な維持管理を行いました。
燃料価格の変動などで予算額と決算額に差額が生じました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|-----------------|--------|----------------|--------|
| ・ 庁舎の光熱水費 | 556 万円 | ・ 灯油代 | 187 万円 |
| ・ 庁舎の修繕料 | 552 万円 | ・ 清掃業務委託料 | 175 万円 |
| ・ エレベーター保守管理の委託 | 61 万円 | ・ 消防用設備保守点検委託料 | 75 万円 |
| ・ トイレ洗浄器の借り上げ | 18 万円 | ・ 電気保安業務委託料 | 44 万円 |
| ・ ケヤキ等手入れ委託料 | 28 万円 | ・ 清掃用具の使用料 | 18 万円 |
| ・ 自動ドア保守管理委託料 | 20 万円 | ・ 庁舎用消耗品費 | 68 万円 |
| | | ・ 寝具類の借り上げ | 44 万円 |

(2) 活動指標

- | | | |
|--------------|-------|----------------|
| ・ エレベーター保守管理 | 1 施設 | 毎月実施 |
| ・ 消防用設備保守点検 | 34 施設 | 年2回実施 |
| ・ 自動ドア保守点検 | 10 施設 | 年4回実施（うち庁舎分支出） |

エレベーター点検	故障箇所なし、法改正による耐震に関する安全上の改修の指摘有
消防用設備点検	経年劣化による修繕（誘導灯取替え、消火器交換等）
自動ドア保守点検	故障箇所なし、設置後20年以上経過、自動扉装置全体に経年劣化による腐食が進んでいるので、令和2年度改修工事予定。

庁用車の維持管理（総務係）

予算事業名：庁用車管理費

当初予算額	11,650,000 円	最終予算額	11,650,000 円	決算額	10,780,209 円
-------	--------------	-------	--------------	-----	--------------

役場の仕事等で使用する庁用車の維持管理を行いました。
燃料価格の変動などで予算額と決算額に差額が生じました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|------------|--------|----------|------|
| ・ ガソリン代 | 263 万円 | ・ 自動車重量税 | 25万円 |
| ・ 自動車損害保険料 | 133 万円 | | |
| ・ 車検、定期点検代 | 223 万円 | | |
| ・ 庁用車のリース料 | 266 万円 | | |
| ・ 高速道路利用料金 | 132 万円 | | |
| ・ タイヤ等消耗品費 | 36 万円 | | |

(2) 活動指標（総務課予算計上車両のみ）

- ・車検 9台
- ・12カ月点検 30台
- ・6カ月点検 6台
- ・3カ月点検 1台
- ・保有台数30台
 - 普通乗合 1台、普通貨物 1台、普通乗用 2台、普通特殊2台、小型貨物 3台
 - 小型乗用4台、軽自動車乗用 7台、軽自動車貨物 10台

庁舎等の整備（総務係）

予算事業名：庁舎等整備事業費

当初予算額 4,963,000円 最終予算額 4,963,000円 決算額 4,799,131円

役場庁舎の整備を行いました。
役場屋上防水工事、保健センター改修工事の入札で予算額と決算額に差額が生じました。

(1) 主な支出

- ・保健センター改修工事設計監理委託料 28万円
- ・役場屋上防水工事 128万円
- ・保健センター改修工事 324万円

(2) 活動指標

- ・来庁者や職員が快適に使用できるよう整備を行いました。

ふるさと納税の促進（企画係）

予算事業名：ふるさと納税の促進

当初予算額 294,028,000円 最終予算額 473,398,000円 決算額 467,053,639円

ふるさと納税をしていただく方に、町の特産品を寄付特典として送りました。産業振興を図りながら小布施に応援いただく方から寄付をいただき、魅力あふれるまちづくりのために活用させていただきました。

(1) 主な支出

- ・特産品に係る経費 246万円
- ・通信・広告代 558万円
- ・報償費 426万円
- ・委託料（農産物等発送） 1億8,456万円
- ・委託料（サイトデザイン委託） 497万円
- ・使用料 3,263万円
- ・積立金 2億3,259万円

(2) 活動指標（寄付の使徒）

人材育成・教育
健康・福祉
産業

(3) 活動指標の推移

- ・寄付金額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
寄付件数	6,546件	6,846件	10,753件	19,394件	30,874件
寄付金額	10,272万円	10,210万円	18,801万円	30,080万円	47,213万円

(4) 成果指標

- ・ふるさと納税サイトについては、寄付の増額と小布施町での特産品の周知を図るためデザイナーに委託し紹介ページの充実を図りました。また、返礼品の掘り出しや事務の簡素化を行い、さらなる寄付額の増を目指しPDCAサイクルを回し、事業の効率化を目指しました。その他にも台風19号災害関連の寄付をいただきました。今後も町内の特産品を中心とした感謝特典の充実をさらに図ります。

6	企画費	68,122,007	決算事項別明細書	P98～101
---	-----	------------	----------	---------

長野広域連合への負担（企画係）

予算事業名：広域行政推進費

当初予算額 3,887,000 円 最終予算額 3,887,000 円 決算額 3,887,000 円

近隣市町村と協力し広域的に取り組むべき諸施策の調査研究を長野広域連合で行うとともに、ガイドブックやホームページなどにより小布施町を含む構成9市町村の情報発信を行いました。また、プロスポーツ選手による出張スポーツ交流事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・長野広域連合負担金 388 万円

(2) 活動指標

- ・広域的課題調査と検討
- ・長野地域を紹介するホームページの更新等
- ・プロモーション映像の放映
- ・第1回職員共同研修
 - 講演会：「100人100通りの働き方」
～幸福度と生産性の両立～
 - 【講師】サイボウズ株式会社代表取締役社長 青野 慶久 氏
 - 【日時】R1.9.13 【場所】長野市芸術館アクトスペース 【参加】職員5名
- ・第2回職員共同研修
 - 講演会：「一步を踏み出す」
～公務員からサッカーの世界へ～
 - 【講師】産業能率大学サッカー部監督 小湊 隆延 氏
 - 【日時】R2.1.15 【場所】長野市芸術館アクトスペース 【参加】職員1名
- ・出張スポーツ交流事業

スポーツ事業	実施日	参加団体	参加人数
フットサル（ボアルース長野）	6/18	つすみ保育園	18人
サッカー（AC長野パルセイロ）	8/6	町スポーツ少年団	20人
	9/3	認定こども園 栗ガ丘幼稚園	47人
バスケットボール（信州ブレイブウォリアーズ）	7/20	町スポーツ少年団	15人
	8/6	小布施中学校バスケット部	16人
バレー（長野ガロonz）	6/7	わかば保育園	35人
	10/9	栗ガ丘小学校	32人

地域間交流の推進（定住交流係）

予算事業名：地域間交流事業費

当初予算額 555,000 円 最終予算額 551,000 円 決算額 256,385 円

毎年、北斎生誕の地であり、小布施と交流の深い東京都墨田区の伝統工芸保存会の職人を迎え、六斎市においてすみだ伝統工芸作品展示会を開催していましたが、台風19号災害のため開催が中止となりました。また、その後、墨田区との交流のために企画した町民の方々に向けての伝統工芸ワークショップも、新型コロナウイルスによる影響で中止となりました。

町民運動会において「おぶせ応援チーム」として、東京小布施会の会員、HLABの学生を中心に出場する予定でしたが台風19号のため中止となりました。

(1) 主な支出

- ・ 農村文明創成日本塾会費 3 万円
- ・ 墨田区伝統工芸保存会打合わせ他旅費 3 万円
- ・ 町民運動会小布施応援チームTシャツ制作他消耗品 5 万円
- ・ 広告掲載費 14 万円
- ・ 基金利子繰出金 0.1 万円

(2) 活動指標

- すみだ伝統工芸作品展の開催 (台風19号災害のため中止)
 - ・ 期 日 10月19日～20日
 - ・ 主 催 墨田区伝統工芸保存会
- 町民運動会 おぶせ応援チーム参加予定
 - ・ 期 日 10月13日 台風19号により中止
 - ・ 場 所 栗ガ丘小学校グラウンド
 - ・ 内 容 東京小布施会、HLAB OBUSE運営委員 (学生) 等が参加 11種目に出場予定

(3) 活動指標の推移

- 町民運動会おぶせ応援チーム参加者数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加人数	38人	34人	37人	28人	中止

各種交流事業のサポート (定住交流係)

予算事業名：ゼロ予算

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町民の皆さんが主体となって、多様な町内外の関係者と協力しながら企画運営する交流事業をサポートしました。

(1) 主な支出

なし

(2) 活動指標

- 境内アート小布施×苗市
 - ・ 期 日 4月20日～21日
 - ・ 場 所 玄照寺
 - ・ 内 容 全国からアート系31ブース、クラフト系75ブースの作家等が出展し、展示、即売を、古本8ブース、フード系19ブースが販売を行い来場者と交流
 - ・ 主 催 境内アート小布施×苗市実行委員会 (町後援)

小布施まちづくり委員会の運営 (定住交流係)

予算事業名：まちづくり委員会運営費

当初予算額 1,000,000 円 最終予算額 1,000,000 円 決算額 717,808 円

「暮らしやすく、住む喜びのある町民主体の自治に向け、より多くの声の集約と、町民が持つ知恵や力をまちづくりに活かすこと」を目的とした小布施まちづくり委員会の活動の支援を行いました。安全、福祉、交流、環境、共育、定住促進を考える部会それぞれが課題テーマに沿ったまちづくり活動を行いました。

(1) 主な支出

- ・ まちづくり委員会活動交付金 71 万円

(2) 活動指標

- ・ 委員数 51 人
- ・ 部会等数 7部会

・ 全体会開催 1回 ・ 運営委員会開催 7回 ・ 部会等開催 73回

	期 日	場 所	内 容
全体会	5月15日(水)	公民館講堂	事業・決算報告、事業・予算の審議 など
運営委員会	4月23日(火) ほか6回	公民館第1学習室 ほか	各部会の活動報告、語らい座、町議会議員との意見交換会、予算事業計画の検討
安全を考える部会	4月16日(火) ほか11回	東大先端研	青パト巡回、防災講座 など
環境を考える部会	4月15日(月) ほか11回	公民館第2学習室 ほか	土作りワークショップ や食育講座の開催、菌ちゃん農園の運営と野菜収穫祭の開催 など
福祉を考える部会	4月17日(水) ほか10回	東大先端研	自分史入門講座 など
交流を考える部会	4月22日(月) ほか11回	公民館第1学習室 ほか	ビアイベント、スイカ割り・餅つき等交流事業、多文化交流事業の開催 など
共育を考える部会	4月15日(月) ほか11回	公民館第1学習室 ほか	おぶせ未来共育会議の開催、脳科学リーフレット普及の取り組み など
定住促進を考える部会	4月9日(火) ほか11回	役場応接室 ほか	藻谷浩介氏講演会・ワールドカフェ、視察 など
広報委員会	4月23日(火) ほか1回	公民館第2学習室 ほか	広報紙(まちづくりボイス)の編集、発行

- ・ 語らい座 6月21日、1月24日
- ・ 菌ちゃん野菜づくりワークショップ 5月12日
- ・ スイカ割&お絵かき教室 8月10日
- ・ 藻谷浩介氏講演会 11月23日
- ・ 住民防災講座 2月15日
- ・ 多文化交流会 5月26日、2月16日
- ・ 自分史入門講座参加者意見交換会 2月2日
- ・ 十日町視察、交流 5月11日
- ・ 小学校4年生土づくりワークショップ 4月22日
- ・ ビア・イベント 8月2日
- ・ 菌ちゃん農園野菜まつり 9月29日
- ・ おぶせ未来共育会議 2月11日
- ・ もちつき&お絵かき教室 12月15日
- ・ 放談会 2月8日
- ・ まちづくりボイス発行(23・24・25号)
- ・ 南箕輪村視察 5月22日

【重点】慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンターの運営・東大先端研との協働(定住交流係)

予算事業名：官学協働事業費

当初予算額 4,306,000円 最終予算額 4,269,000円 決算額 3,785,386円

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント(SDM)研究科と町との協働の研究機関「慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター」では、町民の皆さんを対象に幸福学に基づいた学習会、ハッピーワークショップを開催する計画を進めていましたが、台風19号災害、新型コロナウイルス感染拡大防止により一部を除き中止となりました。

慶應義塾大学SFCとの新事業創造プログラムの実施については、地域での事業創造・地域課題の解決や、地域リーダーとなるべき人材の育成、起業する種を生み出すことを目的とし、2年目の活動として「活動を構想する学生を支援する」段階から「未来のしごとづくり」段階へ移行し、プロジェクトのプロトタイプを継続しています。

東京大学先端科学技術研究センターとの共同研究「まちの周辺集落を含むコミュニティの再生、活性化の実践的研究」として、都住地区を中心に集落全員アンケート調査等の分析結果の発表会や、ワークショップを実施し、地域コミュニティの今後の在り方に触れ、持続可能なコミュニティの研究を進めました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|-------------|-------|--------------|------|
| ・ 共同研究委託料 | 320万円 | ・ 使用料・賃借料 | 2万円 |
| ・ 食糧費 | 3万円 | ・ 研修会、打合せ等旅費 | 33万円 |
| ・ 消耗品 | 6万円 | ・ インターネット使用料 | 9万円 |
| ・ チラシ等制作委託料 | 5万円 | | |

(2) 活動指標

① 慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター

- ・ 高校1年生同窓会&おぶせ未来創造ワークショップ

期 日 12月21日（高校1年生向け）

会 場 北斎ホール

内 容 第六次総合計画策定の一環で、高校1年生の同窓会の開催とあわせて、町の魅力や未来を考えるワークショップを慶應義塾大学の学生にファシリテーターを依頼し、実施しました。

参加者 15人

- ※ 慶應SDM研究科教授、幸福学研究の日本第一人者である前野隆司先生の「幸せの作り方」講座は11月に開催を予定していましたが中止になりました。

② 東大先端研・小布施町コミュニティ・ラボ

- ・ 中子塚報告会

期日・会場 5月17日・中子塚公会堂

内 容 集落全員アンケートの中子塚地区のみを抽出した結果、また調査全体の結果の報告会を実施

- ・ 清水報告会

期日・会場 7月7日・清水公会堂

内 容 集落全員アンケートの清水地区のみを抽出した結果、また調査全体の結果の報告会を実施

- ・ 都住の縁側をつくろう

期日・会場 9月1日・都住コミュニティセンター

内 容 「コミュニティセンターを知ろう」と題し、地域の居場所となるよう、小中学生を対象に掃除、料理、工作ワークショップを開催

- ・ 都住の縁日

期日・会場 9月21日・都住コミュニティセンター

内 容 地域の方々にコミュニティセンターを自由に使ってもらうことを目的に、流しそうめんを実施

- ・ ふらっとーク

期日・会場 2月8日・六川公会堂

内 容 男性、女性の時間を分け、ふらっと気楽にコミュニティが抱える課題や普段考えていることを話せる場づくりを実施

③ 慶應義塾大学SFC研究所

- ・ 新事業創造プログラム

期 日 4月12日～14日、5月10日～12日、6月7日～9日、7月19日～21日、8月23日～25日、10月4日～6日、11月15日～17日、12月20日～22日、1月17日～19日

内 容 昨年度立ち上がった「ベツノテ」、「Nokoto」の二つのプロジェクトにおいて成果物を作成することができた。「ベツノテ」では、これまでに行った6名の町の方への取材をまとめて冊子を作成した。その冊子に関しては協力いただいた町の方などへの配布はもちろん、横浜で開催されたフェアにおいて配布を行った。また、「Nokoto」では、フルーツBOX「パワフルーツ」という商品群のもと、2商品をプロデュースし、販売しました。

④ その他大学連携

- ・ 東京大学工学部演習の学生受け入れ（2泊3日×2回）

都市と農村をつなぐ新たな関係性のデザイン

演習発表会：9月1日 @六川公会堂

内容：「地区の計画とデザイン」成果報告会

- ・ 大正大学地域創生学部地域実習受け入れ（40日間）

演習発表会：10月27日 @まちとしょテラス

【重点】定住促進のトータルコーディネーター（定住交流係）

予算事業名：定住促進事業費

当初予算額 37,264,000 円 最終予算額 25,216,000 円 決算額 20,444,768 円

随時移住相談窓口を役場に設け、移住希望者の皆さんからの相談を実施。移住定住コーディネーター業務を委託し、長野県主催の「楽園信州移住セミナー」、「新規就農相談セミナー」等で、移住希望者の皆さんから相談を受けたり、空き家活用者とのマッチングを行いました。

空き家活用促進のための空き家・空き店舗セミナーを企画し準備していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

空き家の改修・家財道具等の処分に対する空き家改修等補助金を、町内事業所等に勤務する町外者がアパート等に転入した場合の家賃に対する移住促進補助金を交付し、町への移住者の増加を図りました。

町総合計画策定など横断型施策の調整や政策立案に関わるコーディネーターとして、また関係人口の創出に関わる専門推進員を採用し地方創生事業を推進しました。

3名の地域おこし協力隊を採用し、慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンターやおぶせ交流館の管理運営、図書館企画、産業振興を主として、地域振興、まちづくり、情報発信、移住定住促進等のさまざまな活動を行いました。

(1) 主な支出

・ 地方創生推進員報酬	420 万円
・ 地域おこし協力隊員報酬	440 万円
・ 地域おこし協力隊活動費	330 万円
・ 講演会講師謝礼等	29 万円
・ 移住セミナー等の旅費	13 万円
・ 移住セミナー用コーヒー、茶菓子	1 万円
・ 空き家相談窓口、活用チラシ、移住ガイドブック印刷	9 万円
・ 移住定住ガイドブック、空き家活用チラシ等作成委託料	18 万円
・ 地域おこし協力隊活動の消耗品等	16 万円
・ 地域おこし協力隊活動パソコン購入	33 万円
・ 移住定住コーディネーター業務委託料	262 万円
・ 空き家改修等補助金	85 万円
・ 移住促進補助金	386 万円
・ 「楽園信州」推進協議会負担金	2 万円

(2) 活動指標

○ 楽園信州移住セミナー

- ・ 期日 9月7日（東京）、2月9日（東京）

○ 全国都市緑化信州フェア

- ・ 期日 6月8日（松本）

○ 地域おこし協力隊活動状況

- ・ 委嘱人数 3人
- ・ 委嘱期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日（2人）
令和2年1月20日～令和2年3月31日（1人）

- ・ 活動日数 のべ417日

- ・ 活動内容 おぶせ交流館管理運営、クリエイターズキャンプ、図書館ワークショップ、産業振興、短編映画祭企画、各種チラシ作成、地域メディア研究会ほかへの参加・協力、ボランティア活動

○ 「河合雅司」氏講演会の開催 「人口減少社会におけるこれからのまちづくりを考える」

- ・ 7月24日 公民館講堂 64人

(3) 活動指標の推移

○ 移住等実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
移住相談件数		20件	59件	39件	43件	49件
相談後移住件数		0件	5件	10件	5件	12件
相談後移住家族人数		0人	13人	21人	18人	20人
空き家改修等補助金	交付件数	—	—	5件	3件	3件
	移住家族人数	—	—	15人	1人	1人
移住促進補助金	交付件数	—	—	3件	16件	21件
	移住家族人数	—	—	5人	18人	33人

※移住相談件数は、具体的な移住相談をお受けした件数です。電話等による一般的な問合せは件数に含んでいません。

※移住促進補助金の交付件数及び移住家族人数は、当該年度における新規の件数・人数です。

○ 空き家活用による町内転居・起業実績

成約件数 2件

【重点】起業家の誘致（定住交流係）

予算事業名：起業家誘致事業費

当初予算額 1,569,000 円 最終予算額 1,276,000 円 決算額 233,189 円

体験型サテライトオフィスの貸出を行いました。また、台風災害による災害派遣職員受入のため施設を使用しました。

(1) 主な支出

- ・ サテライトオフィスにかかる光熱水費等 9 万円
- ・ サテライトオフィスにかかる回線使用料 9 万円
- ・ サテライトオフィス清掃委託料等 5 万円

(2) 活動指標

○ サテライトオフィス体験施設の利用

- ・ 1 企業（5月～11月・7カ月）
- 台風災害、コロナ渦により中断(12月より災害派遣職員が利用)

【重点】総合戦略事業（企画係）

予算事業名：総合戦略事業費

当初予算額 49,342,000 円 最終予算額 30,663,000 円 決算額 30,631,648 円

平成27年度に策定した、小布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本目標を実現するための事業を実施しました。併せて、多様化・複雑化する地域課題に適切に対応するため、令和2年度を初年度とする第六次小布施町総合計画を新たに策定しました。地域商社の機能強化を図ることを目的にコンサルタントへ委託し、基盤強化を図りました。また、国道403号整備に合わせた市庭の創生事業用地を取得しました。

(1) 主な支出

- ・ 報酬、報償費 58 万円
- ・ 旅費等 14 万円
- ・ 印刷製本費等 122 万円
- ・ 委託料 1,291 万円
- ・ 公有財産購入費 1,578 万円

(2) 活動指標

・地域商社機能強化を図るため、(一財)小布施町振興公社の経営改善、企画運営マネジメント業務をコンサルタントに委託しました。また、加工品の開発業務や開発した加工品の販売、原材料供給に向けたアドバイスの指導も受けました。

・時代に合った的確な行政運営を行うため、町の総合的な振興・発展などを目的とした「総合計画」と、人口減少克服・地方創生を目的とした「総合戦略」を一体とし、令和2年度を初年度とする第六次小布施町総合計画を新たに策定しました。

・国が進めている国道403号整備に合わせて、道路整備と一体となった市庭の創生事業を進めるため用地の一部を取得しました。

・仕事の仕方が急速に変化する将来に向けて、小中学生にIOT(物に情報通信機能を持たせる)を学校の勉強からでなく遊びながら実体験として学び、仕事の多様性を考えるきっかけとした。

・今後、高齢化社会が進み高齢者の移動支援のあり方を検討している中、高齢者の移手段の一つとして高齢者向けの乗合タクシー実証実験の計画を立てました。

おぶせ交流館の活用(企画係)

予算事業名:おぶせ交流館管理費

当初予算額 1,532,000円 最終予算額 1,612,000円 決算額 1,547,250円

映像クリエイターが集うまちを目指し、1階を活動する場、2階を宿泊する場として、ギャラリー機能に加え、様々な皆さんが交流、滞在し事業を生み出す場、移住・二地域居住を地域おこし協力隊が中心となって事業を進めました。

(1) 主な支出

・ 需用費、役務費	65 万円
・ 修繕料	41 万円
・ 委託料	13 万円
・ 土地借上料、使用料	20 万円
・ 工事費	15 万円

(2) 活動指標

・ギャラリー機能に加え、様々な人が交流、滞在により事業が生まれる場として、また快適な創造空間を整えるために、使用していなかった事務室をDIYにより会議室に整備しエアコンを設置しました。

・1階は地域の個人事業者主を対象に企業等のシェアオフィスや都心企業の合宿会場、また小布施短編映画祭の会場や再生可能エネルギーのワークショップ会場として利用し、2階は観光目的を除く、小布施町で事業やプロジェクトを企画する都市圏のクリエイターや企業人等の長期滞在のための場として設定しました。

(3) 活動指標

- ・ 施設利用の推移

	平成30年度	令和元年度
1階	352日	356日
2階	61組(129人)	73組(140人)

(利用者:ハウスホクサイ343日、かすりくらぶ9日、雪割草4日)

- ・ 活動料金の推移

	平成30年度	令和元年度
1階	596,643円	584,050円
2階	609,000円	637,000円
合計	1,205,643円	1,221,050円

【重点】再生エネルギーの推進(企画係)

予算事業名：再生可能エネルギー推進費

当初予算額	0 円	最終予算額	283,000 円	決算額	266,830 円
-------	-----	-------	-----------	-----	-----------

令和元年度から欧州連合（EU）が主催する「国際都市間協力プロジェクト」（IUCプロジェクト）にフィンランド・トゥルク市、長野市とともに参加し、職員の現地訪問を実施しました。

再生可能エネルギーの地産地消を目指し、景観に配慮しながら屋根貸し事業により公共施設に太陽光パネルを設置しました。

(1) 主な支出

- ・ 旅費 26 万円

(2) 活動指標

- ・ 11月13日～15日 フィンランド・トゥルク市訪問（スタディーツアー）2名参加
- 11月19日～21日 ベルギー・ブリュッセル訪問（IUCプロジェクト国際会議）2名参加

- ・ 太陽光パネル設置施設（6施設）

総合体育館、文化体育館、北部体育館、栗ガ丘幼稚園、老人福祉センター、生活支援ハウス

- ・ 屋根貸し事業による公共施設への太陽光パネルの設置により、災害時の電力を確保し、平常時の再生可能エネルギーの活用を図りました。

【重点】子育て支援の応援(定住交流係)

予算事業名：地域少子化対策重点推進事業

当初予算額	5,355,000 円	最終予算額	8,116,000 円	決算額	6,051,743 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

少子化対策として、二世帯住宅の整備や市街化調整区域への新築に係る費用や29歳以下の子育て世帯への家賃に対し補助しました。また、多子世帯の支援として、第3子以降の子の小中学校入学時に商品券を支給し経済的負担軽減を図りました。町社会福祉協議会、地域おこし協力隊とともに婚活イベントを開催し、出会いの場を創出しました。

(1) 主な支出

- ・ 子育て応援二世帯住宅整備助成金 140 万円
- ・ 子育て応援住宅新築助成金 260 万円
- ・ 子育て応援家賃補助金 132 万円
- ・ 多子世帯子育て応援入学祝い券の補助 65 万円
- ・ 結婚支援交流イベント謝礼 3 万円
- ・ 婚活事業消耗品他 5 万円

(2) 活動指標

○ 子育て応援助成

- ・ 子育て応援二世帯住宅整備助成金 4 件
助成率 2分の1、最大50万円
- ・ 子育て応援住宅新築助成金 8 件
助成率 2分の1、最大50万円
- ・ 子育て応援家賃補助金 14 件
月額 1万円、最大6年間
- ・ 多子世帯子育て応援入学祝い券 26 件
第3子以降のお子さんが小学校へ入学した場合、1人3万円
第3子以降のお子さんが中学校へ入学した場合、1人5万円

○ 婚活イベントを1回開催

- ・ 8月31日(土)
- ・ 参加人数 30人(男性15人、女性15人)

- ・ カップル成立数 11組

【重点】子育て支援の応援（繰越分）（定住交流係）

予算事業名：地域少子化対策重点推進事業

当初予算額 0 円 繰越予算額 300,000 円 決算額 300,000 円

少子化対策として、二世帯住宅の整備に係る費用に対し補助しました。（平成30年度からの繰越分）

(1) 主な支出

- ・ 子育て応援二世帯住宅整備助成金 30 万円

(2) 活動指標

○ 子育て応援助成

- ・ 子育て応援二世帯住宅整備助成金 1 件
助成率 2分の1、最大50万円

7 地域づくり事業費 19,864,194 決算事項別明細書 P100～101

自治会活動の支援（総務係）

予算事業名：自治会活動費

当初予算額 7,370,000 円 最終予算額 7,370,000 円 決算額 7,295,046 円

自治会や自治会連合会、環境美化委員会の活動をサポートするとともに、町報や各種通知の配布事務に対する委託料を支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 自治会事務委託料 409 万円
- ・ 自治会連合会、環境美化委員会交付金 182 万円
- ・ 自治会活動保険掛金 94 万円
- ・ その他の経費 44 万円

(2) 活動指標

- ・ 自治会長会議の開催（4月11日、6月6日、2月7日）
- ・ 研修視察の実施（自治会連合会事業）5月15日～17日/自治会長14人、職員4人
研修視察地：九州方面（菊池市（熊本）、柳川市（大分）、由布院）
研修目的：地域づくり、歴史文化、企業研修・視察
- ・ 自治会消防施設点検（連合会事業） 51施設（自治会独自での実施分を除く）
- ・ 議会傍聴（6月6日） 27人

コミュニティ地区活動の支援（企画係）

予算事業名：まちづくり活動推進事業費

当初予算額 10,439,000 円 最終予算額 12,939,000 円 決算額 12,569,148 円

行政の効率的な運営と自治会事務などの合理化を図りながら、自治会の枠を超えた地域の支え合いの場となるよう、各コミュニティ地区が行うさまざまな活動を支援しました。

また、「自分のまちは自らの手でつくる」という意欲をもったグループの皆さんが、独自のテーマで取り組むまちづくり活動の支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 上松川コミュニティ公園、センターに係る経費 130 万円
- ・ コミュニティセンター建物災害共済 13 万円
- ・ コミュニティ振興対策事業補助金 1,052 万円
(内訳)
地域づくり活動事業 30 万円

コミュニティ職員設置費交付金	480 万円
コミュニティ施設整備事業	133 万円
コミュニティ備品整備事業	29 万円
コミュニティ助成事業	380 万円
・ まちづくり活動補助金	60 万円

(2) 活動指標

【上松川コミュニティ公園、センター】

- ・ 公園除草、松伐採作業の実施等
- ・ コミュニティセンター外灯修繕

【コミュニティ職員設置】

- ・ 町報等の配達、地区内団体経費等の徴収、通知の作成・印刷など

【まちづくり活動事業】

- ・ 栗まつり賑わい事業（栗まつり有志の会）
- ・ オープンエアースシアターまちづくり事業（小布施町文化事業部活性化実行委員会）

【地域づくり活動事業】

- ・ 第3コミュニティ：マレットゴルフ大会
- ・ 第5コミュニティ：花まつり、マレットゴルフ大会
- ・ 北部コミュニティ：納涼盆踊り大会、スポーツ交流会、落語会
- ・ 東部コミュニティ：会報

【コミュニティ施設整備事業】

- ・ 雁田自治会：エアコン設置
- ・ 松村自治会：エアコン設置
- ・ 北岡自治会：トイレ改修

【コミュニティ備品整備事業】

- ・ 第5コミュニティ：コピー機更新

【コミュニティ助成事業（宝くじ助成）】

- ・ 伊勢町自治会：第2コミュニティ設立に伴う事務用品整備
- ・ 林自治会：神楽修繕、法被等の新調

(3) 活動指標の推移

- ・ まちづくり活動事業補助金の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業数	2件	3件	1件	2件	2件
補助金額	19.5万円	146.5万円	11.0万円	112.2万円	60.6万円

8	消費生活対策費	68,000	決算事項別明細書	P100~101
---	---------	--------	----------	----------

【重点】消費生活対策活動の推進(住民係)

予算事業名：消費生活対策費

当初予算額 77,000 円 最終予算額 77,000 円 決算額 68,000 円

消費生活に対する意識を高めるため、悪徳商法や特殊詐欺の被害に遭わないよう情報の提供や相談活動を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 消費者の会活動交付金 6万円

(2) 活動指標

- ・ 消費者の会総会（会員20名）
- ・ 消費生活展の開催（千年樹の里まつりと併せ）
- ・ 各種研修会等への参加
- ・ 人材育成講座への参加
- ・ 県消費者大学への参加

(3) 活動指標の推移

①消費生活相談件数の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談件数	6件	11件	5件	15件	16件

②令和元年中の長野県内の特殊詐欺による被害状況

- ・ 認知件数 112件、被害総額1億7493万円
須高地区では、2件、被害総額187万円
(須高防犯協会・須坂警察署作成の平成31年特殊詐欺の現状から引用)
- ・ 随時、同報無線等により警察から詐欺等の情報が入り次第、被害防止のため町民への周知に努めました。

9 防災対策費 3,193,746 決算事項別明細書 P100~103

【重点】防災機能の強化と危機管理体制の整備(総務係)

予算事業名：防災対策費

当初予算額 3,047,000円 最終予算額 3,278,000円 決算額 3,128,746円

大規模地震の発生など緊急時において被災者の生活を確保するため、災害対策用備蓄品及び備品を購入しました。また、防災行政無線の維持管理、県消防防災ヘリコプターの運営にかかる経費負担、自主防災会への活動交付金の交付などを行いました。

災害時用食糧等の備蓄

(1) 主な支出

- ・ 非常食（おいしいごはん）（300食分） 12万円
- ・ 固形栄養食（320食分） 4万円
- ・ 災害用真空パック毛布（100枚） 29万円
- ・ 災害用トイレ、障がい者対応（2基） 54万円
- ・ 飲料水500ml（360本） 4万円

(2) 活動指標

- ・ 非常食、毛布、災害用トイレ等を文化体育館（地下倉庫）、防災倉庫へ保管

(3) 成果指標

- ・ 災害時食糧等備蓄数（令和元年度末現在）

	固形栄養食	乾燥がゆ・非常食セット	飲料水	毛布	アルミマット
保管場所	文化体育館	文化体育館	文化体育館 中学校	文化体育館・中 学校・消防本部 詰所・健康福祉 センター	文化体育館 中学校
備蓄数	1,720食	1125食	2092本	794枚	350枚

	災害用パーテーション	投光機	簡易トイレ	発電機	無線機
保管場所	文化体育館・ 防災倉庫 (ダンボール 製品 9式)	文化体育館	文化体育館・ 防災倉庫 (ダンボール 製品 9基)	文化体育館	役場他 (基地局1台、車 載2台、携帯用39 台)
備蓄数	17式	2基	27基	9台	42台

	災害用テント	マットレス
保管場所	防災倉庫	文化体育館
備蓄数	3張	33枚

小布施町洪水ハザードマップの配布

- (1) 主な支出
- ・小布施町洪水ハザードマップ増刷 23 万円
- (2) 活動指標
- ・台風19号後に希望者にハザードマップを配布するため増刷

防災行政無線設備の保守

- (1) 主な支出
- ・県防災無線負担金 2 万円
 - ・防災行政無線設備保守の委託 18 万円
- (2) 活動指標
- ・災害時における情報連絡体制の確保

自主防災組織の充実

- (1) 主な支出
- ・自主防災組織交付金 18 万円
- (2) 活動指標
- ・災害時の資材備蓄のため各自治会に交付金を支出
(均等割 1自治会1,500円 世帯割 1世帯40円)
 - ・町総合防災訓練に参加し、公会堂、訓練会場への避難誘導訓練、対策本部との災害情報伝達訓練などを実施

県防災ヘリコプターの運営補助

- (1) 主な支出
- ・県消防防災航空隊負担金 31 万円
- (2) 活動指標
- ・消防体制の強化・航空機による広域応援体制整備を目的に平成9年度に運行開始

【重点】自主防災組織の機能強化の検討(総務係)

予算事業名：ゼロ予算事業

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

災害時の避難所への誘導や避難時の取り組みなど、災害への対応力を強化するための活動を行う予定でしたが、台風19号災害による影響のため活動は行えませんでした。

- (1) 主な支出 なし
- (2) 活動指標
- ・自主防災会連絡協議会総会(5月13日)

- ・ 台風19号による被害を受け研修等は中止

【重点】住宅の「耐震化」の推進（総務係）

予算事業名：住宅・建築物耐震改修等事業費

当初予算額 5,641,000 円 最終予算額 5,410,000 円 決算額 65,000 円

町では、建築基準法改正（昭和56年5月31日）以前に着工した、倒壊の恐れのある一般住宅（木造）を対象に精密耐震診断等を行いました。

令和元年度は、耐震補強工事補助金の申請が当初の予定に達しなかったため、予算額と決算額に差額が生じました。

(1) 主な支出

- ・ 耐震診断等委託料 6 万円
- ・ 耐震補強工事補助金 0 万円

(2) 活動指標

- ・ 精密耐震診断 1件実施
- ・ 耐震補強工事 0件実施（公会堂0件）

耐震件数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
耐震診断	2	2	6	7	1
耐震改修	2	0	3	0	0

10 男女共同参画社会づくり費 98,000 決算事項別明細書 P102~103

男女共同参画社会づくり（企画係）

予算事業名：男女共同参画社会づくり費

当初予算額 121,000 円 最終予算額 121,000 円 決算額 98,000 円

ワークライフバランスコンサルタント福盛二郎さんが講師の男女共同参画社会推進講演会に参加しました。また、男女共同参画社会を推進するため随時委員会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 委員報酬 9 万円

(2) 活動指標

- ・ 男女共同参画社会推進委員会会議 年5回実施
- ・ 「地域で暮らす働くワークライフバランスの本質と現実」講演会参加

2 徴税費 72,279,658
1 税務総務費 42,564,623 決算事項別明細書 P102~103

町税の適正な課税の推進（税務会計係/議会事務局）

予算事業名：税務総務費/固定資産評価審査委員会費

当初予算額 4,574,000 円 最終予算額 4,574,000 円 決算額 2,240,653 円

町民税や固定資産税等の課税を行うため、固定資産の評価情報等を収集したり、評価審査委員会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 固定資産評価審査委員報酬 1 万円
- ・ 事務用消耗品、図書等購入費 23 万円
- ・ 滞納整理機構等への負担金 42 万円
- ・ 臨時職員賃金 157 万円
- ・ その他の経費 1 万円

(2) 活動指標

- ・固定資産評価審査委員会
委員数：3名
委員会の開催状況：令和2年3月24日開催（審査申出件数：0件）
- ・図書購入費（実務提要追録、税務六法、税情報誌等）
- ・県滞納整理機構や長野税務署管内の研修会等への負担金

(3) 成果指標

- ・固定資産評価審査委員会の審議案件：過去に審査申出なし

職員人件費（総務係）

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 34,276,000 円 最終予算額 41,445,000 円 決算額 40,323,970 円

(1) 主な支出

- ・職員人件費 4,032 万円

2 賦課徴収費 29,715,035 決算事項別明細書 P102~105

町税の課税と納税（税務会計係）

予算事業名：賦課徴収費

当初予算額 29,261,000 円 最終予算額 30,961,000 円 決算額 29,715,035 円

町民税や固定資産税など町税の課税と徴収を行い、自主財源の確保を図りました。

(1) 主な支出

- ・町税の電算処理や土地の鑑定評価業務などの委託料 1,821 万円
- ・前年度以前に納付した町税の還付金 358 万円
- ・電算システムや地理情報システムなどの使用料 538 万円
- ・申告書などの印刷、消耗品等 151 万円
- ・税・料金収納データ連携、共通納税PC購入費 38 万円
- ・その他の経費 65 万円

(2) 活動指標

- ・REAMS.NETシステム、申告相談システム、家屋評価システム、固定資産管理システム
- ・システム使用端末 税務会計係及び確定申告用端末
- ・機能等 町民税・固定資産税・軽自動車税・口座振替業務等の管理
- ・システムの保守 バージョンアップ、法改正等による機能の変更に対応
- ・電子申告による確定申告データ引継処理の実施（e-tax送信）

3 戸籍住民基本台帳費 32,251,470 決算事項別明細書 P104~105

戸籍に関する事務（住民係）

予算事業名：戸籍事務費

当初予算額 9,000,000 円 最終予算額 9,011,000 円 決算額 8,800,295 円

戸籍関係の証明書の発行や届出の受付を行いました。戸籍法に基づき、届出書の審査、受理、戸

籍の記載など、戸籍事務の正確、迅速な処理に努めました。

(1) 主な支出

- ・ 戸籍ハードウェア等リース料 433 万円
- ・ 戸籍システム使用料 249 万円
- ・ 戸籍システム(ハード・ソフト) 保守委託料 135 万円

(2) 活動指標

① 本籍数と本籍人口（令和2年3月31日現在）

- ・ 本籍数 5,326 戸籍（前年比 14 戸籍増）
- ・ 本籍人口 13,443 人（前年比 31 人減）

② 戸籍事務の処理件数

種 別	本籍人 届出数	非本籍人 届出数	他市町村 から送付	計	種 別	件 数
出 生	43	28	46	117	新戸籍編成	95
死 亡	114	20	22	156	戸籍全部消除	81
婚 姻	38	5	95	138		
離 婚	9	0	19	28		
転 籍	35	0	26	61		
その他	22	0	18	40		
計	261	53	226	540		

③ 戸籍謄抄本及び証明書の交付状況

- ・ 有料 3,570 件 193 万円（内訳）

戸籍全部事項証明書	1,253 件(@450円)
戸籍個人事項証明書	520 件(@450円)
除籍謄本	1,328 件(@750円)
その他証明書	32 件(@350円)
	437 件(@300円)
- ・ 無料 1,319 件(公用) ※台風19号災害関連を含まない。

④ 人口動態調査(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

種 別	出生	死亡	婚姻	離婚	死産	計
件 数	71	134	44	9	0	258
前年度比較（平成30年4月1日～平成31年3月31日）						
種 別	出生	死亡	婚姻	離婚	死産	計
件 数	82	131	36	8	2	259

⑤ 相続法第58条報告件数 118 件（第58条：死亡者の固定資産税額等の報告）

⑥ 埋火葬許可件数（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

種 別	死体埋葬	死体火葬	死胎埋葬	死胎火葬	胞衣焼却	計
件 数	0	143	0	0	0	143
前年度比較（平成30年4月1日～平成31年3月31日）						
種 別	死体埋葬	死体火葬	死胎埋葬	死胎火葬	胞衣焼却	計
件 数	0	131	0	2	0	133

住民票・印鑑証明に関する事務（住民係）

予算事業名：住民基本台帳事務費

当初予算額 5,572,000 円 最終予算額 5,671,000 円 決算額 4,402,109 円

住民票の発行や転入・転出の届出などを円滑に行い、住民サービスの向上に努めました。

(1) 主な支出

- ・ 住民記録ソフトウェア使用料 161 万円
- ・ 通知カード・個人番号カード事務委任交付金 150 万円
- ・ 個人番号カード交付システム使用料 21 万円
- ・ DV対応オプションソフトウェア使用料 25 万円
- ・ DV対応オプション保守委託料 11 万円
- ・ 戦没者追悼式祭壇、献花委託料 17 万円

(2) 活動指標

① 住民基本台帳世帯数及び人口（令和2年3月31日現在）

- ・ 世帯数 3,889 世帯（前年比 57世帯増）
- ・ 人口 11,006 人（前年比 7人増） 男 5,347 人 女 5,659 人

② 住民基本台帳関係届出処理件数(人数)

種別	出生	死亡	転入	転出	転居	世帯主 変更	職権 修正	職権 消除	附票 記載	附票 消除	計
令和元年度	74	118	343	290	86	100	953	4	390	418	2,776
平成30年度	78	135	350	296	137	174	953	6	349	432	2,910

③ 住民票(広域交付住民票含む)の写し及び証明書の交付状況等

- ・ 住民基本台帳閲覧 2 万円 55 件 (@300円)
- ・ 交付件数 有料 114 万円 3,813 件 (@300円)
無料(公用等) 259 件
- ・ 転出証明数 無料 211 件

④ 印鑑登録証明書等交付状況

- ・ 交付件数 有料 93 万円 3,117 件 (@300円)
無料(公用等) 11 件
- ・ 登録件数 有料 10 万円 332 件 (@300円)

⑤ 印鑑登録状況

- ・ 令和元年度中新規登録者(再登録含む) 332 人（前年度321人）
- ・ 印鑑登録者総数(令和2年3月31日現在) 7,458 人

※ ③、④の無料(公用等)には台風19号災害関連は含まない。

住基ネットに関する事務（住民係）

予算事業名：住民基本台帳ネットワーク費

当初予算額 5,475,000 円 最終予算額 5,365,000 円 決算額 4,714,473 円

マイナンバーカード（個人番号カード）の発行と住基ネットシステムの保守管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 住基ネットシステム保守委託料 314 万円
- ・ 住基ネット機器リース料 100 万円
- ・ 住民記録県報告委託料 27 万円

- ・ 字ファイル更新委託料 21 万円

(2) 活動指標

- ・ マイナンバーカードの発行数 160 件 無料
- ・ マイナンバー通知カード再発行 39 件 (@500円)
- ・ マイナンバーカード再発行 5 件 (@800円×1、@1,000円×2、無料×2)

(3) 活動指標の推移

- ・ 住基カード等発行数の推移

種 別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
マイナンバーカード	—	—	813	129	72	160
マイナンバー通知再発行	—	4	91	104	78	39
マイナンバーカード再発行	—	—	—	3	1	5
広域交付住民票	0	1	5	0	2	3

マイナンバーカードは、身分証にもなる顔写真付きのカードです。申請してから概ね1ヵ月程度かかります。カードの有効期限は、20歳以上は10年、20歳未満は5年です。

職員人件費（総務係）

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 15,326,000 円 最終予算額 15,449,000 円 決算額 14,334,593 円

(1) 主な支出

- ・ 職員人件費 1,433 万円

4	選挙費	10,478,934
1	選挙管理委員会費	796,972
2	選挙啓発費	16,680

決算事項別明細書 P104~107

選挙管理委員会の運営と啓発活動（総務係）

予算事業名：選挙管理委員会運営費・選挙啓発費

当初予算額 862,000 円 最終予算額 862,000 円 決算額 813,652 円

選挙管理委員会を開催し4回の定時登録を行いました。また、選挙に対する啓発を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 選挙管理委員報酬 49 万円
- ・ システム使用料、委託料 20 万円
- ・ その他の経費 12 万円

(2) 活動指標

- ・ 明るい選挙推進フォーラム（塩尻市）
11月20日 9人（参加委員・補充員）

- ・ 選挙人名簿登録者数 年4回（定時登録） (単位：人)

	男	女	計
令和元年6月3日 現在	4,412	4,819	9,231
令和元年9月2日 現在	4,417	4,812	9,229
令和元年12月2日 現在	4,411	4,807	9,218
令和2年 3月 2日 現在	4,417	4,820	9,237

3	参議院議員通常選挙費	5,119,851	決算事項別明細書	P106~107
---	------------	-----------	----------	----------

参議院議員通常選挙(総務係)

予算事業名：参議院議員通常選挙費

当初予算額	5,278,000 円	最終予算額	5,278,000 円	決算額	5,119,851 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

任期満了による、参議院議員通常選挙が執行されました。

(1) 主な支出

・事務従事者手当	254 万円
・立会人報酬	73 万円
・選挙用品	14 万円
・電算、ポスター掲示板設置委託料	74 万円
・入場券等郵送料	32 万円
・その他の経費	64 万円

(2) 活動指標

- ・選挙期日：7月21日（日）
- ・投票状況

	当日の有権者数	投票者数	棄権者数	投票率(%)	前回投票率(%)
男	4,404	2,605	1,799	59.15	67.65
女	4,812	2,622	2,190	54.49	64.71
計	9,216	5,227	3,989	56.72	66.11

(3) 成果指標

候補者別得票数（届出順）

候補者氏名	党派	得票数
羽田雄一郎	国民民主党	2,754
齊藤 好明	労働の解放をめざす労働者党	94
小松 裕	自由民主党	2,138
古谷 孝	NHKから国民を守る党	130

4	県議会議員一般選挙費	2,680,763	決算事項別明細書	P106~109
---	------------	-----------	----------	----------

長野県議会議員一般選挙(総務係)

予算事業名：長野県議会議員一般選挙費

当初予算額	2,728,000 円	最終予算額	2,867,000 円	決算額	2,680,763 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

任期満了による、長野県議会議員一般選挙が執行されました。

(1) 主な支出

・事務従事者手当	188 万円
・立会人報酬	45 万円
・事務用品	9 万円
・選挙用備品借り上げ	23 万円
・その他の経費	3 万円

(2) 活動指標

- ・選挙期日：4月7日（日）
- ・投票状況

	当日の有権者数	投票者数	棄権者数	投票率(%)	前回投票率(%)
男	4,358	1,979	2,379	45.41	49.77

女	4,773	1,994	2,779	41.78	44.76
計	9,131	3,973	5,158	43.51	47.14

(内77票は無効)

(3) 成果指標

候補者別得票数(届出順)

候補者氏名	党 派	得 票 数
堀内 孝人	自由民主党	1,228
小林 君男	無所属	1,627
関野 芳秀	無所属	1,041

5	町議会議員選挙費	1,864,668	決算事項別明細書	P108~109
---	----------	-----------	----------	----------

町議会議員一般選挙(総務係)

予算事業名：町議会議員一般選挙費

当初予算額	5,405,000 円	最終予算額	5,266,000 円	決算額	1,864,668 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

任期満了による、町議会議員一般選挙が執行されました。

(1) 主な支出

・事務従事者手当	9 万円
・選挙立会人報酬	4 万円
・選挙長報酬	1 万円
・選挙用品	45 万円
・電算、ポスター掲示板設置委託料	100 万円
・入場券等郵送料	27 万円

(2) 活動指標

- ・選挙期日：4月21日（日）
- ・投票状況 無投票

5	統計調査費	1,994,478	決算事項別明細書	P108~109
1	統計調査費	1,994,478		

統計調査の実施(企画係)

予算事業名：統計調査費

当初予算額	2,051,000 円	最終予算額	2,051,000 円	決算額	1,994,478 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

統計法などに基づき、小中学校や認定子ども園栗ガ丘幼稚園の現状を把握する「学校基本調査」(5/1基準日)、製造業の現状を把握する「工業統計調査」(6/1基準日)、事業所の事業活動及び企業の企業活動の状態を調査する経済センサス基礎調査(4期・5期)、5年毎に行われる農林業の生産構造や就業構造、農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにする「農林業センサス」(2/1基準日)を実施しました。また、国勢調査の準備として基本単位区の設定を行いました。

(1) 主な支出

・調査員報酬	175 万円
・時間外勤務手当	6 万円
・非常勤職員手当	9 万円
・消耗品費	7 万円
・電話料・郵送料	2 万円

(2) 活動指標

① 学校基本調査

- ・調査期日 令和元年5月1日
- ・調査対象 小中学校及び幼稚園
- ・調査員数 なし(各施設で調査)

② 工業統計調査

- ・ 調査期日 令和元年6月1日
- ・ 調査対象 「製造業」に属する全ての事業所 町内60事業所
- ・ 調査員数 調査員4名

③ 経済センサス活動調査

- ・ 調査期日 令和元年12月1日（第4期）、令和2年2月1日（第5期）
- ・ 調査対象 全ての産業分野における事業所 583事業所
- ・ 調査員数 調査員のべ2名

④ 農林業センサス

- ・ 調査期日 令和 2年2月1日
- ・ 調査対象 農林業経営体 1,120
- ・ 指導員、調査員数 44名

(3) 活動指標の推移

- ・ 児童・生徒数と教職員数（学校基本調査より）（単位：人）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学校児童数	645	642	614	618	590
小学校教職員数	43	44	44	41	43
中学校生徒数	302	301	306	326	319
中学校教職員数	31	32	32	34	32

6	監査委員費	779,566
1	監査委員費	779,566

決算事項別明細書 P108～111

監査委員報酬など（監査委員事務局）

予算事業名：監査委員費

当初予算額 831,000 円 最終予算額 831,000 円 決算額 779,566 円

「毎月の歳入、歳出事務が正確に行われているか」「予算の使い方や事業の進め方が、法令・規則により正しくかつ効率的に使われているか」などチェックしました。

(1) 主な支出

- ・ 監査委員報酬（2名） 63万円
- ・ 監査委員研修費 11万円
- ・ 消耗品費等 4万円

(2) 活動指標

- ・ 例月出納検査 12日（毎月原則 27日）
- ・ 定期監査 8日（7月12日、7月16日、7月19日、7月23日、7月25日、7月26日、7月30日、7月31日）
- ・ 決算審査 8日（7月12日、7月16日、7月19日、7月23日、7月25日、7月26日、7月30日、7月31日）
- ・ 備品・現場検査 1日（8月2日）

(3) 成果指標

- ・ 定期監査講評

財政は厳しい状況ではありますが、事務の執行は行政の効率化と健全化を念頭に置き執行され、処理も法令・規則に適合し、正確に実施されています。また、現物も帳簿と完全突合され、事務の管理・事業の執行は総じて良好。ただし、何点かの事業において改善・検討の必要があると認められました。業務遂行にあたり日々変化する現在社会に対し、良好な職場環境を築き上げ、そして多種多様な施策を自主的・総合的に推進し、住民から信頼される公正にして効率的な行政運営を切望します。

・ 財政援助団体に対する監査

台風19号災害及び新型コロナウイルス感染防止により事業の中止等がされたため、今年度の監査は見送りました。

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
3			民生費	1,378,170,615		
	1		社会福祉費	965,887,083		
		1	社会福祉総務費	344,715,512	決算事項別明細書	P110~111
社会福祉協議会への運営費補助など（福祉係）						
予算事業名：社会福祉総務費						
当初予算額 15,139,000 円 最終予算額 15,139,000 円 決算額 15,110,270 円						
地域の福祉活動を担う社会福祉協議会の運営に対して人件費の補助を行いました。福祉業務全般にわたり、相談に応じ助言や指導、支援等を行いました						
(1) 主な支出						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町社会福祉協議会補助金 1,510 万円 ・ 社会福祉積立基金利子積立金 0.2 万円 						
(2) 活動指標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会の運営費補助 						
(3) 行旅人援護金給付件数						
(給付金額1人あたり500円)						
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	人数	2	3	0	1	0
国民健康保険特別会計への繰出金（健康係）						
予算事業名：社会福祉総務費						
当初予算額 85,949,000 円 最終予算額 86,515,000 円 決算額 76,394,768 円						
国民健康保険事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。						
(1) 主な支出						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤安定繰出金 5,280 万円 ・ 出産育児一時金等繰出金 375 万円 ・ 財政安定化支援事業繰出金 393 万円 ・ 事務費等繰出金 1,591 万円 						
(2) 活動指標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度別推移 (単位：万円) 						
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	基盤安定	5,304	6,658	6,357	6,399	5,280
	出産育児一時金等	356	168	307	247	375
	財政安定化支援事業	485	116	347	370	393
	事務費等	1,631	1,519	1,498	1,713	1,591
	計	7,776	8,461	8,509	8,729	7,639
【重点】民生児童委員活動と生活困窮者への支援（福祉係）						
予算事業名：民生児童委員等活動費						
当初予算額 1,450,000 円 最終予算額 1,450,000 円 決算額 1,373,055 円						
町民の皆さんが求める福祉ニーズに的確に対応するため18人の委員さんが活動しています。ひとり暮らし高齢者宅の訪問活動をはじめ障がい者、ひとり親、生活に困っている皆さんのケースについて民生児童委員で話し合い、より良い福祉サービスにつながるよう努めています。						

また、生活保護に至る前の段階にある生活に困窮している人に対し、まいさぼ信州長野等の関係機関と連携し、就労の支援や自立に向けた相談に応じ必要な支援に努めました。

(1) 主な支出

- ・ 活動のための交付金・負担金等 130 万円
- ・ 図書購入等 4 万円

(2) 活動指標

- ・ 民生児童委員数：18名（委員17名、主任児童委員1名）
- ・ 定例会の実施： 月 1回
- ・ ひとり暮らし高齢者等要援護世帯への支援、相談、各種研修会への参加等
- ・ 生活保護元年度新規認定者0人、廃止3人（年度末総数 5世帯5人）
- ・ まいさぼ信州長野への相談、支援実人員 22人

(3) 成果指標

- ・ 民生児童委員への相談、支援件数

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延件数	197	111	102	95	138

- ・ 民生児童委員の訪問件数

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延件数	2,099	2,263	2,353	2,420	2,495

- ・ 生活保護の認定者数の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
認定者数	2	0	0	0	0
年度末総数	9世帯10人	9世帯10人	7世帯8人	7世帯8人	5世帯5人

子ども・障がい者等の医療費の助成(福祉係)

予算事業名：福祉医療費給付事業費

当初予算額 71,126,000 円 最終予算額 71,549,000 円 決算額 67,961,654 円

一定の要件に当てはまる乳幼児や児童生徒、障がい者、高齢者、母子・父子家庭にかかる医療費の負担を軽くするため、福祉医療費の給付を行いました。
当初見込みより給付件数が減少したため、予算額と決算額に差額が生じました。

(1) 主な支出

- ・ 福祉医療費給付金 6,416 万円
- ・ システム保守・改修・使用料等 55 万円
- ・ 福祉医療費事務手数料 319 万円

(2) 活動指標

- ・ 令和2年3月31日現在の資格別受給者数及び給付実績 ※給付額1万円未満は0とする

資格名称	受給者数(人)	延件数	給付額(万円)	全体に占める割合		
				受給者	延件数	給付額
乳幼児・児童・生徒	1,761	18,908	3,262	78.1%	67.5%	50.8%
重度心身障がい者	340	7,589	2,880	15.1%	27.1%	44.9%
身障手帳1級	91	904	550	4.0%	3.2%	8.6%
身障手帳2級	37	508	221	1.6%	1.8%	3.5%
身障手帳3級	58	548	268	2.6%	1.9%	4.2%
療育手帳A1	25	553	220	1.1%	2.0%	3.4%
療育手帳A2	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
療育手帳B1	24	275	59	1.1%	1.0%	0.9%

65歳以上国民年金施行令別表該当	59	4,081	1,425	2.6%	14.6%	22.2%
精神保健福祉手帳1級（通院のみ）	40	647	128	1.8%	2.3%	2.0%
精神保健福祉手帳2級（精神通院のみ）	6	73	9	0.3%	0.3%	0.1%
父子家庭	11	73	11	0.5%	0.2%	0.2%
父子の父	4	50	9	0.2%	0.1%	0.1%
父子の子	7	23	2	0.3%	0.1%	0.0%
母子家庭等	142	1,451	263	6.3%	5.2%	4.1%
母子の母	57	614	135	2.5%	2.2%	2.1%
母子の子	85	837	128	3.8%	3.0%	2.0%
父母のいない児童	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
計	2,254	28,021	6,416	100.0%	99.9%	100.0%

※平成24年度から乳幼児対象枠を高校3年まで拡大

※平成27年度から障がい児の所得制限を廃止

※平成30年8月から18歳に達する年度末までの子どもの医療費が現物給付化

(3) 活動指標の推移

・対象者数の推移（毎年度3月31日現在）

（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
乳幼児・児童・生徒	1,811	1,801	1,797	1,781	1,761
重度心身障がい者	344	335	334	341	340
父子家庭	13	13	9	12	11
母子家庭等	164	153	147	139	142
計	2,332	2,302	2,287	2,273	2,254

・給付件数の推移

（単位：万円）

	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	延件数	給付額	延件数	給付額	延件数	給付額
乳幼児・児童・生徒	18,035	2,627	18,197	2,757	18,085	2,778
町単分（再掲）						
入院時食費	124	18	113	17	128	37
その他	10,378	1,338	10,779	1,432	10,716	1,505
重度心身障がい者	7,031	2,518	6,962	2,698	6,877	2,626
町単分（再掲）						
入院時食費	285	359	309	410	275	402
その他	197	89	228	73	314	121
父子家庭	53	18	56	13	46	10
町単分（再掲）						
入院時食費	0	0	0	0	0	0
母子家庭等	1,679	380	1,765	371	1,531	369
町単分（再掲）						
入院時食費	17	24	11	5	18	21
合計	26,798	5,543	26,980	5,839	26,539	5,783

	平成30年度		令和元年度		令和元年度	令和元年度	令和元年度
	延件数	給付額	延件数	給付額	給付人数	対象者総医療費	給付前自己負担額
			A	B	C	D	E
乳幼児・児童・生徒	17,969	2,901	18,908	3,262	1,795	18,969	4,746
町単分（再掲）							
入院時食費	117	36	109	41	-	-	-
その他	10,421	1,706	11,073	1,881	1,153	8,070	2,399
重度心身障がい者	7,318	2,935	7,589	2,880	365	36,775	3,532
町単分（再掲）							
入院時食費	284	460	254	475	-	-	-
その他	293	262	264	137	12	1,187	195
父子家庭	50	9	73	11	10	43	13

	町単分 (再掲)	入院時食費	0	0	0	0	-	-	-
母子家庭等			1,508	309	1,451	263	142	1,077	309
	町単分 (再掲)	入院時食費	9	4	2	1	-	-	-
合計			26,845	6,154	28,021	6,416	2,312	56,864	8,600

・ 1人当たりの給付額等

	1人当レセプト回数	1件当医療費	1人当年間医療費	1件当給付額	1人当給付額	1件当自己負担額	自己負担割合
	A/C (回)	D/A (千円)	D/C (千円)	B/A (千円)	B/C (千円)	E/A (千円)	B/E %
乳幼児・児童・生徒	10.5	10.0	105.7	1.7	18.2	2.5	0.3
重度心身障がい者	20.8	48.5	1,007.5	3.8	78.9	4.7	0.2
父子家庭	7.3	5.9	43.0	1.5	11.0	1.8	0.2
母子家庭等	10.2	7.4	75.8	1.8	18.5	2.1	0.1
合計	12.1	20.3	246.0	2.3	27.8	3.1	0.3

ひとり親家庭等の生活支援(児童福祉手当など)(福祉係)

予算事業名：ひとり親家庭福祉事業費

当初予算額 1,442,000 円 最終予算額 1,442,000 円 決算額 1,427,000 円

ひとり親家庭等の経済負担を軽くするため、手当や年金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・ 母子・父子家庭児童福祉年金 69 万円
- ・ 母子・父子家庭児童福祉手当 71 万円
- ・ 交通・災害遺児等年金 2 万円

(2) 活動指標

(単位：万円)

項目	支給件数 (件)	支給金額
母子・父子家庭児童福祉年金	72	69
母子・父子家庭児童福祉手当	48	71
計	120	140

(3) 活動指標の推移

(単位：万円)

年度	母子・父子家庭児童福祉年金		母子・父子家庭児童福祉手当	
	件数	金額	件数	金額
平成27年度	94	96	50	59
平成28年度	95	92	52	63
平成29年度	88	81	37	49
平成30年度	76	71	33	46
令和元年度	72	69	48	71

※ 平成22年度から児童福祉年金額5,000円から10,000円へ増額 (保護者の住民税非課税の場合)

悩みごと相談(福祉係)

予算事業名：悩み事相談事業費

当初予算額 865,000 円 最終予算額 865,000 円 決算額 818,432 円

町民の皆さんから寄せられる法的な相談に応じるため法律相談所を開設するとともに、社会福祉協議会に結婚相談業務などを委託し、事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・相談員（弁護士、司法書士）謝礼 10 万円
- ・心配ごと相談委員報酬 8 万円
- ・事業委託費 62 万円

(2) 活動指標

- ・ 弁護士、司法書士による法律相談所の開設
年6回（偶数月 4月, 8月, 12月は弁護士のみ 各1名）

開設日	H31. 4. 22	R1. 6. 20	R1. 8. 20	R1. 10. 21	R1. 12. 20	R2. 2. 20
受付件数	4	2	1	8	3	5

- ・ 心配ごと相談の実施 月2回（第1・第3火曜日） 民生児童委員 2人
- ・ 結婚相談の実施 毎週火、水、木にセンターにて開催 専門相談員 2人

(3) 成果指標

- ・ 法律、総合相談件数の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人数	24	25	27	24	23

相談内容・・・相続、離婚、土地問題、法律問題等

- ・ 心配ごと相談件数

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人数	3	0	2	3	5

- ・ 結婚相談件数

結婚相談センターの開設

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
相談件数（延べ）	39	35	93	143	196	
登録人数	男	35	34	34	43	52
	女	19	19	20	21	20
見合い件数	6	1	3	6	8	
成婚件数	0	1	0	2	3	

ながの結婚マッチングシステムの導入

相談件数（延べ） 560件 登録人数 32人（男26人、女6人）

見合い件数 39件 成婚件数 3件

【重点】多機関協働包括的支援推進事業（健康係）

予算事業名：多機関協働包括的支援体制構築事業費

当初予算額 6,446,000 円 最終予算額 6,446,000 円 決算額 3,219,246 円

子育てや健康、介護、障がい、貧困などさまざまな相談に対し、多角的な視点で捉え包括的な支援を行っていくため、相談支援包括化推進員を設置し、相談体制の強化を図りました。

(1) 主な支出

- ・ 講師等謝礼 260 万円
- ・ 心のサポート相談所備品整備 55 万円
- ・ 多機関協働包括的支援関係者会議費ほか 7 万円

(2) 活動指標

- ・ 多機関協働包括的支援関係者会議
期日：全体会 8/2（金）

期日：中核者検討会 8/13（火）、9/6（金）、10/4（金）、11/1（金）、
11/29（金）、1/24（金）、2/14（金）、3/13（金）

- ・園巡回・パステル関係者打合せ

期日：8/28（水）、10/1（火）

- ・心のサポート相談所の整備

保健センター2階、フラワーセンター2階を整備

プレミアム付商品券の作成(福祉係/企画係)

予算事業名：プレミアム付商品券事業費

当初予算額 0円 最終予算額 55,744,000円 決算額 14,539,983円

消費税・地方消費税引上げが低所得・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯主にプレミアム商品券を販売等の事業を行いました。

(1) 主な支出

- ・賃金 120万円
- ・消耗品等（スタンプ台等） 5万円
- ・印刷製本費（商品券） 25万円
- ・通信運搬費 23万円
- ・委託料（システム、販売） 202万円
- ・利用負担金 1,078万円

(2) 活動指標

- ・低所得者・子育て世帯の抽出、取りまとめ（2,050人）
- ・プレミアム付商品券引換券、申請書の作成
- ・プレミアム付商品券デザイン作成、印刷
- ・利用企業の公募、負担金支払い事務（81店舗）

プレミアム付商品券の作成(繰越分)(福祉係/企画係)

予算事業名：プレミアム付商品券事業費

当初予算額 0円 繰越予算額 927,000円 決算額 885,380円

消費税・地方消費税引上げが低所得・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯主にプレミアム商品券を販売等の事業の準備作業を行いました。

(1) 主な支出

- ・賃金 84万円
- ・消耗品等（印刷用トナー） 4万円

(2) 活動指標

- ・該当者抽出作業

被災者の生活再建支援(福祉係)

予算事業名：被災者生活再建支援事業費

当初予算額 0円 最終予算額 11,330,000円 決算額 10,750,000円

台風19号災害で被災者生活再建支援法の適用対象とならない半壊、半壊に至らない床上浸水の被害を受けた方に対し、生活の早期再建の支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・複数世帯 1,000万円 20世帯

・単身世帯 75万円 2世帯

(2) 活動指標

・被災者へ生活再建支援金の支給（12月25日）

災害見舞金の支給(総務係)

予算事業名：災害見舞金支給事業費

当初予算額 0円 最終予算額 80,150,000円 決算額 74,531,529円

台風19号で被災された方へ災害見舞金の支給を行いました。

(1) 主な支出

・町単独台風19号災害見舞金支給 65人 7,438万円
 ・台風第19号災害に係る災害見舞金支給 3人（県・町各5万円） 15万円

(2) 活動指標

・被災者へ見舞金の支給（12月25日）

職員人件費(総務係)

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 84,490,000円 最終予算額 82,571,000円 決算額 77,704,195円

(1) 主な支出

・職員人件費 7,770万円

2 国民年金事務費 607,034 決算事項別明細書 P112～113

国民年金の加入手続き(住民係)

予算事業名：国民年金事務費

当初予算額 457,000円 最終予算額 622,000円 決算額 607,034円

20歳以上60歳未満の方は、国民年金への加入が法律で義務付けられています。勤務先を退職されたときは、厚生年金保険から国民年金への変更の届出が必要です。学生のみなさんには、在学期間中の保険料を社会人になってから納付できる「学生納付特例制度」等、国民年金の窓口申請等を行いました。

(1) 主な支出

・国民年金電算委託料 16万円
 ・国民年金システム使用料 27万円
 ・その他の経費 17万円

(2) 活動指標

① 国民年金加入状況

・第1号被保険者数 1,158人（自営業、農業、学生、アルバイトの方など）
 ・任意加入被保険者数 11人（老齢基礎年金を増やしたい方など）

② 付加保険料納付者数

69人（月々の定額保険料に400円を付加（プラス）して納めている方）

③ 保険料免除者数（総数 383人）

・ 学生納付特例	137人	・ 法定免除	81人
・ 申請免除(全額)	101人	・ 申請免除(3/4)	13人
・ 申請免除(半額)	9人	・ 申請免除(1/4)	3人
・ 納付猶予	39人		

(3) 成果指標

・ 令和元年度長野北年金事務所(管内11市町村) (単位:%)

市町村名	小布施町	須坂市	中野市	高山村	山ノ内町	信濃町	飯綱町	長野県
現年度納付率	88.27	80.48	81.87	79.87	81.70	81.68	85.20	77.10
口座振替率	59.4	57.0	60.9	59.4	65.0	59.1	63.8	51.1
全額免除率	30.5	37.3	35.4	33.1	30.2	38.5	34.0	38.8

3	高齢者福祉費	332,486,780	決算事項別明細書	P112~113
---	--------	-------------	----------	----------

高齢者の福祉の増進(福祉係)

予算事業名: 高齢者福祉事業費

当初予算額	222,000 円	最終予算額	256,000 円	決算額	242,870 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

地域支え合いマップの内容更新を行うため、自治会ごとに更新作業を実施しました。また、おでこポイント制度の開始準備としてポイントカードや広報用チラシ等を印刷しました。
Windows7のサポート終了に伴い、国保連伝送パソコンの端末入替を行いました。

(1) 主な支出

・ 地域支え合いマップ	0 万円
・ おでこポイント制度開始準備各種印刷費	5 万円
・ 備品購入費	19 万円

(2) 活動指標

- ・ 全自治会の地域支え合いマップの確認及び更新を行いました。各公会堂に自治会役員、民生児童委員、町職員が集まり、支援の必要な方について話し合いました。
- ・ おでこポイント制度開始に必要な準備として、ポイントカード・商品券・チラシ等を印刷しました。
- ・ 国保連伝送システムの更新に伴い、既存の端末が使用出来なくなったため、windows10対応の端末を購入しました。

社会福祉法人への補助(福祉係)

予算事業名: 高齢者福祉事業費

当初予算額	36,000 円	最終予算額	36,000 円	決算額	0 円
-------	----------	-------	----------	-----	-----

社会福祉法人等が低所得者を対象に介護サービス利用軽減を行ったうち、本来受領すべき金額の1%を超過した分の助成をしていますが、令和元年度は対象事業所がないため、支出はありませんでした。

(1) 主な支出 0 万円

(2) 活動指標

・ 件数、金額の推移 (単位: 万円)

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

シルバー人材センターの支援（福祉係）

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 2,805,000 円 最終予算額 2,805,000 円 決算額 2,805,000 円

高齢になっても就労を通じた生きがいを図るため、地域における高齢者の就労支援から、地域づくりや地域福祉向上に寄与することを目的とするシルバー人材センターに対して補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 須高広域シルバー人材センター補助金 280 万円 小布施町の会員数55人
- ・ 賛助会員会費 0.5 万円 (男性28人、女性27人)

養護老人ホーム入所費用の補助（地域包括支援センター）

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 12,960,000 円 最終予算額 14,100,000 円 決算額 13,594,086 円

家庭内や経済的な事情により養護老人ホームに入所している人の入所費用を補助しました。

(1) 主な支出

- ・ 施設入所措置費 1,359 万円

(2) 活動指標

- ・ 養護老人ホーム措置費

施設名	入所者数（人） （令和2年3月31日現在）	措置費（万円）
長野広域連合 はにしな寮	1	252
長野広域連合 松 寿 荘	1	125
社会福祉法人陸会 寿楽園	4	982
計	6	1,359

(3) 活動指標の推移

- ・ 入所者と措置費の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入所者数（人）	6	5	5	6	6
措置費（万円）	1,241	1,211	1,115	1,271	1,359

後期高齢者医療制度に対する負担（健康係）

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 103,363,000 円 最終予算額 105,066,000 円 決算額 105,064,274 円

長野県後期高齢者医療広域連合の運営に必要な医療費の一部に充てられる負担金を支出しました。

(1) 主な支出

- ・ 長野県後期高齢者医療広域連合負担金 1億506 万円

後期高齢者医療特別会計への繰出金（健康係）

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 31,845,000 円 最終予算額 31,061,000 円 決算額 30,921,651 円

後期高齢者医療保険事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

(1) 主な支出

- ・ 繰出金 3,093 万円

(2) 活動指標

・ 年度別推移

(単位：万円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市町村事務費負担金	423	411	152	201	162
基盤安定繰出金	2,563	2,525	2,576	2,629	2,520
事務費等繰出金	239	139	437	518	411
計	3,225	3,075	3,165	3,348	3,093

・ 後期高齢者医療保険料軽減該当者

	人数	軽減額 (円)
7割軽減	649	18,044,804
5割軽減	276	5,522,573
2割軽減	205	1,630,257
計	1,130	25,197,634

介護保険特別会計への繰出金 (福祉係)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 171,853,000 円

最終予算額 174,533,000 円

決算額 155,033,807 円

介護保険事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

(1) 主な支出

- ・ 繰出金 1億5,503 万円

(2) 活動指標

・ 繰出金の内容

介護給付費	1億1,014 万円
地域支援事業費	1,136 万円
事務費ほか	3,353 万円

(3) 活動指標の推移

(単位：万円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
繰出金	14,555	14,676	13,672	13,544	15,503

【重点】高齢者の在宅生活支援 (福祉係/地域包括支援センター)

予算事業名：高齢者在宅支援事業費

当初予算額 6,348,000 円

最終予算額 7,448,000 円

決算額 5,581,425 円

高齢者の在宅生活を支えるため、外出支援、福祉用具の短期貸与を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 福祉バス運行サービス 23 万円
- ・ 福祉用具貸与サービス 11 万円
- ・ 高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金 0 万円
- ・ 高齢者等タクシー利用給付金等 517 万円

(2) 活動指標

- ・ 高齢者等介護予防・生活支援事業の申請受付と状況

項目	利用実人員 延利用回数等	対象者・利用者状況等
1 生きがい福祉バス 運行サービス事業	43人 341回	通院、入退院等の送迎（社会福祉協議会へ委託）
2 訪問理美容サービ ス事業	1人 1回	要援護高齢者等で、訪問による理美容でなければ散髪 ができない者
3 福祉用具貸与 サービス事業	14人 80品目	入院中の外泊、自立の判定、認定の対象外等で日常生 活に福祉用具が必要な者（社会福祉協議会へ委託）

- ・ 高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金 0 件

(3) 活動指標の推移

在宅での介護を補完する意味での重要な生活支援サービスで特に福祉バス、福祉用具貸与は、在宅での介護に大きな役割を果たしています。

- ・ 利用者数の推移

項 目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
生きがい福祉バス 運行サービス事業	利用実人員	58人	37人	49人	44人	43人
	延利用回数	216回	124回	147回	170回	341回
訪問理美容サービス 事業	利用実人員	2人	0人	0人	1人	1人
	延利用回数	2回	0回	0回	1回	1回
福祉用具貸与 サービス事業	利用実人員	51人	32人	32人	30人	14人
	延利用回数	112品目	91品目	92品目	108品目	80品目
生きがい活動支援通 所事業（いきいきサロン）	利用実人員	54人	54人	-	-	-
	延利用回数	3,517回	3,691回	-	-	-
高齢者等にやさしい 住宅改良事業給付金	件数	2件	0件	0件	2件	0件
	金額	110万円	0万円	0万円	87万円	0万円
タクシー利用助成 事業	交付人数	333人	314人	366人	420人	390人
	利用金額	537万円	552万円	600万円	599万円	517万円

※生きがい活動支援通所事業（いきいきサロン）は平成29年度から内容を一部変更し、介護保険特別会計の事業に移行しました。

ひとり暮らし高齢者等への支援（地域包括支援センター）

予算事業名：独り暮らし高齢者等支援事業費

当初予算額 272,000 円 最終予算額 272,000 円 決算額 53,065 円

ひとり暮らしや二人暮らしの高齢者が、安心して在宅で生活できるための支援を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 緊急通報体制等整備事業（自動消火器等の購入・設置・修繕等） 4 万円
- ・ 生活管理指導短期宿泊事業 0 万円
- ・ 軽度生活援助サービス事業 1 万円

(2) 活動指標

- ・ 高齢者等介護予防・生活支援事業の申請受付と状況

緊急通報体制等整備事業	自動消火器等（新規）	0 件
生活管理指導短期宿泊事業		0 件
軽度生活援助サービス事業（除雪）		9 世帯

老人クラブ活動の支援（福祉係）

予算事業名：高齢者生きがいづくり支援費

当初予算額 1,812,000 円 最終予算額 1,671,000 円 決算額 1,584,270 円

高齢者が豊かで元気に暮らすための活動を行っている老人クラブ連合会や各支部活動を支援するため、補助金を交付しました。また、高齢者の知識・技能を生かすとともに、健康づくりや仲間との交流を図るため、ゲートボールやマレットゴルフなど各種大会・行事が行われました。

(1) 主な支出

- ・老人クラブ連合会補助金 75 万円
- ・各支部老人クラブ補助金 40 万円

(2) 活動指標

- ・老人クラブ連合会会員 424 人
 - 小布施荘への慰問
 - 独り暮らし、二人暮らし高齢者宅訪問や生活支援活動
 - 花いっぱい運動
 - 公会堂・公園の清掃などの奉仕活動
 - 老人スポーツ大会への参加
(囲碁ボール、マレットゴルフ、ゲートボール、グラウンドゴルフ、輪投げ、ゴルフ)
 - 健康づくり事業
 - 学習活動の実施
 - 老連だよりの発行
 - しめ縄づくり教室
(12月22日健康福祉センター 38名参加)

(3) 活動指標の推移

- ・会員数と補助金の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
会員数(人)	508	477	465	402	424
補助金(万円)	121	119	118	113	115

長寿者訪問（福祉係）

予算事業名：長寿者訪問事業費

当初予算額 667,000 円 最終予算額 633,000 円 決算額 499,445 円

長寿の節目を迎えた皆さんを祝福し、祝い品をお贈りしました。

(1) 主な支出

- ・記念品（片口小鉢、革製収納ケース）45 万円
- ・色紙・たとう紙等 5 万円

(2) 活動指標

- ・対象者 米寿 65 人、白寿 9 人、百賀以上 10 人
- ・町長が訪問して記念品を贈呈（9月10・12日）

(3) 活動指標の推移

- ・対象者の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象者数(人)	79	96	84	109	84

生活支援ハウスの管理運営（福祉係）

予算事業名：生活支援ハウス管理費

当初予算額 6,847,000 円 最終予算額 7,746,000 円 決算額 7,163,982 円

小布施町社会福祉協議会を指定管理者として委託料を支払ったほか、土地の借地料などを支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 修繕料 14 万円
- ・ 生活支援ハウス居住部門管理委託料 407 万円
- ・ 土地借上料 212 万円

(2) 活動指標

- ・ 指定管理者：小布施町社会福祉協議会
- ・ 入居者に対する各種相談や助言
- ・ 緊急時の対応
- ・ デイサービスセンターへの通所や訪問介護サービス、その他の保健福祉サービスを必要とする場合の利用手続きの援助

(3) 活動指標の推移

- ・ 利用者数の推移（単位：人）

生活支援ハウス	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
デイサービスセンター 利用者数	8,526	7,599	7,525	8,173	9,036
居住部門 入居者数	3	4	4	6	9
参考 65歳以上の独り暮らし数	236	277	292	306	330

高齢等のため居宅において生活することに不安のある方に、必要に応じ一定期間、住居を提供することで、安心して生活を送っていただいています。令和元年度は台風第19号災害の被災者の方にも住居を提供しました。

デイサービスセンターの管理（福祉係）

予算事業名：デイサービスセンター管理費

当初予算額 1,768,000 円 最終予算額 1,768,000 円 決算額 1,766,290 円

デイサービスセンター運営のための土地の借上料などを支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 福祉施設用地借上料 160 万円
- ・ 火災保険料 6 万円

(2) 活動指標

- ・ デイサービス（通所介護）

介護している家族の身体的、精神的な負担の軽減と、利用者の心身機能の維持回復や、趣味生きがいがづくりとして、日帰りでご利用いただく施設で、送迎、入浴、昼食等のサービスが受けられます。

(3) 活動指標の推移

- ・ 利用者数の推移 (単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延利用者数	9,244	8,821	9,586	8,553	8,060

小布施荘施設用地等の管理（福祉係）

予算事業名：広域連合高齢者福祉施設管理費

当初予算額 8,179,000 円 最終予算額 8,179,000 円 決算額 8,176,615 円

長野広域連合が管理運営する養護老人ホームに関する施設の管理運営に係る費用、また特別養護

老人ホーム小布施荘に関する土地の借上料などを支払いました。

(1) 主な支出

- ・施設管理費負担金 408 万円
- ・福祉施設用地借上料 410 万円

(2) 活動指標

- ・長野広域連合養護老人ホームに係る負担金
- ・長野広域連合特別養護老人ホームの土地借上料

(3) 活動指標の推移

- ・小布施荘利用者数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小布施荘利用者数（小布施町分）（人）	36	39	32	31	30
ショートステイ利用延べ日数（日）	2,744	2,711	2,801	2,819	2,909

4 人権・同和政策費 4,403,385 決算事項別明細書 P112～113

差別のない明るい社会の推進（生涯学習係）

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 4,176,000 円 最終予算額 4,576,000 円 決算額 4,403,385 円

差別のない明るい社会の実現に向け、関係協議会とともに事業に取り組みました。

(1) 主な支出

- ・差別撤廃・人権擁護審議委員への報酬 2 万円
- ・雁中集会所トイレ改修ほか施設修繕 105 万円
- ・人権擁護委員活動助成金 5 万円
- ・生活相談委託料 5 万円
- ・部落解放同盟 小布施町協議会補助金 300 万円
- ・部落解放同盟 須高地区協議会補助金 9 万円

(2) 活動指標

- ・人権相談（人権擁護委員）毎月1回（6月は2回） 第1水曜日実施 計13回
- ・人権同和生活相談
- ・部落解放関係団体の活動支援
- ・集会所・厚生住宅の維持管理

(3) 活動指標の推移

- ・人権相談件数 (単位：件)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1	0	1	2	1

5 障害者福祉費 261,865,918 決算事項別明細書 P112～115

【重点】自立支援医療費への補助（福祉係）

予算事業名：障害者医療給付事業費

当初予算額 3,588,000 円 最終予算額 3,676,000 円 決算額 3,659,003 円

身体障害者手帳の交付を受けている18歳以上の者が、身体上の障がい除去したり、障がいの程度を軽くするために必要な医療に対し補助を行いました（更生医療）。
また、18歳未満の児童で、現に身体上の障がいを有するまたは現存する疾患を放置すれば将来障

がいを残すと認められる児童について、生活の能力を得るために必要な医療に対し補助を行いました（育成医療）（※平成25年度から町実施）

医療的ケアを必要とする障害のある方のうち常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において病院で行われる機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の世話をを行う療養介護のうち医療に係るもの（療養介護医療）に対し補助を行いました（※平成26年度から実施、平成25年度までは総合支援法の障害福祉サービスより補助を実施。）

(1) 主な支出

- ・ 更生医療への補助 32 万円
- ・ 育成医療への補助 14 万円
- ・ 療養介護医療への補助 314 万円
- ・ 育成医療支給認定に係る審査委託料等 0 万円

(2) 活動指標

- ・ 更生医療… 2 人
(腎臓移植術後の抗免疫療法、人工股関節置換術)
- ・ 育成医療… 1 人
(脊柱側弯症手術1人)
- ・ 療養介護医療 … 3 人

(3) 活動指標の推移

- ・ 医療給付の状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
更生医療	レセプト件数	21枚	24枚	23枚	25枚	32枚
	給付金額	21万円	25万円	26万円	26万円	32万円
育成医療	レセプト件数	6枚	9枚	28枚	5枚	7枚
	給付金額	0.5万円	8万円	98万円	0.6万円	14万円
療養介護医療	レセプト件数	36枚	36枚	36枚	36枚	36枚
	給付金額	286万円	305万円	312万円	314万円	314万円

【重点】障がい者の自立支援（福祉係）

予算事業名：自立支援給付事業費

当初予算額 227,218,000 円 最終予算額 246,214,000 円 決算額 244,109,169 円

障害福祉サービスの利用

総合支援法の障害福祉サービスの利用希望者に対し、障害支援区分の調査を行いました。また介護給付サービスの利用者については、長野広域連合に設置した審査会の二次判定結果を基に、障害支援区分の認定を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 審査会の運営のための負担金 28 万円
- ・ 受給者証作成システムの使用料、委託料 83 万円
- ・ 認定調査員賃金 93 万円
- ・ 主治医意見書作成手数料 16 万円
- ・ その他の経費 49 万円

(2) 活動指標

- ・ 認定調査件数 37 件
- ・ 医師意見書作成依頼件数 34 件
- ・ 長野広域連合審査判定依頼件数 34 件

障害福祉サービスの給付

平成18年より障害種別にかかわらず、生活を支援する福祉サービス利用の仕組みが一つとなりました。主に在宅や施設入所での生活支援サービスである介護給付と、施設へ通所して作業や一般就労を目指すサービスの訓練等給付があります。

(1) 主な支出（負担割合 国1/2、県1/4、町1/4）

・ 介護給付費	1億898 万円
・ 訓練等給付費	1億661 万円
・ 特例介護給付費	133 万円
・ 高額障害福祉サービス費	15 万円
・ 特定障害者特別給付費	366 万円
・ 障害者計画相談支援給付費	337 万円
・ 障害児通所給付費	1,545 万円
・ 障害児相談支援給付費	89 万円
・ 高額障害福祉サービス等給付費、高額障害児給付費	1 万円

(2) 活動指標

- ・ 事業別の給付費の状況

事業種別		事業名	利用実人員 (人)	給付費 (万円)
介護給付費	在宅	居宅介護(ホームヘルプ [※])	7	200
		短期入所(ショートステイ)	12	621
		行動援護	3	267
	通入	施設入所支援	15	2,245
		生活介護	27	6,643
		療養介護	3	922
訓練等給付費	通	自立訓練(機能)	1	104
		自立訓練(生活)	2	153
		就労移行支援	8	575
		就労継続支援A型	6	670
		就労継続支援B型	49	6,825
		就労定着支援	1	10
	住	共同生活援助(グループホーム)	18	2,324
		宿泊型自立訓練	0	0
特例介護給付費			3	133
高額障害福祉サービス費				15
特定障害者特別給付費			32	366
障害者計画相談支援給付費			104	337
地域相談支援給付費(地域移行・地域定着支援)			0	0
障害児通所給付費			25	1,545
障害児相談支援給付費			25	89
高額障害福祉サービス等給付費、高額障害児給付費			2	1
計			343	24,045

(3) 活動指標の推移

給付費	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護給付費	63	9,720	63	9,853	65	10,316	71	10,765	67	10,898
訓練等給付費	62	8,085	61	8,009	65	9,019	81	10,151	85	10,661

・ 総事業費対前年比

年度	事業費	前年比
27	19,104	103.6%
28	19,356	101.3%
29	21,062	108.8%
30	23,038	109.4%
元	24,045	104.4%

・ 平成19年10月からみすみ草が就労継続支援事業B型の事業所指定を受けました。これによりみすみ草は、どなたでも利用できる社会交流促進の場としての地域活動支援センターと作業を中心とする事業所の2つの機能を持ち、利用者の状態に応じた選択肢が広がりました。

また、町内に事業所が増えたことにより近隣での通所利用が可能となりました。

・ 総事業費と比較すると、障害福祉サービス費は毎年伸びています。3障害（身体・知的・精神障がい）や難病が対象となり利用希望者が増えたこと、提供事業者が増えてきたことが理由として考えられます。

障がい児に係る障害児通所給付費（放課後等デイサービスや児童発達支援）の給付が増えています。

今後は、総合支援法の福祉サービス以外のインフォーマル・地域サービスの提供を充実させたり、一般就労などを目指す事業の強化を進めていく必要があります。

補装具費の補助

身体障がい者の身体部分の機能を補う用具の購入・修理に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

・ 補装具の購入、修理費 181 万円

(2) 活動指標

・ 補装具の購入、修理費内訳

障がい者	交付	5 件	105 万円	修理	4 件	11 万円
障がい児	交付	2 件	65 万円	修理	0 件	0 万円

(3) 活動指標の推移

・ 補装具の給付状況

(単位：万円)

		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
補装具	交付	8	143	10	116	10	111	5	23	7	170
	修理	9	35	11	25	10	20	8	32	4	11

【重点】地域生活の支援(福祉係)

予算事業名：地域生活支援事業費

当初予算 10,345,000 円 最終予算額 10,945,000 円 決算額 10,667,057 円

移動支援事業・日中一時支援事業

外出のための支援を行う「移動支援サービス」と、日中に介護する人がいないなどの理由で見守りが必要な障がいのある人を支援する「日中一時支援サービス」を実施しました。実施に当たっては、障がいのある人のニーズや、その受け皿となる施設、支援事業所などが行う福祉サービスを適切にマッチングさせることで利用者の福祉の向上につなげています（平成18年10月より実施）。

(1) 主な支出

- ・ 移動支援サービス 114 万円
- ・ 日中一時支援サービス 31 万円

(2) 活動指標

- ・ 実施状況
 - 移動支援サービス事業利用者数 16 人
 - 日中一時支援サービス事業利用者数 2 人

(3) 活動指標の推移

- ・ 給付状況の推移

		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		人数	金額(万円)	人数	金額(万円)	人数	金額(万円)	人数	金額(万円)	人数	金額(万円)
移動支援	個別	11	78	10	87	9	65	15	86	13	109
	グループ	2	2	2	4	3	5	2	4	5	5
日中一時支援		2	33	2	46	1	22	1	21	2	31

- ・ 平成19年度より移動支援事業のグループ支援について、利用者とサービス従事者の比率を従来の2対1、3対2に3対1を追加しサービス利用や余暇活動の実施に移動支援事業を利用しやすくなるよう変更しました。
- ・ ニーズに合った事業へ充実させるため、昨年度須高3市町村では自立支援協議会を通じて移動支援・日中一時支援検討会を設置し、サービス単価やサービス事業者の指定等について見直しを行い、平成30年度より実施しています。

日常生活用具の給付

在宅で過ごす障がい者の生活を支援するため、ストーマ用装具、ネブライザーなど日常生活用具の購入に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 日常生活用具の購入 270 万円

(2) 活動指標

- ・ 日常生活用具の購入 141 件
 - 内訳
 - ・ ストーマ用装具 115 件 (2か月分を1件とカウント)
 - ・ 紙おむつ 22 件
 - ・ ネブライザー 1 件
 - ・ パルスオキシメーター 2 件
 - ・ 特殊寝台 1 件

(3) 活動指標の推移

- ・ 日常生活用具の給付状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	116件	99件	133件	141件	141件
給付金額	222万円	203万円	233万円	270万円	270万円

自立支援協議会の運営

自立支援協議会は須高3市町村で平成19年8月に設立しました。毎月運営委員会、7つの部会を開催し、須高地域の障害福祉の底上げを図り、課題や社会資源の整備と活用を検討しています。行政、学校、保護者、障害福祉事業者等様々な人が参加し、情報共有やネットワークづくりの場となっています。

(1) 主な支出

- ・ 自立支援協議会運営のための負担金 15 万円

(2) 活動指標

- ・ 運営委員会、各専門部会 毎月開催
- ・ 研修会、講演会、勉強会、意見交換会、通所事業所説明会等の開催

相談支援事業・地域生活支援拠点整備事業

障害者総合支援法により須坂市、高山村と共同で相談支援事業の充実を目指しています。3市町村共同で須高地域総合支援センターを設置し、障がいのある人の権利や総合的なケアマネジメントの実現を目指しています。町や小布施町の相談窓口であるみすみ草や関係機関と連携を図り、生活上の相談から必要に応じ家庭訪問やケア会議を開催し、社会資源を活用した社会生活力を高めるための支援を続けています。

また、地域生活支援拠点整備事業として、緊急時の受入れ対応を事業所に委託するとともに、地域生活支援コーディネーターを須高地域総合支援センターに委託しました。

(1) 主な支出

- ・ 相談支援事業の委託 230 万円
- ・ 地域生活支援拠点整備事業の委託 15 万円
- ・ 地域生活支援コーディネーターの委託 53 万円

(2) 活動指標

- ・ 須高地域総合支援センター相談支援利用実人員 36 人
- ・ 須高地域総合支援センター相談支援延件数 810 件
(電話相談、訪問、来所相談、個別支援会議等)

手話通訳者などの派遣

聴覚障がい者のコミュニケーションを円滑にするため、手話通訳者・要約筆記奉仕員を派遣します。

(1) 主な支出

- ・ 手話通訳者の派遣 0 万円

(2) 活動指標の推移

- ・ 手話通訳派遣事業

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	1件	2件	0件	1件	0件
金額	0.4万円	0.6万円	0万円	1.6万円	0万円

- ・ 要約筆記奉仕員派遣事業

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	1件	0件	0件	0件	0件
金額	0.7万円	0万円	0万円	0万円	0万円

利用する方の立場にたったコミュニケーションの方法として、講演会や会議等で手話通訳や要約筆記奉仕員などを派遣する機会を増やしていく必要があると考えます。

地域活動支援センター(みすみ草)の管理運営

身体・知的・精神に障がいのある人の地域活動支援センター「みすみ草」を社会福祉法人夢工房福祉会に指定管理委託し、指定管理者が持つ豊かな福祉ノウハウを取り入れた運営を通じ、社会生活への適応性を高めるための作業訓練や生活指導を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 社会福祉法人夢工房福祉会への委託料 325 万円
- ・ 火災保険料 10 万円

(2) 活動指標

- ・ 実利用者数 30 人
- ・ 支援延件数(来所・電話相談等) 294 件

(3) 活動指標の推移

- ・ 利用者数と開所日の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	75	89	96	76	30
支援延件数(来所・電話相談等)	264	240	205	206	294

【重点】在宅生活の支援(福祉係)

予算事業名：在宅福祉サービス事業費

当初予算額 3,502,000 円 最終予算額 3,889,000 円 決算額 3,430,689 円

タイムケア事業

障がい者の介護者が一時的に家庭において介護ができない場合、事前に登録してある介護者が時間単位で介護を実施したときの利用料を負担しました。

(1) 主な支出

- ・ 社会福祉法人等への介護費用の支払い 153 万円

(2) 活動指標

- ・ タイムケア事業利用登録者実数 35 人
(家族などが一時的に家庭で介護できないときに、あらかじめ決められた時間内(300時間)で、施設や近隣等に在住する人に介護を委託することができます。)

(3) 活動指標の推移

- ・ タイムケアの利用状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人 数	21人	30人	31人	36人	35人
金 額	101万円	128万円	110万円	123万円	153万円

通所・通園等の援助

心身障がい児を持つ家庭への経済的支援のため、通所・通園にかかる交通費を援助します。令和元年度は申請がありませんでした。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・ 援助件数 0 件

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件 数	0件	0件	0件	0件	0件

金額	0万円	0万円	0万円	0万円	0万円
----	-----	-----	-----	-----	-----

重度心身障がい児福祉年金の支給

重度の心身障がい児に対して、障がいの程度に応じて福祉年金を支払いました。

- (1) 主な支出
- ・ 重度心身障がい児への福祉年金 24 万円
- (2) 活動指標
- ・ 給付人数 25 人
- (3) 活動指標の推移
- ・ 給付件数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人数	23人	22人	21人	25人	25人
金額	30万円	26万円	27万円	26万円	24万円

長野地区障がい者スポーツ大会への参加など

身体障がい者スポーツ大会へ負担金等を支払いました。

- (1) 主な支出
- ・ 長野地区障がい者スポーツ大会参加負担金 3 万円
 - ・ 食糧費等 0.3 万円
- (2) 活動指標
- ・ 長野地区障がい者スポーツ大会 15 人 参加 6月1日実施(長野運動公園)
 - ・ 長野県障がい者スポーツ大会 1 人 参加 9月8日実施(松本平広域公園)

身体障がい者の住宅整備への補助

身体に障がいがある方が自立した日常生活を営むことができるよう、また介護者の負担軽減のため住宅改修に対し補助を行いました。

- (1) 主な支出
- ・ 住宅整備への補助 0万円
- (2) 活動指標の推移
- 給付実績の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	1件	0件	0件	1件	0件
金額	63万円	0万円	0万円	63万円	0万円

身体障がい者の自動車改造への補助

身体に障がいがある方の社会活動への参加を支援するため、自動車改造に対する補助を行いました。

(限度額10万円)

- (1) 主な支出
- ・ 身体障害者用自動車改造への補助 10万円
- (2) 活動指標の推移

助成実績の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	0件	0件	1件	1件	1件
金額	0万円	0万円	3万円	10万円	10万円

障がい者希望の旅など

障がいのある人とそのご家族を対象にバスでの1泊2日の旅行を実施しました。
(町社会福祉協議会へ委託)

(1) 主な支出

- 委託料 (町社協へ) 128 万円

(2) 活動指標

- 5月21～22日 江戸東京博物館、両国国技館、スカイツリー、浅草
参加者22人 ボランティア5人

(3) 活動指標の推移

年度	主な行き先	参加者数(人)	
		対象者	ボランティア
27	横浜・横須賀方面、横浜中華街ほか	23	7
28	皇居、国会議事堂、築地	30	4
29	佐渡金山、トキの森公園、西三川ゴールドパーク	23	3
30	金沢 兼六園、21世紀美術館、近江町市場	20	5
元	江戸東京博物館、両国国技館、スカイツリー、浅草	22	5

軽度・中等度難聴児の補聴器購入費等への補助

補装具(補聴器)費支給制度の対象外となっている軽度・中等度の難聴児の聴力の向上、言語発達の支援のため、補聴器購入費用に対する補助を行いました。(平成29年度から)

また、補装具や排泄管理支援用具の給付を受けた際、基準額における利用者負担額について補助を行いました。

(1) 主な支出

- 軽度・中等度難聴児の補聴器購入費への補助 12 万円
- 補装具・排泄管理支援用具交付負担金援護金等 8 万円

(2) 活動指標

- 軽度・中等度難聴児の補聴器購入費への補助 1 件
- 補装具・排泄管理支援用具交付負担金援護金の支払い 5 件

助成実績の推移 (件数)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補聴器購入	1件	2件	1件
援護金	5件	7件	5件

6 健康福祉センター費 14,011,467 決算事項別明細書 P114～115

健康福祉センターの管理運営(地域包括支援センター)

予算事業名：健康福祉センター管理費

当初予算額 11,046,000 円 最終予算額 11,954,000 円 決算額 11,269,615 円

保健・福祉・医療のネットワークづくりの拠点としての役割に加え、ボランティア団体の会議や障がい者、高齢者の介護予防事業などの教室、研修会等さまざまな活動の場として管理運営を行いました。

(1) 主な支出

・ 燃料費	76 万円	・ 光熱水費	325 万円
・ 修繕料	114 万円	・ エレベーター保守管理委託料	78 万円
・ センター清掃関係経費	35 万円	・ 施設安全管理業務委託料	36 万円
・ 自動ドア保守点検委託料	8 万円	・ 冷暖房空調機器保守点検委託料	2 万円
・ 電気保安業務委託料	17 万円	・ 施設用地借上料	402 万円

(2) 活動指標

・ 健康福祉センター利用の状況	1,392 回	15,061 人
-----------------	---------	----------

(3) 活動指標の推移

・ 健康福祉センター利用者数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用人数	24,067	22,188	21,263	18,776	15,061

町、地域包括支援センターが実施する事業での利用、ボランティア登録団体等各種団体の自主活動、研修に利用されました。コロナウイルスの感染防止で3月の貸し出しを制限したことにより、貸し出し回数・利用者数の減少となっています。

千年樹の里まつりの開催（地域包括支援センター）

予算事業名：千年樹の里まつり事業費

当初予算額	309,000 円	最終予算額	309,000 円	決算額	279,202 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

町民の健康の増進や、地域住民と保健・福祉・医療のネットワークの構築を図り、「元気な人づくり」を進めるため、第19回千年樹の里まつりを開催しました。

(1) 主な支出

・ 出演者等謝礼	2 万円
・ 会場設営委託料	10 万円
・ イベントチラシ、ポスター等	10 万円
・ 消耗品ほか	5 万円

(2) 活動指標

・ 千年樹の里まつり

開催月日： 9月29日

会場： 千年樹の里周辺

参加ボランティア等 39 団体 約 323 人

頭と体の健康づくり体験コーナー 延約 195 人

スタンプラリー 246 人参加

アトラクション (和太鼓演奏、ハロウィン仮装コンテスト、健康体操ほか)

観客延約 300 人

社協ふれあい広場（模擬店等） 出店数 25 店

その他 新生病院祭・消防ふれあい広場との共催

天候にも恵まれ、盛大に開催できました。（台風災害の影響で反省会は中止）

ボランティア活動の支援（地域包括支援センター）

予算事業名：ボランティア活動推進事業費

当初予算額 900,000 円 最終予算額 2,463,000 円 決算額 2,462,650 円

ボランティアセンターとしての機能の充実を図り、地域住民の皆さんのボランティア活動を支援しました。また、台風19号により被害が発生した際には、災害ボランティアセンターを開設し、ボランティアの受け入れを行いました。

(1) 主な支出

- ・ ボランティア活動育成事業委託料 246 万円

(2) 活動指標

- ・ (台風19号) 災害ボランティアセンター人件費 20人分
- ・ ボランティア活動育成事業（社協委託）
ボランティア保険の助成 26 団体 449 人分 個人 11 人分
ボランティア団体への活動助成 4 団体
古布を切ろう 全11回 参加者延46人
買い物同行等のための車両運転者登録 21人(利用回数31回)

(3) 活動指標の推移

- ・ ボランティア登録団体数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録団体数	34団体	35団体	37団体	38団体	38団体
運転者登録	-	-	10人	15人	21人

7 老人福祉センター費 1,846,517 決算事項別明細書 P114~117

老人福祉センター(桃源荘)の管理運営（福祉係）

予算事業名：老人福祉センター管理費

当初予算額 1,920,000 円 最終予算額 1,920,000 円 決算額 1,846,517 円

高齢者の生きがいと健康づくりを推進する施設として、また、高齢者のさまざまな活動の場として管理運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 光熱水費 79 万円
- ・ 火災保険料 11 万円
- ・ 駐車場土地借上料（385.43㎡） 17 万円
- ・ 設備保守点検の委託 7 万円
- ・ 複写機使用料 1 万円
- ・ 電話等通信運搬費 5 万円
- ・ 修繕料 30 万円
- ・ 清掃業務の委託 15 万円

(2) 活動指標

- ・ 桃源荘利用状況
老人クラブ支部長会、各種クラブ活動 延利用者数 2,212 人
ミニデイサービス 延利用者数 2,029 人（登録者31人）
いきいきサロン 延利用者数 531 人（登録者17人）

(3) 活動指標の推移

- ・ 桃源荘利用者数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者延人数	4,646	5,326	4,707	4,732	4,772

※各年度とも、いきいきサロンを含む

8	介護予防支援事業費	5,950,470	決算事項別明細書	P116~117	
介護予防ケアプランの作成(地域包括支援センター)					
予算事業名：介護予防支援事業費					
当初予算額		6,124,000円	最終予算額	6,305,000円	
			決算額	5,950,470円	
<p>在宅介護支援センターが地域包括支援センターとして、要支援1又は2と認定された人及び事業対象者となった人の介護予防のケアプラン作成を行っています、その一部を居宅介護支援事業所に委託して実施しました。</p>					
(1) 主な支出					
		・ 居宅介護支援事業所への委託料	595万円		
(2) 活動指標					
		・ 介護予防支援事業 委託箇所数	8箇所		
<p>社会福祉協議会、パウル会、朝日ホームおんせん、グリーン在宅介護支援センター 豊洲ケアサービス、良風来、しらかば、ケアネット</p>					
		・ 事業対象者、要支援(1または2)認定者数 (令和2年3月31日現在)	163人		
		うち介護予防支援・介護予防ケアマネジメント数	120人		
		うち介護予防支援・介護予防ケアマネジメント委託件数	98人(件)		
<p>社会福祉協議会(33件)、パウル会(14件)、朝日ホームおんせん(13件) グリーンアルム福祉会(8件)、豊洲ケアサービス(8件) 良風来(5件)、しらかば(13件)、ケアネット(4件)</p>					
2	児童福祉費	384,051,762			
1	児童福祉総務費	26,927,040	決算事項別明細書	P116~117	
ながの子育て家庭優待パスポートの発行(福祉係)					
予算事業名：児童福祉総務費					
当初予算額		57,000円	最終予算額	57,000円	
			決算額	56,146円	
<p>長野県将来世代応援県民会議と市町村が協働して実施している「ながの子育て家庭優待パスポート」の有効期限が令和元年度末で満了となるため、令和5年度末まで有効の新パスポートを発行しました。</p>					
(1) 主な支出					
		・ 新パスポートの共同発注料	5万円	(通常用3,000枚、多子用600枚)	
(2) 活動指標					
<p>・ 18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある子供が一人以上いる785世帯に通常用を2枚、対象となる子供が三人以上いる169世帯に通常用を2枚、多子用を2枚交付しました。</p>					
保育園等の支給入園手続きなど(子ども支援係)					
予算事業名：児童福祉総務費					
当初予算額		12,003,000円	最終予算額	20,878,000円	
			決算額	20,307,279円	
<p>保活に対する保護者の苦労や負担感を減らすため、保護者の意向や児童の状況を丁寧に把握し、利用可能な保育園等の情報提供を行いました。</p>					
(1) 主な支出					
		・ 保育料システムの使用料	57万円	・ 保育士の募集に関する経費	27万円
		・ 消耗品、印刷製本ほか	28万円	・ 保育料無償化に伴うシステム改修	345万円
		・ 補助金、交付金の返納	68万円	・ 町外保育園への委託料	1,503万円

(2) 活動指標

・支給認定

	3号認定			2号認定			1号認定			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	
わかば保育園	3	14	15	27	21	36				116
つすみ保育園	5	20	20	17	33	17				112
認定こども園栗ガ丘幼稚園	0	4	11	27	17	26	17	21	21	144
町外保育園	2	3	2	1	2	3				13
町外認定こども園	0	0	1	0	2	0	1	0	2	6
合計	10	41	49	72	75	82	18	21	23	391

※3月の支給認定者数 ※町外からの受託児童は含まない

放課後児童クラブの運営（子ども支援係）

予算事業名：放課後児童クラブ事業費

当初予算額 7,146,000円 最終予算額 7,188,000円 決算額 6,563,615円

就労等により放課後留守になる家庭の児童を対象に、家庭に代わる適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図りました。

(1) 主な支出

・ 嘱託職員報酬	228万円	・ 臨時職員の賃金	351万円
・ 教材費など	15万円	・ 傷害保険料	32万円
・ その他の経費	3万円		

(2) 活動指標

- ・ 小布施放課後児童クラブ 登録人数 75人
受入時間 学校終了時～午後6時（延長時間 午後7時）
土曜日 午前8時30分～午後3時（延長時間 午前8時、午後7時）
学校休業日・長期休業日 午前8時30分～午後6時（延長時間 午前8時、午後7時）

(3) 成果指標

- ・ 保護者会を年2回開催し保護者の意見やニーズを伺い、運営方法等については、運営委員の皆さんと協議し、運営を行っています。また、必要に応じて個々の家庭との連携に努めています。発達障がいのある児童や配慮の必要な児童に対する支援の場、クールダウンの場であるアップルルームを有効に活用しています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録人数	64	58	58	83	75

2 児童措置費 172,613,746 決算事項別明細書 P116～119

児童手当の支給（福祉係）

予算事業名：児童手当給付事業費

当初予算額 175,602,000円 最終予算額 175,602,000円 決算額 172,613,746円

中学校卒業までのお子さんを養育する保護者に児童手当を支給しました。支給額は3歳未満が15,000円、3歳以上は10,000円（第3子以降15,000円）です。所得制限限度額以上の場合は、特例給付とし一律月額5,000円を支給しました。

【児童手当の変遷】

平成16年4月～ 制度改正により対象範囲が小学校就学前から3年生まで拡大
 ⇒平成18年4月～ 制度改正により対象範囲が小学校3年生から6年生まで拡大
 ⇒平成19年4月～ 3歳未満は支給額一律10,000円に拡大

平成22年3月まで 児童手当 3歳未満と小学生までの第3子以降が月額1万円、
 3歳から小学生の第1子・第2子までは月額5千円
 所得制限あり

↓ 平成22年4月～	子ども手当	0歳から中学生まで手当額一律13,000円 所得制限なし
↓ 平成23年10月～	子ども手当（特別措置法）	3歳未満と小学生までの第3子以降が月額1万5千円、3歳から小学生の第2子までと中学生は月額1万円 所得制限なし
↓ 平成24年4月～	児童手当	3歳未満と小学生までの第3子以降が月額1万5千円、3歳から小学生の第2子までと中学生は月額1万円 所得制限あり

(1) 主な支出

- ・ 児童手当の支払い 1億7,188 万円
- ・ 給付システムの委託料、使用料 43 万円

(2) 活動指標

- ・ 児童手当の支払い
支給額

子どもの年齢	手当月額
3歳未満	一律15,000円
3歳以上 小学校修了前	10,000円 (第3子以降は15,000円)
中学生	一律10,000円
所得限度額超過 (特例給付)	一律5,000円

区分	手当月額	延児童数	支出額	備考		
児童手当	0 ～ 3 歳 未 満	被用者※1	15,000 円	1,902 人	2,853 万円	3歳未満の子どもを養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者（所得制限未満）
		非被用者※2	15,000 円	379 人	569 万円	3歳未満の子どもを養育している自営業者などの国民年金加入者（所得制限未満）
		計		2,281 人	3,422 万円	
	3 歳 以 上 小 学 校 修 了 前	被用者※3	10,000 円	6,758 人	6,758 万円	3歳から小学校修了前の子どもを養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者（所得制限未満）
		15,000 円	1,028 人	1,542 万円		
		計	7,786 人	8,300 万円		
		非被用者※4	10,000 円	1,438 人	1,438 万円	3歳から小学校修了前の子どもを養育している自営業者などの国民年金加入者（所得制限未満）
		15,000 円	257 人	386 万円		
		計	1,695 人	1,824 万円		
	※5 中 学 校 修 了 前 後	10,000 円	3,307 人	3,307 万円	中学校修了前の児童を養育している者（所得制限未満）	
	0 ～ 3 歳 被 用 者	5,000 円	59 人	29 万円	3歳未満の子どもを養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者（所得制限超過）	

特例給付※6	3歳未満 非被用者	5,000円	8人	4万円	3歳未満の子どもを養育している自営業者などの国民年金加入者（所得制限超過）
	3歳以上小学校修了前 被用者	5,000円	329人	164万円	3歳から小学校修了前の子どもを養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者（所得制限超過）
	非被用者	5,000円	64人	32万円	3歳から小学校修了前の子どもを養育している自営業者などの国民年金加入者（所得制限超過）
	中小小学校修了前後	5,000円	213人	106万円	中学校修了前の児童を養育している者（所得制限超過）
合計			15,742人	17,188万円	

・ 上記区分の負担割合（※1～6は上記区分に対応）

被用者※1	事業主	国	県	町	非被用者※2	非被用者※3	非被用者※4	中小小学校修了前後※5	特例給付※6	国	県	町
		7/15	16/45	4/45						4/45	2/3	1/6

(3) 活動指標の推移

・ 支給額、支給件数の推移

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	児童手当		児童手当		児童手当		児童手当		児童手当	
	延児童数(人)	金額(万円)								
3歳未満	2,392	3,588	2,421	3,631	2,309	3,464	2,190	3,284	2,281	3,422
被用者	1,877	2,815	1,893	2,839	1,846	2,769	1,803	2,704	1,902	2,853
非被用者	515	773	528	792	463	695	387	580	379	569
3歳以上小学校修了前	9,905	10,630	9,593	10,269	9,515	10,171	9,591	10,244	9,481	10,124
被用者	7,678	8,203	7,561	8,050	7,664	8,156	7,764	8,272	7,786	8,300
非被用者	2,227	2,427	2,032	2,219	1,851	2,015	1,827	1,972	1,695	1,824
中学生	3,106	3,106	3,093	3,093	3,054	3,054	3,259	3,259	3,307	3,307
被用者	2,318	2,318	2,324	2,324	2,307	2,307	2,538	2,538	2,477	2,477
非被用者	788	788	769	769	747	747	721	721	830	830
特例給付	558	279	656	328	667	334	677	336	673	335

3 保育園費 169,039,367 決算事項別明細書 P118～119

保育園の管理運営・地域と連携した食育の推進・保育の質の向上（子ども支援係）

予算事業名：保育園管理費

当初予算額 171,849,000円 最終予算額 168,524,000円 決算額 153,563,311円

仕事などにより昼間家庭で保育できない保護者に代わり、0歳（生後8カ月）から5歳までの乳幼児を預かり保育しました。多様化する保育ニーズに応えながら、家庭との連携を密にすると共に、地域の方々とふれあいを大切にし、心身を育む保育園運営を行いました。

(1) 主な支出の内訳

・ 職員の人件費	1億2,309万円	・ 燃料費	119万円
・ 嘱託医師報償費および講師謝礼	66万円	・ コピー機等の使用料	117万円
・ 給食材料費	1,570万円	・ 保守点検等の委託料	103万円
・ 保育材料費	107万円	・ 備品購入費	53万円
・ 通信費、検査手数料等	120万円	・ 園舎等の修繕料	122万円
・ 光熱水費	486万円	・ その他の経費	185万円

(2) 活動指標

・主な行事（園児）

入・卒園式、春・秋の遠足、端午の節句、演劇教室、プール活動、七夕まつり、運動会、やきいも大会、発表会、もちつき大会、クリスマス会、おみせやさんごっこ、まめまき、ひなまつり会

・その他

保育参観・懇談会（年2回）、プール参観、交通安全教室（年2回）、健康診断、歯科保健講話、巡回相談、エンゼル交流、幼・保・小連携交流教育、高齢者福祉施設訪問、避難訓練（年12回）、運動あそび

・保育園での食育の推進

○体験 ・一品お手伝い ・野菜の栽培 ・収穫体験 ・食材展示 ・当番活動
○食習慣、マナー ・給食交流（異年齢児、給食）・媒体による指導 ・箸の持ち方
○家庭、地域との関連・サンプルケース展示 ・給食試食会・調理体験（もちつき・ひんのべ大会）

◎ 様々な角度から子どもたちの興味関心に即した保育を行い、しっかりとした体と豊かな心を育む保育を実施しました。また、野菜作りや調理体験などを通して、食物の大切さや食文化を学びました。

・保育園の入所児童数

(単位：人)

月	わかば保育園 定員 140人			つすみ保育園 定員120人			町外保育園等			合 計		
	3歳未満	3歳以上	計	3歳未満	3歳以上	計	3歳未満	3歳以上	計	3歳未満	3歳以上	計
4月	30	85	115	41	67	108	4	9	13	75	161	236
5月	32	85	117	41	67	108	4	10	14	77	162	239
6月	31	85	116	43	67	110	4	10	14	78	162	240
7月	31	85	116	43	67	110	4	10	14	78	162	240
8月	30	85	115	43	67	110	5	10	15	78	162	240
9月	31	85	116	43	67	110	6	11	17	80	163	243
10月	32	85	117	45	68	113	5	11	16	82	164	246
11月	32	84	116	46	69	115	5	12	17	83	165	248
12月	32	84	116	46	69	115	7	12	19	85	165	250
1月	33	85	118	47	68	115	7	12	19	87	165	252
2月	32	86	118	47	68	115	7	11	18	86	165	251
3月	32	86	118	46	68	114	8	11	19	86	165	251
平均	31.5	85.0	116.5	44.3	67.7	111.9	5.5	10.8	16.3	81.3	163.4	244.7

※町立保育園への町外からの受託児童を含む。

・クラス数及び職員数

① わかば保育園

	クラス数	保育士数	(園児数： 保育士数)
5歳	2	正2	30:1
4歳	1	正1	30:1
3歳	2	正1・嘱1・バ2	20:1
2歳	1	正1・嘱1・臨1	6:1

② つすみ保育園

	クラス数	保育士数	(園児数： 保育士数)
5歳	1	正1	30:1
4歳	2	正1・嘱1	30:1
3歳	1	正1・バ1 (加)	20:1
2歳	1	正2・嘱1・臨1	6:1

1・0歳	1	嘱1・臨1・パ2	4:1
			3:1
計	7	14	
給食員 嘱1・臨1・パート1 事務員 臨1 延長 パート3 代1 園長 正1 育児休暇 正1			

1歳	1	正1・嘱2・臨1	4:1
0・1歳	1	嘱1・臨1・代1	3:1
計	7	15+(代)1	
給食員 正1・臨1・パート1 延長 パート4 園長 正1			

- 生活の中で体幹を鍛える運動あそびを取り入れ、正しい姿勢・立ち方など意識的に実践し、活動の中で様々な体の動きを楽しみました。
- 子どもたちが家庭で経験することが少なくなった伝統的な行事を取り入れたり、家庭や地域の皆さんとの連携を大切にしたい運営を行いました。
- 地域の高齢者福祉施設へ出向き、ふれあいを通してお年寄りに親しみをもち、思いやりの心を学びました。

幼稚園・保育園の食育 ～くりんキッチン～ (子ども支援係)

予算事業名：保育園管理費

当初予算額 200,000 円 最終予算額 200,000 円 決算額 198,777 円

子どもたちだけで料理を作り上げる体験を通して、自分に自信を持つことや郷土の食文化と触れ合うことを目的に、料理体験保育を行いました。幼稚園・保育園の3歳児から5歳児を対象に計画し、5歳児2回、4歳児1回開催しました。3歳児は台風災害により中止になりました。

(1) 主な支出

・食材費等 19万円

(2) 活動指標

- 料理を作るという五感体験を通して、小さな達成感や自信を積み重ねることができました。また、食の知識・技術の習得はもちろん、協力し合うこと、約束を守ること、感謝の気持ちを持つことなど、人が社会の中で生きていく上で大切な力を学んでいます。
- ・4歳児 1回(6月) ・5歳児 2回(5,6月)

特別保育事業(長時間・障がい児・一時的・休日)(子ども支援係)

予算事業名：特別保育事業費

当初予算額 12,913,000 円 最終予算額 12,958,000 円 決算額 9,307,241 円

働く保護者の子育てを支援するため、早朝・夕刻の延長保育を行いました。また、保育園に入園していない乳幼児(生後8カ月以上)で、一時的・断続的に家庭で育児が困難となった場合には、一時的保育、仕事や冠婚葬祭等で休日に育児が困難となった場合は休日保育として、エンゼルランドセンターの1室で保育を行いました。

(1) 主な支出の内訳

・職員の人件費 685万円

(2) 活動指標

・延長保育

<延長保育時間 午前7時30分～午後7時>

(通常保育は、午前8時30分～午後4時30分)

① わかば保育園 (年間平均値) (単位：人)

利用者数	3歳未満	3歳以上	計
月契約	15	48	63
日利用	3	8	11

② つすみ保育園 (年間平均値) (単位：人)

利用者数	3歳未満	3歳以上	計
月契約	31	49	80
日利用	2	5	7

- ・ 障がい児保育
加配保育士の配置
・ つすみ保育園 1名（3歳児：1名）

- ・ 一時的保育

利用者数（於：わかば保育園）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3歳未満	0	7	37	30	18	19	24	28	21	15	25	37	261
3歳以上	4	1	4	4	3	4	0	0	0	0	0	2	22
延人数	4	8	41	34	21	23	24	28	21	15	25	39	283

- ・ 休日保育

利用者数（於：エンゼルランドセンター）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数	6	9	5	5	5	7	6	6	4	5	6	6	70
利用延べ人数	21	39	15	13	13	20	16	22	11	13	18	19	220

(3) 活動指標の推移

- ・ 延長保育・一時的保育・休日保育利用者数の推移

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
延長保育 (年間平均値)	月契約	150	139	124	127	143
	日利用	36	33	18	14	18
一時保育□年間利用者数)		165	73	107	494	283
休日保育□年間延べ利用者数)		278	367	279	222	220

病後児保育（子ども支援係）

予算事業名：病後児保育事業費

当初予算額 308,000 円 最終予算額 308,000 円 決算額 0 円

保護者の子育てと就労の両立を支援するため、子どもが病気の回復期にあるが、まだ集団生活が困難な場合に、病後児保育施設（保健センター）で一時的に子どもを預かる病後児保育を行いました。利用者はいませんでした。

(1) 主な支出

- ・ 病後児保育委託料 0 万円

(2) 活動指標

- ・ 保育実施日数 0日
- ・ 延べ利用者数 0人

保育園の環境整備（子ども支援係）

予算事業名：保育園環境整備事業費

当初予算額 5,688,000 円 最終予算額 6,103,000 円 決算額 5,970,038 円

老朽化している園舎や設備等の修繕工事を行いました。

(1) 主な支出

- ・ わかば保育園の園舎、設備等の修繕工事費 247 万円
- ・ つすみ保育園の園舎、設備等の修繕工事費 351 万円

(2) 活動指標

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> わかば保育園 園児用トイレ小便器洗浄管修繕工事 園児用トイレブース修繕工事 雨漏り修繕工事 ヒーター入れ替え工事 エアコン入れ替え工事 | <ul style="list-style-type: none"> つすみ保育園 給食室空調設備取り換え工事 給食室職員トイレ洋式化工事 園舎屋根塗装工事 プール周り柵塗装工事 ヒーター入れ替え工事 |
|--|--|

4 エンゼルランドセンター事業費 15,404,503 決算事項別明細書 P118~121

エンゼルランドセンターの管理運営(子ども支援係)

予算事業名：エンゼルランドセンター管理費

当初予算額 16,839,000 円 最終予算額 16,961,000 円 決算額 15,404,503 円

未就園児を対象とする就学前の親子が、子ども達同士や親同士のふれあいを通じて、交流の輪を広げ楽しく子育てができるように“子育て”のお手伝いをしてきました。

さまざまな遊びや催しの企画を行い、保育園・幼稚園の在園児との交流や、子育ての相談(ほのぼのカンファレンス)や、親子クッキングを通しての食育など、情報提供や相談等、一緒に考え子育てをサポートしてきました。また、地域においての「あそびの広場」を開催したり、「手作りおもちゃの日」にボランティアの方々に援助に来てもらったり、食生活改善推進員の方々に「手作りおやつ」の提供をしてもらうなど、地域の方との交流も行いました。

(1) 主な支出

・ 職員の人件費	1,166 万円	・ 光熱水費	73 万円
・ 各種講座の講師謝礼	14 万円	・ コピー機等の使用料	19 万円
・ 保育材料費	24 万円	・ 環境整備費	78 万円
・ 通信費、検査手数料等	34 万円	・ その他の経費	30 万円

(2) 活動指標

・ 事業の内容

施設利用時間 毎日 午前9時30分～午後4時30分 (閉館日：12月29日～翌年1月3日)

プール開放 7月～8月 午前9:30～午後1:00

施設利用料…無料 (企画内容により参加費の徴収があります)

あそびの広場 0～2歳児年齢別の企画あそび(各年層月1～2回) 手作りおもちゃの日(毎月1回)

おはなしの日(毎月2回) 在園児との交流(年17回)

地域での企画開催 あそびの広場(年5回)

つどい事業 お花見会(1回) 講演会(1回) 各種講習会(3回) 演劇教室(1回)

避難訓練(2回) クリスマスコンサート(1回) 地域でのあそびの広場(1回)

その他(3回)

※各種講習会1回(ケーキ作り)と演劇教室は新型コロナ禍のため中止

相談事業 ほのぼのカンファレンス・就労相談(隔月開催年間6回)

情報提供事業 センターだより(毎月1回発行) ワンポイントアドバイス(年間9回)

ホームページ(毎月1回更新)

・ エンゼルランドセンター事業における食育

① エンゼルあそびの広場

- ・ 各年齢に合わせた食事のワンポイントアドバイス・親子クッキング・離乳食作り
- ・ 各年齢に応じた手作りおやつ提供(調理は食生活改善推進協議会に依頼)

② やしろうま作り講習会

- ・ 参加者数16組

・エンゼルランドセンター利用者数 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	1,099	1,332	1,710	1,854	1,788	1,522	1,206	1,415	1,167	1,427	1,709	0	16,229
開設日	26	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	0	324

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い3月は臨時休館

(3) 活動指標の推移

・エンゼルランドセンターの利用状況の推移 (単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	11,595	20,012	24,501	22,344	18,582	16,229
開設延日数	350	312	359	359	355	323

- ・様々な企画を楽しみに来館し、お母さん同士・子ども同士の関わりが深まり、お互いに誘い合ってセンターに集まっていました。特に、毎週月曜日に行われる「体操・手遊び」を楽しみにし、15分間ほどの企画ですが大勢の方々々が10:30を目指して来園していました。
- ・近隣の施設では、おむつをしている乳幼児はプールに入れないため、センターのプールの利用は好評で、大勢の利用者がいました。

5 子育て支援費 67,106 決算事項別明細書 P120~121

ファミリーサポートセンターの運営(子ども支援係)

予算事業名：ファミリーサポートセンター事業費

当初予算額 147,000 円 最終予算額 78,000 円 決算額 67,106 円

育児と仕事・社会活動等を両立して、子育てがしやすい環境をつくるために、“子育ての手助けをしてほしい人”と“子育ての手助けをしたい人”が会員として登録し、有償で相互に助けあうファミリーサポートセンター(子育ての相互援助活動)を運営しました。

(1) 主な支出

- ・研修会の講師謝礼 1万円
- ・損害保険料 5万円

(2) 活動指標

- ・18年6月事業開始(H22からエンゼルランドセンターへ事務局移転)
- ・サービス内容 地域住民による子どもの一時預かり、送迎等
- ・対象者 0~概ね12歳までの児童
- ・報酬 500円~700円/h(子どもの年齢、援助実施日時により単価に差あり)
- ・会員数
 - 1) 依頼会員(援助依頼者であって0歳から概ね12歳までの児童を現に養育している者)・・・53人
 - 2) 提供会員(援助提供者であって原則として自宅において援助を提供できる者)・・・10人
 - 3) 両方会員(依頼会員、援助会員ともに該当する者)・・・12人

- ・利用件数 0件
- ・利用日数 0日

(3) 活動指標の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
依頼会員	45	49	49	50	53	53

提供会員	12	12	12	12	10	10
両方会員	12	13	12	12	12	12
利用件数	3	2	1	1	2	0

・講習会、研修会などはエンゼルランド事業と併用して案内を出して行いました。

3	災害救助費	28,231,770		
1	災害救助費	28,231,770	決算事項別明細書	P120~123

住宅の応急修理(都市計画係)

予算事業名：住宅応急修理事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 17,850,000 円 決算額 11,509,495 円

台風19号災害により被災した半壊以上の住宅の応急修理(限度額595,000円)を国庫補助で行いました。

(1) 主な支出

- ・住宅応急修理事業 1,150万円

(2) 活動指標

- ・住宅応急修理の実施状況 (単位：円)

損壊程度	件数	修理内容	金額
全壊	1	壁、床、給湯器	595,000
大規模半壊	3	壁、床、給湯器等	1,538,875
半壊	18	壁、床、畳、給湯器等	9,375,620
計	22		11,509,495

※574万円は、令和2年度に繰り越しました。

災害援助(総務係)

予算事業名：災害援助費

当初予算額 0 円 最終予算額 15,440,000 円 決算額 13,299,009 円

台風19号災害の被災者のため、各種支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・台風19号災害関係職員手当 607万円
- ・災害アンケート集計臨時職員賃金 15万円
- ・仮設住宅生活必需品(家電等)の購入 69万円
- ・災害被災者受入住宅改修 27万円
- ・町報臨時号 11万円
- ・毛布クリーニング代 76万円
- ・入浴施設利用料 142万円
- ・災害派遣職員負担金 168万円
- ・災害派遣職員旅費 29万円

(2) 活動指標

- ・被災し住宅に戻れない被災者の為に受入住宅の改修や家電等を購入
- ・避難所で活用した毛布のクリーニング
- ・温泉の入浴券を被災者に配布 10月18日～3月末(穴観音の湯1,161枚、あけびの湯1,589枚)

生活必需品の給付(総務係)

予算事業名：生活必需品給付事業費

当初予算額	0 円	最終予算額	1,083,000 円	決算額	923,266 円
-------	-----	-------	-------------	-----	-----------

台風19号災害により床上浸水以上の被災者へ生活必需品の給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・生活必需品の給付 32件（災害救助法） 86万円

(2) 活動指標

- ・床上浸水以上の被災者へ生活必需品の給付（2月17日）

災害援護資金の貸付(福祉係)

予算事業名：災害援護資金貸付事業費

当初予算額	0 円	最終予算額	2,500,000 円	決算額	2,500,000 円
-------	-----	-------	-------------	-----	-------------

台風19号災害により負傷又は住居、家財の損害を受けた方に対して、災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、生活の再建に必要な資金の貸し付けを行いました。

(1) 主な支出

- ・住居の全壊による 250 万円 1人

(2) 活動指標

- ・被災者へ災害援護資金の貸付(2月6日)

義援金(総務係)

予算事業名：災害援助費

当初予算額	1,000 円	最終予算額	1,000 円	決算額	0 円
-------	---------	-------	---------	-----	-----

他の自治体が被災した際の備え。

(1) 主な支出

- ・ なし

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																															
4			衛生費	261,756,629																																
	1		保健衛生費	90,495,917																																
		1	保健衛生総務費	14,627,291	決算事項別明細書	P122～123																														
【重点】保健福祉委員会活動の支援（健康係）																																				
予算事業名：保健衛生総務費																																				
当初予算額 850,000 円 最終予算額 850,000 円 決算額 850,000 円																																				
<p>「自分の健康は自分でつくり守る」を活動目標に、学習会を通し生活習慣病予防や認知症予防などについて学び家庭や地域の健康づくりを推進している保健福祉委員会の活動を支援しました。</p>																																				
(1) 主な支出																																				
<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉委員会への活動交付金 85 万円 																																				
(2) 活動指標																																				
<p>地域の健康づくりの担い手として健康づくり学習会へ参加しました。また自ら学習会を企画し、家族や地域に対して知識や技術の伝達を図りました。</p>																																				
<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉委員会の活動内容 結核検診の受付業務、地区毎に健康の学習会等の開催 会議（総会、反省会、役員会、理事連絡員会等）の開催 須高分会役員会の出席(3回) ほか 主な事業内容 〈全体研修〉 																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総会・記念講演</td> <td>公民館講堂</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>学習会①「生活習慣病予防・健康体操」</td> <td>公民館講堂</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>保健福祉委員会須高分会研修会</td> <td>高山村総合福祉センター</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>保健福祉委員会研究大会</td> <td>ホクト文化ホール</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>学習会②町内施設めぐりウォーキング</td> <td>町外施設</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>学習会③体調改善運動</td> <td>健康福祉センター</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>学習会④食の学習会</td> <td>健康福祉センター</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>学習会⑤認知症予防について</td> <td>健康福祉センター</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>反省会・健康の学習会</td> <td>公民館講堂</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>							事業名	実施場所	参加者数	総会・記念講演	公民館講堂	62人	学習会①「生活習慣病予防・健康体操」	公民館講堂	56人	保健福祉委員会須高分会研修会	高山村総合福祉センター	43人	保健福祉委員会研究大会	ホクト文化ホール	中止	学習会②町内施設めぐりウォーキング	町外施設	34人	学習会③体調改善運動	健康福祉センター	33人	学習会④食の学習会	健康福祉センター	35人	学習会⑤認知症予防について	健康福祉センター	32人	反省会・健康の学習会	公民館講堂	中止
事業名	実施場所	参加者数																																		
総会・記念講演	公民館講堂	62人																																		
学習会①「生活習慣病予防・健康体操」	公民館講堂	56人																																		
保健福祉委員会須高分会研修会	高山村総合福祉センター	43人																																		
保健福祉委員会研究大会	ホクト文化ホール	中止																																		
学習会②町内施設めぐりウォーキング	町外施設	34人																																		
学習会③体調改善運動	健康福祉センター	33人																																		
学習会④食の学習会	健康福祉センター	35人																																		
学習会⑤認知症予防について	健康福祉センター	32人																																		
反省会・健康の学習会	公民館講堂	中止																																		
〈委員による学習会〉																																				
各自治会又はコミュニティ毎に1年に1回実施（今年度は1年目）。																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室等名</th> <th>内容など</th> <th>場 所</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区学習会 (各自治会又はコミュニティ毎に開催)</td> <td>生活習慣病予防・ロコモ予防ほか</td> <td>各自治会公会堂</td> <td>11回</td> <td>延べ360人</td> </tr> </tbody> </table>							教室等名	内容など	場 所	実施回数	参加者数	地区学習会 (各自治会又はコミュニティ毎に開催)	生活習慣病予防・ロコモ予防ほか	各自治会公会堂	11回	延べ360人																				
教室等名	内容など	場 所	実施回数	参加者数																																
地区学習会 (各自治会又はコミュニティ毎に開催)	生活習慣病予防・ロコモ予防ほか	各自治会公会堂	11回	延べ360人																																
健診・医療体制の整備（健康係）																																				
予算事業名：保健衛生総務費																																				
当初予算額 3,675,000 円 最終予算額 4,084,000 円 決算額 3,712,832 円																																				
<p>地域住民が安心して日常生活を送れるよう、休日・夜間等緊急時医療体制の整備や精神保健福祉の充実など、医療・保健衛生環境の向上を推進するため、各関係機関が行う事業に参加しました。また、町内医療機関の先生方による保健予防連絡会を随時開催し、町保健予防事業や健康づくりに関する施策等に対し、専門的見地からの意見や提言などをいただきました。</p>																																				
(1) 主な支出																																				
<ul style="list-style-type: none"> 臨時職員賃金 179 万円 																																				

・ 須高行政事務組合負担金	108 万円
・ 須高包括医療推進協議会負担金	15 万円
・ 須高精神保健福祉連絡協議会負担金	10 万円
・ 須高食品衛生協会交付金	1 万円
・ 長野精神保健福祉協議会負担金	2 万円
・ 病院群輪番制病院運営事業負担金	53 万円

(2) 活動指標

- ・ 夜間・休日等における緊急医療体制の確保
 須高休日緊急診療所事業…第1次緊急医療（軽症患者の初期診療）体制を整備
 病院群輪番制病院運営事業…第2次緊急医療（手術・入院治療を必要）体制を整備
- ・ 地域医療の向上
 地域包括医療協議会…医師、歯科医師、薬剤師による健康管理体制を整備
 学校保健事業、健康教育等の充実、手洗いチェッカーの貸出し
- ・ 精神保健に関する知識の普及、地域精神保健福祉の向上、関係団体の育成・支援
- ・ 在宅医療の推進
 須高地域医療福祉推進協議会…須高在宅ネットワークの整備

(3) 活動指標の推移

- ・ 須高休日緊急診療所

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開所日数	72日	72日	72日	73日	74日
受診者数	2,254人	2,145人	2,218人	1,879人	1,860人
内小布施分	202人	198人	196人	147人	184人

※ 地域住民の緊急医療を確保するため、平成18年度より須高休日緊急診療所を県立信州医療センター内に移し、須高医師会、県立信州医療センター、須高行政事務組合の三者による共同事業として須高休日緊急診療室を開設し、緊急患者等の診療を行いました。

- ・ 病院群輪番制病院運営事業（小布施町利用者数）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
県立信州医療センター	71人	60人	87人	79人	90人
長野市民病院	45人	33人	40人	59人	48人
長野中央病院	6人	3人	4人	4人	8人
長野赤十字病院	20人	15人	14人	12人	14人
篠ノ井総合病院	0人	0人	1人	1人	3人
松代病院	2人	3人	2人	0人	0人
千曲中央病院	0人	0人	0人	0人	0人
総受診者数	12,326人	11,386人	10,436人	10,726人	10,529人

町民の皆さんが夜間や休日など緊急医療が必要となったときに、適切な医療が受けられるよう、長野医療圏域の二次救急医療体制を確保するため、医療機関へ補助を行っています。

保健センターの維持管理（健康係）

予算事業名：保健センター管理費

当初予算額 154,000 円 最終予算額 174,000 円 決算額 160,676 円

両親学級や各種がん検診、健康相談事業など、町民の皆さんの健康管理の拠点として保健センターを運営しました。

(1) 主な支出

・ 火災保険料	2 万円
・ 自動ドア保守点検	7 万円
・ 調理室包丁等修繕	1 万円
・ 救護用品等	5 万円
・ 計量器検定料	1 万円

(2) 活動指標（保健センター利用事業）

・ 母子保健事業		
すこやか相談	両親学級	
・ 成人保健事業		
胸部レントゲン（結核予防）	胃検診	大腸がん検診
乳房検診（超音波検査）	健康相談	保健指導

【重点】健康と交流による新たなまちづくり（健康係）

予算事業名：健康と交流事業費

当初予算額 3,753,000 円 最終予算額 3,753,000 円 決算額 582,640 円

ウォーキングによる健康づくりを推進するため、ウォーキング健康教室と晩秋の散策ウォークを実施しました。

(1) 主な支出

・ パワーウォークによるまちづくり推進指導業務謝礼	10 万円
・ ウォーキング健康教室指導業務委託料	47 万円

(2) 活動指標

・ ウォーキング健康教室開催（9回 参加者延104人）
・ 晩秋の農村散策ウォーク（11月10日実施 参加者114人）

ひきこもり支援等心のサポート（健康係）

予算事業名：心の健康づくり推進事業費

当初予算額 3,011,000 円 最終予算額 3,020,000 円 決算額 2,922,352 円

自殺対策として、経済的・社会的なさまざまな悩みを抱えている方に対する相談支援に取り組みました。毎週木・金曜日に臨床心理士による心の健康相談を行い、必要な方には継続的に支援を行っています。

また、いのちを守るネットワーク推進計画に基づき、須高地域総合相談会、中学校におけるSOSの出し方研修会を開催しました。

(1) 主な支出

・ 相談員賃金	259 万円
・ ひきこもり相談所通信料	11 万円
・ 講師謝礼	15 万円
・ 自殺対策啓発リーフレット代等	7 万円

(2) 活動指標

- 心の健康づくり相談等
相談日時：毎週木・金曜日 午前10時～午後4時
相談件数：対面相談延197人 電話相談59人 支援会議その他同行支援等92件
- 小布施中学校SOSの出し方研修会等
SOSの出し方研修会 小布施中学校2・3年生 7月9日 213人
2年生99人、3年生114人
- 須高3市町村共催「こころ・法律・仕事のなんでも相談会」
8月1日 須坂市シルキーホール
相談者 町3人（全体26人）

職員人件費（総務係）

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 6,664,000 円 最終予算額 6,960,000 円 決算額 6,398,791 円

(1) 主な支出

- 職員人件費 639 万円

2 予防費 64,416,867 決算事項別明細書 P122～125

お母さんになるあなたへ（母子健康手帳の交付など）（健康係）

予算事業名：母子健康手帳交付費

当初予算額 54,000 円 最終予算額 54,000 円 決算額 48,772 円

お母さんと赤ちゃんの健康を守るため、妊娠から出産における健康記録や、乳幼児期の成長、健康診断・各種予防接種受診等の記録として、妊娠届の提出時に母子手帳を交付しました。

(1) 主な支出

- 母子手帳、カバー 4 万円

(2) 活動指標

- 母子手帳交付対象者 74 人

お母さんと子どもの健康診査（健康係）

予算事業名：妊婦・乳児一般健康診査費

当初予算額 9,118,000 円 最終予算額 9,919,000 円 決算額 9,785,835 円

安心して子どもを産み育てる環境づくりとして、妊婦に対し妊娠期間における健康診査の補助を14回、産後の産婦健診への補助を2回、乳児に対する健康診査の補助を1回行いました。

(1) 主な支出

- 妊婦、産婦、乳児健康診査委託料 905 万円
- 県外出産妊婦健康診査料償還払い 8 万円
- 母子保健情報連携システム改修委託料 60 万円

(2) 活動指標の推移

検診等名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
妊婦一般健康診査 延受診者数（人）	1,394	1,442	1,164	1,454	1,556

検診等名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
乳児一般健康診査 延受診者数（人）	44	41	51	29	37

検診等名	令和元年度
産婦一般健康診査 延受診者数(人)	105

【重点】乳幼児健康診査の実施（健康係）

予算事業名：乳幼児健康診査費

当初予算額 2,208,000 円 最終予算額 2,208,000 円 決算額 1,916,324 円

乳幼児を対象に、疾病・障害等の早期発見、早期対応を図り健全育成を支援するため各種健康診査を行いました。また、保護者の育児や栄養、歯科に関する相談を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 謝金：医師、歯科医師、視能訓練士 64 万円
- ・ 賃金：看護師、歯科衛生士、保健師、栄養士、臨床検査技師等 100 万円
- ・ 食材等各種材料 19 万円

(2) 活動指標

事業名	検診等名	実施回数	場 所
健康診査	3・4か月児健康診査	6	健康福祉センター
	10・11か月児健康診査	6	健康福祉センター
	1歳6か月児健康診査	5	健康福祉センター
	3歳児健康診査	5	健康福祉センター
子育て教室	こっこ塾（6・7か月児）	6	健康福祉センター
	げんきっこ塾（2歳児）	4	健康福祉センター

(3) 活動指標の推移

- ・ 健康診査の指導内容

発育・発達、離乳食・栄養指導、口腔衛生、内科・歯科診察結果についての説明や受診に関すること。

健診等名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)
3・4か月児健康診査	69	97.0	61	97.0	67	97.1	62	96.9
9・10か月児健康診査	70	96.0	72	97.0	55	87.1	71	88.8
1歳6か月児健康診査	57	90.0	73	96.0	75	92.6	70	92.1
3歳児健康診査	81	95.0	79	91.9	79	94.0	84	97.7
こっこ塾（6・7か月）	63	93.0	65	89.0	58	92.1	66	90.4
げんきっこ塾（2歳）	52	91.0	67	87.0	81	88.9	61	93.8

両親学級の開催（健康係）

予算事業名：両親学級事業費

当初予算額 16,000 円 最終予算額 16,000 円 決算額 1,628 円

妊婦さんとその家族を対象に、一緒に妊娠・出産・育児について学びました。また、沐浴やお父さんの妊婦体験などを通して育児に関心を持ち、参加者同士の交流が図れるよう開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 両親学級食糧費ほか 0.1 万円

- (2) 活動指標
参加者数 10組 17人

【重点】乳幼児相談事業の実施（健康係）

予算事業名：乳幼児相談事業費

当初予算額 96,000 円 最終予算額 96,000 円 決算額 0 円

毎月1回、保健師・栄養士が乳幼児の身体計測、発育・発達相談、離乳食等各種相談を行ったほか、言語聴覚士・臨床心理士等による相談を行いました。

- (1) 主な支出 なし
- (2) 活動指標
・ 乳幼児健康相談 年11回

- (3) 活動指標の推移 (単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
乳幼児健康相談	272	329	427	381	263

妊婦訪問・赤ちゃん訪問（健康係）

予算事業名：ゼロ予算

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

母子ともに健やかな出産と発育を図るため、妊娠期及び出産後に保健師が家庭訪問を行いました。

- (1) 主な支出 なし
- (2) 活動指標
・ 赤ちゃん訪問数 64 人

不妊治療に対する補助（健康係）

予算事業名：不妊治療支援事業費

当初予算額 300,000 円 最終予算額 300,000 円 決算額 298,387 円

妊娠を望んでいる夫婦に対し、経済的な負担の軽減を図り、適切な治療が受けられることを目的として、不妊治療を受けている夫婦の治療費について一部を助成しました。

- (1) 主な支出
・ 不妊治療費補助金 29 万円
- (2) 活動指標
・ 助成実施 6 件

- (3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補助件数	5件	6件	3件	6件	6件
補助額	31万円	33万円	23万円	37万円	29万円

【重点】健康づくりの啓発・訪問相談事業、小児生活習慣病予防教室、健康増進・介護予防訪問相談事業（健康係）

予算事業名：健康づくり啓発・訪問相談事業費

当初予算額 269,000 円 最終予算額 269,000 円 決算額 239,296 円

健康診査の結果に基づき、家庭訪問等による保健指導などきめ細かな支援を行いました。また、町民の皆さんの健康への意識啓発を図るため、各種事業を実施しました。

小学校4年生と中学校1年生を対象に生活習慣病予防健診を行い、体と生活習慣の関係について学ぶとともに、自身の生活習慣を見直し考えるための教室を実施しました。

(1) 主な支出

- ・各種健康づくり資料、発送用封筒印刷 17 万円
- ・関係資料購入 3 万円
- ・生活習慣病予防教室材料代 0.5 万円

(2) 活動指標

- ・健康教室の実施

教室等名	実施回数	場 所	参加者数	内容など
地域学習会	20	保健センター、健康福祉センター、公会堂他	392	地区学習会11回 (288人) ウォーキング教室9回 (104人)

- ・健康相談、家庭訪問の実施

随時健康相談・保健指導等	随時	庁舎他	294人	電話相談、訪問、その他
--------------	----	-----	------	-------------

- ・小児生活習慣病予防教室

	実施日	対象学年
栗ガ丘小学校	6月25日	4年生
小布施中学校	7月12日	1年生

(3) 活動指標の推移

- ・相談者数の推移

(単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
来庁	390	452	340	175	144
電話	778	921	629	304	294
訪問	514	485	305	209	242
その他	166	85	45	17	14
合計	1,848	1,943	1,319	705	694

基本健康診査(町民健診)の実施(健康係)

予算事業名：基本健康診査事業費

当初予算額 5,473,000 円 最終予算額 5,473,000 円 決算額 5,372,698 円

18歳～39歳の皆さんを対象に町民健診を実施し、健康の維持、病気の早期発見に努めました。また、20歳・30歳の皆さんには、健診費の自己負担分を無料にしました。

(1) 主な支出

- ・健診委託料 59 万円
- ・健康管理電算委託料 59 万円
- ・町民健診受診券作成委託 10 万円
- ・健康管理システム使用料 86 万円
- ・備品購入費等 25 万円
- ・健康管理システムバージョンアップ対応業務委託料 298 万円

(2) 活動指標

・町民健康診査

種 類	実施期間	委託先
町民健診	6月1日～1月31日	須高医師会（医療機関）
ヘルス	11月12日、13日	北信総合病院

【重点】各種がん検診の実施（健康係）

予算事業名：がん検診等事業費

当初予算額 14,358,000 円 最終予算額 13,732,000 円 決算額 13,225,489 円

町民健診や特定健診（国保事業）にあわせ、各種がん検診を実施し、がんの早期発見に努めました。受診率向上のため、20歳、30歳等10歳刻みの節目年齢の方の受診料を無料にしました。

平成30年度から、胃の内視鏡による健診を開始し、胃・大腸がん検診の対象者を国の指針に準じて40歳以上としました。（平成29年度までは35歳以上を対象）

(1) 主な支出

・結核検診委託料	54 万円
・肺がん検診委託料	559 万円
・肺の健康度健診委託料	8 万円
・胃検診委託料	171 万円
・子宮がん検診委託料	122 万円
・乳房検診委託料（超音波単独検査）	61 万円
・大腸がん検診委託料	61 万円
・マンモグラフィ検査委託料	127 万円
・ヘルスがんセット検診委託料	122 万円
・肝炎検査委託料	6 万円
・前立腺がん検診委託料	13 万円
・印刷製本費等	18 万円

(2) 活動指標

・結核予防

胸部レントゲン	種別	実施日数	実施会場
	間接撮影	2日間	公会堂等11会場で実施

・健康診査

種 類	実施期間	委託先
町民健診	6月1日～1月31日	須高医師会（医療機関）
ヘルス	11月12日、13日	北信総合病院

・人間ドック

種 類	対 象	補助金単価 (万円)
半日・1日ドック	一 般	2.0
	節目（一般）	3.5
1泊2日ドック	一 般	3.0
	節目（一般）	4.5

※ 町国民健康保険に加入している40歳以上の人と後期高齢者医療保険加入者のみ

※ 節目は40歳・50歳

・がん検診

種 類	実施日数	委託先等
胃 検 診	4日間	委託先 長野県健康づくり事業団 (胃・乳房)
大腸がん検診	4日間	新生病院（大腸）

乳房検診（超音波）	3日間	会場：保健センター
肺がん検診	16日間	新生病院
胃内視鏡検診	8カ月間	須高医師会
乳房検診 （マンモグラフィ）	14日間	新生病院
子宮がん検診 （施設）	9カ月間	須高医師会
ヘルスがん セット検診	2日間	北信総合病院

- ・前立腺がん
特定健診、ヘルス、高齢者健診にて実施
- ・肝炎検査
特定健診、ヘルス、高齢者健診で過去に受診したことのない人で希望者に対し実施

(3) 活動指標の推移

【各検診等受診推移】

- ・結核予防 (単位：人)

種別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
間接撮影	681	626	625	628	586

- ・基本健診 (単位：人)

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
特定健診	対象者数	2,333	2,330	2,300	2,050	2,188
	受診者数	1,081	1,037	1,168	908	939
	受診率(%)	46.3	44.5	50.8	44.3	42.9
町民健診	希望者数	275	255	248	237	241
	受診者数	69	77	90	75	75
	受診率(%)	25.1	30.2	36.2	31.6	31.1
高齢者健診	希望者数	248	310	352	317	434
	受診者数	184	286	305	200	274
	受診率(%)	74.2	92.3	86.6	63.1	63.1
JAヘルス（再掲）	希望者数	101	138	111	173	181
	受診者数	80	110	93	134	134
	受診率(%)	79.2	79.7	83.8	77.5	74.0

※ 特定健診の異常あり者の有所見は、腹囲、BMI、脂質、血糖、血圧、肝機能の数値が高値の者の延べ数

- ・人間ドック (単位：人)

種類	対象	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
半・1日	一般	238	228	238	253	234
	節目（一般）	3	1	2	4	4
1泊2日	一般	22	27	13	14	9
	節目（一般）	2	0	0	0	0

※ ドックに係る助成費は国民健康保険特別会計で支出

※参考 特定健診受診結果による「特定保健指導対象者」数（未確定値）

総受診者：989人 積極的支援：16人 動機付支援：79人 情報提供者：894人
 ・がん検診 (単位：人)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
胃	受診者数	353	319	276	174	159	
	がん発見数	1	0	0	0	0	
胃内 視鏡	受診者数	—	—	—	48	56	
	がん発見数	—	—	—	0	0	
大腸	受診者数	889	992	1,012	872	805	
	がん発見数	0	1	2	1	0	
肺	受診者数	696	736	757	694	765	
	がん発見数	0	2	2	1	1	
乳房	超音波	受診者数	123	140	150	129	140
		がん発見数	1	0	0	0	0
	マンモ	受診者数	318	282	312	292	310
		がん発見数	2	2	0	1	0
子宮 (集団)	ヘルス J A	受診者数	21	19	19	55	57
		がん発見数	0	0	0	0	0
	施設	受診者数	191	196	215	171	175
		がん発見数	0	1	0	0	0
セツ (再掲) J A がん 検診	胃	44	37	—	—	—	
	大腸	102	102	80	92	96	
	肺	70	80	61	92	92	
	乳房	20	21	28	39	43	
	子宮	21	19	19	55	57	

・前立腺がん (単位：人)

種別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診者数	192	142	160	150	165

・肝炎検査 (単位：人)

種別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診者数	358	184	30	41	33

高齢者健診の実施(健康係)

予算事業名：後期高齢者健診事業費

当初予算額 3,650,000 円 最終予算額 4,566,000 円 決算額 4,561,307 円

後期高齢者医療被保険者で主治医のいない人を対象に、個別健診による「高齢者健診」を実施しました。また、人間ドック受診希望者(後期高齢者医療保険加入者)に対し費用補助を行いました。

(1) 主な支出

・保健師賃金	2万円
・健診委託料	250万円
・受診券作成委託料	10万円
・ドック費用補助	194万円

(2) 活動指標

・高齢者健診受診者数	274人
・人間ドック受診者数	93人 (日帰り 85人、1泊2日 8人)

(3) 活動指標の推移

(単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診者数	220	286	305	200	274

(高齢者健診・人間ドック再掲)

子どもと高齢者の予防接種（健康係）

予算事業名：予防接種事業費

当初予算額 25,862,000 円

最終予算額 26,404,000 円

決算額 25,745,827 円

子どもや高齢者の疾病や感染症予防のため、予防接種を行いました。
また、インフルエンザの感染拡大と重症化予防を目的に、65歳以上の高齢者には定期の予防接種としてインフルエンザ予防接種の接種費の助成を行い、中学生以下の子どもにはインフルエンザワクチン接種の助成を行いました。

(1) 主な支出

・予防接種ガイドライン・予診票用色紙等	9 万円
・予防接種業務委託料	2,324 万円
・インフルエンザワクチン接種費補助	231 万円
・予診票印刷製本費	10 万円

(2) 活動指標

種 別	接種の種類	回 数	会 場
BCG接種	個 別	1	医療機関委託
四種混合	個 別	4	医療機関委託
三種混合・不活化ポリオ	個 別	各4	医療機関委託
二種混合	個 別	1	医療機関委託
麻しん風しん混合	個 別	2	医療機関委託
日本脳炎	個 別	4	医療機関委託
子宮頸がん予防ワクチン	個 別	3	医療機関委託
ヒブ・肺炎球菌	個 別	各4	医療機関委託
水痘	個 別	2	医療機関委託
高齢者用肺炎球菌	個 別	1	医療機関委託
B型肝炎	個 別	3	医療機関委託
インフルエンザ	個 別	10～翌年1月	医療機関委託

(3) 活動指標の推移

①定期予防接種の接種者数

(単位：人)

種 別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
ポリオ（生ワクチン）						
ポリオ（不活化）	8	1	-	-	-	
四混	274	297	257	274	276	
三混	1	-	-	-	-	
二混	79	100	62	105	100	
麻しん 風しん	麻しん	1期：64	1期：71	1期：79	1期：54	1期：71
	風しん	2期：98	2期：92	2期：82	2期：75 風しん：1	2期：97
日本 脳炎	幼児	1期：269	1期：280	1期：261	1期：360	1期：357
	小学生	2期：52	2期：97	2期：122	2期：139	2期：158
	中学生～					
BCG	73	64	62	66	66	

インフルエンザ	60～64歳	1	-	-	1	2
	65歳以上	1,873	1,895	1,954	2,025	2,143
ヒブワクチン		272	284	261	258	277
小児肺炎球菌ワクチン		273	285	260	259	279
子宮頸がん予防ワクチン		-	-	-	-	-
水痘		139	133	157	132	150
B型肝炎			111	185	196	202
高齢者用肺炎球菌		294	289	312	292	138

②費用助成したワクチン接種者数（延人数）

ワクチン名	インフルエンザワクチン
接種者数	1,539人

※子どものインフルエンザワクチン接種

食生活改善の支援（健康係）

予算事業名：食育推進事業費

当初予算額 20,000 円 最終予算額 20,000 円 決算額 0 円

乳幼児から高齢者までより良い食生活を送るため、栄養価計算システム等を活用し実習の献立作成や個人の食事量等を計算し、それらをもとに栄養指導を行いました。

(1) 主な支出

なし

(2) 活動指標

- ・ 各種団体（食改、保健福祉委員会等）の食の学習会の実施
- ・ 栄養相談（個人）
- ・ 栄養指導用資料の作成

食生活改善推進協議会の活動支援（健康係）

予算事業名：食育推進事業費

当初予算額 79,000 円 最終予算額 79,000 円 決算額 57,941 円

食による健康づくりを目指し、講習会や調理実習などの学習活動により自らの食生活の見直しを行うとともに、学習の成果を地域に広めるための活動をしている食生活改善推進協議会に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 推進協議会活動補助金 3 万円
- ・ 調理実習材料費 3 万円

(2) 活動指標

- ・ 講習会（会場はいずれも健康福祉センター）

期日	内 容	参加者
6月7日	学習会 熱中症と水分補給	11人
	実習 1食500kcal台のバランス食	
7月8日	学習会 噛みやすく飲み込みやすい食事の工夫	11人
	実習 1食500kcal台のバランス食	
8月1日	学習会 食中毒の予防対策	11人
	実習 およこの食育教室実習メニューより	

11月5日	学習会 台風19号被害を受け開催中止	—
	実習	
12月2日	学習会 食からフレイル予防について考える	12人
	実習 クリスマス料理	
1月22日	学習会	16人
	実習 株式会社みすずコーポレーション出張料理教室	
2月14日	実習 やしろうま作り	15人

・ 出前講座

期日	場所	内 容	参加者
8月10日	健康福祉センター	実習 「おやこの食育教室実習メニューより」	小学生の親子 10組(子14人保護者10人)
12月15日	健康福祉センター	学習会「バランス食の中の乳製品の役割」 実習「クリスマス料理」	一般町民 10人

・ 町及び関係団体事業等への参加

期日	事業名	内 容	参加者
通年	エンゼルランドセンター事業	手作りおやつ提供、やしろうま講習会	延べ23人
9月29日	千年樹の里まつり	模擬店出展、中学生ボラ昼食作り	14人
通年	くりんこキッチン	園児の料理体験補助	延べ18人
10月	飯田公会堂炊き出し	昼の献立作成と食事作り	延べ10人
1月	保健福祉委員会食の学習会	凍り豆腐を使ったバランス食作り	6人

今年度の出前講座は、会員以外の一般住民の方を対象に実施し、調理実習等を通じて町民との交流を図りました。また、夏休みに小学生の親子を対象に親子食育教室を行いました。参加者からは好評をいただき、来年度も実施して欲しいとの声もありました。保育園幼稚園で行っている「くりんこキッチン」には多くの会員が関わり、子ども達の料理体験の支援を行っています。今年度は台風19号災害を受け、一部活動を中止しました。

(3) 活動指標の推移

延べ参加者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
講習会(年6~7回)	110	114	103	71	76
出前講座(年1~2回)	69	54	40	27	34

(4) 成果指標

会員の学習では身近な食習慣について考え、自身の健康課題を見つけ実践できるための活動を行いました。また、出前講座等を通じて会員以外の方との交流も増え、食改活動を知ってもらう機会が増えました。

養育医療の必要な低体重児への支援(健康係)

予算事業名：未熟児養育医療費給付事業費

当初予算額 661,000 円 最終予算額 723,000 円 決算額 271,612 円

低出生体重児の養育が必要なお子さんに対して、その養育医療費の一部を助成しました。

(1) 主な支出

- ・ 養育医療費の給付 21 万円
- ・ 国庫返還金 6 万円

(2) 活動指標

- ・ 助成実施 1 件

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	4件	1件	1件	0件	1件
給付額	82万円	1万円	16万円	0万円	21万円

口腔の健康保持（健康係）

予算事業名：歯科検診等事業費

当初予算額 33,000 円 最終予算額 33,000 円 決算額 7,520 円

歯科衛生士が、両親学級での妊婦とその家族、子育て教室げんきっこ塾での保護者に対する歯科指導歯科相談を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 歯科衛生士賃金 0.7 万円

(2) 活動指標

- ・ 両親学級 10件
- ・ 子育て教室げんきっこ塾(2歳児)保護者 61件

【重点】産後ケア事業の充実(健康係)

予算事業名：産後ケア事業費

当初予算額 207,000 円 最終予算額 207,000 円 決算額 0 円

産後、家族から十分な育児援助が受けられない、育児に不安がある方を対象に、病院での宿泊・滞在型、または訪問で助産師が母子のケアを行うための事業です。令和元年度は、利用者はいませんでした。

(1) 主な支出

なし

(2) 活動指標

- ・ 令和元年度は利用実績なし

【重点】風しん予防接種の実施(健康係)

予算事業名：風しん対策事業費

当初予算額 1,532,000 円 最終予算額 2,461,000 円 決算額 2,216,421 円

国の緊急風しん対策として、これまでに公的な風しんの予防接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、無料で抗体検査・予防接種を受けられるクーポン券を配布しました。クーポン券の利用期間は令和4年3月31日までです。

(1) 主な支出

- ・ 風しん抗体検査委託料 87 万円
- ・ MR（麻しん・風しん混合ワクチン）接種委託料 37 万円
- ・ 健康かるてシステム改修委託料 43 万円
- ・ クーポン券作成委託料 51 万円
- ・ クーポン券郵送料 4 万円

(2) 活動指標

- ・ クーポン券発送数（令和元年度は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの人に発送）
543 人
- ・ 風しん抗体検査受診数 161 人
 - 結果 抗体あり 115 人
 - 抗体なし 46 人（予防接種対象）
- ・ MR 予防接種実施数 37 人

感染症予防のための被災住宅の消毒(健康係)

予算事業名：感染症予防被災住宅消毒事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 668,000 円 決算額 667,810 円

台風19号災害による被害地域における感染症対策として、浸水被害を受けた住宅等の消毒を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 住宅消毒業務委託料 66 万円

(2) 活動指標

- ・ 消毒作業の実施
実施日：10月23日～25日
実施地区：大島、飯田、山王島 53軒

3	保健師設置費	11,451,759		決算事項別明細書	P124～125
---	--------	------------	--	----------	----------

職員人件費(総務係)

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 25,594,000 円 最終予算額 14,513,000 円 決算額 11,451,759 円

(1) 主な支出

- 職員人件費 1,145 万円

2	環境保全費	171,260,712			
1	環境保全総務費	8,009,134		決算事項別明細書	P124～125

環境政策の研究など(住民係)

予算事業名：環境総務費

当初予算額 93,000 円 最終予算額 93,000 円 決算額 11,579 円

豊かな自然を守り、住み良いまちづくりのための基盤となる「環境問題」への取り組みを進めました。

(1) 主な支出

- ・ 事務用品等 0.8 万円
- ・ 信濃川を守る協議会負担金 0.3 万円

(2) 活動指標

- ・ 河川一斉パトロール(年2回実施：協議会の合同パトロール)
- ・ 外来種アレチウリの駆除 6月23日(日) 参加者40人

(3) 活動指標の推移

- ・ 空き家対策として、空き家の利活用や定住促進など各課と連絡調整を図っています。

公衆トイレの管理（住民係）

予算事業名：公衆トイレ管理費

当初予算額 1,266,000 円 最終予算額 1,266,000 円 決算額 1,072,715 円

駅前・皇大神社の公衆トイレを気持ち良く利用していただけるよう、トイレの管理・清掃を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 公衆トイレの清掃委託 56 万円 (駅前、皇大神社公衆トイレ)
- ・ 公衆トイレの光熱水費 38 万円
- ・ その他の経費 (トイレットペーパー等) 13 万円

(2) 活動指標

- ・ 駅前公衆トイレの清掃 毎日(勤務時間1時間)
- ・ 皇大神社公衆トイレの清掃 週2回(勤務時間1時間)

(3) 成果指標

- ・ 気持ちよく利用頂けるよう、清掃及び施設管理に努めました。

環境美化委員会活動（住民係）

予算事業名：環境美化委員会活動費

当初予算額 466,000 円 最終予算額 466,000 円 決算額 430,774 円

地域での環境美化活動の推進リーダーとしての指導助言及びゴミステーションの管理運営・分別指導にあたっていただきました。

(1) 主な支出

- ・ 環境美化委員会活動交付金 37 万円
 - (内訳) ・ 均等割(@1,900円×27自治会) 5万円
 - ・ 戸数割(@85円×3,715世帯) 32万円
- ・ 事務用品等 3 万円
- ・ 旅費等 3 万円

(2) 活動指標

- ・ 環境美化協議会会議 3回開催(4月15日、12月6日、2月7日)
- ・ ごみ収集所の立会い、分別に関する指導、視察研修等の実施
- ・ 資源物等の日曜回収における分別指導の実施 年12回実施

(3) 成果指標

- ・ ごみ収集所の維持管理、各自治会の資源ごみの分別徹底が図られました。

環境美化活動（住民係）

予算事業名：環境美化運動の日事業費

当初予算額 247,000 円 最終予算額 247,000 円 決算額 200,450 円

自分たちの住む地域を自らきれいにするため、「環境美化運動の日」を春と秋の年2回実施しました。

(1) 主な支出

- ・ ごみ袋の購入、アメシロ防除経費 20 万円

(2) 活動指標

- ・ 環境美化運動の日の実施 5月26日(日) 参加者数 2,377人
10月27日(日) " 1,849人

(3) 活動指標の推移

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	4,471	4,137	3,901	4,060	4,226
可燃ごみ	784袋	656袋	609袋	797袋	816袋
埋立ごみ	727袋	802袋	942袋	629袋	737袋
空き缶(個)	3,638	1,925	2,550	2,950	3,050
ビン(本)	89	123	90	61	38

- ・ 環境美化運動の日と併せ、側溝、カーブミラーの清掃や道路に張り出している枝切り等を実施しました。

不法投棄の防止 (住民係)

予算事業名：不法投棄防止活動費

当初予算額 560,000 円 最終予算額 560,000 円 決算額 452,760 円

「廃棄物の不法投棄の防止に関する条例」に基づき、不法投棄防止指導員による地域内の定期パトロールを毎月実施していただきました。

(1) 主な支出

- ・ 不法投棄防止指導員報酬41人 41万円
- ・ 不法投棄廃棄物処理委託料 4万円

(2) 活動指標

- ・ 毎月第4日曜日に地区内巡回パトロール 12回実施
- ・ 不法投棄物の回収(不法投棄防止指導員の協力により随時)

(3) 活動指標の推移

- ・ 不法投棄の発見・通報件数

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件 数	19	25	12	27	15

生活灯の設置 (住民係)

予算事業名：生活灯管理費

当初予算額 2,162,000 円 最終予算額 2,162,000 円 決算額 2,063,506 円

夜間における歩行者の安全と防犯を目的に、通勤・通学路を中心に生活灯の設置(LED化)や修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 生活灯の新設工事費 53万円
- ・ 生活灯の修繕 150万円
- ・ 町管理生活灯の電気料 3万円

(2) 活動指標

- ・ 生活灯の新設 17箇所
- ・ 生活灯の修繕 65箇所

(3) 活動指標の推移

- ・新設、修繕工事総数の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
基 数	66	67	66	88	82

- ・新設・修繕とも、消費電力の削減、蛍光管の交換作業の少ないLED灯に切り替えました。

狂犬病の予防など（住民係）

予算事業名：狂犬病予防対策費

当初予算額 279,000 円 最終予算額 279,000 円 決算額 212,475 円

狂犬病の予防のため、集合注射の実施を行いました。また、犬や猫の繁殖を制限するため繁殖制限手術への助成を行いました。

(1) 主な支出

- ・狂犬病予防注射・原簿管理業務委託料等 7 万円
- ・犬、猫繁殖制限手術への助成 11 万円
- ・その他の経費（注射済票等） 3 万円

(2) 活動指標

- ・集合注射、登録 3回実施
- ・予防注射実施頭数 432 頭
- ・犬、猫繁殖制限手術への助成 助成頭数(内訳)
不妊： 犬 3頭、 猫 11頭 計14頭
去勢： 犬 2頭、 猫 14頭 計16頭

(3) 活動指標の推移

- ・予防注射頭数の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
頭 数	538	523	480	457	432

- ・犬、猫の繁殖制限手術実施頭数の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
頭 数	21	28	38	23	30

火葬場の管理運営（住民係）

予算事業名：火葬場管理費

当初予算額 3,572,000 円 最終予算額 3,572,000 円 決算額 3,137,000 円

火葬場「松川苑」の管理運営を、小布施町・須坂市・高山村で構成する須高行政事務組合で行いました。

(1) 主な支出

- ・須高行政事務組合負担金(運営負担金) 313 万円

(2) 活動指標

- ・施設名 須高行政事務組合「松川苑」
- ・火葬数 小布施町分 143 体(うち管轄外 15体)

(3) 活動指標の推移

- ・火葬数の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
体 数	149	151	156	137	143

霊園の管理運営（住民係）

予算事業名：霊園管理費

当初予算額 476,000 円 最終予算額 476,000 円 決算額 427,875 円

「陽光霊園（251区画）」 「福聚霊園（97区画）」 の清掃管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 清掃業務委託料 40 万円
- ・ その他の経費 2 万円

(2) 活動指標

- ・ 清掃業務(草取り、植木の剪定等) 須高広域シルバー人材センター等へ委託

(3) 活動指標の推移

- ・ 管理区画数（令和2年3月31日現在）

区 分	区画総数	販売済区画	残(返納)区画
陽光霊園	251	242	9
福聚霊園	97	96	1
計	348	338	10

2 公害対策費 131,560 決算事項別明細書 P124～125

良好な生活環境の保全（住民係）

予算事業名：公害等対策費

当初予算額 170,000 円 最終予算額 170,000 円 決算額 131,560 円

良好な生活環境を保全し、住み良いまちづくりを進めるため、騒音・振動・野焼き等の苦情や相談に対応するとともに、助言や指導を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 公共用水域水質検査 8 万円
- ・ その他の経費 4 万円

(2) 活動指標

- ・ 公共用水域水質検査(町内水路10カ所) 年1回検査(11月)
- ・ 公害等苦情等の受付処理

苦情の内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大気汚染(野焼き)	7 件	6 件	4 件
生活環境(害虫駆除等)	0 件	0 件	0 件
犬・猫の苦情	3 件	2 件	0 件
不法投棄	0 件	2 件	0 件
その他(悪臭、雑草等)	11 件	9 件	5 件
合 計	21 件	19 件	9 件

(3) 活動指標の推移

- ・ 町内河川の水質検査結果（町内10カ所、年1回）

調査項目	環境基準に定める標準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
p h 値	6.5～8.5	4.1	4.6	4.5	3.8	4.9
B O D	1mg/ℓ～10mg/ℓ	2.7	0.8	0.7	0.8	1.2

SS	25mg/ℓ～100mg/ℓ	7.0	9.0	3.1	1.0	4.0
----	----------------	-----	-----	-----	-----	-----

p h 値：水素イオン濃度値。酸性 < p h 値 7.0 < アルカリ性 となります。

B O D：生物化学的酸素要求量。河川などの有機物による汚濁の程度を表します。

S S：浮遊物質量。粒径2mm以下の水に溶けない懸濁性の物質の量を表します。

- ・水質汚濁事故が発生した場合は、水域ごとに設置されています水質汚濁対策連絡協議会（国土交通省・県・関係市町村等）の連絡網を通じて、被害拡大防止に努めます。

3	清掃費	163,120,018	決算事項別明細書	P124～127
---	-----	-------------	----------	----------

ごみの減量化の推進（住民係）

予算事業名：ごみ減量化推進事業費

当初予算額 1,870,000 円 最終予算額 1,870,000 円 決算額 1,721,676 円

ごみ・資源物の処理は、中野市をはじめとする市町村で構成されています北信保健衛生施設組合で行っています。ごみの排出量に応じ、ごみ処理に係る経費（負担額）は大きくなります。各家庭で出されるごみを分別徹底することにより、一層のごみの減量化と再資源化を図り、リサイクルに対する意識啓発を推進します。

(1) 主な支出

- ・ 剪定枝の処理委託 140 万円
- ・ 日曜資源回収シルバー委託 13 万円
- ・ ごみ減量化推進事業補助金 4 万円
- ・ 分別収集カレンダー 10 万円
- ・ その他の経費 5 万円

(2) 活動指標

- ・ 剪定枝の回収 年4回実施（町営グラウンド北側駐車場）
- ・ 資源回収補助金(中学校) 1件 1 万円
- ・ 電動生ごみ処理機設置補助金 2件 3 万円

ごみ・資源物の収集（住民係）

予算事業名：ごみ分別収集費

当初予算額 14,865,000 円 最終予算額 15,621,000 円 決算額 14,787,025 円

廃棄物処理計画に基づき快適な生活環境を守るため、ごみの収集を行いました。収集は分別区分に従い、可燃ごみ、埋立ごみ、缶・金属、ペットボトル、白色発泡トレイ、古紙類などの分別で収集しました。5月と11月に「有害ごみ・小型家電・古着」の日曜回収を行いました。

(1) 主な支出

- ・ ごみの収集委託 1,091 万円
- ・ 古紙類収集運搬委託 39 万円
- ・ 白色発泡トレイ収集運搬委託 8 万円
- ・ 小型家電収集運搬委託 88 万円
- ・ 古着収集運搬委託 2 万円
- ・ ごみステーション整備補助(福原自治会) 250 万円

(2) 活動指標

- ・ 可燃ごみの収集日 毎週：火・金曜日（東地区）、毎週：水・土曜日（西地区）
- ・ 埋立ごみ 〃 第1水曜日（東地区）、最終水曜日（西地区）
- ・ 缶・金属 〃 隔週：木曜日（東西地区）
- ・ プラ容器包装 〃 毎週：月曜日、隔週：木曜日（東西地区）

- ・資源物 〃 月1回各公会堂で実施
(ビン・ペットボトル・白色発泡トレイ・古紙類)
- ・資源物・有害ごみ・小型家電・古着の日曜回収
月1回資源物の日曜回収(5月・11月除く)を生活支援ハウス駐車場で実施しました。
5月と11月は、有害ごみ(乾電池、蛍光管、鏡、電気コード、水銀体温計・温度計)や小型家電(電気や電池で動く小型家電製品等)、古着の回収を行いました。

(3) 活動指標の推移

- ・ごみ収集量の年度別推移 (単位：t)

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
可燃	2,502	2,477	2,600	2,555	2,498
埋立	49	48	57	52	52
資源物	473	433	407	379	301
古紙類	272	238	213	189	117
缶・金属	43	42	42	39	35
ペットボトル	6	5	5	5	5
びん	59	56	56	54	53
白色トレイ	1	1	1	1	1
プラ容器包装	80	79	79	77	74
小型家電	10	10	9	12	14
古着	2	2	2	2	2
有害ごみ	5	5	5	5	5
合計	3,029	2,963	3,069	2,991	2,856

- ・資源物の売却代金等 (単位：円)

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
古紙類売却代金	3,178,702	3,339,574	4,118,775	3,276,543	1,699,210
コード類 〃	19,764	21,168	22,140	22,140	18,736
小型家電売却代金	44,630	77	152	0	0
古着売却代金	11,858	3,029	1,091	1,118	1,239

- ・小型家電リサイクル法(平成25年4月施行)
住民、市町村、認定事業者などの協力により、使用済小型家電に含まれる希少金属の再資源化を図るため、実施しました。

ごみの処理・資源物のリサイクル(住民係)

予算事業名：ごみ分別処理費

当初予算額 71,643,000 円 最終予算額 77,138,000 円 決算額 76,777,887 円

ペットボトルやびん、白色発泡トレイは、北信保健衛生施設組合に、プラスチック製容器包装は法律に定められた処理ルート(指定法人ルート)によりリサイクルされます。

(1) 主な支出

- ・北信保健衛生施設組合負担金 7,321 万円
- ・プラスチック製容器包装処理委託 356 万円

(2) 活動指標

- ・プラスチック製容器包装リサイクル処理量 74 t

(3) 活動指標の推移

- ・プラスチック製容器包装リサイクル処理量 (単位：t)

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
処理量	80	79	79	77	74

し尿の処理 (住民係)

予算事業名：し尿処理費

当初予算額 13,591,000 円 最終予算額 12,359,000 円 決算額 12,359,000 円

し尿処理は、小布施町・須坂市・高山村で構成する須高行政事務組合(須高衛生センター)で行いました。

(1) 主な支出

- ・ 須高行政事務組合負担金(清掃・議会費) 1,235 万円

(2) 活動指標

- ・ 須高衛生センターでの処理 (小布施町分) 施設の稼働日数 365日
し尿搬入量 421k1
浄化槽汚泥搬入量 57k1

(3) 活動指標の推移

- ・ し尿処理量の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
処理量(k1)	593	732	662	500	478

災害等廃棄物処理 (住民係)

予算事業名：災害等廃棄物処理事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 74,929,000 円 決算額 57,474,430 円

台風19号災害に係る廃棄物の処分を行いました。なお、公費解体工事費等は翌年度に繰り越しました。

(1) 主な支出

- ・ 災害廃棄物収集運搬処分等委託料 5,373 万円
- ・ 災害ごみ仮置き場復旧工事 (飯田・大島) 374 万円

(2) 活動指標

- ・ 処分量 531 t うち東山クリーンセンターでの処分 371 t

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績					
5			農林水産業費	272,109,615						
	1		農業費	269,725,771						
		1	農業委員会費	18,844,389	決算事項別明細書 P126~127					
農業委員会の運営(農業振興係)										
予算事業名：農業委員会運営費										
当初予算額 7,223,000円 最終予算額 10,578,000円 決算額 10,494,440円										
農地の適正利用や転用許可の審議、農地台帳の整備等の農地法に基づく活動、農地の遊休荒廃地の防止や作物の適地適作の推進などを行いました。										
また、関係の法律・制度等の学習機会を設けて農地利用最適化に繋げたり、農業の振興及び町農業施策の方向について討議をしたり、といった活動をしました。										
(1) 主な支出										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員報酬 838万円 ・ 臨時職員賃金 103万円 ・ 農地情報管理システム使用料 26万円 ・ 農地情報管理システム保守料 41万円 ・ 須高地区農業委員会協議会負担金 12万円 										
(2) 活動指標										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員9人（地区推薦6人、団体推薦2人、中立委員1人） 農地利用最適化推進委員6人 任期：平成30年5月13日～令和3年5月12日 ・ 定期総会の開催（毎月1回） ・ 農地パトロールの実施 7月31日～8月8日 確認面積 約12.8ha 										
		1号遊休農地 (不耕作の農地)		2号遊休農地 (低利用の農地)		合計				
		116,973㎡		11,140㎡		128,113㎡				
		(うち)A分類		(うち)B分類						
	筆数	面積(㎡)	筆数	面積(㎡)						
	139	116,973	0	0						
A分類：抜根、整地、区画整理、客土等により再生利用が可能と見込まれる荒廃農地										
B分類：森林・原野化している等で再生利用が困難と見込まれる荒廃農地										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地利用意向調査の実施 11月30日～1月20日 										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員研修 長野県農業委員会女性協議会総会・研修会 令和元年5月8日 長野県農業委員会女性協議会長野支部総会・研修会 令和元年7月4日 長野県女性活躍推進トップセミナー 令和元年12月11日 農業委員会視察研修 令和元年12月17日～18日 須高地区農業委員会協議会 女性委員研修会 令和2年1月21日 長野県農業委員会女性協議会 第2回研修会 令和2年1月21日 須高地区農業委員会協議会全員研修会 令和2年2月21日 										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地法等所管事務件数 										
		案 件 名		件 数		面 積 (㎡)				
						田		畑		計
		農地法第3条第1項 (所有権移転)		25		5,835		17,972		23,807
		(賃借権設定)		0		0		0		0

(使用貸借権設定)	4	0	17,731	17,731
農地法第4条第1項	5	0	2,262	2,262
農地法第5条第1項 (所有権移転)	2	0	545	545
(賃借権設定)	2	1,302	1,503	2,805
(使用貸借権設定)	6	0	2,086	2,086
農地法第18条第6項 (合意解約)	25	16,524	20,431	36,955
農地法第4条第1項第8号	2	0	766	766
農地法第5条第1項第7号	22	0	16,003	16,003
農地法施行規則第29条第1項	5	36	371	407

(参考：振興地域整備促進事業)

農振農用地編入	なし
農振農用地除外	3件 2,245.00㎡
用途区分の変更	4件 455.25㎡

農地調整事務処理事業

- ・農用地利用集積計画 (利用権設定) 77件 134,974㎡
- ・農地売買支援事業 4件 5,925㎡

(3) 活動指標の推移

- ・農地法等所管事務

案 件 名	面 積(㎡)				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
農地法第3条第1項 (所有権移転)	28,364	11,888	25,116	26,140	23,807
(賃借権設定)	1,447	0	11,645	0	0
(使用貸借権設定)	0	4,690	33,940	21,376	17,731
農地法第4条第1項	1,189	611	0	88	2,262
農地法第5条第1項 (所有権移転)	0	1,546	1,007	10,838	545
(賃借権設定)	0	0	0	0	2,805
(使用貸借権設定)	165	7,316	1,079	1,322	2,086
農地法第18条第6項 (合意解約)	56,321	45,536	26,882	37,099	36,955
農地法第4条第1項第7(8)号	1,058	0	492	1,596	766
農地法第5条第1項第6(7)号	10,330	5,599	6,041	12,055	16,003

(4) 成果指標の推移

遊休農地の状況	1号遊休農地 (不耕作の農地)	2号遊休農地 (低利用の農地)	合計	対前年
平成29年度	142,636㎡	22,801㎡	165,437㎡	52,045㎡
平成30年度	131,117㎡	14,931㎡	146,048㎡	△19,389㎡
令和元年度	116,973㎡	11,140㎡	128,113㎡	△17,935㎡

職員人件費(総務係)

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 8,568,000円 最終予算額 8,641,000円 決算額 8,349,949円

(1) 主な支出

- ・職員人件費 834万円

2	農業総務費	54,167,656	決算事項別明細書	P126~129
---	-------	------------	----------	----------

農業資金の利子への補助など(農業振興係)

予算事業名：農業総務費

当初予算額 1,112,000 円 最終予算額 1,415,000 円 決算額 610,483 円

農業者の経営改善や生産性の向上、合理化を目的に借り入れた資金に対し利子補給を行い、農家経営における経済負担の緩和を図りました。

(1) 主な支出

- ・ 農業経営基盤強化資金などの利子補給金 10万円
- ・ 農家実行組合活動交付金 19万円

(2) 活動指標

- ・ 農業経営基盤強化資金等利子補給 2人 7万円
- ・ 認定農業者資金利子補給 1人 1万円
- ・ 農業近代化資金融資利子補給 1人 1万円
- ・ 平成30年度台風21号災害対策資金利子補給 4人 1万円
- ・ 令和元年度台風19号災害対策資金利子補給 0人 0万円

(3) 活動指標の推移

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	対象者	補給額	対象者	補給額	対象者	補給額
農業経営基盤強化資金利子補給	2人	10万円	2人	8万円	2人	7万円
認定農業者資金利子補給	1人	3万円	1人	2万円	1人	1万円
農業近代化資金等利子補給	—	—	—	—	1人	1万円
農業経営安定化資金利子補給	—	—	—	—	—	—
H30台風21号災害対策資金利子補給	—	—	—	—	1人	1万円
R元台風19号災害対策資金利子補給	—	—	—	—	—	—

※令和元年度台風19号災害対策資金利子補給は、令和元年会計年度内は歳出実績無し

認定農業者の育成(農業振興係)

予算事業名：ゼロ予算

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

効率的で安定した農業経営を目指した「農業経営改善計画」を作成し、町がその計画を認定した農業者のことを「認定農業者」といいます。この認定農業者に対し低利の資金の融通(利子補給)等の支援を行いました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・ 認定農業者総数 79件、84人(令和2年3月31日現在/5年毎再認定)
- ・ 令和元年度 再認定者 12人、計画廃止 4人

認定農業者・・・農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者に対し、低利の資金の融通(利子補給)や農地の規模拡大支援などを実施

縁結びの会(労働力補完システム)の運営(農業振興係)

予算事業名：ゼロ予算

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

時期により労働力が必要な農家さんと、農業のお手伝いをしたい人を結びつける活動(縁結び)を行いました。また、お手伝いさんの技術向上を目的に講習会を開催しました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・ 労働力が必要な農家さんと農業のお手伝いをしたい人を結びつける事務（毎月）
- ・ 令和元年度年度技術講習会開催回数（普及センター・JA共催） 11回
りんごの摘花・摘果・着色管理、ぶどうの房切り・摘粒・着果管理 など

(3) 活動指標の推移

- ・ 登録者の推移 () 内は新規

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受入農家	23戸(4)	30戸(8)	25戸(4)	19戸(2)	19戸(3)
お手伝いさん	28人(2)	20人(4)	14人(6)	14人(8)	13人(7)

職員人件費(総務係)

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 56,855,000 円 最終予算額 54,079,000 円 決算額 53,557,173 円

(1) 主な支出

- ・ 職員人件費 5,355 万円

3 農業振興費 69,025,706 決算事項別明細書 P128～129

【重点】小布施ブランド戦略事業(産業政策係/農業振興係)

予算事業名：ブランド戦略事業費/農業振興費

当初予算額 11,351,000 円 最終予算額 11,351,000 円 決算額 9,124,162 円

果樹産地として、消費者に選択される産地となるよう、様々なチャンネルを活用し、農産物の認知度向上策を進めました。今後も企業コラボ、共同企画などを進め小布施ブランドの構築と販売力強化に努め、魅力ある小布施農業の推進を図ります。

(1) 主な支出

- ・ ブランド戦略事業委託料 750 万円
- ・ 果樹教室、物産展謝礼等 4 万円
- ・ 物産展、展示用消耗品等 12 万円
- ・ 企業等打合せ、販路拡大イベント等旅費 59 万円
- ・ 出店等負担金 45 万円
- ・ 企業コラボ/展示用等サンプル商品 17 万円
- ・ チェリーキッス、ブルームリーPRパンフ等広告 25 万円

(2) 活動指標

- ・ 新興果樹の振興
 - チェリーキッスフェア（町内31店舗） 6月25日～7月15日
 - ブルームリーフェア（町内30店舗） 9月6日～9月16日
 - ブルームリーを楽しむ会 9月3日
 - 新宿高野ブルームリーフェア・小布施フェア 10月1日～14日
- ・ 物産展への参加
 - 小布施見にマラソン 7月14日
 - 東京都墨田区「第44回すみだまつり」 10月5日～6日
 - 香川県宇多津町「宇多津秋の大収穫祭」 11月1日～4日
 - おぶせ祭りin金山駅 2月16日

(3) 成果指標（生産量）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
チェリーキッス	5,683kg	4,033kg	3,739kg	2,240kg
	14軒	14軒	13軒	13軒
ブルムリー	29,608kg	45,632kg	34,562kg	25,265kg
	35軒	36軒	31軒	32軒
小布施丸なす	11,500kg	8,000kg	5,828kg	5,828kg
	10軒	7軒	7軒	7軒

都市農村交流事業（産業政策係）

予算事業名：都市農村交流事業費

当初予算額 1,055,000 円 最終予算額 1,055,000 円 決算額 634,990 円

都市生活者が、町が持つ景観や農産物、温泉、農作業、散策ウォーキングを通じて、都会では経験できない町の魅力を体験するとともに都市への情報発信を促し、交流産業の確立と果物産地としての知名度拡大を目指した都市農村交流を実施しました。

(1) 主な支出

・ 事業委託料	37 万円
・ 講師謝礼等	13 万円
・ 交流事業消耗品等	9 万円
・ 原材料費	2 万円
・ 保険料	2 万円

(2) 活動指標

- ・ 春実施 5月25日～26日 14人参加 植栽花壇づくり、農業体験、民泊
- ・ 秋実施 11月17日～18日 32人参加 りんご収穫体験、散策ウォーキング

(3) 成果指標（参加者数）

	平成30年度	令和元年度
春事業	19人	14人
秋事業	33人	32人

農業再生協議会の事務と米の生産調整（農業振興係）

予算事業名：農業振興費

当初予算額 779,000 円 最終予算額 682,000 円 決算額 668,000 円

米価格の安定を目的に定める主食用米生産数量目安値について、生産者に対し周知を行いました。畑作物の直接支払交付金や米・畑作物の収入減少影響緩和交付金、水田活用の直接支払交付金といった経営所得安定対策事業に関する事務を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 小布施町農業再生協議会補助金 66 万円

(2) 活動指標

- ・ 米の生産調整、戦略作物の推進
- ・ 経営所得安定対策事業のとりまとめ

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
作付面積	103ha	98ha	93ha	95ha	93ha

生産数量	605t	565t	562t	560t	557t
------	------	------	------	------	------

農業の振興（農業振興係）

予算事業名：農業振興費

当初予算額 1,502,000 円 最終予算額 1,613,000 円 決算額 1,211,510 円

野菜作りなどに親んでもらうため、家庭菜園を運営し、貸し出しました。

(1) 主な支出

・ 家庭菜園土地借上料	10 万円
・ 須高農業振興会議負担金	4 万円
・ 全国栗園経営研究会参加費	2 万円
・ 家庭菜園草刈り（シルバー人材センターに委託）	6 万円
・ 風向風速計購入	86 万円
・ 消耗品など	12 万円

(2) 活動指標

- ・ 家庭菜園の貸し出し58区画（75区画中）
- ・ 家庭菜園面積 75区画×100㎡=7,500㎡（1区画100㎡）
六川沖東（くだもの街道沿い）27区画、六川沖東22区画、押羽7区画、中条沖19区画

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
区画数	75 区画	75 区画	75 区画	75 区画	75 区画
利用区画数	67 区画	64 区画	65 区画	60 区画	58 区画
利用者数	44 人	41 人	40 人	34 人	35 人

畜産の振興（農業振興係）

予算事業名：農業振興費

当初予算額 530,000 円 最終予算額 530,000 円 決算額 517,100 円

畜産の振興を図るため、畜産農家の子牛導入経費に対して補助を行いました。

(1) 主な支出

・ 家畜導入事業補助金	36 万円
・ 須高家畜防疫協会負担金	12 万円
・ 北信食肉センター管理運営補助金	4 万円

(2) 活動指標

- ・ 導入農家数 2軒
- ・ 導入頭数 65頭

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
導入農家数	3 軒	2 軒	2 軒	2 軒	2 軒
肉牛	49 頭	55 頭	37 頭	53 頭	64 頭
乳牛	4 頭	1 頭	1 頭	8 頭	1 頭
計	53 頭	56 頭	38 頭	61 頭	65 頭

担い手への農地の集積（農業振興係）

予算事業名：農業振興費

当初予算額 1,635,000 円 最終予算額 1,654,000 円 決算額 1,523,270 円

町の基幹産業である農業の10年後における人と農地のインフラ等の今後のあり方として「人・農地プラン」を更新するため、農地専門相談員を配置し、規模拡大を目指す中心的農家に対する農地の集積を進めました。

(1) 主な支出

- ・ 臨時職員賃金 152万円

(2) 活動指標

- ・ 農地専門相談員の配置
- ・ 農地バンク情報の更新と遊休農地の解消、人・農地プラン掲載者等への利用集積の促進

【重点】農業振興地域整備計画の見直し（農業振興係）

予算事業名：農業振興費

当初予算額 4,422,000 円 最終予算額 4,422,000 円 決算額 0 円

県との協議が整わないため実施できませんでした。

(1) 主な支出

なし

被災農業者などに対する支援（農業振興係）

予算事業名：農業振興費

当初予算額 0 円 最終予算額 283,223,000 円 決算額 8,716,592 円

台風19号災害により、被害を受けてしまった農地や樹体、農業用施設、農業用機械等の復旧・復興を支援しました。

一部の事業は年度内に完了しませんでしたので、令和2年度も引き続き事業を行います。

(1) 主な支出

- ・ 流木除去業務委託料 47 万円
- ・ 代作用種苗等購入、病害虫防除薬購入補助 18 万円
- ・ JAによる農家による自主排土に使用するバックホー購入費用への助成 590 万円
- ・ 農家による自主排土に要する経費への助成 66 万円
- ・ 災害復旧活動支援金 150 万円

(2) 活動指標

- ・ 流木除去箇所 6か所
- ・ 苗木購入費への補助 11戸、苗木100本
- ・ 防除薬購入費への補助 11戸、防除薬70本
- ・ バックホー導入台数 2台
- ・ 自主排土実施農家数 7農家

【重点】新規就農者の支援（農業振興係）

予算事業名：新規就農者支援事業費

当初予算額 28,783,000 円 最終予算額 28,733,000 円 決算額 18,452,853 円

若く意欲ある新規就農者の育成に努めました。平成28年度から通年での就農体験を開始し、令和元年度は4名が就農、1名が研修を開始しました。農業次世代人材投資事業（経営開始型）の活用のほか、住宅支援、物産展出展経費補助、農地の紹介・斡旋を研修受入農家（里親農家）と連携しながら積極的に行いました。また、須坂市、高山村、JAながのと連携し、都内就農フェアでの就農相談に参加しました。

(1) 主な支出

・生活費の支援（農業次世代人材投資事業・経営開始型）	1,407万円
・住居費の支援	212万円
・販路拡大の支援	40万円
・農地賃借料の支援	75万円
・居住施設、農業用倉庫の修繕	20万円
・有料広告	35万円

(2) 活動指標

・準備型対象者数（研修生）	3名（令和元年度末現在）
（内、町外出身者）	3名
・経営開始型対象者数（新規就農者）	12名（令和元年度末現在）
（内、町外出身者）	11名
・里親農家登録数	22名（令和元年度末現在）
・都内就農相談会（新・農業人フェア、JA就農相談会、マイナビ就農FESTなど）	
・小布施町就農体験	
期間：平成31年4月～令和2年3月までの間	随時
内容：りんご、ぶどう、野菜等の収穫・出荷準備	

(3) 活動指標の推移

指標項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規研修開始者数	2	1	2	3	1
新規就農者数	3	2	2	1	4
里親農家数	35	26	26	20	22
新規研修開始者数	0	2	1	2	3
新規就農者数	4	3	2	2	1
里親農家数	31	35	26	26	20

【重点】先進的農家に対する支援（農業振興係）

予算事業名：先進的農家支援事業費

当初予算額 2,592,000円 最終予算額 2,635,000円 決算額 2,162,168円

個々の農家では解決できない営農上の課題に対し、複数の農家が共同して解決策を検討・実施することを目的に新しい農業のあり方策定プロジェクトを立ち上げました。プロジェクトに参加した農家の皆さんにより農家集団「おぶせファーマーズ」が結成され、その活動を支援しました。栗の品質向上に資するため、苗木の購入費用を補助しました。

(1) 主な支出

・農作物販売支援等旅費	18万円
・おぶせファーマーズ活動交付金	170万円
・栗の苗木の購入補助	28万円

(2) 活動指標

・新しい農業のあり方策定プロジェクト会議開催	8回
------------------------	----

- ・ 栗の苗木の購入補助件数 34件 344本
苗の種別（筑波、銀寄、美玖里、ポロタンなど）

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
苗木数	1,156本	1,296本	1,146本	456本	344本

【重点】農作物の野生鳥獣被害の防止（農業振興係）

予算事業名：有害鳥獣対策費

当初予算額 3,179,000 円 最終予算額 3,179,000 円 決算額 1,843,001 円

雁田山への緩衝帯の整備、カラス捕獲檻の管理、モンキーダックの巡回を行い、農作物に被害を与えるおそれのあるサルやイノシシ、カラスなど鳥獣駆除対策に有害鳥獣駆除推進協議会による取り組みを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 有害鳥獣駆除推進協議会補助金 100 万円
- ・ サル、イノシシ等駆除報償費 27 万円
- ・ 緩衝帯整備樹木伐採委託料 29 万円

(2) 活動指標

- ・ 有害鳥獣駆除 駆除従事者 8人
駆除期間
カラス檻 4月1日～令和2年3月31日
カラス檻以外 5月1日～令和2年3月31日
駆除数
カラス 101羽
イノシシ2頭、ニホンジカ1頭、ハクビシン19頭、その他（キツネ、タヌキ等）19匹
計41頭
- ・ 雁田山緩衝帯整備 11月10日
実施箇所：興和林業 ～ 雁田山沿いわぐ下用排水路 まで約250m
参加者：地元農家、有害鳥獣駆除推進協議会、町職員、ボランティア約120名
- ・ モンキーダックによる巡回 登録数 2頭

(3) 活動指標の推移

- ・ 雁田山緩衝帯整備

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施場所	大せき下、わぐ下用排水路	林業工場、わぐ下用排水路	浄光寺北側	大せき下、わぐ下用排水路	林業工場、わぐ下用排水路
実施内容	L=350、W=15	L=250、W=15	L=200、W=15	L=250、W=15	L=250、W=15

※ L：延長、W：幅（m）

- ・ 鳥獣駆除数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
鳥類	938 羽	686 羽	618 羽	140 羽	101 羽
獣類	52 頭	38 頭	9 頭	38 頭	41 頭

- ・ モンキーダックによる巡回

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動頭数	2	2	2	2	2

巡回場所・・・雁田山緑道沿い

(4) 成果指標

・有害鳥獣による農作物の被害額

(単位：万円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
被害金額	182	181	210	93	207

小布施六斎市の開催(産業政策係)

予算事業名：小布施六斎市事業費

当初予算額 7,428,000 円 最終予算額 421,000 円 決算額 420,125 円

台風19号災害により中止となりました。

(1) 主な支出

- ・ 広告費等 9 万円
- ・ チラシ作成 34 万円

フローラルガーデンおぶせの管理運営(農業振興係)

予算事業名：フローラルガーデンおぶせ管理運営費

当初予算額 17,307,000 円 最終予算額 17,307,000 円 決算額 16,009,870 円

フローラルガーデンおぶせを(一財)小布施町振興公社に管理委託しました。6次産業センターと連携し、施設を訪れる観光客へのサービスの向上に努め、花苗の販売拡大や花に関する情報発信を図りました。

(1) 主な支出

- ・ 管理委託料 1,500 万円
- ・ フローラルガーデンおぶせ身障者用トイレ便器取替え工事 21 万円
- ・ フローラルガーデンおぶせ深井戸ポンプ入替え 48 万円
- ・ フローラルガーデンおぶせ 立水栓移設工事 6 万円
- ・ 火災保険料 25 万円

(2) 活動指標

- ・ 花苗、鉢花、洋ラン、雑貨の販売、企業への納品等
- ・ 展覧会 山野草展、らん展、おもと展の開催
- ・ イベント アレンジメント教室、寄せ植え教室

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入園者数	20,728	16,015	14,797	9,389	7,403

6次産業センターの管理運営(農業振興係)

予算事業名：6次産業センター管理運営費

当初予算額 6,524,000 円 最終予算額 6,524,000 円 決算額 6,144,097 円

6次産業センターを(一財)小布施町振興公社に管理委託し、農産物の販売促進と販路拡大、ブランド化を推進しました。

(1) 主な支出

- ・ 施設管理委託料 400 万円
- ・ 土地借上料 173 万円
- ・ 火災保険料 4 万円
- ・ 6次産業センタープレハブ冷蔵庫 冷却器交換 29 万円
- ・ 6次産業センター菓子加工室内 冷蔵庫撤去処分 8 万円

(2) 活動指標

- ・ 農産物の販売と地場産物を使った加工品販売、野菜苗の販売
- ・ ジャム、ジュース、菓子、アイスクリーム等の製造
- ・ 台風19号被災地区の農家を対象に直売所において販売支援
- ・ 店内レイアウトの変更、販売促進

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
販売会員数	144名	141名	132名	121名	136名
売上額	9,006万円	7,661万円	7,262万円	6,968万円	7,653万円

ふるさと創造館の管理運営（農業振興係）

予算事業名：ふるさと創造館管理運営費

当初予算額 1,790,000 円 最終予算額 1,790,000 円 決算額 1,597,968 円

ふるさと創造館を（一財）小布施町振興公社に管理委託し、農産加工室の貸し出しや加工作業の指導などを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 施設管理委託料 50 万円
- ・ 土地借上料 101 万円
- ・ 火災保険料 8 万円

(2) 活動指標

- ・ りんごジュース、ジャムづくり、焼き物等で利用

(3) 活動指標の推移

利用回数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加工室	17回	15回	14回	19回	8回
作陶室	130回	95回	114回	102回	64回
調理室	56回	64回	46回	39回	34回

4 フラワーセンター費 23,999,146 決算事項別明細書 P128～131

フラワーセンターの管理運営（農業振興係）

予算事業名：フラワーセンター管理費

当初予算額 31,780,000 円 最終予算額 31,780,000 円 決算額 23,999,146 円

花産業の振興を図るため、フラワーセンターでプラグ苗の生産を行い、花き農家の育成と販路の拡大を図りました。

(1) 主な支出

- ・ 嘱託職員報酬、臨時職員賃金 953 万円
- ・ 消耗品 215 万円
- ・ 花苗用土代 252 万円
- ・ 燃料費 251 万円
- ・ 花苗種子代 168 万円
- ・ 修繕料 133 万円
- ・ 土地借上料 155 万円
- ・ 光熱水費 156 万円

(2) 活動指標

- ・花苗生産 62千本、セル苗生産 206万本
- ・マリーゴールド、サルビア、パンジー、ビオラ、トルコギキョウ等花苗のほか、アスパラ等野菜苗の発芽・育苗

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
販売収入額(万円)	2,304	2,701	2,692	2,699	2,520
農家数(戸)	8	7	7	7	7
セル苗本数(本)	2,100,736	1,997,468	2,041,103	2,431,710	2,061,200
ポット苗本数(本)	81,336	71,476	65,080	60,694	62,088

※農家数は花苗生産者会の会員数

5	農地費	78,445,159	決算事項別明細書	P130~131
---	-----	------------	----------	----------

【重点】土地改良事業(農業振興係)

予算事業名：農地対策費

当初予算額 80,707,000 円 最終予算額 84,207,000 円 決算額 78,445,159 円

土地改良区の施設更新に係る補助や、農免道路などを整備した際の借入金に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・農道等借入補助(7路線) 726 万円
- ・多面的機能支払交付金 1,232 万円
- ・県営農道整備事業須高地区負担金 1,656 万円
- ・県営畑地帯総合土地改良事業 松北地区 負担金 4,140 万円
(2,520万円は土地改良区負担分)
- ・県営農村地域防災減災事業(相之島地区) 負担金 50 万円

(2) 活動指標

- ・平成29年度から県営農道整備事業(須高地区)開始
(事業期間：平成29年度～令和3年度、全体計画：1,750m路面改良)
- ・平成30年度から県営畑地帯総合土地改良事業(松北地区)開始
(事業期間：平成30年度～令和4年度、全体計画：6揚水機場の改修)

6	集落排水施設費	19,972,000	決算事項別明細書	P130~131
---	---------	------------	----------	----------

農業集落排水事業特別会計への繰出金(上下水道係)

予算事業名：農業集落排水施設費

当初予算額 19,778,000 円 最終予算額 19,972,000 円 決算額 19,972,000 円

農業集落排水事業特別会計へ、一般会計で負担すべき費用を支出しました。

(1) 主な支出

- ・農業集落排水事業特別会計繰出金 1,997 万円

7	農業共済費	5,271,715	決算事項別明細書	P130~131
---	-------	-----------	----------	----------

農業共済の促進(農業振興係)

予算事業名：農業共済費

当初予算額 5,755,000 円 最終予算額 5,755,000 円 決算額 5,271,715 円

農業経営の安定のため果樹共済に加入した農家に対し、共済掛金の一部補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・果樹共済掛金一部負担金 364 万円
- ・家畜基幹診療センター運営負担金 163 万円

(2) 活動指標

引受実績	りんご					
	半相殺 総合短縮	半相殺 暴風	半相殺 2セット	樹園地 総合短縮	樹園地 暴風	樹園地 2・3セット
	53 戸 1,863 ㄱ	28 戸 1,836 ㄱ	15 戸 496 ㄱ	27 戸 2,005 ㄱ	4 戸 226 ㄱ	4 戸 331 ㄱ
	ぶどう			なし		もも・すもも 総合短縮等
	半相殺等	樹園地等	災害収入	半相殺 総合短縮	樹園地 2セット	
	21 戸 1,176 ㄱ	4 戸 157 ㄱ	1 戸 23 ㄱ	16 戸 225 ㄱ	1 戸 37 ㄱ	14 戸 621 ㄱ
	※半相殺：農家単位に被害樹園地の減収分について損害を把握する方式					合計（のべ）
	※樹園地：樹園地単位に被害樹園地の減収分について損害を把握する方式					188戸
	※災害収入：農家の樹種ごとの収入金を補償する方式					8,996.3a

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
りんご	加入戸数	180戸	178戸	166戸	147戸	131戸
	加入面積	9,297a	9,276a	8,665a	7,802a	6,757a
	共済掛金	9,418,477円	8,592,954円	7,961,682円	6,635,048円	7,071,549円
ぶどう	加入戸数	34戸	35戸	32戸	30戸	26戸
	加入面積	1,636a	1,711a	1,633a	1,654a	1,356a
	共済掛金	1,615,938円	1,277,687円	1,391,781円	1,171,093円	894,570円
なし	加入戸数	28戸	27戸	23戸	21戸	17戸
	加入面積	515a	503a	410a	355a	262a
	共済掛金	558,572円	656,484円	518,883円	434,335円	276,975円
もも・すもも	加入戸数	28戸	24戸	22戸	20戸	14戸
	加入面積	1,053a	1,007a	906a	749a	621a
	共済掛金	813,628円	911,865円	927,880円	597,658円	488,888円
合計	加入戸数	270戸	264戸	243戸	218戸	188戸
	加入面積	12,501a	12,497a	11,614a	10,560a	8,996a
	共済掛金	12,406,615円	11,438,990円	10,800,226円	8,838,134円	8,731,982円

2	林業費	2,383,844	
1	林業総務費	2,383,844	決算事項別明細書 P130～131

林業の振興（農業振興係）

予算事業名：林業総務費

当初予算額 3,459,000 円 最終予算額 4,059,000 円 決算額 2,383,844 円

松枯れを引き起こす松くい虫といった森林病害虫を駆除し、被害の拡大を防ぐため被害木の伐倒駆除処理を行いました。また、町内の緑化推進のための緑化木の頒布会を開催したり、間伐材の利用を促進するために県産間伐材を使った木製ベンチを購入したりしました。

(1) 主な支出

・ 松くい虫被害木駆除委託料	150 万円
・ 須高緑化推進連絡会負担金	26 万円
・ 間伐材木製ベンチ購入(1基)	4 万円
・ 林務負担金等	5 万円

(2) 活動指標

- ・ 駆除活動の内容 松くい虫駆除期間 令和元年5月27日～令和2年1月24日

	松枯れ	
	本	m ³
燻蒸処理	76	31.23
破砕処理	10	15.74
合 計	86	46.97

◆「燻蒸処理」は森林病害虫が潜入している被害木を切断し、ビニールシートで覆い薬剤処理する方法

◆「破砕処理」は機械などで木を砕いて病害虫を処理する方法

- ・ 木製ベンチ設置場所 中央公会堂
- ・ 緑化木頒布会 5月18日

配布苗木数 300本

品種	ブルーベリー	ドウダツツジ	一葉	ハカイトウ	ブルー	モクレン	ヒメコブシ	ジャスミン
本数	50	20	50	40	40	20	40	40

(3) 活動指標の推移

- ・ 松枯れ被害木駆除処理の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
被害本数	228本	278本	150本	193本	86本
被害量	136.30m ³	102.69m ³	62.05m ³	33.36m ³	46.97m ³

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績	
6			商工費	97,354,200		
	1		商工費	97,354,200		
		1	商工総務費	9,759,681		
商工事業臨時職員賃金など(商工振興係)						
予算事業名：商工総務費						
当初予算額 1,047,000 円 最終予算額 1,047,000 円 決算額 1,035,023 円						
商工事業に携わる臨時職員の賃金です。						
(1) 主な支出						
・ 臨時職員賃金 102 万円						
・ その他 2 万円						
職員人件費(総務係)						
予算事業名：一般職人件費						
当初予算額 9,194,000 円 最終予算額 10,111,000 円 決算額 8,724,658 円						
(1) 主な支出						
・ 職員人件費 872 万円						
2			商工振興費	19,026,283	決算事項別明細書 P132~133	
【重点】商工会事業に対する補助など(商工振興係)						
予算事業名：商店街等活性化事業費						
当初予算額 8,662,000 円 最終予算額 8,662,000 円 決算額 8,659,287 円						
町の地域経済の活性化を図るため、商工会が行う中小企業者への支援事業や伝統行事の開催に対し補助を行いました。						
(1) 主な支出						
・ 商工会小規模事業補助金 500 万円						
・ 商工会一般事業補助金 100 万円						
・ くりんこ祭り実行補助金 60 万円						
・ 安市行事補助金(警備委託料込) 205 万円						
(2) 活動指標						
・ 小布施町商工会 会員数 299人						
・ 商工会一般事業補助金 商工会事業に対して助成						
・ 商工会小規模事業補助金 経営指導員に対して助成						
・ くりんこ祭り実行補助金 小布施町くりんこ祭り実行委員会を組織し運営						
第42回くりんこ祭り 7月27日 駅前神宮通り						
28連/約1,356人参加						
・ 安市行事補助金 安市 1月14~15日 皇大神社ほか						
県制度資金保証料の補助(商工振興係)						
予算事業名：商店街等活性化事業費						
当初予算額 1,200,000 円 最終予算額 1,200,000 円 決算額 853,899 円						
商工業者が、経営の安定のため資金を金融機関から借りる場合、長野県信用保証協会からの保証を受ける必要があります。その保証料の一部を補助しました。						
(1) 主な支出						

- ・ 経営健全化資金保証料等補給金 85 万円

(2) 活動指標

- ・ 県中小企業融資制度資金の斡旋及び融資保証料補給（県 1/2、町 1/2）

制度資金名	件数 (単位：件)	融資総額 (単位：万円)	保証料補給額 (単位：万円)
経営健全化支援資金	9	5,612	85
計	9	5,612	85

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	8件	4件	8件	5件	9件
融資総額	2,780万円	4,000万円	7,756万円	6,550万円	5,612万円
保証料補給額	103万円	59万円	144万円	127万円	85万円

県制度資金利子の補助（商工振興係）

予算事業名：商店街等活性化事業費

当初予算額 2,200,000 円 最終予算額 2,200,000 円 決算額 1,170,097 円

商工業者が、経営安定のため運転資金を県制度資金で借る場合、利子の初年度分全額を補助しました（セーフティネット付）。ただし、セーフティネットなしで資金を利用した企業については、限度額を10万円としました。

(1) 主な支出

- ・ 経営健全化資金利子補給金 31万円
- ・ 町中小企業振興資金利子補給金 86万円

(2) 活動指標

- ・ 対象件数 17 事業所

セーフティネット付は初年度分全額補助
セーフティネットなしで資金を利用した場合は1企業年1回10万円を限度として補助
運転資金のみ対象

内訳

- ・ 経営健全化資金利子補給金 4件
- ・ 町中小企業振興資金利子補給金 13件

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	28件	27件	35件	26件	17件
借入額	8,400万円	1億6,285万円	1億4,150万円	8,360万円	9,287万円
利子補給額	159万円	215万円	198万円	124万円	86万円

【重点】空き店舗活用に対する補助（商工振興係）

予算事業名：空き店舗対策事業費

当初予算額 3,700,000 円 最終予算額 3,700,000 円 決算額 1,000,000 円

活力ある商店街づくりを進めるため、空き店舗の改修・賃借に対する補助を行っています。

(1) 主な支出

- ・ 空き店舗改修補助 100 万円

- ・ 空き店舗賃借料補助 0 万円

(2) 活動指標

- ・ 空き店舗改修補助 1 事業所
補助率 3分の1 限度額100万円
- ・ 空き店舗賃借料補助 0 事業所
補助率 3分の1 限度額月額 5万円
30年度からの継続補助含む（対象期間1年）

(3) 活動指標の推移

- ・ 空き店舗改修補助

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	1件	0件	4件	2件	1件
補助金	100万円	0万円	326万円	206万円	100万円

公共交通の支援（都市計画係）

予算事業名：公共交通支援事業費

当初予算額 12,368,000 円 最終予算額 7,469,000 円 決算額 7,343,000 円

町唯一の公共交通機関である長野電鉄が行う安全性向上に資する施設整備費の一部を、県・沿線市町とともに補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 小布施町地域鉄道安全性向上事業費補助金 732 万円
- ・ 地域連携長野電鉄長野線沿線活性化協議会負担金 2 万円

(2) 活動指標

- ・ 長野電鉄・県・沿線市町村及び住民等で構成する「地域連携長野電鉄長野線沿線活性化協議会」を開催 日時：4月22日 場所：中野市役所
- ・ 地域イベントとの連携 中野バラまつり（5月25日～6月9日 329名利用）
ごんバル・駅前バルお帰り切符（10月30日 26名）
小布施見にマラソン貸切列車（7月14日6便運行）
栗祭りお帰りきっぷ（10月26日 144名）
初詣列車（12月31日から1月1日 270名）ほか
- ・ 駅周辺の活性化事業 小布施町との連携による小布施駅緑化事業（4月13日・10月2日）
栗ガ丘小学校との連携による小布施駅緑化事業（6月20日）
- ・ 企画列車の運行 ビアトレイン、ワイントレイン、地酒トレイン
- ・ 小学生無料乗車デイ（ゴールデンウィーク3日間、お盆5日間、年始3日間、毎月第三土曜日 計22日）
- ・ 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業
総事業費 533,276,330円（内小布施町負担7,323,000円）

(3) 活動指標の推移

- ・ 5年間の実施状況 (単位：千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総事業費	411,469	460,582	216,583	374,721	533,276
町補助金	8,244	9,245	3,827	7,520	7,323

3	観光費	33,944,038	決算事項別明細書	P132~133
---	-----	------------	----------	----------

東京小布施会の活動支援（商工振興係）

予算事業名：東京小布施会費

当初予算額 885,000 円 最終予算額 885,000 円 決算額 735,823 円

東京近郊に住む小布施町出身の皆さんで組織する「東京小布施会」は、ふるさとの発展を願い、さまざまな活動を行っています。その活動に対して支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 東京小布施会通信印刷費等 16 万円
- ・ 総会記念品 17 万円
- ・ 町内参加者用バス借上料 33 万円
- ・ 旅費 7 万円

(2) 活動指標

- ・ 東京小布施会会員数 561 人
- ・ 交流会（総会）
 - 11月8日 東京グリーンパレス 出席者数 168 人
 - 第1部 講演会等
 - 市村町長「ふるさとだより」
 - 北斎館館長 安村 敏信 氏「北斎と小布施」
 - 小布施女声コーラス 合唱
 - 第2部 交流懇親会

(3) 活動指標の推移

(単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
会員数	611	625	595	572	561
総会出席者数	156	172	169	162	168

観光案内、観光パンフレットの作成など（商工振興係）

予算事業名：観光案内事業費

当初予算額 3,757,000 円 最終予算額 3,757,000 円 決算額 2,824,159 円

町内散策等に利用する観光パンフレットの印刷や、観光施設案内看板の管理及び観光PRを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 観光パンフレットの印刷 164 万円
- ・ 案内看板用地の借上げ 56 万円
- ・ 町内観光案内看板修繕 19 万円
- ・ 広告料等 32 万円
- ・ 消耗品、備品類の製作及び購入 3 万円
- ・ 旅費 6 万円

(2) 活動指標

- ・ 観光パンフレットの印刷 50,000 部
- ・ 観光パンフレットダイジェスト版の印刷 100,000 部
- ・ 中国語版観光パンフレットダイジェスト版の印刷 5,000 部
- ・ 英語版観光パンフレットダイジェスト版の印刷 15,000 部
- ・ 案内看板用地の借上げ 18箇所

(3) 活動指標の推移

(単位：部)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
パンフレット印刷	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
観光マップ印刷	291,000	250,000	300,000	300,000	300,000

※ 観光マップは平成24年度より観光協会で作成（観光協会の活動支援事業より支出）

広域観光の推進（商工振興係）

予算事業名：観光案内事業費

当初予算額 20,000 円 最終予算額 20,000 円 決算額 20,000 円

観光を点から面へと広げ、地方文化の向上と観光事業の振興と繁栄を図るため、近隣市町村や観光協会で構成する協議会で観光PRなどを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 上信越ふるさと街道協議会負担金 1万円
- ・ 信州まつもと空港利用促進協議会負担金 1万円

(2) 活動指標

- ・ 上信越ふるさと街道協議会 51構成員（市町村、商工会議所、観光協会）
商工会等の連携による加入路線市町村による広域PRの推進
観光宣伝事業・・・パンフレット、ポスター制作配布、ホームページ運営
ホームページデザイン更新
会員間の研修と交流・・・視察研修会の実施・地域視察、講演会の開催

シャトルバスの運行（商工振興係）

予算事業名：シャトルバス運行事業費

当初予算額 10,901,000 円 最終予算額 10,901,000 円 決算額 10,171,587 円

町中心部の渋滞緩和とパークアンドウォーク（車は郊外に駐車し、町の中は歩いて移動する）推進のため、町内を周遊するシャトルバスの運行を行いました。

令和元年度には料金の改定を行い、大人300円→500円、小学生300円、団体(10人以上)2割引、障がい者5割引としました。

(1) 主な支出

- ・ シャトルバス運行事業負担金 912万円
- ・ 周遊券印刷等 8万円
- ・ 周遊券販売手数料 25万円
- ・ 土地借上料 30万円

(2) 活動指標

- ・ 運行日数 157日（土・日、祝日、行楽期の平日運行）
- ・ 運行コース 小布施総合公園前⇒小布施駅⇒北斎館入口⇒おぶせミュージアム⇒松村駐車場⇒おぶせ温泉前⇒フローラルガーデン⇒浄光寺⇒岩松院⇒フローラルガーデン⇒松村駐車場⇒おぶせミュージアム⇒北斎館入口⇒小布施駅⇒小布施総合公園前 1日7往復
- ・ 利用者数 大人6,536人、小学生113人

(3) 活動指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度

利用者数	15,172人	10,391人	11,474人	10,277人	6,649人
運行日数	240日	182日	173日	173日	157日
便数	282便	217便	197便	197便	185便

松村駐車場の管理運営（商工振興係）

予算事業名：松村駐車場管理費

当初予算額 6,100,000 円 最終予算額 6,100,000 円 決算額 4,631,957 円

町へ訪れる皆さんの拠点町営駐車場として管理運営を行いました。

(1) 主な支出

・ 管理人賃金	103 万円
・ 駐車場整備業務謝礼	1 万円
・ 駐車場整理、清掃委託料	44 万円
・ 駐車場用地借上料	286 万円
・ 消耗品、光熱水費、修繕費等	23 万円
・ 通信費、火災、自動車保険料	6 万円

(2) 活動指標

自動車の種別	利用台数（台）	駐車場使用料収入（万円）
大型車(1日 1,500円)	19	3
普通車(1日 500円)	9,185	459
二輪車(1日 300円)	105	3
計	9,309	465

松村駐車場 4,872.6 m² 南駐車場 1,560.0 m²

(3) 活動指標の推移

- ・ 「森の駐車場の管理運営」参照

森の駐車場の管理運営（商工振興係）

予算事業名：森の駐車場管理費

当初予算額 3,093,000 円 最終予算額 3,093,000 円 決算額 2,279,734 円

町へ訪れる皆さんの拠点町営駐車場として、管理運営を行いました。

(1) 主な支出

・ 管理人賃金	168 万円
・ 警備保障	12 万円
・ 通信費、火災・自転車保険料	10 万円
・ 消耗品、光熱水費等	37 万円

(2) 活動指標

自動車の種別	利用台数（台）	駐車場使用料収入（万円）
普通車(1日 500円)	15,559	779
二輪車(1日 300円)	98	3
計	15,657	782

(3) 活動指標の推移

(単位：台)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
松村駐車場	19,757	11,429	11,946	12,417	9,309

森の駐車場	19,529	16,151	15,870	15,529	15,657
東町駐車場 (参考)	19,998	33,192	32,484	32,181	23,377
北斎館駐車場 (参考)	14,373				
計	73,657	60,772	60,300	60,127	48,343

観光施設の管理（商工振興係）

予算事業名：観光施設等管理費

当初予算額 3,579,000 円 最終予算額 3,973,000 円 決算額 3,718,442 円

地域の交流の拠点として、また生産者自らが新鮮な農産物等の販売を通じ消費者と交流し、町の産業のPRを行う場としてふるさと交流センターや公衆トイレ等の管理運営を行いました。台風19号の被害や経年劣化により屋根瓦にズレが生じた浄光寺前公衆トイレの屋根の修繕を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 土地借上料 115 万円
- ・ 北斎館公衆トイレ負担金 166 万円
- ・ 消耗品、光熱水費等 25 万円
- ・ 浄光寺前公衆トイレ屋根修繕 49 万円
- ・ 火災保険料 11 万円
- ・ ふるさと交流センター清掃委託 4 万円

小布施文化観光協会の活動支援（商工振興係）

予算事業名：観光協会支援事業費

当初予算額 8,657,000 円 最終予算額 8,657,000 円 決算額 7,848,830 円

町の観光資源保護及び観光事業の振興を図るため、小布施文化観光協会の各種事業に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 小布施文化観光協会補助金 100 万円
- ・ 文化観光協会職員設置負担金 287 万円
- ・ 臨時職員賃金 110 万円
- ・ 六斎舎借上料 194 万円
- ・ 日本語・英語版マップ製作費負担金 93 万円

(2) 活動指標

- ・ 小布施文化観光協会会員数 127 会員

総会、理事会 8 回

主な事業

- ・ 栗祭り
- ・ 小布施祭りin名古屋
- ・ 観光マップの製作(日本語版、英語版)
- ・ パンフレット発送(県内外)1,573件
- ・ ホームページの運営管理

参加事業 ・ 北信濃ふるさとインフォメーション

後援・共催等 ・ 小布施見にマラソン(7月14日)

・ 小布施音楽祭(8月24日、8月31日)

・ スラックライン・フルコンボジャパンカップ2019(9月14日、15日)

広域観光の推進 ・ 北信濃観光連盟へ参画

・ 信州フルーツ王国振興会へ参画

・ 須高地域広域観光協議会へ参画

・ クレーム対応（該当事業所への指導）

(3) 活動指標の推移 (単位：件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
パンフレット送付数	1,666	2,936	2,165	1,963	1,573

・ 個人、旅行会社、ホテル等へ送付（電話、メールでの問い合わせに対応）

【重点】花のまちづくり事業（オープンガーデン）（商工振興係）

予算事業名：花のまちづくり事業費

当初予算額 1,813,000 円 最終予算額 1,419,000 円 決算額 930,314 円

花による人と人との交流の輪を広げるため、趣旨に賛同いただいたお宅などの庭園を開放するオープンガーデン事業を実施しています。春には駅前オープンガーデンオーナーとハンギングバスケットを制作・装飾し、駅利用者に花によるおもてなしをしました。また、町内巡回車両を運行し、オープンガーデンを巡るOpenGarden花巡り2019を開催しました。オープンガーデンブックに代わる、オープンガーデンウェブサイトを作成し、情報発信を図りました。

(1) 主な支出

- ・ オープンガーデンウェブサイト作成委託料 56 万円
- ・ 日本花の会会費等 5 万円
- ・ 看板シール作成、植栽講習会花等材料費等 25 万円
- ・ 植栽講習会講師謝礼、研修旅費 1 万円

(2) 活動指標

- ・ 令和元年度登録軒数 121 軒
- ・ おぶせOpenGarden花巡り2019 乗車数 延べ400人
- ・ 研修視察の実施 鴻巣市場 参加者19人
- ・ 植栽講習会等の実施 FG花壇植込み、総合公園すみだ交流花壇、ハンギングバスケット コンテナガーデン

(3) 活動指標の推移 (単位：軒)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
個人	96	94	92	92	90
店舗	28	28	28	28	28
公共	3	3	3	3	3
登録軒数	127	125	123	123	121

マスコットキャラクターの活用（生涯学習係）

予算事業名：キャラクター推進事業費

当初予算額 1,308,000 円 最終予算額 1,308,000 円 決算額 783,192 円

町の特産品である栗をモチーフにしたキャラクターの活動を通じ、地域への愛着や誇り、郷土心を醸成するとともに、町の魅力を全国に発信しました。

(1) 主な支出

- ・ キャラクターとの町PR活動謝礼 29 万円
- ・ キャラクターの修繕、消耗品 9 万円
- ・ 旅費 9 万円
- ・ グッズの製作委託 15 万円
- ・ イベント参加負担金 7 万円

(2) 活動指標

- ・ キャラクターの出演

年間16日（町内5日、県内4日、県外7日、台風19号災害による出演中止2日）

※ キャラクター出演実績

・ 4月12日	エンゼルランドセンター開所式
・ 5月25～26日	ご当地キャラクターフェスティバルinすみだ2019
・ 6月22日、8月27日、10月5日	新宿高野小布施町ウィークエンドマルシェ
・ 6月30日	信州住まいのわくわくフェア
・ 7月13日、14日	おぶせ見にマラソン
・ 7月23日	栗ガ丘幼稚園納涼お楽しみ会
・ 9月7日	下水道ふれあいデー
・ 9月27日	JR東日本信州産直市
・ 10月6日	すみだまつり
・ 10月9日	NHKあさイチ
・ 11月2～3日	ゆるキャラグランプリ2019inしあわせ信州

3	観光費	33,944,038	決算事項別明細書	P132～133
---	-----	------------	----------	----------

勤労者の支援（商工振興係）

予算事業名：勤労者対策費

当初予算額 4,071,000 円 最終予算額 4,071,000 円 決算額 3,876,551 円

勤労者を対象とした生活資金融資に係る利子についてその一部を補助しました。また、勤労者協議会の活動に対し、補助を行いました。

長野地域広域連携（9市町村）による、関東地域在住の社会人・大学生で長野地域で就職を考えている人を対象に、企業の魅力を情報発信するため、企業合同説明会、企業職場体験の開催、就職情報サイト「おしごとながの」の運営を行う「長野地域若者就職促進協議会」（令和元年度より発足）に参加し、若者のUJIターン就職を推進しています。

(1) 主な支出

・ 勤労者生活資金融資預託金	300 万円
・ 勤労者生活資金融資利子補給金	0 万円
・ 中小企業退職金共済加入奨励補助金	10 万円
・ 須高地区福祉協議会等負担金	5 万円
・ 勤労者協議会交付金	50 万円
・ UJIターン就職促進事業負担金	20 万円

(2) 活動指標

・ 勤労者生活資金融資	労働金庫 貸付限度額 100万円（10年以内）	借入者 2人
・ 中小企業退職金共済加入奨励補助金		6社
・ 勤労者協議会活動内容	町勤労協駅前駐輪場の管理（毎月第2日曜日の早朝、清掃）	
	魚のつかみどり大会（8月4日開催 総合公園）	
	くりんこ祭りイベント参加（7月27日開催 商工会館前）	

駅前駐輪場の管理（商工振興係）

予算事業名：駅前駐輪場管理費

当初予算額 143,000 円 最終予算額 143,000 円 決算額 71,147 円

駅前駐輪場を利用される皆さんが、気持ち良く便利に使っていただけるよう清掃や修繕を行いました。

(1) 主な支出

・ 駐輪場消耗品	7 万円
----------	------

【重点】起業者の支援（商工振興係）

予算事業名：起業者支援事業者

当初予算額 30,976,000 円 最終予算額 30,976,000 円 決算額 30,676,500 円

新たに事業を起こそうとする「新規創業者」、或いは既存経営の改革・改善を目指す「第2創業者」等、起業を目指す人材育成を図るため、おぶせ起業セミナーを開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 起業者支援預託金 3,000 万円
- ・ 起業セミナー講師謝礼 67 万円

(2) 活動指標

- ・ おぶせ起業セミナー開催
スタートアップセミナー 8月19日、26日、9月2日、9日 受講者 4名
- ・ チャレンジ資金 新規開業予定者及び開業から3年未満の個人または法人
- ・ パワーアップ資金 新しい技術やサービスの研究開発、事業展開を行う個人または法人
- ・ 融資限度額 1,000万円（設備 500万円、運転 500万円）
- ・ 融資のあっせん、保証料や利子に対する補助

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績	
7			土木費	496,676,983		
	1		土木管理費	51,179,784		
		1	土木総務費	51,179,784	決算事項別明細書	P134~135
未登記物件の処理・赤線の有効活用(都市計画係)						
予算事業名：登記事務費						
当初予算額 388,000 円 最終予算額 388,000 円 決算額 257,374 円						
<p>町の公共事業で買収した用地等について登記を行いました。 法定外公共物の適正な管理を行うための民地との境界立会を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小布施町福原地区未登記物件処理業務 18 万円 ・ 小布施町道路用地未登記物件処理 (羽場地区) 6 万円 ・ 県地区用地対策連絡協議会負担金 0.3 万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登記件数 40件 事業関連：町道107号線 (皇大神社北) 用地交換 町道555号線 (エンゼルランドセンター南) 道路用地寄付 東町・押羽・北岡 道路用地寄付 横町赤線払下げ、ながの農協赤線・水路払下げ、未登記処理 (福原・羽場) ・ 境界立会件数 29件 <p>事業関連に伴い嘱託登記を行いました。また、法定外公共物と民地との境界立会を行い、町有財産の適正な把握・管理に努めました。</p>						
高速交通網の推進(都市計画係)						
予算事業名：高速道新幹線対策費						
当初予算額 18,000 円 最終予算額 18,000 円 決算額 6,400 円						
<p>上信越自動車道信濃町上越間の早期4車線化などを図るため、各期成同盟会で要望活動等を行いました。 平成18年に本格導入されたスマートIC (ETC専用インター) は、多くの方に利用されています。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会会費 0.6 万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上信越自動車道建設促進期成同盟会総会 (書面開催) 下記項目について承認 決定日 9月19日 <ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度事業報告 2 平成30年度歳入歳出決算報告 3 令和元年度事業計画 4 令和元年度歳入歳出予算 5 役員の改選について 6 顧問及び相談役の推薦 7 決議 ・ 北陸新幹線長野県沿線広域市町村連絡協議会総会 (書面開催) 下記事項について承認 決定日 9月11日 <ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度事業報告 2 平成30年度歳入歳出決算報告 						

- 3 令和元年度事業計画
- 4 令和元年度歳入歳出予算
- 5 役員の改選について
- 6 顧問、参与及び相談役の委嘱について

- ・中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会通常総会（書面開催）
下記項目について承認 決定日 9月11日
 - ・平成30年度事業報告
 - ・平成30年度収入支出決算報告
 - ・令和元年度運動方針及び事業計画(案)
 - ・令和元年度収入支出予算（案）
 - ・役員改選について

スマートIC利用台数（平成17年4月開設）

	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	令和2年3月
年度内日平均利用台数	2,665	2,737	2,714	2,703	2,228
日最大利用台数	6,780	5,301	6,371	5,809	4,943
利用台数累計	8,288,488	9,287,433	10,278,164	11,264,755	12,087,102

※スマートインターは、台風19号の被害により、11月29日まで閉鎖されていました。

建設工事設計積算システム等の運用（建設管理係）

予算事業名：土木総務費

当初予算額 1,371,000 円 最終予算額 1,371,000 円 決算額 1,314,993 円

建設工事を積算するためのシステム、大型コピー機による発注図面作成により、建設工事等を発注しました。

(1) 主な支出

- ・設計積算システム・大型コピー機使用料 83 万円
- ・旅費、図書購入、印刷製本、消耗品等 48 万円

(2) 活動指標

- ・建設工事を発注するため、設計積算システム、大型コピー機を使用

職員人件費（総務係）

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 52,721,000 円 最終予算額 50,540,000 円 決算額 49,601,017 円

(1) 主な支出

- ・職員人件費 4,960 万円

2	道路橋梁費	110,179,785	
1	道路橋梁総務費	141,320	決算事項別明細書 P134～137

国・県道の整備促進（建設管理係）

予算事業名：道路橋梁総務費

当初予算額 372,000 円 最終予算額 374,000 円 決算額 141,320 円

国道、県道の整備促進のため、関係自治体と期成同盟会を構成し、各種行事や要望活動に参加しました。

(1) 主な支出

- ・国道403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会負担金 0.6 万円

- ・ 県道路整備期成同盟会負担金 0.7 万円
- ・ (主)豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会負担金 0.5 万円
- ・ 千曲大橋（長野市長沼・須坂市豊洲間）県道建設促進期成同盟会負担金 0.8 万円
- ・ 関東国道協会負担金 1.8 万円
- ・ 陳情等旅費 4.8 万円
- ・ 図書購入・消耗品等 4.9 万円

(2) 活動指標

- ・ 国道403号（中野・千曲間）整備促進期成同盟会
総会、国、県への要望活動
中野市～千曲市の4市1町の構成であり、今後も要望を中心に活動
- ・ (主) 豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会
総会、現地調査
長野市～山ノ内町の2市2町1村で構成され、今後も要望を中心に活動
- ・ 千曲大橋（長野市長沼・須坂市豊洲間）県道建設促進期成同盟会
研究会、総会
架橋促進、県道編入のための陳情・請願を行う
- ・ 関東国道協会
総会、国、国会議員への要望活動、研修会
- ・ 県道路整備期成同盟会負担金
総会、道路講演会、道路整備の啓発番組を作成

2	道路維持費	51,721,470	決算事項別明細書	P136～137
---	-------	------------	----------	----------

町道の維持管理（建設管理係）

予算事業名：道路維持管理費

当初予算額	8,298,000 円	最終予算額	7,370,000 円	決算額	5,314,871 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

前年度に行った舗装工事、水路改良工事に係る道路台帳の補正を行いました。また、安全で安心して道路が利用できるように草刈り、路肩清掃、小規模修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 道路台帳の補正委託 122 万円
- ・ 草刈り等の委託 280 万円
- ・ 土地の借上料 2 万円
- ・ 街路灯などの電気料 50 万円
- ・ 道路補修用碎石・資材 67 万円
- ・ 図書購入、消耗品費 10 万円

(2) 活動指標

- ・ 道路台帳補正（道路認定・改良 L=1,390m）
- ・ 除草、路肩、側溝、橋梁、浸透柵の清掃箇所
町道546号線、町道585号線、町道670号線、町道696号線、町道707号線
八木沢1号・2号堤外水路橋、県道中野小布施線、バス駐車帯、松村地区
大島地区（総合公園臨時駐車場、切次）
- ・ 道路補修用碎石等の箇所
山王島共有地、吉島耕作組合、飯田共有地、大島共有地、北部土木振興会

※ 道路法第28条に基づき道路台帳を整備、必要な平面図、調書等を作成し適正な道路管理を行っています。

※ 道路補修用砕石及び資材の支給は、地域住民による「よろずぶしん事業」として実施しました。

除雪と凍結防止剤の散布（建設管理係）

予算事業名：道路除雪費

当初予算額 15,148,000 円 最終予算額 15,148,000 円 決算額 13,649,599 円

通勤、通学路の除雪と凍結防止剤の散布を民間業者に委託して行いました。また、各コミュニティに小型除雪機を貸し出しました。

(1) 主な支出

・ 除雪等機械借上げ	426 万円
・ 待機補償料	551 万円
・ 凍結防止剤	51 万円
・ 凍結防止剤散布	39 万円
・ 小型凍結防止剤散布車リース料	228 万円
・ 小型除雪機、散布車保険料	20 万円
・ 散布車整備料	36 万円
・ 小型除雪機点検料	6 万円
・ 雪捨場、保管場所清掃委託	4 万円
・ 修繕料、消耗品等	3 万円

(2) 活動指標

- ・ 除雪：通勤通学路を中心に89.5km、歩道5.4km、駐車場39箇所を除雪。
- ・ 凍結防止剤：生活幹線道路、路面凍結が著しい路線13.7kmに散布。

・ 小型除雪機配置	合計 27 台
第1コミュニティ	2 台
第2コミュニティ	4 台
第3コミュニティ	3 台
第4コミュニティ	2 台
第5コミュニティ	2 台
第6コミュニティ	3 台
第7コミュニティ	4 台
第8コミュニティ	3 台
第9コミュニティ	4 台

除雪路線以外の町道については、地域住民が地域の除雪を行えるよう小型除雪機を各コミュニティに配置（貸出）しています。（平成17年度に11台、平成18年度に17台の計28台貸出。内、松川自治会解散に伴い平成28年度に1台返却、現在計27台を配置）

また、凍結防止剤が必要な自治会には、要望に応じて凍結防止剤をお配りし、地域の皆さんに自主的な散布をお願いしました。

【重点】町道の舗装修繕（建設管理係）

予算事業名：道路補修事業費

当初予算額 28,726,000 円 最終予算額 62,754,000 円 決算額 32,757,000 円

幅員5.5m以上の生活幹線道路で、路面の傷みが激しい路線の舗装修繕を行いました。

(1) 主な支出

・ 舗装、道路修繕工事	3,275 万円
-------------	----------

(2) 活動指標

・ 修繕工事の実施状況

(単位：万円)

路線名	内 容	金 額
平成31年度 町道113号線、116号線舗装修繕工事	A=139㎡	122
平成31年度 町内一円舗装修繕工事	A=2,040㎡	419
平成31年度 町道122号線 舗装修繕工事	A=496㎡	393
平成31年度 町道534-イ号線、536-イ号線、569号線舗装修繕工事	A=576㎡	488
平成31年度 町道333号線 舗装修繕工事	A=249㎡	664
令和元年度 町道339号線、350号線舗装修繕工事	A=351㎡	391
令和元年度 町道9号線 舗装修繕工事	A=118㎡	103
令和元年度 町道258号線 舗装修繕工事	A=110㎡	83
令和元年度 町道528-ロ号線 舗装修繕工事	A=56㎡	24
令和元年度 町道605号線 歩道修繕工事	L=72.25m	79
令和元年度 町道舗装パッチング修繕工事	7箇所	25
令和元年度 町道89号線緊急舗装修繕工事	A=53.9㎡	110
令和元年度 小規模舗装修繕工事 12件		45
平成31年度 町道339号線マンホール鉄蓋修繕工事	4基	87
平成31年度 町道358号線 歩道修繕工事	L=25m	93
令和元年度 栗が丘歩道修繕工事	L=9.35m	57
令和元年度 大島地区堤内地道路土砂撤去工事	V=63㎡	81
令和元年度 小規模道路修繕工事 2件		11
計	L=106.6m A=4,188.9㎡	3,275

※ L：延長、A：面積

(3) 活動指標の推移

・ 5年間の実施状況

(単位：万円)

年 度	箇所数	内 容	金 額
27	30	L=1,496.9m A=8,785.0㎡	10,049
28	24	L=1,506.8m A=9,919.1㎡	9,384
29	23	L=843.55m A=6,727.1㎡	4,859
30	29	L=1,323.45m A=7,148.7㎡	6,529
元	30	L=106.6m A=4,188.9㎡	3,275

※ L：延長、A：面積

※2,996万円は、令和2年度に繰り越しました。

3	道路新設改良費	9,597,923	決算事項別明細書	P136～137
---	---------	-----------	----------	----------

【重点】町道の改良工事（建設管理係）

予算事業名：道路新設改良事業費

当初予算額 5,000,000円 最終予算額 18,262,000円 決算額 9,597,923円

町道328号線の道路改良工事、町道224号線の測量設計を行いました。

(1) 主な支出

・ 道路改良工事	522万円
・ 測量設計業務	420万円
・ 用地購入、補償	17万円

(2) 活動指標

・ 測量設計、改良事業の実施状況

(単位：万円)

路線名	工種	内 容	金 額
令和元年度 町道328号線 道路改良工事	土木	L=87.4m	522

令和元年度	町道224号線	測量設計業務	L=20m	420
令和元年度	町道224号線	用地購入、補償	A=82.7m ²	17
計			L=87.4m	959

※ L：延長、A：面積

(3) 活動指標の推移

・ 5年間の実施状況

(単位：万円)

年度	箇所数	内 容		金 額
27	7	L=580.55m	A= - m ²	2,305
28	6	L=294.9m	A=34.0m ²	1,430
29	1	L=84.0m	A= - m ²	992
30	2	L=158.7m	A= - m ²	1,549
元	1	L=87.4m	A= - m ²	959

※ L：延長、A：面積

(4) 成果指標

・ 町道の状況

年度	実延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率 (%)	舗装延長 (m)	舗装率 (%)
27	194,375.2	131,979.5	67.9	174,690.9	89.9
28	192,518.5	131,520.8	68.3	173,364.9	90.1
29	192,531.6	132,047.7	68.6	173,369.7	90.0
30	192,576.4	132,631.7	68.9	173,439.2	90.1
元	190,689.4	133,621.8	70.1	173,717.1	91.1

※866万円は、令和2年度に繰り越しました。

4	橋梁維持費	40,426,998	決算事項別明細書	P136~137
---	-------	------------	----------	----------

橋梁の維持管理(建設管理係)

予算事業名：橋梁維持管理費

当初予算額 254,000 円 最終予算額 254,000 円 決算額 149,398 円

橋梁の機能を維持するため、必要な管理を行いました。

(1) 主な支出

・ 街路灯の電気料 14 万円

【重点】横断暗渠(地下水路)の修繕(建設管理係)

予算事業名：橋梁補修事業費

当初予算額 7,840,000 円 最終予算額 42,072,000 円 決算額 40,277,600 円

老朽化した横断暗渠(地下水路)の修繕を行いました。社会資本整備総合交付金を活用して上松川橋の橋脚を修繕しました。

(1) 主な支出

- ・ 橋梁補修工事設計 594 万円
- ・ 橋梁暗渠等修繕工事 1,167 万円
- ・ 橋梁補修工事 2,266 万円

(2) 活動指標

・ 橋梁暗渠修繕工事の実施状況

(単位：万円)

路線名	内 容	金 額
平成31年度 町道343号線	横断暗渠修繕工事 L= 10.0 m	102

平成31年度	町道344号線	横断暗渠修繕工事	L= 6.3 m	150
平成31年度	町道517号線	横断暗渠修繕工事	L= 10.0 m	68
平成31年度	町道536-ロ号線	横断暗渠修繕工事	L= 19.8 m	70
令和元年度	町道358号線	横断暗渠修繕工事	L= 30.3 m	278
令和元年度	町道164号線	横断暗渠修繕工事	L= 16.0 m	246
令和元年度	町道133号線	横断暗渠修繕工事	L= 8.0 m	123
令和元年度	町道525号線	横断暗渠修繕工事	L= 8.0 m	50
令和元年度	町道344号線	横断暗渠修繕工事	L= 7.6 m	80
計			L= 116.0 m	1,167

※ L : 延長

(3) 活動指標の推移

・ 5年間の実施状況

(単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金 額
27	16	L=133.0m	1,326
28	14	L=119.5m	1,210
29	9	L=108.7m	1,368
30	18	L=158.9m	1,625
元	9	L=116.0m	1,167

5 | 交通安全対策費 | 8,292,074 |

決算事項別明細書 P136~139

交通災害共済の推進（都市計画係）

予算事業名：交通災害共済推進費

当初予算額 2,400,000円 最終予算額 2,400,000円 決算額 2,287,937円

交通事故に遭ってしまった人を救済するため、東北信市町村交通災害共済への加入促進を行い、取りまとめに協力いただいた各自治会に交付金を支払いました。

平成29年度から18歳以下の公費負担に加え、65歳以上の人にも公費負担としました。

(1) 主な支出

- ・ 交通災害共済推進交付金（27自治会） 20万円
- ・ 交通災害共済業務電算処理委託 14万円
- ・ 交通災害共済公費負担者掛金 194万円

(2) 活動指標

- ・ 加入人数 9,263人（加入率84.3%）

(3) 活動指標の推移

・ 加入者数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加入者数	8,810人	8,716人	9,373人	9,399人	9,263人
加入率	78.5%	78.1%	84.7%	85.4%	84.3%

・ 見舞金給付の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
共済掛金	3,239,200円	3,173,100円	3,449,000円	3,450,200円	3,414,200円
給付件数	23件	17件	29件	26件	24件
(内 死亡事故件数)	—	—	1件	—	1件
給付額	1,878,180円	1,191,000円	3,672,000円	2,062,380円	2,847,840円

※ 死亡事故については、1件1,600,000円

交通安全の啓発と推進（都市計画係）

予算事業名：交通安全対策費

当初予算額 1,137,000 円 最終予算額 1,342,000 円 決算額 1,248,921 円

町民みんなの願いである「事故のない明るいまちづくり」を呼びかけ、活発な活動を行っている交通安全協会を支援しました。

また、子どもたちの通学時の安全を図るため小布施町通学路安全協議会を開催し、現地調査や「小布施町通学路交通安全プログラム」の見直し等を行いました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|--------------|-------|------------|-------|
| ・ 町交通安全協会補助金 | 10 万円 | ・ 車両誘導警備委託 | 53 万円 |
| ・ 諸行事街頭警備委託 | 10 万円 | ・ 道路照明電気料 | 8 万円 |
| ・ 交通安全施設修繕等 | 30 万円 | | |

(2) 活動指標

- ・ 年末年始等、年4回の交通安全運動に合わせた啓発活動
- ・ 町交通安全協会 会員数：約3,800世帯
活動状況：毎月5のつく日（5日、15日、25日）における全町一斉街頭啓発
年間延出役者数：約1,600人 街頭啓発箇所数：32箇所 年間日数：34日
- ・ 高齢者または子どもへの交通安全啓発等の交通安全協会活動
- ・ 町主催行事等での交通安全警戒活動 3行事（安市、くりんこ祭り、小布施見にマラソン）
延べ約150人出動
- ・ 小布施町通学路安全協議会の開催 11月21日

(3) 活動指標の推移

- ・ 町内交通事故発生件数の推移 (単位：件)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
発生件数	33	34	33	32	26
死亡事故件数	1	0	0	1	1

- ・ シートベルト着用率（7月調査）の推移 (単位：％)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総合着用率	99.3	98.6	100.0	100.0	100.0
県下平均	99.1	99.1	99.2	99.0	99.0
順位	44位/77市町村	59位/77市町村	1位/77市町村	1位/77市町村	1位/77市町村

- ・ 町交通安全協会費納入者数の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
納入者数（世帯）	2,758	2,777	2,825	2,798	2,746

【重点】安全な交通環境の維持と交通事故防止（都市計画係）

予算事業名：交通安全施設設置費

当初予算額 4,998,000 円 最終予算額 4,793,000 円 決算額 4,472,000 円

道路反射鏡などの交通安全施設の設置や修繕など維持管理を行い、安全に通行できる環境を整えました。また、通学路の道路路側帯のカラー舗装を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 反射鏡等の設置・カラー舗装等工事 447 万円

(2) 活動指標

- ・ 反射鏡等設置・修繕 12 箇所

- 交通安全施設修繕 7箇所
- 路側帯カラー舗装 1箇所（小布施・福原地区）

(3) 活動指標の推移

- 交通安全施設の設置、修繕の状況 (単位：箇所)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
反射鏡等設置	7	7	6	6	6
反射鏡等の修繕	16	8	4	7	6

自治会からの設置要望箇所、老朽化の著しい箇所を中心にカーブミラー等の設置や修繕、通学路として利用している道路の路側帯のカラー舗装など、交通事故防止を図りました。

違法駐車に対する指導（都市計画係）

予算事業名：駐車指導事業費

当初予算額 365,000 円 最終予算額 365,000 円 決算額 283,216 円

春秋の連休などに北斎館周辺に駐車指導員を配置し、違法駐車指導や駐車場の案内をすることで、より安全に通行できる環境にしました。また、観光案内としての役割も担いました。

(1) 主な支出

- 駐車指導員の謝礼 25万円

(2) 活動指標

- 駐車指導員数 17名
 - 春の連休シーズン中 10日間実施 延べ38人出動 駐車指導件数：7件
 - 秋の連休シーズン中 10日間実施 延べ40人出動 駐車指導件数：30件
- ※10月12日以降は台風19号の影響により実施しませんでした。

(3) 活動指標の推移

- 違法駐車指導の状況 (単位：件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
駐車指導件数	198	185	10	11	37

※ 駐車指導員の主な活動内容は、駐車場の案内、観光案内などとなっています。

3	河川費	55,010,606
1	河川総務費	170,420

決算事項別明細書 P138～139

河川の整備促進（建設管理係）

予算事業名：河川総務費

当初予算額 361,000 円 最終予算額 361,000 円 決算額 170,420 円

国、県が管理する一級河川の整備を促進するため、関係自治体と期成同盟会を構成し、各種行事や要望活動に参加しました。

(1) 主な支出

- 浅川改修期成同盟会負担金 1.0万円
- 千曲川改修期成同盟会負担金 4.3万円
- 篠井川改修促進期成同盟会負担金 1.8万円
- 長野県治水砂防協会負担金 2.0万円
- 長野県河川協会会費 0.3万円
- 陳情・総会等旅費 7.6万円

(2) 活動指標

- ・ 浅川改修期成同盟会
 - 5月 総会 長野県へ要望活動
- ・ 千曲川改修期成同盟会
 - 7月 総会 北陸地方整備局へ要望活動
 - 7月 国土交通省、財務省、国会議員へ要望活動
- ・ 篠井川改修促進期成同盟会
 - 7月 千曲川河川事務所へ要望活動
 - 7月 北陸地方整備局へ要望活動
 - 7月 国土交通省、財務省、国会議員へ要望活動
 - 8月 総会
- ・ 長野県治水砂防協会
 - 5月 全国治水大会へ参加
 - 8月 総会
- ・ 長野県河川協会
 - 7月 総会
- ・ 浅川改修期成同盟会
 - 内水対策を継続して要望しています。
- ・ 千曲川改修期成同盟会
 - 千曲川右岸押羽地籍の漏水対策を継続して要望しています。
- ・ 篠井川改修促進期成同盟会
 - ポンプの増設について、継続して要望しています。
- ・ 長野県治水砂防協会
 - 松川の河川改修を要望しています。
- ・ 長野県河川協会
 - 浅川、松川、篠井川、深沢川の河川改修を要望しています。

2	河川水路維持費	13,813,921	決算事項別明細書	P138～139
---	---------	------------	----------	----------

河川の維持管理(建設管理係)

予算事業名：河川維持管理費

当初予算額	754,000 円	最終予算額	1,906,000 円	決算額	1,651,033 円
-------	-----------	-------	-------------	-----	-------------

県が管理する一級河川深沢川の愛護活動を行っている団体に対し、助成を行いました。台風6号で被災した松川取入口の土砂整正復旧を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 深沢川除草・除草剤散布謝礼 19 万円
- ・ 除草剤等消耗品 16 万円
- ・ 松川取入口土砂整正 115 万円
- ・ 深沢川維持管理組合交付金 15 万円

(2) 活動指標

- ・ 深沢川維持管理組合、深沢川桜づつみの会
深沢川藻払い及び草刈り
地域住民の皆さんのご協力により良好な河川環境が維持されています。
- ・ 松川取入口の管理
松川取入口土砂整正を行い、松川からの取水を良好に管理しています。

水路の維持管理(建設管理係)

予算事業名：水路維持管理費

当初予算額 8,508,000 円 最終予算額 12,692,000 円 決算額 12,162,888 円

水路の機能を維持するため必要な管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 水路清掃業務の委託 55 万円
- ・ 浸透柵、調整池清掃業務の委託 76 万円
- ・ 水路の修繕 671 万円
- ・ よろずぶしん事業資材購入等 403 万円
- ・ 機械借上げ 10 万円
- ・ 光熱水費 1 万円

(2) 活動指標

- ・ 堰堰及び二ノ口水門の清掃
- ・ 松川水門ピット土砂上げ
- ・ 大島、東町、北岡、六川、山王島、伊勢町、飯田、松村、水上、矢島、横町、林地区の水路等の修繕
- ・ 松村、クリトピア、飯田、東町、大島自治会によろずぶしん資材を提供しました。
- ・ 雁田、北部、六川地区の雨水浸透柵内部の清掃
- ・ 伊勢町雨水調整池の清掃

3 水路新設改良費 37,306,096 決算事項別明細書 P138~139

【重点】水路の改良工事(建設管理係)

予算事業名：水路新設改良事業費

当初予算額 65,720,000 円 最終予算額 97,220,000 円 決算額 30,394,096 円

緊急度、優先度に応じて、町内の水路の改良工事を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 測量設計業務 1,124 万円
- ・ 水路新設改良の工事 1,915 万円

(2) 活動指標

- ・ 水路改良工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	工種	内容	金額
平成31年度 松村水路改良工事	改良	L=66m	265
平成31年度 松の実水路改良工事	改良	L=30.8m	91
平成31年度 北部水路改良(その1)工事	改良	L=40m	1,079
令和元年度 雁田水路改良工事	改良	L=30.8m	211
令和元年度 山王島水路改良工事	改良	前払金	270
計		L=167.6m	1,916

※ L：延長

(3) 活動指標の推移

- ・ 5年間の実施状況 (単位：万円)

年度	箇所数	内容	金額
27	17	L=833.65m	7,329
28	17	L=1,255.8m	10,770

29	18	L=1, 117. 2m	9, 547
30	14	L=951. 25m	8, 892
元	5	L=167. 6m	1, 916

※ L : 延長

※6, 680万円は、令和2年度に繰り越しました。

【重点】水路の改良工事(繰越分)(建設管理係)

予算事業名：水路新設改良事業費(繰越明許分)

当初予算額 0 円 繰越予算額 9, 000, 000 円 決算額 6, 912, 000 円

緊急度・優先度に応じて、町内の水路の改良工事を行いました。

(1) 主な支出

- 水路新設改良の工事 691 万円

(2) 活動指標

- 水路改良工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	工種	内容	金額
平成30年度(繰越) 林水路改良(その2)工事	改良	L=112m	691

※ L : 延長

4 河川公園費 3, 720, 169 決算事項別明細書 P138~139

千曲川河川公園の維持管理(都市計画係)

予算事業名：河川公園管理費

当初予算額 4, 034, 000 円 最終予算額 4, 054, 000 円 決算額 3, 720, 169 円

全長4km、600本余の八重桜「一葉」の桜堤と、広大な菜の花畑のある千曲川河川公園を良好な状態で利用していただけるよう維持管理を行いました。

また、「千曲川北信5市町かわまちづくり計画」が平成31年3月8日に国土交通省の「かわまちづくり支援制度」に登録され、事業実施に向けた体制づくりに取り組みました。

(1) 主な支出

- 仮設トイレ借上げ(4月下旬~12月上旬) 36 万円
- 菜の花の種等 41 万円
- 千曲川右岸堤防除草業務委託 111 万円
- 千曲川河川公園維持管理委託(黄金島の会) 10 万円
- 河川公園内修繕等 9 万円
- 菜の花畑除草 10 万円
- 桜堤施肥・植替え業務作業 41 万円
- 河川公園・桜堤整備(整地・土壌管理)委託 99 万円

(2) 活動指標

- 仮設トイレ設置数 4月~12月：7基(うち洋式トイレ1基)
- 千曲川右岸堤防除草業務委託 除草面積 15, 000 m² 6、9月実施
- 千曲川河川公園維持管理委託等 4月~11月 菜の花播種、除草、耕うん
地域住民で組織する「山王島黄金島の会」による菜の花畑の管理
管理期間 4月から11月 花期 4月中旬から5月上旬
- シャトルバスの運行 運行期間 4月27日~5月2日の6日間
乗車延べ人数 1, 053人
- 千曲川河川公園の緑の管理人等による良好な維持管理(通年)

菜の花畑は地域住民で組織する「山王島黄金島の会」で管理を行っており、地域の公園という意識が定着してきています。

桜の開花時期や地域住民により管理された菜の花の開花時期には、町内をはじめ町外からも多くの方が訪れています。テレビ局等の報道機関から多数の問い合わせがありました。

桜堤堤防上は自転車歩行者道となっており、ウォーキングやジョギングなどで年間を通して活用されています。

※台風19号による千曲川の増水により、河川公園が被災してしまいました。復旧については、款12災害復旧費で行っています。

4	都市計画費	264,568,419		
1	都市計画総務費	81,037	決算事項別明細書	P138～141
良好な都市景観・都市計画の推進（都市計画係）				
予算事業名：都市計画総務費				
当初予算額		169,000円	最終予算額	169,000円
			決算額	81,037円
<p>集落、コミュニティの活性化を図るため、市街化調整区域の一部で開発許可基準の緩和をしています。景観に配慮した秩序ある土地利用の推進を図るとともに、市街化区域との均衡を図りながら施策の推進をしました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画協会会費 3万円 ・県都市施設協会会費及び事業割負担金（街路含む） 2万円 ・都市計画研修会等旅費 2万円 <p>市街化を促進する「市街化区域」、良好な景観（農村風景など）を保全するため市街化を抑制する「市街化調整区域」の均衡ある土地利用（開発指導）を進めています。</p>				
2	公共下水道費	230,292,000	決算事項別明細書	P140～141
下水道事業特別会計への繰出金（上下水道係）				
予算事業名：公共下水道費				
当初予算額		238,311,000円	最終予算額	244,254,000円
			決算額	230,292,000円
<p>公共下水道事業の運営を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業特別会計繰出金 2億3,029万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水経費分 8,930万円 ・汚水経費分 1億4,099万円 				
3	公園費	34,195,382	決算事項別明細書	P140～141
街区公園の維持管理（都市計画係）				
予算事業名：都市公園管理費				
当初予算額		1,499,000円	最終予算額	1,499,000円
			決算額	1,451,962円
<p>地域住民の憩いの場として整備された都市公園（街区公園）を良好な状態で利用できるよう維持管理を地元の自治会や育成会とともに行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街区公園遊具修繕等 10万円 				

・光熱水費	48 万円
・公園管理等委託	43 万円
・大日堂公園樹木剪定委託	21 万円
・公園用地借上料	19 万円

(2) 活動指標

・樹木剪定委託	大日堂公園樹木剪定委託
・清掃委託等	岩松院ふるさとゾーン清掃・除草委託 4月～10月（雁田自治会） 冒険の森トイレ浄化槽保守点検委託 4回/年
・公園用地借上料	小布施児童公園・逢瀬公園・福原児童公園

街区公園内の草取り等により、気持ち良く・安心して利用いただけるよう管理に努めました。また、大日堂公園内の樹木の剪定を行いました。

都市公園の整備（都市計画係）

予算事業名：都市公園整備事業費

当初予算額	968,000 円	最終予算額	968,000 円	決算額	967,680 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

岩松院公園のトイレの解体工事・支障木の撤去を行いました。

(1) 主な支出

・岩松院公園トイレ解体・撤去工事	64 万円
・岩松院公園支障木撤去業務	32 万円

(2) 活動指標

・岩松院公園トイレ解体・撤去工事
・岩松院公園支障木撤去業務

【重点】小布施総合公園の維持管理（都市計画係）

予算事業名：総合公園管理費

当初予算額	25,791,000 円	最終予算額	26,282,000 円	決算額	25,511,726 円
-------	--------------	-------	--------------	-----	--------------

町民の皆さんや来訪者の憩いの場として多くの方々にご利用いただいている小布施総合公園（道の駅「オアシスおぶせ」としても登録）を良好な状態で利用いただけるように施設の点検や除草等、維持管理を行いました。

また、小布施総合公園を会場にスラックラインのワールドカップなども開催されました。

(1) 主な支出

・光熱水費	792 万円
・緑の管理人賃金（9人）	806 万円
・公園内施設及び管理用機材等修繕	146 万円
・公園施設の管理委託	386 万円
・公園管理機材の購入	11 万円
・土地借上料（デイキャンプ場・南駐車場・南緑地公園）	250 万円
・トイレトーパー・消毒材等消耗品	82 万円
・乗用草刈等の燃料費	36 万円

(2) 活動指標

・公園内施設及び管理用機材等修繕
総合公園内トイレ修繕

- デイキャンプ場木橋修繕
- 樹木剪定管理委託
- 乗用草刈機等機械類修繕
- ・公園施設の管理委託
 - 樹木剪定管理委託
 - 小布施総合公園と関越自動車道上越線との兼用工作物の維持作業（東日本高速道路株）
 - 総合公園トイレ掃除委託 4月～12月
 - 小布施総合公園噴水設備保守点検業務 3回/年
- ・電気自動車充電設備の管理
- ・マレットゴルフ協会による、マレットゴルフ場の清掃をボランティア活動として実施していただいています。

(3) 活動指標の推移

- ・公園施設利用状況

施設区分	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
野外ステージ（有償利用）	件	7	1	1	1	0
マレットゴルフ場	人	3,103	2,250	1,933	2,252	1,604
（内 用具有償利用者）	人	583	727	470	445	461

※台風19号により公園施設の一部が被災してしまいました。復旧については、款12災害復旧費で行っています。

【重点】総合公園内安全利用のための遊具修繕など（都市計画係）

予算事業名：総合公園整備事業費

当初予算額 5,481,000 円 最終予算額 5,061,000 円 決算額 4,682,420 円

町民の皆さんや来訪者の憩いの場として多くの方々にご利用いただいている小布施総合公園（道の駅「オアシスおぶせ」としても登録）内の老朽化した施設等の修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・公園修繕工事 164 万円
- ・総合公園南緑地公園予定地除草等委託 294 万円

(2) 活動指標

- ・公園修繕
 - 自動給水装置修繕工事
 - 噴水装置紫外線浄化装置部品交換
 - 総合公園L型擁壁隙間修繕工事
 - ターザンロープ修繕
 - トイレ修繕
- ・小布施総合公園南緑地公園予定地除草・整地業務
- ・小布施総合公園南緑地公園予定地北水路法面樹木伐採業務

スポーツコミュニティセンターの維持管理（都市計画係）

予算事業名：スポーツコミュニティセンター管理費

当初予算額 1,805,000 円 最終予算額 1,805,000 円 決算額 1,581,594 円

生涯スポーツの推進、住民の交流の場として平成26年にリニューアルオープンした「スポーツコミュニティセンター」は指定管理者により維持管理がされ、大勢の方にご利用いただいています。

(1) 主な支出

- ・通信費 9 万円
- ・警備保障等委託 66 万円
- ・公園施設等管理委託 75 万円

(2) 活動指標

- ・スポーツコミュニティセンターの維持管理を行いました。
- ・ボルダリング利用者数 10,117 人

(3) 活動指標の推移

- ・ボルダリング利用状況

	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ボルダリング利用者数	人	13,741	14,339	14,336	12,296	10,117

5 まちづくり費 10,354,993

1 まちづくり総務費 10,354,993

決算事項別明細書 P140～143

【重点】国道403号の整備促進・まちづくり研修会の開催（都市計画係）

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 3,360,000 円 最終予算額 2,146,000 円 決算額 1,557,685 円

歩行者が安全で安心して歩ける快適な道空間整備を進めるため、毎月1回「小布施町国道403号新しい市庭(いちば)通りを創生する会」を道路管理者である長野県にも出席いただき開催し、情報共有を図りながら、事業実現に向け協議を進めました。

令和2年度には一部工事が着手される予定です。

(1) 主な支出

- ・委員謝礼等 113 万円
- ・歩道用地借地料 18 万円
- ・映像制作業務委託 10 万円

(2) 活動指標

- ・小布施町国道403号新しい市庭(いちば)通りを創生する会の開催 11回開催
- ・ブロック塀検査機 貸出 3件

優良景観建築物等の認定等（都市計画係）

予算事業名：景観事業費

当初予算額 163,000 円 最終予算額 163,000 円 決算額 30,189 円

「小布施町うるおいのある美しいまちづくり条例」により、総合的に景観に優れている建物等を「景観優良建築物等」として認定を行いました。

(1) 主な支出

- ・まちづくり認定証 0.4 万円
- ・消耗品費 2 万円

(2) 活動指標

- ・優良な景観建築物等の認定 1件

(3) 活動指標の推移

- ・平成27年度 建築部門：第8回優良な景観建築物等の認定 4件
- ・平成28年度 該当なし

- ・平成29年度 建築部門：第9回優良な景観建築物等の認定 1件
- ・平成30年度 該当なし
- ・令和元年度 建築部門：第11回優良な景観建築物等の認定 1件

まちづくりデザイン委員会活動（都市計画係）

予算事業名：景観事業費

当初予算額 120,000 円 最終予算額 120,000 円 決算額 36,500 円

良好な景観づくりを推進するため、町民、諸団体の代表及び学識経験を有する者7名で構成されるまちづくりデザイン委員会を設置しています。令和元年度は、優良な景観建築物等の認定の審査を行いました。

- (1) 主な支出
- ・委員報酬・特別委員謝礼 3万円
- (2) 活動指標
- ・まちづくりデザイン委員会を2月10日に開催。
 - 優良な景観建築物等の認定の審査

景観に配慮した建築物などへの助成等（都市計画係）

予算事業名：景観事業費

当初予算額 692,000 円 最終予算額 692,000 円 決算額 63,800 円

町で進める景観形成に協力（配慮）していると認められる建物の新築や生け垣の設置に対して、助成金を交付しました。

- (1) 主な支出
- ・まちづくり事業補助金等 6万円
- (2) 活動指標
- ・住宅・店舗等の新築 1件（2年目）
 - ・生け垣の設置 1件
- (3) 活動指標の推移
- ・助成金実績

助成区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
住宅、店舗等の 新築・増改築	件	4	4	4	1	1
	万円	32	36	37	3	3
広告物の 撤去・改修	件	1	0	0	0	0
	万円	5	0	0	0	0
生け垣の設置	件	2	1	0	1	1
	万円	12	5	0	5	3
その他	件	0	1	0	0	0
	万円	0	27	0	0	0

関東都市美協議会への参加（都市計画係）

予算事業名：景観事業費

当初予算額 18,000 円 最終予算額 18,000 円 決算額 0 円

良好な景観づくりを推進するため、11月7・8日つくば市にて関東地方都市美協議会が開催されましたが、台風19号による災害の復旧作業のため欠席しました。

(1) 主な支出
なし

(2) 活動指標
なし

住まいづくり相談の実施（都市計画係）

予算事業名：住まいづくり相談事業費

当初予算額 315,000 円 最終予算額 315,000 円 決算額 270,000 円

景観形成に配慮した住まいづくりを進めるため、住宅の新築・増改築等の相談を受ける「住まいづくり相談所」を開設しました。また、メール等による特別相談も受け付けています。

(1) 主な支出
・住まいづくり相談員謝礼（3人分） 27 万円

(2) 活動指標
・住まいづくり相談所開設 毎月第3水曜日 午後2時～4時（必要に応じて特別相談を実施）
住まいづくり相談員：久保田三代、西澤広智・山田将光（宮本忠長建築設計事務所）
相談内容：住宅の新・増改築に関すること（間取り、下水の接続、段差解消 など）、広告物に関すること（色彩、設置箇所 など）、まちづくり助成金に関すること等

(3) 活動指標の推移
・相談件数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談件数	48 件	70 件	57 件	67 件	64 件

住まいづくり相談は平成元年度から実施しており、建物の形態や配置など、小布施町景観計画及び景観づくりの指針「住まいづくりマニュアル」で定める基準に沿ったものに近づくなど、一定の成果が得られています。また、住まいづくり相談以外でも、景観の届出、開発許可申請や建築確認申請などに際して指導を実施しています。

栗木歩道の管理（都市計画係）

予算事業名：栗木歩道管理費

当初予算額 2,002,000 円 最終予算額 2,733,000 円 決算額 1,028,980 円

町のシンボルでもある「栗木歩道」を安心・安全に利用できるよう修繕工事を行うとともに、国道の歩道修繕について県に働きかけをしました。

また、横町、中町地区の赤線（小径）を安全に歩けるよう舗装工事を行いました。

(1) 主な支出
・栗木歩道修繕（信金前・小布施堂前） 51 万円
・小径整備工事 51 万円

(2) 活動指標
・滑り止め用マット設置箇所 栗の小径 他
・栗木歩道修繕（信金前・小布施堂前）
・凍結防止剤の散布

修景事業地周辺の歩道への滑り止めマットの設置や凍結防止剤の散布、また、老朽による栗木歩道（信金前、小布施堂前）の修繕を行い、歩行者の安全（転倒防止）を図りました。

※108万円は、令和2年度に繰り越しました。

沿道花壇の管理（都市計画係）

予算事業名：沿道花壇管理費

当初予算額 7,867,000 円 最終予算額 7,867,000 円 決算額 7,367,839 円

町民の皆さんや来訪者等、道路利用者に潤いと安らぎの空間を提供するため、主要道路の沿道花壇の良好な維持管理を行いました。

また、町内のボランティア団体が管理する沿道花壇に花苗を提供するとともに、街路町組松村線花壇の管理を「花壇の里親」により実施し、町民の皆さんと協働による管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 町内花壇等維持管理委託（2工区） 308 万円
- ・ 町内沿道花壇花苗の生産（販売）委託 252 万円
- ・ 街路樹剪定業務委託 54 万円
- ・ ハンギングバスケット作成資材等 20 万円
- ・ 善光寺花回廊 10 万円
- ・ 信州花フェスタ出展花壇維持管理委託 38 万円

(2) 活動指標

- ・ 沿道花壇ボランティア団体（11団体）への花苗の提供 2 回/年
- ・ 街路町組松村線花壇の「花壇の里親」との協働による維持管理
区画花壇47箇所（6団体） 植替時期 2回/年 6月、11月
- ・ 街灯ハンギングバスケット制作 54 個
駅前周辺～町中心部に4月下旬から5月下旬まで設置 27 箇所
- ・ 花壇管理業務委託（2工区）
委託期間 6月から11月 植替時期 2回/年 6月、11月
県道村山小布施停車場線花壇 591 m²
国道403号花壇 1,110 m
町内樽花壇 15箇所
- ・ 花苗生産委託 委託生産者数 7 人
- ・ 信州花フェスタ出展花壇維持管理委託 期間 4月25日～6月16日 植替 10回
場所 松本平広域公園

(3) 活動指標の推移

※ 沿道花壇業者委託料の推移（参考）

平成27年度	3,358,800円（2工区）
平成28年度	3,358,800円（2工区）
平成29年度	2,160,000円（2工区）
平成30年度	2,160,000円（2工区）
令和元年度	3,078,000円（2工区）

6	住宅費	5,383,396
1	住宅管理費	5,383,396

決算事項別明細書 P142～143

町営住宅の維持管理（財政係）

予算事業名：町営住宅管理費

当初予算額 3,883,000 円 最終予算額 5,473,000 円 決算額 5,383,396 円

町営住宅の維持・管理を、管理組合と協力して行いました。また、家賃等の滞納整理に取り組みました。

(1) 主な支出

- ・ 住宅の修繕、樹木剪定等環境整備等 352 万円

- ・ 火災保険料 23 万円
- ・ 臨時職員賃金 (1人) 155 万円

(2) 活動指標

- ・ 住宅の修繕、環境整備
退去に伴う修繕
樹木剪定、枯木処理
- ・ 入居者・退去者状況
退去 6 戸
入居 2 戸

(3) 成果指標

- ・ 町営住宅管理状況 (令和元年度末)
木造14棟 50戸中46戸入居

- ・ 町営住宅の家賃収納状況 (単位：円)

	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率 (%)
住宅使用料 (現年度分)	15,787,400	13,852,100	0	1,935,300	87.7
住宅使用料 (過年度分)	2,194,893	785,303	0	1,409,590	35.8
計	17,982,293	14,637,403	0	3,344,890	81.4

- ・ 町営住宅駐車場使用料収納状況 (単位：円)

	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率 (%)
駐車場使用料 (現年度分)	1,486,600	1,366,600	0	120,000	91.9
駐車場使用料 (過年度分)	123,000	45,000	0	78,000	36.6
計	1,609,600	1,411,600	0	198,000	87.7

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績	
8			消防費	267,117,536		
	1		消防費	267,117,536		
		1	常備消防費	231,400,000	決算事項別明細書	P142~143
【重点】須崎市消防署小布施分署の運営(総務係)						
予算事業名：消防分署運営費						
当初予算額 231,118,000 円 最終予算額 231,400,000 円 決算額 231,400,000 円						
消防組織法に基づいて市町村に設置される常備消防（消防本部）業務・救急業務を須崎市に委託して運営しました。小布施分署に水槽付消防ポンプ自動車を一台中備しました。						
(1) 主な支出						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防業務の委託 1億7,550万円 ・ 水槽付消防ポンプ自動車整備負担金 4,356万円 ・ 通信指令台部分更新経費負担金 1,233万円 						
(2) 活動指標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小布施分署 6人/3交代制（計18人） 						
① 火災 () 内 小布施管内						
		出動件数	建物火災件数	小布施管内 損害見積額		
		10 (6)	8 (6)	1,795 千円		
② 救急車出動件数（須高管内 小布施分署出動件数）						
		交通	急病	一般負傷	転院ほか	計
件数		28	246	73	93	440
③ 広報、予防活動						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の防火訪問（伊勢町149戸、横町108戸、福原136戸、中扇75戸）、 独居高齢者家庭の防火訪問（全町42戸） ・ 消防ふれあい広場（9/29 第30回 約200人来場、第19回千年樹の里まつりと共催） ・ 保育園、幼稚園巡回指導（11/7栗ガ丘幼稚園、10/30わかば保育園、11/22つすみ保育園） ・ 応急手当普及再員講習（1回 5人参加） ・ 普通救命講習（2回 16人参加） ・ 救急講習（7回 912参加） 						
(3) 成果指標						
・ 火災件数						
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小布施町内	5	2	6	12	6	8
・ 救急件数						
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小布施町内	411	389	418	443	413	418
2			非常備消防費	30,196,000	決算事項別明細書	P144~147
【重点】消防団の運営(総務係)						
予算事業名：消防団運営費						
当初予算額 25,365,000 円 最終予算額 25,365,000 円 決算額 22,495,564 円						
住民の生命、身体及び財産を守るため、消防車両（タンク車・ポンプ車）やその施設及び人員を活用して、火災などの災害時に出勤し、消火・防災活動に従事する非常備消防の消防団活動を実施しました。						

(1) 主な支出

・消防団員の報酬	750 万円
・団員特殊勤務手当	311 万円
・公務災害補償等共済掛金	38 万円
・団員退職報償金掛金	351 万円
・団員福祉共済掛金	55 万円
・須高消防協会研修会等負担金	44 万円
・分団運営交付金	36 万円
・消火栓維持管理負担金	60 万円
・活動服、長靴他消耗品	296 万円
・小型動力ポンプの購入(第1分団第1部)	199 万円

(2) 活動指標

① 訓練・演習

・月例定期巡回 (毎週水曜日)		延べ	550人
・須高消防協会水防工法訓練	令和元年5月26日	参加者数	30人
・総合防災訓練	令和元年6月2日	参加者数	111人
・消防技術大会	令和元年6月9日	参加者数	123人
・須高ポンプ操法・ラッパ吹奏大会(会場:須坂市)	令和元年6月23日	参加者数	53人
・県ポンプ操法大会(会場:飯田)	令和元年7月28日	参加者数	35人
・分署との合同防災訓練(台風19号被災後のため中止)			
・出初式	令和2年1月19日	参加者数	113人

② 火災出動等 7回 延べ 28人

③ 災害出動(台風19号) 2回 延べ 84人

(3) 成果指標

- ・ 町民の生命・財産を守るため、予防活動の強化を図っています。災害や住宅火災時には、小布施分署と協力し、災害被害を最小限に抑えています。

【重点】女性防災クラブの運営(総務係)

予算事業名：女性防災クラブ運営費

当初予算額 711,000 円 最終予算額 711,000 円 決算額 700,500 円

地域での火災予防思想の普及徹底を図り、火災の未然防止と初期消火による人命・財産の保護を目的として活動する女性クラブに対する運営に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

・運営交付金	49 万円
・クラブ員福祉共済掛金	20 万円

(2) 活動指標

- ・女性防災クラブ総会(5月22日 任命、設置要領、役員選出、事業計画)
- ・女性防災クラブ役員会・総会(5月22日 事業報告、事業計画、防災訓練打合せ)
- ・総合防災訓練(6月2日 9訓練会場 66人)
- ・台風19号の避難所での炊き出し
- ・消防出初式参加(1月19日 松村公園駐車場～北斎ホール55人参加)
- ・普通救命講習会(新型コロナウイルス感染防止のため中止)

(3) 成果指標

・消防活動及び訓練に参加するなどして、防災意識の高揚及び救急法などの技術を習得することができました。

職員人件費(総務係)

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 7,815,000 円 最終予算額 5,016,000 円 決算額 4,604,016 円

(1) 主な支出

・職員人件費 460 万円

3 消防施設費 5,682,360 決算事項別明細書 P144～145

消防施設などの維持管理(総務係)

予算事業名：消防施設管理費

当初予算額 6,720,000 円 最終予算額 6,720,000 円 決算額 5,682,360 円

火災や災害時に常時万全の体制で出動等ができるように、消防用指令車、積載車、詰所、火の見櫓等の維持管理、修繕等を実施しました。消火栓の取替工事を実施しました。

火の見櫓に地上操作型半鐘打鳴装置を設置しました。

(1) 主な支出

・消防車両点検整備等 54万円
 ・ポンプ備品等 173万円
 ・建物災害共済分担金 13万円
 ・火の見櫓警鐘装置設置工事 19万円
 ・消火栓布設替工事・修繕工事 279万円

(2) 活動指標

・各分団詰所の建物災害共済分担金9箇所
 ・小型ポンプ付積載車車検5台(第2分団第2部、第2分団第3部、第3分団第1部、第3分団第2部、第3分団第3部)
 ・火の見櫓地上操作型半鐘打鳴装置設置(大島地区)
 ・消火栓取替工事(東町、中扇、押羽、六川、地区)
 ・消火栓器具箱修繕(町内一円)

4 水防費 2,235,096 決算事項別明細書 P144～145

水害対策(総務係)

予算事業名：水防費

当初予算額 220,000 円 最終予算額 2,282,000 円 決算額 2,235,096 円

台風19号の浸水被害を受け、排水用ポンプの修繕を行いました。

(1) 主な支出

・水防資材の購入(土のう袋、砂) 7万円
 ・排水ポンプ用消耗品購入 10万円
 ・排水用ポンプ修繕 206万円

(2) 活動指標

出水期前に消防団(水防団)による土のう作成。

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
9			教育費	487,231,709	
	1		教育総務費	84,041,703	
		1	教育委員会費	5,582,434	決算事項別明細書 P144~147
教育委員会の運営(子ども支援係)					
予算事業名：教育委員会運営費					
当初予算額 1,418,000 円 最終予算額 1,418,000 円 決算額 1,400,434 円					
町の教育方針や教育委員会規則等の制定など、教育に関する重要な事項を決定しました。					
(1) 主な支出					
・ 教育委員の報酬 (4人) 114 万円					
・ 各種負担金 15 万円					
・ 旅費 5 万円					
・ 図書購入費 1 万円					
・ その他の経費 5 万円					
(2) 活動指標					
・ 教育委員会					
定例会12回、臨時会1回 (議案25件)					
学校・園訪問 38回					
【重点】外国人英語教師の配置(子ども支援係)					
予算事業名：外国人英語教師設置費					
当初予算額 4,760,000 円 最終予算額 4,760,000 円 決算額 4,182,000 円					
英語でコミュニケーションができる能力を育成するとともに、外国の生活や文化に関心を深めて国際感覚を高めるため、小学校、中学校に外国人英語教師を配置しました。					
(1) 主な支出					
・ 人件費 (2人) 418 万円					
(2) 活動指標					
・ 小学校、中学校での英語指導 2 人					
(3) 成果指標					
・ 年度途中から、不在となっていた小学校のALTの確保ができ、中学校のALTは中学での指導に専念できるようになりました。					
2			事務局費	72,083,434	決算事項別明細書 P146~147
教育委員会の運営(子ども支援係/生涯学習係)					
予算事業名：教育委員会事務局費					
当初予算額 4,733,000 円 最終予算額 4,752,000 円 決算額 4,149,685 円					
教育委員会事務局の業務を円滑に進めるため、臨時職員賃金、システム利用料、研修会等の費用を支出しました。					
(1) 主な支出					
・ 臨時職員の賃金 143 万円					
・ 電算業務委託 (施設台帳) 9 万円					
・ 研修会等の旅費 11 万円					
・ 通信運搬費 80 万円					

・ 各種負担金等	119 万円
・ 電算システム使用料	34 万円
・ 封筒・入学通知書等の印刷	11 万円
・ 図書購入費	2 万円
・ その他の経費	6 万円

(2) 成果指標

- ・ 教育行政に生かすため、各種研修会に参加しました。
- ・ 正確な事務の遂行のため、電算システムを利用しました。

育英金の貸付け(子ども支援係)

予算事業名：教育委員会事務局費

当初予算額	4,000 円	最終予算額	4,000 円	決算額	4,000 円
-------	---------	-------	---------	-----	---------

教育の機会均等を図るため、高校生、専門学校生、短期大学生、大学生に対して、育英金の貸付けを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 育英金の積み増し 0.4 万円

(2) 活動指標

- ・ 新規8人貸付け
- ・ 新規貸付対象者及び貸付内訳

専門学校生	3 人
大学生	5 人

(3) 成果指標

・ 年間貸付金合計	平成22年度	22人	13,105,000円
	平成23年度	35人	20,100,000円
	平成24年度	47人	26,256,000円
	平成25年度	52人	29,204,000円
	平成26年度	57人	30,225,000円
	平成27年度	51人	29,085,000円
	平成28年度	54人	28,757,000円
	平成29年度	44人	23,570,000円
	平成30年度	32人	17,097,000円
	令和元年度	29人	15,364,000円

保護者の負担軽減(子ども支援係)

予算事業名：子育て支援教育推進事業費

当初予算額	5,733,000 円	最終予算額	5,733,000 円	決算額	5,366,074 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

家庭の負担軽減のため、中学校新入学生の制服購入費用の補助、小中学校の学校徴収金の一部を公費負担しました。

(1) 主な支出

- ・ 学力テスト代 435 万円

(内訳)小学校	国語、算数、理科、社会、CRT他	245 万円
中学校	中間、期末、QUテスト他	190 万円
- ・ 中学校制服購入負担金 102 万円

(2) 成果指標

- ・小中学校の学習活動において、保護者負担とさせていただいている学校徴収金のうち学力テストに係る費用を公費負担しました。
- ・中学校制服購入負担金として、102人を対象に一人あたり1万円を補助しました。

特別職人件費(総務係)

予算事業名：特別職人件費

当初予算額	10,592,000 円	最終予算額	10,659,000 円	決算額	9,281,108 円
-------	--------------	-------	--------------	-----	-------------

(1) 主な支出

- ・特別職人件費 928 万円

職員人件費(総務係)

予算事業名：一般職人件費

当初予算額	50,872,000 円	最終予算額	56,173,000 円	決算額	53,279,567 円
-------	--------------	-------	--------------	-----	--------------

(1) 主な支出

- 職員人件費 5,327 万円

教育文化施設資金積立基金利子積立金・芸術文化振興基金利子繰出金(子ども支援係・生涯学習係)

予算事業名：教育委員会事務局費

当初予算額	3,000 円	最終予算額	3,000 円	決算額	3,000 円
-------	---------	-------	---------	-----	---------

学校施設や社会教育施設建設のための教育文化施設資金積立基金、美術品購入のための芸術文化振興基金に利子等の積み立て、また繰出ししました。

(1) 主な支出

- ・教育文化施設資金積立基金利子積立金 0.2万円
- ・芸術文化振興基金利子繰出金 0.1万円

3	幼保小中一貫教育費	6,019,730	決算事項別明細書	P146~149
---	-----------	-----------	----------	----------

【重点】幼保小中一貫教育の推進(子ども支援係)

予算事業名：幼保小中一貫教育事業費

当初予算額	3,391,000 円	最終予算額	3,391,000 円	決算額	2,380,878 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

小布施学園コミュニティ・スクール運営委員会は、地域と学校が一体となり、幼保小中の各園、各学校のより良い運営を目指しました。それぞれの教育現場が抱える課題に対し、住民とともに解決にむけ話し合うとともに、文科省型への移行について検討しました。

幼保小中一貫教育推進委員会により検討されたガイドラインに基づき教職員で組織された「心づくり」「体づくり」「学びづくり」のそれぞれの部会で研究・研修を行いました。

中学生の学力向上に資するため、「学習支援セミナー」及び「夏期セミナー」を開催しました。昨年引き続き部活動指導員を導入し、部活動推進体制の整備と教職員の働き方改革に寄与しました。

(1) 主な支出

- ・部活動指導員賃金 109 万円
- ・講師謝礼 19 万円
- ・コミュニティ・スクール謝礼 20 万円
- ・学習支援セミナー委託料 85 万円
- ・その他の経費 5 万円

(2) 成果指標

- ・幼保小中一貫教育推進委員会の開催(小中学校長、園長、教育長他職員)

- ・学習支援セミナー 中学校3年生対象 参加人数 31人
通年で英語33回、数学34回、2教科計67回134時間のセミナー
- ・夏期セミナー 中学校1、2年生対象 参加人数 1年生30人、2年生28人
7/24、30の2日間で英数各3時間、計6時間のセミナー
- ・コミュニティ・スクール運営委員会 32回開催
(幼保委員会・小学校委員会・中学校委員会・ボランティア部
会・役員会含む)

【重点】特別支援教育の推進(子ども支援係)

予算事業名：特別支援教育推進事業費

当初予算額 5,359,000 円 最終予算額 5,359,000 円 決算額 3,638,852 円

配慮の必要な児童・生徒への対応として、教職員へのスーパーバイズやカンファレンスを行いました。

幼保の巡回相談メンバーに作業療法士や精神保健福祉士などの専門家を加え、体制を充実しました。

また、昨年に引き続き小学校の医療的ケア対応のため、委託により看護師を配置しました。

(1) 主な支出

- ・臨時職員賃金 150 万円
- ・講師等謝礼 89 万円
- ・訪問看護ステーション委託料 124 万円
- ・その他の経費 1 万円

4	教職員住宅費	356,105	決算事項別明細書	P148~149
---	--------	---------	----------	----------

教職員住宅の維持管理(子ども支援係)

予算事業名：教職員住宅管理費

当初予算額 380,000 円 最終予算額 380,000 円 決算額 356,105 円

町が管理している教職員住宅(水上6戸、中央1戸)の適切な維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・設備修繕等 33 万円
- ・保険料 3 万円

(2) 活動指標

- ・入居状況 水上5戸

(3) 成果指標

- ・水上教員住宅 トイレ、給湯器修繕

2	小学校費	57,206,607	決算事項別明細書	P148~149
1	学校管理費	42,639,226		

【重点】栗が丘小学校の管理運営(子ども支援係)

予算事業名：小学校管理費/小学校環境整備事業費

当初予算額 40,868,000 円 最終予算額 44,094,000 円 決算額 42,639,226 円

学校教育目標「たくましい体と豊かな心をもち、自ら学び伸びゆく子ども」を基本的なねらいとし、児童に寄せる地域・社会の願いをふまえつつ具体的目標をたて、教育活動を推進しました。

(1) 主な支出

- ・臨時職員(保健補助等含む)賃金 326 万円
- ・嘱託医師報酬及び外部講師などへの謝礼 167 万円
- ・旅費 6 万円

・ 教科用や特別活動用などの消耗品	526 万円
・ 光熱水費	666 万円
・ 警備保障や火災報知器などの保守管理の委託	295 万円
・ コンピュータ機器や印刷機器などの使用料	1,083 万円
・ 各種負担金、交付金	83 万円
・ 保健検査料や火災保険料等	260 万円
・ 修繕費	249 万円
・ 工事請負費	146 万円
・ 燃料費	153 万円
・ 備品購入費	204 万円
・ 図書購入費	71 万円
・ その他の経費	28 万円

(2) 活動指標

- ・ 学校教育目標を具現化し、小布施町の次代を担うにふさわしい人間を育てるために、教育実践の流れを提示し学校運営を推進しました。
- ・ 総合的な学習の時間に、町内の歴史建造物や里道などを巡るふるさと小布施のウォークラリー、小布施丸なすや巴錦の栽培、弾季舞を通じた幼保との交流など、町の特色を生かした活動を地域の方々のご協力をいただきながら行いました。
- ・ 幼保小中一貫教育の「体づくり」において毎年講習会を行い、着実に成果が上がってきています。
- ・ 長野県小学生陸上競技大会では県大会に出場し、自転車大会県大会において第4位と好成績を残しました。NHK全国学校音楽コンクール北信ブロック大会では銅賞を受賞したほか、様々なコンクールや大会に積極的に参加し、高い評価をいただきました。また、合唱クラブや金管バンド、太鼓クラブは地域のイベントに参加し、多くの方に喜んでいただきました。

職員の学校自己評価を行うとともに、令和元年度も保護者に「教育活動アンケート」を実施しました。アンケート項目すべてにおいて、良い評価をいただきました。また、学校だよりの地域回覧を継続し、学校の教育活動の様子を広報しました。安全教育について、春は避難訓練や防犯訓練、交通安全教室を実施。秋には休み時間における児童だけの避難訓練を実施し、学校安全や自分の命を守ることについての意識を高めました。

コンピュータ等の活用については、高学年の調べ学習を中心に実施しています。また、校内情報発信システムの設置により、プロジェクター等を使用した授業も増え、子どもたちの学力向上に役立っています。国際理解教育については、ALT（金曜日のみ）及び町英語推進教員により、外国語活動が3学年以上で展開され、子どもたちは英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする力を伸ばしました。

2	教育振興費	14,567,381	決算事項別明細書	P148～151
---	-------	------------	----------	----------

学校生活支援員の配置、教科学習支援員の配置(子ども支援係)

予算事業名：小学校生活支援事業費・小学校教科学習支援事業費

当初予算額 12,877,000 円 最終予算額 13,040,000 円 決算額 12,162,144 円

不登校や登校しぶり等学校や家庭で悩みをもつ児童、保護者を対象に相談活動、生活指導を行うことができる生活支援員1名を配置しました。

また、障害のある児童の増加に伴い、その児童が十分に力をつけることができる環境を整え、支援するために特別支援教育支援員を5名配置したほか、小学校5年生に少人数学習として、学力向上に向けて教科学習支援員を1名配置しました。

(1) 主な支出

- ・ 支援員への報酬・賃金 865 万円
- ・ 教科学習支援員 351 万円

(2) 活動指標

- ・ 不適応児童を生み出さないために、生活支援員と全職員で小さな変化を見逃さず早期発見及び状況把握に努め、開かれた学級、好ましい友人関係づくり等を進めました。
- ・ 教科学習支援員の配置により、個別少人数の対応が可能となり、きめ細かな対応が行われました。

就学の援助など(子ども支援係)

予算事業名：小学校就学援助費

当初予算額 2,577,000 円 最終予算額 2,826,000 円 決算額 2,405,237 円

経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者を対象に、学用品や給食費などの一部を援助しました。

(1) 主な支出

- ・ 就学援助 164 万円
- ・ 就学援助（台風19号被災者） 18 万円
- ・ 特別支援教育就学への奨励 58 万円

(2) 活動指標

- ・ 就学援助支給対象者数 24人（17世帯）
- ・ 就学援助（台風19号被災者）支給対象者数 6人（4世帯）
- ・ 就学奨励費支給対象者数 15人（15世帯）

3	中学校費	58,110,666	
1	学校管理費	47,307,002	決算事項別明細書 P150～151

小布施中学校の管理運営(子ども支援係)

予算事業名：中学校管理費

当初予算額 47,477,000 円 最終予算額 49,303,000 円 決算額 47,307,002 円

学校教育目標**夢 ・ 忍耐 ・ 思いやり**

豊かな人間性を持ち、かけがえのない人生を強く正しく生きぬく生徒の育成

(基本方針)

誰もが安心して学べる学級・学校づくり …… 認め合い・学び合い・響き合い

(本年度の重点目標)

- ・ 確かな学力の向上（学び合い学習）
- ・ 思いやりの育成(人権教育)
- ・ 3本柱[清掃・合唱・挨拶]の徹底(生徒会・生徒指導)

光熱水費などの支出が予算に比べ少なかったため不用額が生じました。

(1) 主な支出

- ・ 臨時職員の賃金 461 万円
- ・ 嘱託医師報酬及び外部講師などへの謝礼 90 万円
- ・ 教科用や特別活動用などの消耗品 445 万円
- ・ 光熱水費 621 万円
- ・ 施設等に係る保守管理の委託料 351 万円
- ・ コンピュータ機器や印刷機器等使用料 852 万円
- ・ 各種負担金、補助金 121 万円
- ・ 保健検査料、火災保険料、通信費等 224 万円
- ・ 修繕費 1,203 万円
- ・ 燃料費 99 万円
- ・ 備品購入費 168 万円

- ・ 図書購入費 74 万円
- ・ その他の経費 21 万円

(2) 活動指標

- ・ 学校教育目標に向け、基本的な知識及び技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力の育成に重点をおき、主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指しています。また重点目標の思いやりの育成については、生徒会活動を活発化させながら、あらゆる教育活動をとおして、人権が尊重される人間関係づくりに努めています。小布施町幼保小中一貫教育としては、年間を通じて全職員が全体会や分科会に参加し、それぞれの授業や活動を見合うなどして、連携しながら小布施町の子どもたちの12年間の成長のために研修を行っています。

(3) 成果指標

- ・ 学校評価として、生徒・保護者・教職員によるアンケート調査を行い、結果を分析しています。その結果を小布施学園コミュニティ・スクール運営委員会にて評価していただき、改善点を次年度の教育活動に生かしています。

2	教育振興費	10,803,664	決算事項別明細書 P150~151
---	-------	------------	-------------------

【重点】学校生活支援員の配置、教科学習支援員の配置(子ども支援係)

予算事業名: 中学校生活支援事業費・教科学習支援事業費

当初予算額 12,190,000 円 最終予算額 12,190,000 円 決算額 8,712,672 円

町加配講師を3名配置し、数学のチームティーチング（複数の教師が協力して授業を行う指導法。以下T・T）やコース別学習（習熟度別学習）で学力向上を図るとともに、不登校対策として学校や家庭で悩みを持つ生徒への支援活動を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 学校生活支援員報酬 370 万円
- ・ 教科学習支援員報酬 501 万円

(2) 活動指標

- ・ 他者のよさを認め合い、自己のよさを発揮できる集団を全学級で目指し、学年・学級運営の充実を図りました。
- ・ 不登校傾向の生徒、集団に入りにくい生徒などへの配慮ときめ細やかな支援のため、生活支援員を2名配置しました。
- ・ 一人一人がわかる授業の実現に向け、数学の学習支援員を1名配置しました。

(3) 成果指標

- ・ 様々な状況の生徒に合わせて対応し、個に応じた配慮をしながらきめ細やかな支援を継続して行うことができました。
- ・ 個別指導や少人数学習を実施し、学習の定着状況に合わせて、適切な支援を継続して行うことができました。

就学の援助など(子ども支援係)

予算事業名: 中学校就学援助費

当初予算額 2,213,000 円 最終予算額 2,613,000 円 決算額 2,090,992 円

経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者を対象に、学用品や給食費などの一部を援助しました。

(1) 主な支出

- ・ 就学援助 165 万円
- ・ 特別支援教育就学への奨励 28 万円
- ・ 被災児童生徒就学等支援事業補助金 16 万円

(2) 活動指標

- ・ 就学援助支給対象者数 14人（12世帯）

- ・ 特別支援教育就学奨励支給対象者数 5人 (5世帯)
- ・ 被災児童生徒就学等支援事業補助金 4人 (3世帯)

4	幼稚園費	68,002,793	
1	幼稚園費	68,002,793	決算事項別明細書 P150~153

認定こども園栗ガ丘幼稚園の管理運営(子ども支援係)

予算事業名：幼稚園管理費/幼稚園環境整備事業費

当初予算額 79,243,000 円 最終予算額 75,807,000 円 決算額 68,002,793 円

「心身共に健康でたくましい子どもを育てる」を保育目標に、様々な方の協力を得ながら園運営を行いました。食育や親子の関わりを大切にした活動、心と体を鍛える運動あそびやリズムを取り入れた保育など、保育内容を充実させました。また、認定こども園として保護者のニーズに合わせた子育て支援の充実を図るとともに、子ども達が安心して生活ができる環境づくりを心掛けました。

(1) 主な支出の内訳

・ 職員の人件費	5,002 万円	・ コピー機等の使用料	103 万円
・ 嘱託医師報償費および講師謝礼	70 万円	・ 保守点検等の委託料	27 万円
・ 給食材料費	900 万円	・ 備品購入費	57 万円
・ 教材費	89 万円	・ 園舎等の修繕料	24 万円
・ 通信費、検査手数料等	42 万円	・ その他の経費	166 万円
・ 光熱水費	320 万円		

(2) 活動指標

○年齢別学級数及び園児数

年度末人数

年 齢	3歳児	4歳児	5歳児	1・2歳児	合計
学 級 数	2	2	2	1	7
園児数(人)	44	40	47	15	146

職員構成 園長1人、保育教諭9人、事務1人、パート7人、給食3人(内管理栄養士1人)

① 幼児教育の推進

- ・ 体験活動や遊びを通しての保育の実施 (行事への参加、園外保育、地域の人との交流等)
- ・ 幼保小の連携 (なかよし学級の実施) ・ 職員の各種研修会への参加

② 食育の推進

- ・ お年寄りや農家、保護者の皆さんの協力により、野菜の栽培・収穫・調理・会食等の体験
- ・ 子どもの料理体験「くりんキッチン」の実施 (年間5歳児 2回、4歳児 1回実施)
- ・ 給食の手伝い (1品お手伝い…玉ねぎの皮むき・かぼちゃ、ピーマンの種取りなど)

③ 子育て支援の充実

- ・ 1号認定園児……降園後、春・夏休み期間中の預かり保育の実施
- ・ 2・3号認定園児…認定保育時間外の延長保育の実施
- ・ 土曜参観日の実施 (全園児親子での調理体験・保護者向け講演会の実施)
- ・ 園行事における未就園児の託児 ・ 参観日や急用の場合の預かり保育の実施
- ・ 園開放(8回)園庭開放(8回)の実施

(3) 活動指数の推移 園児数 (クラス数) ※5歳児の園児数=卒園児数

年齢 (クラス数)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1・2歳児 (人)		13 (1)	15 (1)	17 (1)	15 (1)
3歳児 (人)	37 (2)	34 (2)	42 (2)	38 (2)	44 (2)
4歳児 (人)	28 (2)	39 (2)	34 (2)	44 (2)	40 (2)
5歳児 (人)	37 (1)	28 (1)	42 (2)	34 (2)	47 (2)
合 計	102 (5)	114 (6)	133 (7)	133 (7)	146 (7)

(認定時間外・早朝の預かり保育実施 7時30分～8時30分まで)

(認定時間外・降園後の預かり保育の実施 19時まで)

(4) 成果指標

- ・クラス毎に野菜などの栽培を行ったり、季節の食材を使っての調理や、給食のお手伝いをしたりすることで「食」に対して関心を持ち、好き嫌いの減少や感謝の気持ちが持てるようになってきています。また、くりんこキッチンの活動を通しては「自分でできる」という自信が付き、自己肯定感・生きる力につながっていると思います。(3歳児は災害の影響で中止となりました)
- ・運動遊びやリトミックの活動は、子ども達が楽しく参加しており、体幹を鍛えて良い姿勢を保つことや、リズム感を養い情緒豊かな子どもの成長につながっていると思います。
- ・保護者のサークル活動(読み聞かせ)が、就労する保護者が増えたため終了となりました。
- ・誕生会時に地域の方を招いて読み聞かせや太鼓演奏、フラダンス等を披露していただきました。
- ・各認定時間外の預かり保育、1号認定児の長期休み中の預かり保育や参観日の預かり保育、園の行事中の未就園児の託児などの子育て支援を充実させ、安心して子育てができる環境づくりを、行いました。また、早朝保育時間と、午後4時から5時までの間に降園する子ども達が多くなりましたので、預かり保育担当職員を朝・夕1名ずつ増員した職員配置を行いました。

5	社会教育費	129,557,149	
1	社会教育総務費	6,323,682	決算事項別明細書 P152～153

文化協会等の活動支援(生涯学習係)

予算事業名：社会教育総務費

当初予算額 450,000 円 最終予算額 450,000 円 決算額 450,000 円

文化・芸術など次代への継承と活性化を行っている社会教育関係団体の活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・文化協会補助金 45万円

(2) 活動指標

- ・町文化協会の主な活動内容

総合文化祭(芸能祭・作品展(R1は台風19号により中止))、清掃奉仕活動(鴻山館・おぶせミュージアムほか)、カルチャー教室(囲碁、将棋、一絃琴)、子ども音楽教室発表会等

社会教育委員活動の推進(生涯学習係)

予算事業名：社会教育総務費

当初予算額 2,678,000 円 最終予算額 2,772,000 円 決算額 2,678,691 円

社会教育に関することを教育委員会に助言する社会教育委員の活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・嘱託職員、社会教育委員報酬 241万円
- ・社会教育委員連絡協議会負担金 2万円
- ・音楽堂電気料 7万円

(2) 活動指標

- ・社会教育委員 6人
- ・社会教育委員会議の開催 6月4日、2月5日
- ・コミュニティスクール通学合宿への協力
- ・県社会教育委員連絡協議会定期総会等への参加

地域の花づくりの推進（生涯学習係）

予算事業名：花づくり推進事業費

当初予算額 1,402,000 円 最終予算額 1,402,000 円 決算額 1,339,230 円

花による地域づくりを進めるため、花づくり推進委員会を通じて各自治会に花の苗を配布しました。また、花づくり推進委員会の活動に対して補助を行いました。

(1) 主な支出

・花苗の購入等 120 万円 ・花づくり推進委員会交付金 14 万円

(2) 活動指標

・花づくり推進協議会 4月26日
 ・花苗の配付 6月1日～2日 27自治会 10月26日 8自治会
 ・フラワーコンクール審査 9月13日 最優秀：千両 優秀：六川、中央、横町、林
 ・表彰式（役場応接室） 11月5日 奨励：中子塚、松村、羽場、中条
 花による美しい地域づくりと花づくりを通じた豊かな心の育成が図られています。

成人式の開催（生涯学習係）

予算事業名：成人式事業費

当初予算額 294,000 円 最終予算額 294,000 円 決算額 278,441 円

新成人としての門出を祝福するため、式典と交流会を開催しました。新成人が実行委員会を組織して交流会の企画運営を行いました。

(1) 主な支出

・式典記念品 14 万円 ・交流会の開催 7 万円
 ・パンフレット、往復はがき代 4 万円 ・盆栽借用 1 万円

(2) 活動指標

・期日：令和2年1月12日 ・場所：北斎ホール ・対象：151人（出席者114人）

【重点】HLAB OBUSE サマースクールの開催（子ども支援係）

予算事業名：グローバルコミュニケーション事業費

当初予算額 1,896,000 円 最終予算額 1,896,000 円 決算額 1,577,320 円

米ハーバード大学の教育理念に沿った6泊7日のプログラムを通じて進路選択など自らの将来を考えるサマースクールを開催し、県内外から50人の高校生が参加しました。開催に向けては、若者会議等のつながりから大学生が実行委員会を組織し、運営や募集、セミナー等のプログラムを作成し運営にあたりました。

(1) 主な支出

・臨時職員賃金 8 万円
 ・HLABサマースクール負担金 150 万円

(2) 活動指標

・開催日 令和元年8月13日（火）～19日（月）6泊7日
 ・参加者 県内高校生24人（うち町内7人）、県外高校生26人、国内外大学生40人
 ・内容 セミナー、ワークショップ、フォーラム、ホームステイ（21軒70人）など

2	公民館費	9,718,391	決算事項別明細書	P152～155
---	------	-----------	----------	----------

公民館の管理運営（生涯学習係）

予算事業名：公民館管理費

当初予算額 11,471,000 円 最終予算額 9,533,000 円 決算額 8,340,023 円

各種団体やサークル活動、会合などの場である公民館・体育施設等の受付、維持管理を行いました。

(1) 主な支出

・ 職員人件費	753 万円	・ 公民館補償制度加入掛金	19 万円
・ 火災保険料	8 万円	・ 講堂プロジェクター修繕	10 万円

(2) 活動指標

・ 学習室・講堂・音楽室の使用回数	1,087回	公民館使用料収入	122万円
-------------------	--------	----------	-------

生涯学習町民のつどいの開催（生涯学習係）

予算事業名：生涯学習町民のつどい事業費

当初予算額	389,000 円	最終予算額	97,000 円	決算額	0 円
-------	-----------	-------	----------	-----	-----

日頃の個人・グループの文化活動やボランティア活動などの成果を発表する場として、生涯学習町民のつどいを開催する予定でしたが、台風第19号災害による影響により、全ての事業を中止しました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

・ 生涯学習町民のつどい（第59回総合文化祭）

10月19日～20日	作品展	： 場所／総合体育館	台風19号災害により中止
11月4日	芸能祭	： 場所／北斎ホール	台風19号災害により中止
11月1日～10日	菊花展	： 場所／皇大神社境内	台風19号災害により中止

公民館分館活動の支援（生涯学習係）

予算事業名：分館活動費

当初予算額	1,453,000 円	最終予算額	1,453,000 円	決算額	1,378,368 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

自治会毎に設置された公民館の分館活動を推進するため、活動実績に応じた支援を行いました。

(1) 主な支出

・ 分館活動助成	67 万円
・ 分館長報酬	67 万円

(2) 活動指標

・ 補助対象分館事業 105件
(1事業費に対し1/2、7千円限度額)

(3) 活動指標の推移

・ 分館活動事業数 (単位：件)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
121	109	107	107	105

3	北斎ホール費	8,332,809	決算事項別明細書	P154～155
---	--------	-----------	----------	----------

北斎ホールの管理運営（生涯学習係）

予算事業名：北斎ホール管理費

当初予算額	8,461,000 円	最終予算額	8,461,000 円	決算額	8,332,809 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

各種団体の活動・発表の場としての北斎ホールの維持管理を行いました。
令和元年度は、北斎ホールの象徴でもある八方睨み鳳凰押し花絵の修繕、照明・音響設備の改修、相談室へのエアコン設置工事を実施し、利用者の利便性・快適性の向上を図りました。

(1) 主な支出

・ 臨時職員賃金	151 万円	・ 八方睨み鳳凰押し花絵修繕	218 万円
----------	--------	----------------	--------

・ 灯油、ガス代	42 万円	・ 清掃業務(じゅうたん、ガラス等)	22 万円
・ 施設修繕	174 万円	・ ピアノ調律	9 万円
・ 施設保守点検	133 万円	・ 備品購入	22 万円

(2) 活動指標

・ 北斎ホールの使用回数	152回	・ 使用料収入	101 万円
--------------	------	---------	--------

4	図書館費	34,863,411	決算事項別明細書	P154~157
---	------	------------	----------	----------

【重点】まちとよテラソの運営（生涯学習係）

予算事業名：図書館管理費

当初予算額	33,216,000 円	最終予算額	36,977,000 円	決算額	34,863,411 円
-------	--------------	-------	--------------	-----	--------------

「交流と創造を楽しむ文化の拠点」を理念とし、各種イベント・ワークショップを通して読書の楽しみや必要な情報を迅速かつ的確に得ることができる生涯学習の環境づくりを進めるとともに、いつでも利用者の「役に立つ」図書館運営を進めました。

(1) 主な支出

・ 図書館長報酬	237 万円	・ 消耗品・印刷製本費	187 万円
・ 職員の人件費・賃金	1,248 万円	・ 警備業務などの委託	101 万円
・ 図書館システムのリース	417 万円	・ 施設の修繕	88 万円
・ 図書の購入	449 万円	・ ホームページサーバー使用料	77 万円
・ 光熱水費	302 万円	・ ホームページの更新	33 万円
・ ワークショップ等講師謝礼	8 万円	・ 視聴覚備品等の購入	38 万円

(2) 活動指標

・ 図書館開館日	295 日	・ 登録者数	12,540人（うち町内 5,164人）
・ 図書の購入	2,444 冊	・ 蔵書冊数	98,013冊
・ 入館者	118,982 人（前年度 139,130人）		

・ 活動内容

- ・ 企画展の充実「テラソ百選」「スタッフお薦め本コーナー」「トレンド・ブックコーナー」「追悼コーナー」「読本来福」など
- ・ ワークショップ「テラソのがっこう」の開催（「新聞アート」他全5回）
- ・ 「図書館まつり」の開催（7月20・21日）
テラソ開館10周年記念事業 記念対談「今、本を読むということ」（9月21日）
- ・ 視察対応（約29件、視察者約200人）
職場体験・インターンシップ受入（6校、12人）
- ・ ボランティアの皆さんによる活動（「大人のための語りを楽しむ会」「お父さんによる読み聞かせ会」「おはなしの会」「たんぼぼ・七夕・クリスマスおはなし会」ほか）
- ・ まちじゅう図書館（計15館）
- ・ ブックスタート事業
- ・ 読書の記録を残すための「読書ノート」の作成と配布

(3) 成果指標

- ・ 個人貸出冊数の推移（単位：冊）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
94,268	92,959	87,600	90,711	89,694

- ・ ブックスタート事業

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年間対象数の92%	92 %	83 %	92 %	90 %

※ブックスタート事業：地域のすべての赤ちゃんを対象に、絵本を通して親子が心を通わせるようメッセージを伝えながら一人ひとりの赤ちゃんに絵本を渡す運動です。

5	歴史民俗資料館費	1,469,635	決算事項別明細書	P156~157
---	----------	-----------	----------	----------

歴史民俗資料館の管理運営（生涯学習係）

予算事業名：歴史民俗資料館管理費

当初予算額 1,850,000 円 最終予算額 1,850,000 円 決算額 1,469,635 円

町ゆかりの重要な歴史民俗資料を収集・保存し、後世へ継承していくために充実した館の運営に努めました。町の歴史に関わる講演会をはじめ、林柳波を顕彰するイベントを春・秋2回開催しました。通常は土・日・祝日のみの開催ですが、春・秋のイベント期間中は平日も開館しました。

(1) 主な支出

・ 臨時職員賃金	87 万円	・ 植木の手入れ委託	14 万円
・ 光熱水費	4 万円	・ 火災保険料	13 万円
・ 施設の修繕	5 万円	・ 講師等謝礼	5 万円

(2) 活動指標

- ・ 開館日 土・日曜日及び春・秋のイベント期間中
- ・ 開館時間 午前9時半から午後4時
- ・ 春のイベント（4月22日～5月31日）
「チェリーキッスと小布施町」「林柳波・日本の歌・童謡の里づくり」
5月19日開催：参加者41人
- ・ 秋のイベント（9月24日～10月29日）
「唱歌『ふるさと』のなつかしさについて」「林柳波・世界の音楽家・童謡の里づくり」
10月27日開催：参加者56人

(3) 活動指標の推移

- ・ 年間入館者数 (単位：人)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大人	739	495	511	580	512
子ども	197	204	125	66	69

- ・ イベント中の入館者数 (単位：人)

区分	期間	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大人	春	125	95	117	130
	秋	173	114	144	122
子ども	春	15	2	7	17
	秋	0	3	2	3

6	高井鴻山記念館費	14,346,878	決算事項別明細書	P156~157
---	----------	------------	----------	----------

高井鴻山記念館の管理運営（生涯学習係）

予算事業名：高井鴻山記念館管理費

当初予算額 13,820,000 円 最終予算額 14,160,000 円 決算額 13,512,819 円

高井鴻山に関連した資料を収集、公開し、学習の場としての充実を図りました。また、小中学生を無料にして学習機会を提供するとともに、より多くの皆さんにご来館いただくため、7月～8月の開館時間を午後6時まで延長しました。

(1) 主な支出

・ 職員の人件費・賃金	844 万円	・ 光熱水費	72 万円
・ 入場券、パンフレットの印刷等	58 万円	・ 警備業務などの委託	80 万円
・ 土地借上料	70 万円	・ 施設の修繕	95 万円
・ 台風19号による倒木処理	26 万円	・ 鴻山友の会補助金	5 万円

(2) 活動指標

- ・ 開館日：通年（休館日12/31及び展示替時） 360日

- ・ 開館時間：午前9時～午後5時（7/1～8/31は午後6時まで）

(3) 活動指標の推移

- ・ 年間入館者数 (単位：人)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
40,413	11,572	35,926	37,606	34,029	(無償含む)

高井鴻山記念館企画展などの開催（生涯学習係）

予算事業名：高井鴻山記念館企画展費

当初予算額 1,234,000 円 最終予算額 1,234,000 円 決算額 834,059 円

春夏秋冬毎の特別展を開催しました。また恒例のイベント「妖怪夜会」「鴻山席書大会」を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 講師、展示作品借用の謝礼 9 万円
- ・ 企画展チラシ、ホスターの印刷 41 万円
- ・ 妖怪夜会事業委託料 10 万円
- ・ 席書大会審査員謝礼、賞品 4 万円
- ・ 企画展広告料 9 万円

(2) 活動指標

- ・ 春の企画展「鴻山の花鳥山水」 4月19日～7月2日
- ・ 第12回高井鴻山生誕祭 4月19日
- ・ 夏の企画展「大妖怪展－は何物ぞ 予もまた之を知らず」 7月4日～9月24日
- ・ 「妖怪夜会」の開催 9月7日
- ・ 秋の企画展「小布施の地域文化－北斎、岸駒、上龍、若沖－」 9月26日～12月3日
- ・ 第33回高井鴻山席書大会（中学校体育館） 11月10日
- ・ 冬の特別展「鴻山の世界」 12月5日～4月22日

(3) 活動指標の推移

- ・ 企画展の入館者数 (単位：人)

期間	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
春	9,195	10,036	8,844	7,607	9,402
秋	12,314	—	12,393	10,554	3,156

- ・ 鴻山席書大会の参加者数 (単位：人)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
70	90	68	55	45

7 おぶせミュージアム費 42,309,180 決算事項別明細書 P156～159

おぶせミュージアム・中島千波館の管理運営（生涯学習係）

予算事業名：おぶせミュージアム管理費

当初予算額 37,573,000 円 最終予算額 36,977,000 円 決算額 34,366,037 円

芸術文化に親しむ風土の醸成を目的に、地域文化と密接な関わりを持つ貴重な文化財を保存活用し館を運営しました。常設展示では小布施町出身で現代日本画壇のトップランナー・中島画伯の代表作のほか、挿絵表紙画、デッサンなどを季節ごとに展示内容を替えてご紹介しました。

(1) 主な支出

- ・ 職員の人件費・賃金 1,456 万円
- ・ 警備業務などの委託 349 万円
- ・ 光熱水費 314 万円
- ・ 施設の修繕 70 万円
- ・ 土地借上料 885 万円
- ・ 灯油代 147 万円
- ・ 火災保険料 18 万円
- ・ ミュージアム友の会補助金 5 万円

(2) 活動指標

- ・ 開館日 : 通年 (休館日12/31及び展示替時) 357日
- ・ 開館時間: 午前9時～午後5時 (7月～8月は午後6時まで)

(3) 活動指標の推移

- ・ 年間入館者数 (単位: 人)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
35,861	24,939	29,032	29,959	26,570	(無償含む)

おぶせミュージアム企画展などの開催 (生涯学習係)

予算事業名: おぶせミュージアム企画展費

当初予算額 11,031,000 円 最終予算額 11,031,000 円 決算額 7,943,143 円

充実した中島千波画伯の作品を中心にした企画展を開催するとともに、地元ゆかりの作家や注目の若手作家などジャンルを問わず意欲あふれる作家たちを紹介しました。また、作家によるギャラリートークやワークショップ、ギャラリーコンサートなどを行いました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|-----------------|--------|-----------|-------|
| ・ 企画展チラシ、看板類の印刷 | 159 万円 | ・ 打合せ等旅費 | 27 万円 |
| ・ 作品借用の謝礼など | 171 万円 | ・ 企画展用消耗品 | 55 万円 |
| ・ 作品輸送などの委託 | 328 万円 | ・ 広告料 | 33 万円 |

(2) 活動指標

- | | | | |
|--------------------|-------------|-----|---------|
| ・ 中島千波のあゆみ展 | (5/10～7/9) | 入館者 | 5,690 人 |
| ・ next展 | (7/12～9/17) | 入館者 | 6,846 人 |
| ・ 秋の中島千波コレクション展 | (9/20～12/3) | 入館者 | 7,322 人 |
| ・ おぶせミュージアムコレクション展 | (12/6～2/19) | 入館者 | 1,974 人 |
| ・ ShinPA2020展 | (2/22～4/14) | 入館者 | 1,103 人 |

8 文書館費 3,591,798 決算事項別明細書 P158～159

文書館の管理運営 (生涯学習係)

予算事業名: 文書館管理運営費

当初予算額 6,893,000 円 最終予算額 4,093,000 円 決算額 3,591,798 円

文書館は、全国の町村で5番目、県内の市町村では3番目の設置と、他に先駆けた開館となりました。県下で初となる公文書管理条例も制定し、開館7年目となる令和元年度は、古文書等の収蔵、公文書の移管受入れを行うほか、企画展示やワークショップを行うなど一層の普及活動に努めました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|--------------|--------|------------|-------|
| ・ 臨時職員の賃金 | 259 万円 | ・ 消耗品、展示費等 | 50 万円 |
| ・ 講演会などの講師謝礼 | 4 万円 | ・ 備品の購入 | 24 万円 |

(2) 活動指標

○ 実施事業

- ・ 春の企画展示 5月14日～12月21日 「大島四百年誌刊行記念 写真から見る大島の歴史」
- ・ 春の企画展示 令和2年3月24日～ 「龍雲寺と伝授院文書」
- ・ 文書館ワークショップ 8月3日 講師 小林暢雄氏
「地域誌の刊行について - 大島四百年誌を中心に -」 参加者49人
- ・ 文書館だより 町報に掲載: 12回、リーフレット: 2回

○ 入館者数 513人 (開館日数246日 2.1人/日)

○ 歴史資料の収蔵状況 (主なもの)

- ・ 役場文書 504冊、行政刊行物 1,290点、広報写真 398冊
- ・ 古文書 11,071点 (13件)、私文書 2点 (1件)、写真等 2,894点 (10件)
- ・ 郷土資料 587点、自治体史等 902点、参考図書等 1,169点

(3) 活動指標の推移

○ 歴史資料の収蔵数（年度末）：主なもの（冊・点）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
役場文書	267	284	393	488	504
行政刊行物	577	664	989	1,217	1,290
広報写真	385	385	390	392	398
古文書等	7,095	9,462	9,566	10,925	13,967
図書等	1,417	2,161	2,325	2,463	2,658
合計	9,741	12,956	13,663	15,485	18,817

9 人権・同和教育費 1,299,202 決算事項別明細書 P160～161

差別のない明るい社会の推進（生涯学習係）

予算事業名：人権・同和教育費

当初予算額 743,000 円 最終予算額 743,000 円 決算額 530,117 円

同和問題の認識と理解を深め、明るく住みよいまちづくりを進めるための中心施設である集会所・作業所の維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 中央・雁中集会所管理委託 18 万円
- ・ 「あけぼの」購入 19 万円
- ・ 部落解放・人権政策確立要求小布施町実行委員会活動交付金 7 万円
- ・ 火災保険料 8 万円

(2) 活動指標

- ・ 人権同和教育啓発
あけぼの購入 小学生用 1、3、5年、中学生用
- ・ 人権のまちづくり委員(各自治会) 357人
- ・ 人権のまちづくり委員研修会
期日：8月8日
場所：公民館講堂 参加者：80人
- ・ 部落解放・人権政策確立要求須高地区大会への参加
期日：6月26日
場所：須坂市メセナホール 全体参加者：550人、小布施町参加者：144人

人権教育の推進（生涯学習係）

予算事業名：人権教育促進事業費

当初予算額 723,000 円 最終予算額 718,000 円 決算額 419,265 円

あらゆる人権問題について意識を高めるための啓発や、正しい知識を持つための学習会を行い、差別を許さないまちづくりを進めるため学習会等を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 42 万円

(2) 活動指標

- ・ 研修会

会場	事業の内容	会場	延参加者数
分館	区民人権学習会	7	162
中央・雁中同和対策集会所	人権教育講座	4	70
	地域住民交流促進事業	2	333
計		13	565

(3) 活動指標の推移

- ・ 研修会への延参加人数 (単位：人)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1,098	944	858	600	565

人権フェスティバルの開催（生涯学習係）

予算事業名：人権フェスティバル事業費

当初予算額 348,000 円 最終予算額 353,000 円 決算額 349,820 円

すべての町民が、同和問題をはじめとする人権問題に正しい認識を持ち、一人ひとりが大切にされるまちづくりを実践していくことを誓い合う場として開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 講師、手話通訳謝礼 22 万円
- ・ 消耗品、パンフレット、ポスター印刷 13 万円

(2) 活動指標

- ・ 第45回人権フェスティバル
 - 期日：令和元年12月7日
 - 場所：北斎ホール 参加者：150人
 - 内容：人権同和教育啓発ポスター・作文・標語の入選者表彰、優秀作品の発表
講演／土田光子さん（大阪教育大学非常勤講師）
「自分を好きになる力・自分を活かそうとする力」

(3) 活動指標の推移

- ・ 大会の参加者数 (単位：人)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
170	150	85	260	150

※平成16年度から人権フェスティバルに名称を変更

※平成27年度は全国大会

10 文化財保護費 517,114 決算事項別明細書 P160～161

文化財の保護（生涯学習係）

予算事業名：文化財保護費

当初予算額 1,074,000 円 最終予算額 1,009,000 円 決算額 517,114 円

有形文化財や史跡等の保護と管理を行うとともに、指定文化財の保護事業に対し補助金を交付しました。

(1) 主な支出

- ・ 清掃の委託（千両堤・古堂塚古墳・押羽水制） 15 万円
- ・ 重要文化財薬師堂維持管理交付金 10 万円
- ・ 文化財保護審議会報酬 8 万円
- ・ 消耗品、修繕料 14 万円

(2) 活動指標

- ・ 文化財保護審議会（7/8、9/20）
- ・ 町文化財パトロールの実施（10/21）

(3) 成果指標

- ・ 町宝指定解除 1件
- ・ 国重要文化財1、国登録有形文化財8、国重要有形民俗文化財1
県宝2、県天然記念物 1、町宝24、史跡 9（令和元年度末現在）

11	文化振興費	2,863,745	決算事項別明細書	P160～163
----	-------	-----------	----------	----------

【重点】文化・芸術活動の推進（生涯学習係）

予算事業名：文化振興事業費

当初予算額 4,454,000 円 最終予算額 3,269,000 円 決算額 2,863,745 円

地域に根差した歴史や文化の継承や、町民の皆さんが自ら行う芸術文化活動の支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・ お肴謡教室講師謝礼 117 万円
- ・ 美術館パスポート等の印刷 6 万円
- ・ 小布施音楽祭補助金 85 万円
- ・ 巴錦栽培委託料 5 万円
- ・ 葛飾北斎特別番組制作負担金 50 万円

(2) 活動指標

- ・ 美術館パスポートの発行
- ・ 第20回小布施音楽祭 8月1日、24日、31日
会場：北斎ホール、おぶせミュージアム・中島千波館
- ・ おぶせ能公演 11月24日 台風19号災害による被害を考慮し中止

12	生涯学習推進費	998,606	決算事項別明細書	P162～163
----	---------	---------	----------	----------

生涯学習講座の開催（生涯学習係）

予算事業名：生涯学習講座事業費

当初予算額 1,078,000 円 最終予算額 1,078,000 円 決算額 998,606 円

「自分を高め、地域に生かす」をテーマに、幅広い層が受講できる各種講座を開いて、広く学習機会と交流の場を提供しました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 96 万円
- ・ 消耗品費 2 万円

(2) 活動指標

- ・ 生涯学習チャレンジ講座（10教室、各10回開催）

学級・講座名	参加者(人)	延参加者数(人)
やさしいフルーツ教室	12	138
初心者ヨガ教室	43	421
やさしいヨガ教室	20	195
健康体操教室	17	159
その他 6教室	69	641
計	161	1,554

活動指標の推移

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延参加者数(人)	1,156	1,364	1,498	1,540	1,554
講座数	10	10	10	10	10

- ・ 生涯学習専門講座

学級・講座名	回数	延参加者数(人)
高井鴻山翁に学ぶ教室	4	60
郷土めぐり教室	7	190
万葉集の心を学ぶ会	10	231
オペラ教室	10	176
その他 4教室	23	222

計	54	879
---	----	-----

- ・ 生涯学習一般教養講座
健康・生きがい、文化・芸術コース（9回）
4月26日、5月28日、6月8日、7月2日、7月15日、8月28日、12月13日、1月29日、2月8日
（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2講座中止）
「植物観察会」ほか 計9講座 645人参加
- 特別教養講座
6月3日 「押し花アート～やさしさに包まれて～」 20人参加
2月6日、13日、20日、27日 一弦琴体験会 10人参加
- 人権教育講座(人権同和教育 現地研修)
11月16日 「人が人を大切に思う心 重監房資料館」 19人参加

13	青少年育成費	2,922,698	決算事項別明細書	P162～163
----	--------	-----------	----------	----------

青少年問題協議会委員の活動ほか（子ども支援係）

予算事業名：青少年育成事業費

当初予算額	895,000 円	最終予算額	895,000 円	決算額	747,499 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

地域の皆さんと協働しながら子どもたちの心身の健全な成長を支えるため、育成会活動の支援や球技大会、子どもみこし大会の開催を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 育成会活動交付金の交付 29 万円
- ・ 子ども会安全会費の補助 18 万円
- ・ 県育成連絡協議会負担金 5 万円
- ・ 小山田杯少年少女球技大会経費 24 万円

(2) 活動指標

- ・ 育成会活動交付金の交付 27育成会
- ・ 小山田杯少年少女球技大会の開催
期日： 7月28日 会場：総合体育館、中学校体育館
小学生の部 20育成会 31チーム参加
優勝：山王島育成会 準優勝：林育成会 3位：雁田育成会
中学生の部 19育成会 25チーム参加
優勝：福原育成会 準優勝：横町育成会 3位：羽場育成会
- ・ 子どもみこし大会
期日： 7月27日 会場：商工会館前周辺

子ども教室の運営・わんぱく教室の開催（子ども支援係）

予算事業名：子ども教室推進事業費、親子わんぱく教室事業費

当初予算額	4,814,000 円	最終予算額	4,814,000 円	決算額	2,175,199 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

放課後の安心な子どもの居場所づくりに努めました。体験活動コースでは、スポーツ・文化活動、農業体験などを通じ、たくましい子どもを育む支援を行いました。より多くの地域の方々との交流や自主的な活動を行いました。

わんぱく教室は、一般の方の参加も受付け、児童と保護者のみでなく、広く地域の方々が学ぶ場、繋がる場を設けました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼等 140 万円
- ・ 需用費 43 万円
- ・ その他の経費 36 万円

(2) 活動指標

- 子ども教室（一般・体験） 登録人数 162名
受入時間 学校終了時～午後6時（冬時間 午後5時）
長期休業日 午前10時～午後3時
- わんぱく教室 令和元年度 4回開催 延べ142名参加

(3) 成果指標

- 子どもたちの自主性を大切にした運営を保護者や運営委員の方々と連携して行い、子ども達が自ら考え実行する力を養うことができました。
- 通学合宿や稲作り等地域の方々の協力のもと実施することができました。子ども達と地域の大人との接点を増やし、しっかりと繋がれる取組みが来ています。

6	保健体育費	40,878,364	
1	保健体育総務費	9,740,175	決算事項別明細書 P162～165

【重点】体育団体の支援など（生涯学習係）

予算事業名：保健体育総務費

当初予算額 8,784,000 円 最終予算額 8,820,000 円 決算額 7,836,739 円

スポーツの普及のために活動している各体育団体へ支援を行いました。2019スラックラインワールドカップ大会への支援を行いました。競歩の荒井広宙選手の世界陸上代表選手選考会を会場で応援しました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|--------------------|--------|----------------|------|
| ・体育協会補助金 | 100 万円 | ・荒井選手応援 | 6 万円 |
| ・スポーツ少年団補助金 | 15 万円 | ・海の家利用料 | 7 万円 |
| ・早起き野球連盟補助金 | 5 万円 | ・全国スポーツ大会出場補助金 | 7 万円 |
| ・総合型地域スポーツクラブ補助金 | 35 万円 | ・雁田山自然探勝園借上謝礼 | 1 万円 |
| ・スラックラインワールドカップ負担金 | 600 万円 | | |

(2) 活動指標

- 町体育協会の活動内容

町長杯・町民大会競技開催運営（バドミントン・テニス・バレー・ゴルフほか）、分館対抗球技大会運営協力、教室開催（テニスほか）、各種行事ボランティア（見にマラソン・健康ウォークほか）

- スポーツ少年団の活動内容

各単位団競技交流（バドミントン・野球・サッカー・ソフトテニス・剣道・バレー・ミニバスケットボール）

- 早起き野球連盟の活動内容

グラウンド整備 大会開催 各種大会参加（北信ダークホース・各市町村杯大会出場）

- スポーツクラブおぶせ

スラックラインを通じてクラブ員の健康増進、技能の向上を図る

- 海の家の利用者数（令和元年度）

休憩 2箇所	延べ	97 人	(H30年度 112人)
宿泊 1箇所	延べ	0 人	(H30年度 0人)

スポーツ推進委員活動（生涯学習係）

予算事業名：スポーツ推進委員活動費

当初予算額 674,000 円 最終予算額 674,000 円 決算額 582,200 円

スポーツ推進委員とともに生涯スポーツを推進しました。

(1) 主な支出

- ・スポーツ推進委員報酬 51 万円
- ・各種研究会・協議会負担金など 6 万円

(2) 活動指標

- ・スポーツ推進委員の出労：小山田杯、分館対抗球技大会
 - ・研修会への参加等（県主催研修会・キンボール大会視察研修）
- 各事業への協力や町民運動会の企画立案から実施まで幅広く活動しており、町のスポーツ振興、町民の体力づくりに寄与しています。

町民運動会の開催（生涯学習係）

予算事業名：町民運動会事業費

当初予算額	1,236,000 円	最終予算額	1,019,000 円	決算額	969,097 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-----------

町民の皆さんの親睦と交流を深めることを目的に、54回目の町民運動会を企画しましたが、台風19号の接近が予想されたため、運動会3日前に中止を決定しました。
令和元年度に購入した参加賞や景品、消耗品等は次年度へ持ち越して使用します。

(1) 主な支出

- | | | | |
|------------|-------|---------|-------|
| ・参加賞、トロフィー | 12 万円 | ・実行委員帽子 | 12 万円 |
| ・景品代 | 52 万円 | ・消耗品 | 17 万円 |
| ・プログラム印刷 | 2 万円 | | |

(2) 活動指標

- ・期日：10月13日
- ・場所：栗ガ丘小学校グラウンド 台風19号の接近に伴い開催中止

分館対抗球技大会の開催（生涯学習係）

予算事業名：分館対抗球技大会事業費

当初予算額	133,000 円	最終予算額	133,000 円	決算額	96,240 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	----------

町民の体力向上や親睦を図るため、ソフトミニバレーボールとバドミントンの分館対抗の球技大会を企画しました。バドミントン大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。購入済の一部消耗品は次年度へ持ち越して使用します。

(1) 主な支出

- ・大会消耗品（トロフィー、ラインテープ、ボール、シャトルなど） 8 万円

(2) 活動指標

- ・ソフトミニバレーボール大会 6月9日 25分館参加 優勝 押羽
- ・バドミントン大会 3月8日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

市町村対抗駅伝大会等への出場（生涯学習係）

予算事業名：各種競技大会経費

当初予算額	338,000 円	最終予算額	338,000 円	決算額	255,899 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

県市町村対抗駅伝競走大会へ出場しました。また、県縦断駅伝競走大会へ須高チームとして出場する須高陸上協会の経費を負担しました。

(1) 主な支出

- | | |
|-----------------|-------|
| ・県縦断駅伝競走大会負担金 | 6 万円 |
| ・市町村対抗駅伝競走大会負担金 | 2 万円 |
| ・市町村対抗駅伝バス借上料 | 11 万円 |

(2) 活動指標

- ・県市町村対抗駅伝競走大会 4月27日 総合29位
- ・県市町村対抗小学生駅伝競走大会 4月27日 総合53位
- ・県縦断駅伝競走大会 11月17日～18日 須坂・上高井チーム 総合8位

2	体育施設費	31,138,189	決算事項別明細書	P164~165
---	-------	------------	----------	----------

体育施設の維持管理（生涯学習係）

予算事業名：体育施設管理費

当初予算額 18,533,000 円 最終予算額 18,533,000 円 決算額 17,817,089 円

町民の皆さんのスポーツ活動の場となる施設の維持管理を行いました。

(1) 主な支出

・光熱水費	338 万円	・火災保険料	21 万円
・土地借上料	483 万円	・備品購入	18 万円
・須高行政事務組合負担金	549 万円	・清掃用具使用料	14 万円
・体育施設修繕	129 万円	・A E D借上料	9 万円
・施設の清掃委託等	99 万円	・北部体育館管理委託料	8 万円
・雁田山ハイキングコース整備	49 万円	・電気保安業務委託等	6 万円

(2) 活動指標

・施設の維持管理

総合体育館、文化体育館、トレーニングセンター、北部体育館

町営グラウンド、松川総合グラウンド、町営テニスコート他

町営テニスコート内の樹木剪定、汚水ポンプの交換を実施

台風19号で浸水被害のあった総合公園テニスコートを利用者と協力して復旧

・体育施設等利用者会議（8月29日）

会議により利用者の皆さんのマナーの向上が図られています。

体育施設の整備（生涯学習係）

予算事業名：体育施設整備事業費

当初予算額 811,000 円 最終予算額 13,411,000 円 決算額 13,321,100 円

既存施設の利便性と快適性の向上のため、大規模改修を実施しました。

(1) 主な支出

・総合体育館照明LED化工事、設計監理委託	1,259 万円
・町営グラウンド高圧受電盤改修工事	46 万円
・町営グラウンド照明設備ランプ取替改修工事	27 万円

(2) 成果指標

- ・総合体育館の電気料金が約1/3に削減できました。
- ・総合体育館の照度が施工前から1.5倍に向上しました。

7	給食センター費	49,434,427	決算事項別明細書	P164~165
1	給食センター費	49,434,427	決算事項別明細書	P164~165

給食センターの管理運営（子ども支援係）

予算事業名：給食センター管理費/給食センター整備事業費

当初予算額 52,336,000 円 最終予算額 59,110,000 円 決算額 49,434,427 円

小中学校の給食約1,000食を、おいしく、安全で、衛生的に提供するよう努めました。また、積極的に小布施で収穫されたものを食材として使用しました。

また、アレルギーの対応食について、アレルギー食対応調理設備と、専門の管理栄養士を配置して対応しました。

(1) 主な支出

・光熱水費	652 万円	・蒸気ボイラー用還水タンク更新工事	172 万円
-------	--------	-------------------	--------

・ 施設用地の借上げ	155 万円	・ 調理器具の保守点検などの委託	193 万円
・ 調理機器の修繕料	130 万円	・ 臨時調理員賃金	1,287 万円
・ 蒸気回転釜購入	184 万円	・ 嘱託職員報酬	244 万円
・ 貯湯槽コイル取替工事	108 万円	・ 燃料費	489 万円
・ 給湯配管改修工事	576 万円		

(2) 活動指標

① 給食数(延べ)及び給食費

区 分	学 級 数	給食日数	給 食 数	月額給食費 (円)		1食当たり(円)
				4月～1月	2月	
小 学 校	18	191	121,858	5,000	2,008	272
中 学 校	11	190	65,930	6,000	1年 2,884 2年 2,252 3年 1,936	316
計	29		187,788			

② 学校給食会の開催

- ・ 委員構成 小学校3人、中学校4人、教育委員会4人、給食センター 1人
計12人
- ・ 会議開催数 年2回開催(7月11日12人出席、9月20日12人出席)
- ・ 内 容 予算、決算及び給食会運営上の反省とアレルギー除去食の対応や要望等を協議しました。

款	項	目	款項目名	決算額 (円)		
10			公債費	406,671,307	主要な施策の成果説明及び実績	
	1		公債費	406,671,307		
		1	元金	394,815,880		決算事項別明細書 P164~167
町債(借金)の返済(財政係) 予算事業名：償還元金 当初予算額 336,002,000 円 最終予算額 394,817,000 円 決算額 394,815,880 円 道路や教育施設、公園などを整備するために借り入れた町債(借金)の返済(元金)を行いました。						
			(1) 主な支出			
			・ 償還元金	3億9,481 万円		
			(2) 成果指標			
			・ 一般会計町債残高(令和元年度末)	27億2,610万円		
			(普通会計町債の詳細については、「4. 普通会計決算の状況」に記載)			
		2	利子	11,855,427	決算事項別明細書 P166~167	
町債(借金)の返済(財政係) 予算事業名：支払利子 当初予算額 14,085,000 円 最終予算額 13,770,000 円 決算額 11,855,427 円 道路や教育施設、公園などを整備するために借り入れた町債(借金)の返済(利子)を行いました。平成30年度借入の町債に対する利子について、借入見込額よりも実借入額が少なかったこと等により予算額と決算額に差額を生じました。						
			(1) 主な支出			
			・ 支払利子	1,185 万円		
		3	公債諸費	0	決算事項別明細書 P166~167	
返済等に係る諸経費(財政係) 予算事業名：公債諸費 当初予算額 15,000 円 最終予算額 15,000 円 決算額 0 円 (1) 主な支出 ・ なし						
11			予備費	0	主要な施策の成果説明及び実績	
	1		予備費	0		
		1	予備費	0		決算事項別明細書 P166~167
一般会計の予備費(財政係) 予算事業名：予備費 当初予算額 30,000,000 円 最終予算額 43,980,000 円 決算額 0 円 予備費は、予算外の支出または予算超過の支出に充てるための経費で、他の予算に充用して支出されるものです。(予備費としての支出はありません)						
			(1) 主な支出	なし		

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績	
12			災害復旧費	219,272,885		
	1		農林水産業施設災害復旧費	33,364,459		
		1	農業用施設災害復旧費	3,674,000	決算事項別明細書	P166~167
台風19号被害農業者へ対する支援(農業振興係)						
予算事業名：揚水機場災害復旧事業費						
当初予算額 0円 最終予算額 203,416,000円 決算額 3,674,000円						
<p>台風19号災害で被災した都住第一揚水機場について、復旧事業を行いました。ただし、事業は年度内に完了せず、繰り越し事業となりました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> 揚水機場のポンプ・電気設備実施設計委託料 367万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 都住第一揚水機場のポンプ、電気設備の機能回復 5月上旬の水田への用水の供給 						
	2		農地災害復旧費	29,690,459	決算事項別明細書	P166~167
台風19号被災からの復興に向けての農業者へ対する支援(農業振興係)						
予算事業名：農地災害復旧事業費						
当初予算額 0円 最終予算額 1,868,428,000円 決算額 29,690,459円						
<p>台風19号災害で被災した堤外地農地について、排土工事を行いました。ただし、事業は年度内に完了せず、繰り越し事業となりました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> 排土工事査定設計書作成委託料 625万円 耕作者名簿作成委託料 80万円 排土箇所図面等作成業務委託料 30万円 排土工事前払金 2,155万円 排土工事請負費 79万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 28工区の排土作業の実施 残土処分場3箇所の確保 						
	2		公共土木施設災害復旧費	185,908,426		
		1	道路橋梁災害復旧費	162,053,716	決算事項別明細書	P166~169
道路橋梁災害復旧(建設管理係)						
予算事業名：道路橋梁災害復旧事業費						
当初予算額 0円 最終予算額 162,144,000円 決算額 162,053,716円						
<p>台風19号災害で被災した道路の災害復旧を実施しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> 査定設計書作成 29万円 道路堆積土等撤去工事(国庫負担分) 4,926万円 						

・ 道路堆積土等撤去工事（単独分）	9,462 万円
・ 道路清掃・修繕工事	1,464 万円
・ 冠水地区排水工事	324 万円

(2) 活動指標

・ 道路堆積土等撤去工事（国庫負担分） (単位：万円)

路線名	内 容		金 額
町道468号線道路復旧(その1)工事	L=40m	V=18m ³	40
町道468号線道路復旧(その2)工事	L=1,088m	V=804m ³	756
町道469号線道路復旧工事	L=5,061m	V=79.5m ³	241
町道456号線道路復旧(その1)工事	L=1,045.8m	V=293.5m ³	436
町道456号線道路復旧(その2)工事	L=642m	V=598.6m ³	424
町道705号線道路復旧(その1)工事	L=936m	V=40m ³	49
町道705号線道路復旧(その2)工事		V=40m ³	66
町道453号線道路復旧工事	L=336m	V=23m ³	129
町道438号線道路復旧(その1)工事	L=2,363.2m	V=1,131m ³	2,188
町道438号線道路復旧(その2)工事	L=960.3m	V=113m ³	199
町道438号線道路復旧(その3)工事	L=1,281.5m	V=351m ³	269
町道438号線道路復旧(その4)工事	L=18.5m	A=49m ²	129
計	L=13,772.3m	V=3,491.6m ³ A=49m ²	4,926

※ L：延長、V：土量、A：面積

・ 道路堆積土等撤去工事（単独分） (単位：万円)

工事名	内 容		金 額
千曲川左岸堤外地道路復旧工事(大島、飯田地区)	L=1,155m	V=186m ³	570
千曲川左岸堤外地道路復旧工事(大島、山王島、押羽地区)	L=2,430m	V=1,321m ³	1,414
千曲川右岸堤外地道路復旧工事(押羽地区)	L=955m	V=123.5m ³	263
千曲川右岸堤外地道路復旧工事(林、山王島地区)	L=17,450m	V=825m ³	1,779
千曲川右岸堤外地道路復旧工事(大島地区)	L=3,700m	V=1,085m ³	1,669
千曲川右岸堤外地道路復旧工事(飯田地区)	L=5,700m	V=1,140m ³	831
千曲川左岸堤外地道路復旧工事(山王島、押羽地区)	L=9,100m	V=1,638m ³	2,207
千曲川左岸堤外地道路復旧工事(林地区)	L=690m	V=536m ³	729
計	L=41,180m	V=6,854.5m ³	9,462

※ L：延長、V：土量

・ 道路清掃・修繕工事 (単位：万円)

工事名	内 容		金 額
町道167号線舗装復旧工事	L=23.7m	A=100m ²	97
町道674号線舗装復旧工事	L=8.6m	A=43m ²	45
道路清掃工事(大島、飯田地区)			91
道路清掃工事(大島、山王島地区)			124
道路清掃工事(大島、押羽、飯田地区)			188
山王島地区緊急修繕工事			15
町道490号線道路復旧工事		V=6m ³	33
千曲川右岸堤内大島地区堤防坂路土砂撤去工事			15
町道133号線舗装復旧工事		A=37.8m ²	35
町道116号線道路復旧工事	L=153.4m		493
大島地区土砂撤去工事		V=343.5m ³	324
小規模修繕工事 1件			4

計	L=185.7m	V=349.5m ³ A=180.8m ²	1,464
---	----------	--	-------

※ L：延長、V：土量、A：面積

・ 冠水地区排水工事 (単位：万円)

工 事 名	内 容	金 額
冠水地区排水工事		48
冠水地区排水工事		70
冠水地区排水工事		31
冠水地区排水工事		29
冠水地区排水工事		71
冠水地区排水工事		40
冠水地区排水工事		35
計		324

2 河川災害復旧費 1,881,770 決算事項別明細書 P168~169

河川災害復旧(建設管理係)

予算事業名：河川災害復旧事業費

当初予算額 0円 最終予算額 2,200,000円 決算額 1,881,770円

台風19号災害で被災した松川取入口の土砂整正工事を行いました。

(1) 主な支出

・ 土砂整正工事 188万円

(2) 活動指標

・ 土砂整正工事の実施状況 (単位：万円)

工 事 名	内 容	金 額
令和元年度 松川取入口土砂整正工事	土砂整正工事	188

3 都市公園災害復旧費 21,972,940 決算事項別明細書 P168~169

都市公園災害復旧(都市計画係)

予算事業名：都市公園災害復旧事業費

当初予算額 0円 最終予算額 22,684,000円 決算額 21,972,940円

台風19号災害で被災した都市公園の復旧事業を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 台風19号災害事業(国補) 小布施総合公園施設復旧事業 1,707万円
- ・ 台風19号災害事業(町単) 小布施総合公園施設復旧事業 490万円

(2) 活動指標

・ 都市公園災害復旧事業(国庫負担分) (単位：万円)

工 事 名	内 容	金 額
小布施総合公園マレットゴルフ場堆積土砂撤去工事	土砂撤去 V=670m ³	682
小布施総合公園マレットゴルフ場トイレ復旧工事	電気・機械・建築工事 一式	297
小布施総合公園汚水ポンプ操作盤復旧工事	操作盤設置工 1基	682
小布施総合公園汚水移送作業	2業者	46
計		1,707

※V=土量

- 都市公園災害復旧事業(町単分)

(単位：万円)

工 事 名	内 容	金 額
小布施総合公園汚水ポンプ制御盤復旧工事	操作盤復旧工 1式	44
小布施総合公園駐車場土砂撤去工事	一般駐車場他5箇所	176
小布施総合公園駐車場電気自動車用急速充電器修繕工事	急速充電器 1基	93
河川公園樹木剪定・整地工事	剪定 23本 土砂撤去 75m ³	61
河川公園復旧整地工事 6件		69
マレットゴルフ場 修繕費(需用費) 5件		47
計		490

Ⅱ 国民健康保険特別会計

1 決算規模及び収支

国保運営が広域化されたことと財政調整基金の残高を踏まえて、国民健康保険税率の改定を行いました。歳入は前年比 5,698 万 4 千円減の 12 億 8,634 万 4 千円、歳出は前年比 78 万 1 千円増の 12 億 6,852 万 2 千円となり、実質収支額は 1,782 万 2 千円でした。

2 歳入

(1) 国民健康保険税

国民健康保険税は 2 億 7,524 万 1 千円で、対前年比 18.4% (6,190 万 5 千円) の減となりました。

(2) 国庫支出金

今年度はマイナンバーを活用した制度改正のための補助金等で 359 千円が交付されました。

(3) 県支出金

県支出金は 8 億 1,659 万 6 千円で、対前年比 5.5% (4,258 万 1 千円) の増となりました。

(4) その他

繰入金は、1 億 542 万 6 千円で、対前年比は 20.8% 増で 1,813 万円の増となりました。うち財政調整基金から 2,903 万 2 千円を繰り入れました。

3 歳出

(1) 総務費

総務費は1,554万円で、対前年比12.4%（220万6千円）の減になりました。

(2) 保険給付費

保険給付費は8億1,208万5千円で、対前年比5.6%（4,317万円）の増になりました。

(3) 国民健康保険事業費納付金

国民健康保険事業費納付金は3億4,751万2千円で、対前年比4.9%（1,621万2千円）の増になりました。

(4) 保健事業費

保健事業費は1,384万2千円で、対前年比7.5%（112万8千円）の減になりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

令和元年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
国民健康保険税	275,241	21.4%	337,146	25.1%	△ 61,905	△ 18.4%
使用料及び手数料	40	0.0%	54	0.0%	△ 14	△ 25.9%
国庫支出金	359	0.0%	0	0.0%	359	0.0%
県支出金	816,596	63.5%	774,015	57.6%	42,581	5.5%
財産収入	65	0.0%	31	0.0%	34	109.7%
繰入金	105,426	8.2%	87,296	6.5%	18,130	20.8%
繰越金	75,588	5.9%	143,101	10.7%	△ 67,513	△ 47.2%
諸収入	13,029	1.0%	1,685	0.1%	11,344	673.2%
合 計	1,286,344	100.0%	1,343,328	100.0%	△ 56,984	△ 4.2%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総務費	15,540	1.2%	17,746	1.4%	△ 2,206	△ 12.4%
保険給付費	812,085	64.0%	768,913	60.7%	43,172	5.6%
国民健康保険事業費納付金	347,512	27.4%	331,300	26.1%	16,212	4.9%
保健事業費	13,842	1.1%	14,970	1.2%	△ 1,128	△ 7.5%
基金積立金	70,339	5.6%	126,932	10.0%	△ 56,593	△ 44.6%
公債費	0	0.0%	0	0.0%	-	-
諸支出金	9,204	0.7%	7,880	0.6%	1,324	16.8%
合 計	1,268,522	100.0%	1,267,741	100.0%	781	0.1%

歳入歳出差引額 17,822 千円

75,587 千円

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績 決算事項別明細書 P190~191
1			総務費	15,539,971	
	1		総務管理費	11,751,755	
		1	一般管理費	11,201,586	

資格管理・レセプト点検 (健康係)

予算事業名：一般管理費

当初予算額 13,159,000 円 最終予算額 13,457,000 円 決算額 11,201,586 円

町国民健康保険に加入する方を対象に保険証の交付を行うとともに、被用者保険等に加入された方の保険証返納を適正に行い、他の保険制度との重複受診の防止を図っています。
 医療機関等から請求された医療費の内容について、レセプト (診療報酬明細書) の点検を行うことにより医療費の適正化を図っています。

被保険者の状況

区 分		平成30年度 末現在	令和元年度 末現在	年間平均
世帯数 (世帯)		1,579	1,565	1,578
者被 数 (保 人) 險	総 数	A 2,765	2,717	2,751
	一般被保険者数	B 2,756	2,716	2,747
		(再掲)前期高齢者	C 1,341	1,326
	(再掲)上記以外のもの (B-C)	1,415	1,390	1,406
退職被保険者数		D 9	1	4

(単位：人)

増被 減保 内 険 者	本年度中増 本年度中減	転 入	社保離脱	生保廃止	出 生	後期高齢離脱	そ の 他	計
		53	254	1	9	0	21	338
		転 出	社保加入	生保開始	死 亡	後期高齢加入	そ の 他	計
	41	217	0	15	99	14	386	

(1) 主な支出

- ・電算事務委託料 90 万円
- ・国保資格確認事務委託料 49 万円

(2) 活動指標

電算事務委託

- ・被保険者証の更新 10月1日

レセプト点検 点検レセプト枚数 49,151 枚

	枚 数	金 額 (万円)
再審査依頼レセプト	156	777
査定決定レセプト	98	9
返戻レセプト	4	15

(3) 活動指標の推移

(単位：人、万円)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
点検レセプト枚数	56,248枚		56,248枚		50,632枚		50,970枚		49,151枚	
	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
再審査依頼レセプト	386	1,791	350	2,711	283	2,409	263	1,455	156	777
査定決定レセプト	204	58	150	32	140	27	128	22	98	9
返戻レセプト	16	11	15	52	13	290	13	112	4	15

2	連合会負担金	550,169	決算事項別明細書	P192~193
連合会負担金（健康係）				
予算事業名：連合会負担金				
当初予算額		585,000 円	最終予算額	585,000 円
決算額		550,169 円		
医療機関への医療費の支払い等を委託している長野県国民健康保険団体連合会に対し負担金を支払いました。				
(1) 主な支出				
・長野県国民健康保険団体連合会負担金 55 万円				
(2) 活動指標				
・医療費の審査、取りまとめ、医療費支払いの代行等を委託しました。				

2	徴税费	3,725,216		
1	賦課徴收費	3,725,216		
2	滞納処分費	0	決算事項別明細書	P190~191

保険税の賦課・徴収（税務会計係）				
予算事業名：賦課徴收費、滞納処分費				
当初予算額		3,724,000 円	最終予算額	4,102,000 円
決算額		3,725,216 円		

加入者に収めていただく保険税の計算と徴収を行いました。

- (1) 主な支出
- ・課税及び収納業務委託（保守を含む） 228 万円
 - ・国保業務ソフトウェア使用料 124 万円

- (2) 活動指標
- ・国民健康保険税の状況（過年度遡及分除く）

税 率	医 療 分	支 援 分	介 護 分
所 得 割	6.25 %	2.40 %	2.15 %
均 等 割	23,000 円	9,100 円	9,600 円
平 等 割	18,000 円	6,700 円	5,000 円
賦 課 限 度 額	610,000 円	190,000 円	160,000 円

算出税額（軽減等前）	医 療 分	支 援 分	介 護 分
所 得 割 額	12,053 万円	4,629 万円	1,678 万円
資 産 割 額	0 万円	0 万円	0 万円
均 等 割 額	6,251 万円	2,473 万円	804 万円
平 等 割 額	2,722 万円	1,013 万円	328 万円
計 … (A)	21,026 万円	8,115 万円	2,810 万円

軽減・限度額 超 過	医 療 分		支 援 分		介 護 分		合 計 軽減額
	対象数	軽減額	対象数	軽減額	軽減数	軽減額	
7 均 等 割 (人)	455	733万円	455	290万円	156	105万円	1,128万円
割 平 等 割 (世帯)	336	410万円	336	153万円	136	48万円	611万円
5 均 等 割 (人)	445	512万円	445	202万円	90	23万円	737万円
割 平 等 割 (世帯)	230	200万円	230	74万円	115	55万円	329万円
2 均 等 割 (人)	381	175万円	381	63万円	96	18万円	256万円
割 平 等 割 (世帯)	195	67万円	195	25万円	70	7万円	99万円

合(均等割(人))	1,281	1,420万円	1,281	555万円	342	146万円	2,121万円
計)平等割(世帯)	761	677万円	761	252万円	321	110万円	1,039万円
限度超過額(世帯) … C	24	875万円	43	484万円	17	263万円	1,622万円

	医療分	支援分	介護分
算出税額 … (A-B-C)	18,054 万円	6,824 万円	2,291 万円
1世帯当り国保税(円)	115,479	43,516	34,845
1人当り国保税(円)	66,449	25,040	27,351

※ 応益割合 = (均等割額 + 平等割額) ÷ (算出税額(計) - 限度超過額)

44.53 % (医療分) 45.68 % (支援分) 44.44 % (介護分)

・ 収 納 率 (現年課税分)

(単位 : 円)

区 分	調 定 額	収入済額	収 納 率
一 般	274,952,719	266,762,165	97.0%
退 職	205,381	205,381	100.0%
計	275,158,100	266,967,546	97.0%

(3) 活動指標の推移

・ 1人当たり国保税の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
医 療 分	62,688	86,805	88,256	87,339	66,449
支 援 分	17,837	27,344	27,838	27,220	25,040
介 護 分	26,174	22,439	22,747	21,060	27,351

・ 収納率(現年度)の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一 般	98.1%	97.4%	97.2%	97.5%	97.0%
退 職	99.0%	99.0%	99.2%	100.0%	100.0%
計	98.1%	97.5%	97.2%	97.5%	97.0%

3	運営協議会費	63,000	決算事項別明細書 P190~193
1	運営協議会費	63,000	

運営協議会費(健康係)

予算事業名 : 運営協議会費

当初予算額 95,000 円 最終予算額 95,000 円 決算額 63,000 円

国保の運営上重要な事項、例えば保険税の賦課方法、保健事業等の事項について協議していただきました。

(1) 主な支出

・ 委員報酬 6 万円

(2) 活動指標

国保運営協議会

・ 委員 9人 (構成: 被保険者代表、保険医等代表、公益代表 各3人)

・ 協議会の開催 2 回

開催日 令和 2年1月8日 令和 2年2月12日

内 容 平成30年度町国保特別会計決算状況について

令和2年度国民健康保険当初予算(案)について
 令和2年度国保事業費納付金と標準保険料率について

2	保険給付費	812,085,330
1	療養諸費	712,672,546
1	一般被保険者療養給付費	702,604,010

決算事項別明細書 P192~193

医療機関等への一般被保険者の医療費の支払(健康係)

予算事業名：一般被保険者療養給付費

当初予算額 717,290,000円 最終予算額 717,290,000円 決算額 702,604,010円

長野県国民健康保険団体連合会を通じ、医療機関等へ一般被保険者の医療費を支払いました。

(1) 主な支出

- ・療養給付費 7億 260万円

(2) 活動指標

- ・療養給付費の状況

(単位：万円)

区 分			件 数 (件)	日 数 (日)	費 用 額	保 険 者 負 担 分	一 部 負 担 金	他 法 分	
被一 保 険 者 分 般	合 計		47,987	55,666	93,543	68,739	23,510	1,294	
	内 訳	診 療 費	入 院	506	7,692	30,528			
		入 院 外	26,388	39,574	37,082				
		歯 科	4,423	8,175	5,555				
	調 剤	16,617	19,544	18,741					
	食 事 療 養	497	20,446	1,366					
	訪 問 看 護	53	225	271					

- ・療養の給付費(診療費)等諸率

対 象	種 別	受 診 率 (ア)	1 件 当 り 日 数 (イ)	1 日 当 り 費 用 額 (ウ)	1 人 当 り 費 用 額 (エ)	1 件 当 り 費 用 額 (オ)
一 般	入 院	18.4件	15.2日	39,688円	111,132円	603,320円
	入 院 外	960.6件	1.5日	9,370円	134,991円	14,053円
	歯 科	161.0件	1.8日	6,795円	20,222円	12,559円
	計	1,984.6件	1.8日	13,197円	266,345円	23,363円

- ア 受診率 = 年間診療件数 ÷ 年間平均被保険者数 … (100人当り受診件数)
- イ 1件当り日数 = 診療日数 ÷ 診療件数 … (1ヶ月における平均日数)
- ウ 1日当り費用額 = 診療費用額 ÷ 診療日数 … (1日当り費用単価)
- エ 1人当り費用額 = 診療費用額 ÷ 年間平均被保険者数 … (年間1人当りの平均費用額)
- オ 1件当り費用額 = 診療費用額 ÷ 診療件数 … (1件当りの費用単価)

(3) 活動指標の推移

- ・1人当たり費用額の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入 院	102,441円	107,717円	112,152円	108,964円	111,132円
入 院 外	122,909円	114,921円	117,116円	122,470円	134,991円
歯 科	20,190円	18,571円	19,545円	21,843円	20,222円
計	245,540円	259,629円	248,813円	253,278円	266,345円

2	退職被保険者等療養給付費	311,759	決算事項別明細書	P192~193
---	--------------	---------	----------	----------

医療機関等への退職被保険者の医療費の支払（健康係）

予算事業名：退職被保険者療養給付費

当初予算額 6,790,000 円 最終予算額 6,790,000 円 決算額 311,759 円

長野県国民健康保険団体連合会を通じ、医療機関等へ退職被保険者の医療費を支払いました。

(1) 主な支出

・療養給付費 31 万円

(2) 活動指標

・療養給付費の状況 (単位：万円)

区 分			件 数 (件)	日 数 (日)	費 用 額	保 険 者 分 負 担 分	一 部 負 担 金	他 法 分	
被退 保 険 者 分 職	合 計		61	59	44	31	12	1	
	内 訳	診 療 費	入 院	0	0	0	/		
			入 院 外	40	49	33			
			歯 科	7	10	5			
		調 剤	14	17	6				
		食 事 療 養	0	0	0				
		訪 問 看 護	0	0	0				

・療養の給付費(診療費)等諸率

対 象	種 別	受 診 率 (ア)	1 件 当 り 日 数 (イ)	1 日 当 り 費 用 額 (ウ)	1 人 当 り 費 用 額 (エ)	1 件 当 り 費 用 額 (オ)
退 職 者	入 院	-	0日	0円	0円	0円
	入 院 外	3.0件	1.2日	6,735円	82,500円	8,250円
	歯 科	0.5件	1.4日	5,000円	12,500円	7,143円
	計	3.5件	1.3日	6,441円	95,000円	8,085円

(3) 活動指標の推移

・1人当り費用額の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入 院	47,442円	116,132円	93,500円	145,500円	0円
入 院 外	81,705円	126,038円	303,000円	95,000円	82,500円
歯 科	15,426円	20,660円	51,500円	16,500円	12,500円
計	144,574円	262,830円	448,000円	257,000円	95,000円

3	一般被保険者療養費	7,226,829	決算事項別明細書	P192~193
---	-----------	-----------	----------	----------

加入者等へ一般被保険者の療養費の支払（健康係）

予算事業名：一般被保険者療養費

当初予算額 10,212,000 円 最終予算額 10,212,000 円 決算額 7,226,829 円

国保加入者(一般被保険者)の方等へ、療養費を支払いました。

(1) 主な支出

・療養費 723 万円

(2) 活動指標

・療養費の内容

医療の内容	件数(件)	費用額(円)	保険者負担額(円)	一部負担金(円)
診療費	23	252,250	176,575	75,675
柔道整復師・補装具・ハリ等	1,209	9,612,219	7,048,724	2,561,965
計	1,232	9,864,469	7,225,299	2,637,640

(3) 活動指標の推移

件数と金額の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	1,543	1,477	1,457	1,291	1,232
保険者負担額	9,989,761円	9,819,008円	9,743,391円	8,344,741円	7,225,299円

4 退職被保険者等療養費 16,557 決算事項別明細書 P192～193

加入者等への退職被保険者の医療費の支払(健康係)

予算事業名:退職被保険者療養費

当初予算額 101,000 円 最終予算額 101,000 円 決算額 16,557 円

国保加入者(退職被保険者)の方等へ、療養費を支払いました。

(1) 主な支出

・療養費 2万円

(2) 活動指標

・療養費の内容

医療の内容	件数(件)	費用額(円)	保険者負担額(円)	一部負担金(円)
診療費	0	0	0	0
柔道整復師・補装具・ハリ等	6	19,647	13,750	5,897
計	6	19,647	13,750	5,897

(3) 活動指標の推移

・件数と金額の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	83	45	23	14	6
保険者負担額	422,376円	206,102円	92,580円	47,623円	13,750円

5 審査支払手数料 2,513,391 決算事項別明細書 P192～193

医療内容の審査(健康係)

予算事業名:審査支払手数料

当初予算額 2,885,000 円 最終予算額 2,885,000 円 決算額 2,513,391 円

長野県国民健康保険団体連合会で行っている医療内容の審査にかかる手数料を支払いました。

(1) 主な支出

・審査手数料 251万円

(2) 活動指標

・主な審査手数料

医療の内容	件数(件)	単価(円)	金額(円)
給付費	48,119	50	2,405,950

柔整療養費	1,032	50	51,600
計	49,151	50	2,457,550

※平成31年3月診療分から令和2年2月診療分

2	高額療養費	92,996,419	
1	一般被保険者高額療養費	92,983,074	
2	退職被保険者等高額療養費	0	
3	一般被保険者高額介護合算療養費	13,345	
4	退職被保険者等高額介護合算療養費	0	

決算事項別明細書 P192~195

加入者へ高額医療費の支払（健康係）

予算事業名：一般（退職）被保険者高額療養費、一般（退職）被保険者高額介護合算療養費

当初予算額 108,651,000 円 最終予算額 108,651,000 円 決算額 92,996,419 円

医療費が高額となった場合、自己負担限度額を超えた額を加入者にお支払いしました。

(1) 主な支出

- ・一般被保険者高額療養費 9,298 万円
- ・退職被保険者等高額療養費 0 万円
- ・一般被保険者高額介護合算療養費 1 万円
- ・退職被保険者等高額介護合算療養費 0 万円

(2) 活動指標

高額療養費支出状況

- ・一般被保険者高額療養費 1,505 件
- ・退職被保険者等高額療養費 0 件
- ・一般被保険者高額介護合算療養費 2 件
- ・退職被保険者等高額介護合算療養費 0 件

3	移送費	0	
1	一般被保険者移送費	0	
2	退職被保険者等移送費	0	

決算事項別明細書 P194~195

移送費（健康係）

予算事業名：一般被保険者移送費、退職被保険者移送費

当初予算額 20,000 円 最終予算額 20,000 円 決算額 0 円

(1) 主な支出

なし

4	出産育児諸費	3,747,601	
1	出産育児一時金	3,747,601	

決算事項別明細書 P194~195

国民健康保険加入者の出産費の支払（健康係）

予算事業名：出産育児一時金

当初予算額 6,304,000 円 最終予算額 6,304,000 円 決算額 3,747,601 円

国保加入者の方の出産費用に対する給付金として、出産育児一時金をお支払いしました。

(1) 主な支出

- ・出産育児一時金 375 万円

(2) 活動指標

・妊娠4カ月を超える出産に係るもの 1人42万円(胎児数に応じて支給) × 9人

(3) 活動指標の推移

・過去の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	12件	6件	11件	9件	9件
保険者負担額	535万円	252万円	461万円	370万円	375万円

5	葬祭諸費	800,000		
1	葬祭費	800,000	決算事項別明細書	P194~195

国民健康保険加入者の葬祭費の支払(健康係)

予算事業名：葬祭費

当初予算額 1,000,000円 最終予算額 1,000,000円 決算額 800,000円

国保加入者の方の葬祭にかかった費用に対する給付金として、葬祭費をお支払いしました。

(1) 主な支出

・葬祭費 80万円

(2) 活動指標

・葬祭を行った者 5万円×16件

(3) 活動指標の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	18件	13件	19件	16件	16件
保険者負担額	90万円	65万円	95万円	80万円	80万円

6	精神諸費	1,868,764		
1	精神給付金	1,868,764	決算事項別明細書	P194~195

精神給付金の支払(健康係)

予算事業名：精神給付金

当初予算額 2,109,000円 最終予算額 2,109,000円 決算額 1,868,764円

精神障害者の方の通院治療費の一部を負担しました。

(1) 主な支出

・精神給付金 187万円

(2) 活動指標

・自立支援医療(旧精神通院公費)の自己負担相当額を支給 1,522件

(3) 活動指標の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	1,431件	1,430件	1,394件	1,511件	1,522件
保険者負担額	217万円	205万円	192万円	201万円	187万円

3	国民健康保険事業費納付金	347,511,738		
1	医療給付費分	237,551,832		
1	一般被保険者医療給付分	237,432,235		
2	退職被保険者等医療給付費分	119,597	決算事項別明細書	P194~197

県への医療給付のための納付金(健康係)

予算事業名：一般被保険者医療給付費 退職被保険者等医療給付費

当初予算額 237,553,000 円 最終予算額 237,553,000 円 決算額 237,551,832 円

県に支払う医療給付に充てるための納付金です。

(1) 主な支出

- ・一般被保険者分 2 億 3,743 万円
- ・退職被保険者分 12 万円

2	後期高齢者支援金等分	81,557,863
1	一般被保険者後期高齢者支援金等分	81,515,913
2	退職被保険者等後期高齢者支援金等分	41,950

決算事項別明細書 P196～197

県への後期高齢者支援のための納付金(健康係)

予算事業名：一般被保険者後期高齢者支援金等 退職被保険者等後期高齢者支援金等

当初予算額 81,558,000 円 最終予算額 81,558,000 円 決算額 81,557,863 円

県に支払う後期高齢者医療制度を支援するための納付金です。

(1) 主な支出

- ・一般被保険者分 8,152 万円
- ・退職被保険者分 4 万円

3	介護納付金分	28,402,043
1	介護納付金分	28,402,043

決算事項別明細書 P196～197

県への介護保険のための納付金(健康係)

予算事業名：介護納付金

当初予算額 28,403,000 円 最終予算額 28,403,000 円 決算額 28,402,043 円

県に支払う介護保険のための納付金です。

(1) 主な支出

- ・介護納付金 2,840 万円

4	保健事業費	13,842,271
1	特定健康診査等事業費	13,179,740
1	特定健康診査等事業費	13,179,740

決算事項別明細書 P196～199

【重点】特定健康診査の実施(健康係)

予算事業名：特定健康診査事業費、特定保健指導事業費

当初予算額 13,006,000 円 最終予算額 13,809,000 円 決算額 8,089,740 円

生活習慣病が増え、その元となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の早期発見を目的に、「特定健診」を行い、生活習慣の改善が必要な場合は「特定保健指導」を行いました。

(1) 主な支出

- ・個別特定健診の委託 625 万円
- ・保健指導委託料 7 万円

人間ドック費用の補助(健康係)

予算事業名：特定健康診査事業費

当初予算額 6,365,000 円 最終予算額 6,365,000 円 決算額 5,090,000 円

町国民健康保険加入者の皆さんの人間ドック受診費用に対し補助しました。

(1) 主な支出

- ・人間ドック受診補助金 509 万円

(2) 活動指標

- ・人間ドック補助数

区 分	一 般		節 目 (40、50歳)	
	一日ドック	一泊ドック	一日ドック	一泊ドック
補助単価 (万円)	2	3	3.5	4.5
補助人数 (人)	234	9	4	0

(3) 活動指標の推移

- ・人間ドック受診者数 (単位：人)

受診者数 (人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	268	271	253	271	247

2 保健事業費 662,531

1 保健衛生普及費 662,531

決算事項別明細書 P198～199

医療費のお知らせ等の送付 (健康係)

予算事業名：保健衛生普及費

当初予算額 933,000 円 最終予算額 933,000 円 決算額 662,531 円

被保険者それぞれにかかった医療費の総額をお示しし、医療費負担のしくみについて認識を深めていただくため「医療費のお知らせ」を送付しました。
また、後発医薬品利用促進のためのパンフレットや「利用差額通知」を送付しました。

(1) 主な支出

- ・通知作成手数料 15 万円
- ・郵送代 44 万円

(2) 活動指標

- ・「医療費のお知らせ」年3回送付 6,913通
- ・「後発医薬品利用差額通知」年2回送付 148通
- ・後発医薬品利用促進パンフレット 「ジェネリック医薬品を活用しましょう」 1,800部

5 基金積立金 70,339,000

1 基金積立金 70,339,000

1 基金積立金 70,339,000

決算事項別明細書 P198～199

財政調整基金など基金への積立 (健康係)

予算事業名：基金積立金

当初予算額 40,000 円 最終予算額 70,339,000 円 決算額 70,339,000 円

財政調整基金など、基金への積み立てを行いました。

(1) 主な支出

- ・基金積立金 7,034 万円

(2) 活動指標

- ・基金の状況 (単位：万円)

区 分	平成30 年度末	令和元年度				令和元 年度末
		積立金額			取崩額	
		積 立	利 子	計		
財政調整基金	30,628	7,027	6.3	7033.7	2,903	34,759
出産資金貸付基金	102	0	0	0.0	0	102
高額医療費資金貸付基金	1,027	0	0.2	0.2	0	1,027

(3) 活動指標の推移

・基金残高の推移

(単位：万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
財政調整基金	11,467	6,774	17,936	30,628	34,759
出産資金貸付基金	102	102	102	102	102
高額医療費資金貸付基金	1,024	1,026	1,026	1,027	1,027

6	公債費	0				
1	公債費	0				
1	利子	0			決算事項別明細書	P198~199
償還金(健康係)						
予算事業名：支払利子						
当初予算額		50,000 円	最終予算額	50,000 円	決算額	0 円
(1) 主な支出 なし						
7	諸支出金	9,204,004				
1	償還金及び還付加算金	9,204,004				
1	一般被保険者保険税還付金	1,205,000				
2	退職被保険者等保険税還付金	0			決算事項別明細書	P198~201
保険税の還付(税務会計係)						
予算事業名：一般被保険者保険税還付金、退職被保険者等保険税還付金						
当初予算額		2,001,000 円	最終予算額	2,001,000 円	決算額	1,205,000 円
(1) 主な支出 ・保険税の還付 121 万円						
3	償還金	0			決算事項別明細書	P200~201
償還金(健康係)						
予算事業名：償還金						
当初予算額		1,000 円	最終予算額	1,000 円	決算額	0 円
(1) 主な支出 なし						
4	一般被保険者還付加算金	0				
5	退職被保険者等還付加算金	0			決算事項別明細書	P200~201
還付加算金(税務会計係)						
予算事業名：一般被保険者還付加算金、退職被保険者等還付加算金						
当初予算額		81,000 円	最終予算額	81,000 円	決算額	0 円

		(1) 主な支出 なし			
6	返納金	7,999,004	決算事項別明細書 P200~201		
返納金(健康係)					
予算事業名：返納金					
当初予算額		43,721,000 円	最終予算額		8,000,000 円 決算額 7,999,004 円
		(1) 主な支出			
		・療養給付費等負担金返還金等 800 万円			
8	予備費	0			
1	予備費	0			
1	予備費	0	決算事項別明細書 P200~201		
予備費(健康係)					
予算事業名：予備費					
当初予算額		25,000,000 円	最終予算額		4,197,000 円 決算額 0 円
		(1) 主な支出 なし			

Ⅲ 後期高齢者医療特別会計

1 決算規模及び収支

本会計は、長野県後期高齢者医療広域連合が行う主に 75 歳以上の人に係る保険給付事業に対応するため、加入する市町村が、その町において担う保険料徴収業務に係る特別会計です。

歳入の主なものは、長野県後期高齢者医療広域連合により算出された保険料 1 億 2,665 万 3 千円(前年対比 8.7%、1,017 万円増)であり、歳入総額は 1 億 5,797 万 8 千円となりました。

歳出の主なものは、広域連合への保険料納付金 1 億 2,630 万 2 千円、保険基盤安定負担金 2,519 万 7 千円、事務費負担金 410 万 6 千円であり、歳出総額は 1 億 5,724 万 5 千円となり、実質収支は 73 万 3 千円となりました。

主な施策の成果は、次のとおりです。

令和元年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
保険料	126,653	80.2%	116,483	77.6%	10,170	8.7%
使用料及び手数料	7	0.0%	5	0.0%	2	40.0%
繰入金	30,922	19.6%	33,479	22.3%	△ 2,557	△ 7.6%
繰越金	369	0.2%	69	0.1%	300	434.8%
諸収入	27	0.0%	37	0.0%	△ 10	△ 27.0%
合 計	157,978	100.0%	150,073	100.0%	7,905	5.3%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総務費	1,619	1.0%	2,004	1.3%	△ 385	△ 19.2%
後期高齢者医療広域連合納付金	155,606	99.0%	147,663	98.6%	7,943	5.4%
諸支出金	20	0.0%	37	0.1%	△ 17	△ 45.9%
予備費	-	-	-	-	-	-
合 計	157,245	100.0%	149,704	100.0%	7,541	5.0%

歳入歳出差引額

733 千円

369 千円

款	項	目	款項目名	決算額 (円)			
1			総務費	1,618,651	主要な施策の成果説明及び実績		
	1		総務費管理費	769,569			
		1	一般管理費	769,569		決算事項別明細書 P212~213	
電算事務処理委託ほか (健康係)							
予算事業名：一般管理費							
当初予算額 848,000 円 最終予算額 848,000 円 決算額 769,569 円							
後期高齢者医療システムの保守業務について、(株)電算に委託しました。また、8月に更新となる被保険者証を郵送しました。							
(1) 主な支出							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電算処理委託料 55 万円 ・ 被保険者証等の郵送ほか 21 万円 							
2			徴収費	849,082	決算事項別明細書 P212~213		
	1		徴収費	849,082			
		2	滞納処分費	0			
保険料納付事務 (健康係)							
予算事業名：徴収費							
当初予算額 865,000 円 最終予算額 915,000 円 決算額 849,082 円							
後期高齢者医療保険料納付事務に係る保険料額決定通知・納入通知書作成業務等を(株)電算に委託しました。							
(1) 主な支出							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期高齢者業務電算処理委託料 52 万円 ・ 納入通知書等の郵送ほか 33 万円 							
(2) 活動指標							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 徴収区分別納付者数 (年度末現在) 							
		特別徴収		普通徴収		合計	
軽減区分	件数	調定額 (円)	件数	調定額 (円)	件数	調定額 (円)	
8割	204	1,461,000	79	442,500	283	1,903,500	
8.5割	362	2,704,900	96	415,100	458	3,120,000	
5割	241	8,172,600	69	1,210,500	310	9,383,100	
2割	181	11,285,200	60	1,778,300	241	13,063,500	
軽減なし	749	58,426,600	277	39,914,900	1,026	98,341,500	
合計	1,737	82,050,300	581	43,761,300	2,318	125,811,600	
2			後期高齢者医療広域連合納付金	155,606,576	決算事項別明細書 P212~213		
	1		後期高齢者医療広域連合納付金	155,606,576			
		1	後期高齢者医療広域連合納付金	155,606,576			
医療給付費負担金の支払い (健康係)							
予算事業名：後期高齢者医療広域連合納付金							
当初予算額 149,504,000 円 最終予算額 155,879,000 円 決算額 155,606,576 円							
納めていただいた後期高齢者医療保険料及び保険基盤安定分、事務費の負担金について、長野県後期高齢者医療広域連合に支払いました。							
(1) 主な支出							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保険料納付金 1億2,630 万円 ・ 保険基盤安定負担金 2,520 万円 ・ 事務費負担金 411 万円 							

3	諸支出金	19,700	
1	償還金及び還付加算金	19,700	
1	保険料還付金	19,700	
2	還付加算金	0	決算事項別明細書 P212~215
諸支出金（健康係）			
予算事業名：償還金及び還付加算金			
当初予算額 155,000 円 最終予算額 155,000 円 決算額 19,700 円			
(1) 主な支出			
・ 保険料還付金 2 万円			
2	繰出金	0	
1	一般会計繰出金	0	決算事項別明細書 P214~215
繰出金（健康係）			
予算事業名：繰出金			
当初予算額 1,000 円 最終予算額 1,000 円 決算額 0 円			
(1) 主な支出			
なし			
4	予備費	0	
1	予備費	0	
1	予備費	0	決算事項別明細書 P214~215
予備費（健康係）			
予算事業名：予備費			
当初予算額 1,000 円 最終予算額 369,000 円 決算額 0 円			
(1) 主な支出			
なし			

IV 介護保険特別会計

1 決算規模及び収支

令和元年度の決算額は、歳入総額 10 億 4,490 万 8 千円、歳出総額 9 億 7,632 万 7 千円で、実質収支額は 6,858 万 1 千円となりました。

これを前年度と比較すると、歳入においては 6,858 万 4 千円の増、歳出においては 7,233 万 2 千円の増、実質収支においては 374 万 8 千円、5.2%の減となりました。

2 歳入

(1) 保険料

保険料収入は 2 億 4,000 万 7 千円で、対前年比 0.1% (27 万 6 千円) の増となりました。

(2) 国庫支出金

国庫支出金は 2 億 589 万 7 千円で、対前年度比 7.3% (17 万 5 千円) の減となりました。

(3) 支払基金交付金

支払基金交付金は 2 億 3,728 万 6 千円で、対前年比 5.4% (1,218 万 7 千円) の増となりました。

(4) 県支出金

県支出金は 1 億 3,199 万円で、対前年度比 4.7% (593 万 6 千円) の増となりました。

(5) その他

繰入金は 1 億 5,503 万 4 千円で、対前年度比 14.5% (1,958 万 9 千円) の増となりました。

繰越金は 7,233 万 1 千円で、対前年度比 69.6% (2,967 万 2 千円) の増となりました。

3 歳出

(1) 保険給付費

保険給付費は 8 億 4,785 万 1 千円で、対前年度比 6.4% (5,078 万 8 千円) の増となりました。

(2) 地域支援事業費

地域支援事業費は 7,531 万 6 千円で、対前年度比 2.4% (183 万 8 千円) の減となりました。

主な施策の成果は、次のとおりです。

令和元年度 介護保険特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
保 険 料	240,007	23.0%	239,731	24.5%	276	0.1%
使用料及び手数料	2,233	0.2%	2,408	0.2%	△ 175	△ 7.3%
国庫支出金	205,897	19.7%	204,875	21.0%	1,022	0.5%
支払基金交付金	237,286	22.7%	225,099	23.1%	12,187	5.4%
県支出金	131,990	12.6%	126,054	12.9%	5,936	4.7%
財産収入	24	0.0%	43	0.0%	△ 19	△ 44.2%
繰 入 金	155,034	14.9%	135,445	13.9%	19,589	14.5%
繰 越 金	72,331	6.9%	42,659	4.4%	29,672	69.6%
諸 収 入	106	0.0%	10	0.0%	96	960.0%
町 債	-	-	-	-	-	-
合 計	1,044,908	100.0%	976,324	100.0%	68,584	7.0%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総 務 費	28,967	3.0%	22,313	2.5%	6,654	29.8%
保険給付費	847,851	86.8%	797,063	88.2%	50,788	6.4%
地域支援事業費	75,316	7.7%	77,154	8.5%	△ 1,838	△ 2.4%
財政安定化基金拠出金	-	-	-	-	-	-
基金積立金	20,024	2.1%	43	0.0%	19,981	46467.4%
諸支出金	4,169	0.4%	7,422	0.8%	△ 3,253	△ 43.8%
公 債 費	-	-	-	-	-	-
合 計	976,327	100.0%	903,995	100.0%	72,332	8.0%

歳入歳出差引額

68,581 千円

72,329 千円

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績																																																																																
1			総務費	28,966,940	決算事項別明細書 P230~231 総務管理 (福祉係) 予算事業名：一般管理費 当初予算額 15,857,000 円 最終予算額 20,268,000 円 決算額 19,166,766 円 介護保険を運営するためのシステムの保守・改修や関連団体との情報交換を行いました。 (1) 主な支出 ・人件費 1,556 万円 ・消耗品、印刷製本費等 28 万円 ・介護保険システム委託料等 332 万円 (2) 活動指標 ・介護保険総務費の主な内容 資格記録管理 (被保険者証発行など) 受給者管理 (認定登録など) ・給付実績管理 (償還払い申請登録など)																																																																																
	1		総務管理費	19,166,766																																																																																	
		1	一般管理費	19,166,766																																																																																	
2			徴収費	1,185,268	決算事項別明細書 P230~231 介護保険料の徴収 (福祉係) 予算事業名：賦課徴収費 当初予算額 1,342,000 円 最終予算額 1,342,000 円 決算額 1,185,268 円 第1号被保険者から介護保険制度を運営するための保険料徴収に要する経費を支出しました。 (1) 主な支出 ・臨時職員賃金 4 万円 ・郵送代 42 万円 ・用紙代等 36 万円 ・印刷委託料ほか 36 万円 (2) 活動指標 ① 第7期介護保険料 (令和元年度) (単位：円) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>所得段階</td> <td>第1段階</td> <td>第2段階</td> <td>第3段階</td> <td>第4段階</td> <td>第5段階</td> </tr> <tr> <td>年 額</td> <td>22,900</td> <td>38,200</td> <td>44,300</td> <td>55,000</td> <td>61,200</td> </tr> <tr> <td>所得段階</td> <td>第6段階</td> <td>第7段階</td> <td>第8段階</td> <td>第9段階</td> <td>第10段階</td> </tr> <tr> <td>年 額</td> <td>73,400</td> <td>79,500</td> <td>91,800</td> <td>104,000</td> <td>107,100</td> </tr> </table> ※低所得者対策として、第1・2段階は7,700円、第3段階は1,600円減額されています。 ② 令和元年度調定額 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">特別徴収</th> <th colspan="2">普通徴収</th> <th colspan="2" rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>人 員 (人)</th> <th>調定額(万円)</th> <th>人 員 (人)</th> <th>調定額(万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1段階</td> <td>263</td> <td>562</td> <td>48</td> <td>71</td> <td>311</td> <td>内併徴者 18</td> </tr> <tr> <td>第2段階</td> <td>214</td> <td>794</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>224</td> <td>内併徴者 7</td> </tr> <tr> <td>第3段階</td> <td>218</td> <td>929</td> <td>14</td> <td>35</td> <td>232</td> <td>内併徴者 10</td> </tr> <tr> <td>第4段階</td> <td>512</td> <td>2,653</td> <td>87</td> <td>235</td> <td>599</td> <td>内併徴者 29</td> </tr> <tr> <td>第5段階</td> <td>813</td> <td>4,854</td> <td>38</td> <td>106</td> <td>851</td> <td>内併徴者 27</td> </tr> <tr> <td>第6段階</td> <td>721</td> <td>5,187</td> <td>64</td> <td>254</td> <td>785</td> <td>内併徴者 28</td> </tr> </tbody> </table>				所得段階	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	年 額	22,900	38,200	44,300	55,000	61,200	所得段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	年 額	73,400	79,500	91,800	104,000	107,100	区 分	特別徴収		普通徴収		合 計		人 員 (人)	調定額(万円)	人 員 (人)	調定額(万円)	第1段階	263	562	48	71	311	内併徴者 18	第2段階	214	794	10	14	224	内併徴者 7	第3段階	218	929	14	35	232	内併徴者 10	第4段階	512	2,653	87	235	599	内併徴者 29	第5段階	813	4,854	38	106	851	内併徴者 27	第6段階	721	5,187	64	254	785	内併徴者 28
所得段階	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階					第5段階																																																																												
年 額	22,900	38,200	44,300	55,000					61,200																																																																												
所得段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階																																																																																
年 額	73,400	79,500	91,800	104,000	107,100																																																																																
区 分	特別徴収		普通徴収		合 計																																																																																
	人 員 (人)	調定額(万円)	人 員 (人)	調定額(万円)																																																																																	
第1段階	263	562	48	71	311	内併徴者 18																																																																															
第2段階	214	794	10	14	224	内併徴者 7																																																																															
第3段階	218	929	14	35	232	内併徴者 10																																																																															
第4段階	512	2,653	87	235	599	内併徴者 29																																																																															
第5段階	813	4,854	38	106	851	内併徴者 27																																																																															
第6段階	721	5,187	64	254	785	内併徴者 28																																																																															
	1		賦課徴収費	1,185,268																																																																																	
		1	賦課徴収費	1,185,268																																																																																	

第7段階	440	3,423	43	187	483	内併徴者	12
第8段階	220	1,940	46	202	266	内併徴者	14
第9段階	93	941	16	88	109	内併徴者	4
第10段階	132	1,375	27	150	159	内併徴者	8
計	3,626	22,658	393	1,342	4,019	内併徴者	157

③ 収 納 率 (現年度分)

区 分	調 定 額 (円)	収入済額 (円)	収 納 率 (%)
特別徴収保険料	226,580,900	226,862,400	100.1
普通徴収保険料	13,423,800	12,793,300	95.3
計	240,004,700	239,655,700	99.9

(3) 活動指標の推移

・ 収納率の推移

(単位：%)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
特別徴収保険料	100.0	100.0	100.0	100.0	100.1
普通徴収保険料	96.8	95.1	95.8	95.4	95.3
計	99.8	99.7	99.7	99.8	99.9

3	介護認定審査会費	8,317,052	
1	認定調査費	4,751,052	決算事項別明細書 P230～233

介護認定調査(福祉係)

予算事業名：認定調査費

当初予算額 5,665,000 円 最終予算額 5,665,000 円 決算額 4,751,052 円

介護保険サービスを受けるための認定調査や、主治医意見書の作成、長野広域連合への判定依頼を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 臨時職員賃金（認定調査員4人） 243 万円
- ・ 主治医意見書作成手数料 230 万円

(2) 活動指標

- ・ 認定調査及び主治医意見書作成件数 483 件

2	認定審査会共同設置負担金	3,566,000	決算事項別明細書 P232～233
---	--------------	-----------	-------------------

認定審査会共同設置負担金(福祉係)

予算事業名：認定審査会共同設置負担金

当初予算額 3,566,000 円 最終予算額 3,566,000 円 決算額 3,566,000 円

長野広域連合に認定審査会を設置するための負担金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 認定審査会共同設置負担金 356 万円

(2) 活動指標

- ・ 介護認定申請に対し、認定審査会（保健、医療、福祉の学識経験者で構成）にて、主治医意見書や訪問調査の結果をもとに介護認定申請者がどのくらいの介護が必要かの審査・認定を行いました。

(3) 活動指標の推移

・認定者数の推移 (単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
第1号被保険者	498	492	453	485	512
第2号被保険者	8	8	11	10	9
計	506	500	464	495	521

各年度3月末現在

4 計画策定会費 297,854

1 計画策定会費 297,854

決算事項別明細書 P232～233

計画策定委員会費（福祉係）

予算事業名：計画策定委員会費

当初予算額 688,000 円 最終予算額 688,000 円 決算額 297,854 円

3年毎に策定する介護保険事業計画のためのアンケート調査を行いました。

(1) 主な支出

・アンケート郵送料 9 万円 ・アンケート委託料 18 万円

(2) 活動指標

・元気高齢者 送付数 348 人 回答者数 313 人 回答率 89.9%
 ・居宅介護認定者 送付数 406 人 回答者数 339 人 回答率 83.5%

2 保険給付費 847,850,497

1 介護サービス等諸費 781,597,956

1 居宅介護サービス給付費 297,373,187

決算事項別明細書 P232～233

居宅介護サービス（福祉係）

予算事業名：居宅介護サービス給付費

当初予算額 340,809,000 円 最終予算額 336,764,000 円 決算額 297,373,187 円

訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーションなどの在宅サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

・居宅介護サービス給付費 2億9,737 万円

(2) 活動指標

・居宅介護サービス受給者数と給付額（H31.4～R2.3審査）

	1号被保険者(人)	2号被保険者(人)	合計	給付額(万円)
要介護1	1,266	0	1,266	7,698
要介護2	709	24	733	5,404
要介護3	403	12	415	4,658
要介護4	425	5	430	7,491
要介護5	294	0	294	4,486
計	3,097	41	3,138	2億9,737

(3) 活動指標の推移

・居宅介護サービス受給者数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数(人)	2,830	2,650	2,460	2,843	3,138
給付額(万円)	3億2,985	3億2,106	2億7,467	2億7,730	2億9,737

2	地域密着型介護サービス給付費	217,840,894	決算事項別明細書	P232～233
---	----------------	-------------	----------	----------

地域密着型介護サービス（福祉係）

予算事業名：地域密着型介護サービス給付費

当初予算額 219,946,000 円 最終予算額 219,542,000 円 決算額 217,840,894 円

小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、定期巡回型訪問介護・看護、地域密着型通所介護、地域密着型老人福祉施設サービスへの給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・地域密着型介護サービス給付費 2億1,784 万円

(2) 活動指標

- ・地域密着型介護サービス給付延件数と給付額（H31.4～R2.3審査）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	給付額（万円）
定期巡回型訪問介護・看護	4	2	6	14	0	26	308
地域密着型通所介護	100	78	24	15	0	217	1,328
小規模多機能型居宅介護	143	75	26	26	19	289	5,161
認知症対応型共同生活介護	50	118	87	27	71	353	8,558
地域密着型老人福祉施設	0	0	0	0	10	10	285
看護小規模多機能型居宅介護	35	52	65	31	61	244	6,144
計	332	325	208	113	161	1,139	2億1,784

(3) 活動指標の推移

- ・地域密着型介護サービス給付延件数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数（人）	480	758	764	1,003	1,139
給付額（万円）	1億708	1億3,417	1億3,335	1億7,071	2億1,784

3	施設介護サービス給付費	225,886,554	決算事項別明細書	P232～233
---	-------------	-------------	----------	----------

施設介護サービス（福祉係）

予算事業名：施設介護サービス給付費

当初予算額 260,449,000 円 最終予算額 260,419,000 円 決算額 225,886,554 円

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の施設サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・施設介護サービス給付費 2億2,589 万円

(2) 活動指標

- ・施設介護サービス受給者数と給付額（H31.4～R2.3審査）

	1号被保険者（人）	2号被保険者（人）	合計（人）	給付額（万円）
介護老人福祉施設	661	0	661	1億7,092
介護老人保健施設	167	1	168	4,664
介護療養型医療施設	5	0	5	166
介護医療院	16	0	16	667
計	849	1	850	2億2,589

(3) 活動指標の推移

・施設介護サービス受給者数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数(人)	930	988	973	922	850
給付額(万円)	2億3,331	2億5,253	2億5,472	2億4,260	2億2,589

4 居宅介護福祉用具購入費 666,711 決算事項別明細書 P232～233

要介護者対象の福祉用具購入費の支給（福祉係）

予算事業名：居宅介護福祉用具購入費

当初予算額 772,000 円 最終予算額 772,000 円 決算額 666,711 円

入浴や排泄などに使用する福祉用具の購入者の費用を負担しました。

(1) 主な支出

・居宅介護福祉用具購入費 67 万円

(2) 活動指標

・福祉用具購入費の支給（腰掛便座、入浴補助用具） 35 件

(3) 活動指標の推移

・福祉用具購入件数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
購入件数(件)	27	38	34	44	35
給付額(万円)	66	81	66	111	67

5 居宅介護住宅改修費 1,396,790 決算事項別明細書 P234～235

要介護者対象の住宅改修費の支給（福祉係）

予算事業名：居宅介護住宅改修費

当初予算額 973,000 円 最終予算額 1,407,000 円 決算額 1,396,790 円

手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修費を支給しました。

(1) 主な支出

・居宅介護住宅改修費（支給限度額18万円） 140 万円

(2) 活動指標

・住宅改修（手すり、段差解消等）の支給 18 件

(3) 活動指標の推移

・住宅改修件数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
改修件数(件)	16	14	24	18	18
給付額(万円)	159	107	142	144	140

6 居宅介護サービス計画給付費 38,433,820 決算事項別明細書 P234～235

居宅介護サービス計画作成費の支給（福祉係）

予算事業名：居宅介護サービス計画給付費

当初予算額 39,527,000 円 最終予算額 39,527,000 円 決算額 38,433,820 円

介護サービスを利用される方のケアプラン作成費用を支給しました。

(1) 主な支出

・居宅介護サービス計画給付費 3,843 万円

(2) 活動指標

・居宅サービス計画作成件数と給付額

介護度	作成件数 (件)	給付額 (万円)
要介護1	1,114	1,503
要介護2	620	848
要介護3	327	558
要介護4	358	604
要介護5	196	330
合計	2,615	3,843

(H31.4~R2.3審査)

(3) 活動指標の推移

・居宅介護サービス計画作成件数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
作成件数 (件)	2,685	2,501	2,460	2,443	2,615
給付額(万円)	3,956	3,716	3,566	3,599	3,843

2 介護予防サービス等諸費 29,754,526

1 介護予防サービス給付費 22,682,299

決算事項別明細書 P234~235

居宅介護予防サービス(福祉係)

予算事業名：介護予防サービス給付費

当初予算額 18,438,000 円 最終予算額 22,683,000 円 決算額 22,682,299 円

訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーションなどの在宅サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

・居宅介護予防サービス費 2,268 万円

(2) 活動指標

・居宅介護予防サービス受給者数と給付額 (H31.4~R2.3審査)

	1号被保険者 (人)	2号被保険者 (人)	合計 (人)	給付額 (万円)
要支援1	534	24	558	940
要支援2	430	25	455	1,328
計	964	49	1,013	2,268

(3) 活動指標の推移

・居宅介護予防サービス受給者数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数(人)	1,065	1,100	1,056	1,008	1,013
給付額(万円)	2,740	2,759	2,383	1,997	2,268

要支援サービスの一部が平成29年度から始まった総合事業サービスに移行しています。

2 地域密着型介護予防サービス給付費 1,911,551

決算事項別明細書 P234~235

地域密着型介護予防サービス(福祉係)

予算事業名：地域密着型介護予防サービス給付費

当初予算額 5,484,000 円 最終予算額 3,744,000 円 決算額 1,911,551 円

介護予防小規模多機能型居宅介護への給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・地域密着型介護予防サービス給付費 191 万円

(2) 活動指標

- ・地域密着型介護予防サービス給付延件数と給付額(H31.4～R2.3審査)

	要支援1 (件)	要支援2 (件)	合計 (人)	給付額 (万円)
小規模多機能型居宅介護	17	0	17	85
認知症対応型共同生活介護	0	5	5	106
計	17	5	22	191

(3) 活動指標の推移

- ・地域密着型介護予防サービス給付延件数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	28	56	44	30	22
給付額(万円)	213	374	275	280	191

3 介護予防福祉用具購入費 98,890 決算事項別明細書 P234～235

要支援者対象の福祉用具購入費の支給（福祉係）

予算事業名：介護予防福祉用具購入費

当初予算額 453,000 円 最終予算額 453,000 円 決算額 98,890 円

入浴や排泄などに使用する福祉用具の購入者の費用を負担しました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護予防福祉用具購入費（支給限度額9万円/年度） 10 万円

(2) 活動指標

- ・福祉用具購入費の支給（腰掛便座、入浴補助用具） 5 件

(3) 活動指標の推移

- ・福祉用具購入件数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	14	12	8	7	5
給付額(万円)	33	23	13	13	10

4 介護予防住宅改修費 601,553 決算事項別明細書 P234～235

要支援者対象の住宅改修費の支給（福祉係）

予算事業名：介護予防住宅改修費

当初予算額 862,000 円 最終予算額 862,000 円 決算額 601,553 円

手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修費を支給しました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護予防住宅改修費 60 万円

(2) 活動指標

- ・住宅改修費（手すり、段差解消等）の支給 9 件

(3) 活動指標の推移

・住宅改修件数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	20	10	8	13	9
給付額(万円)	208	81	60	125	60

5 介護予防サービス計画給付費 4,460,233 決算事項別明細書 P234～235

介護予防サービス計画作成費の支給(福祉係)

予算事業名：介護予防サービス計画給付費

当初予算額 4,814,000 円 最終予算額 4,814,000 円 決算額 4,460,233 円

介護サービスを利用される方のケアプラン作成費用を全額支給しました。

(1) 主な支出

・居宅介護予防サービス計画給付費 446 万円

(2) 活動指標

・居宅サービス計画作成件数と給付額

介護度	件数	給付額(万円)
要支援1	560	247
要支援2	455	199
計	1,015	446

(H31.4～R2.3審査)

(3) 活動指標の推移

・居宅介護予防サービス計画作成件数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	1,053	1,092	1,056	994	1,015
給付額(万円)	464	479	466	435	446

3 その他諸費 810,318
1 審査支払手数料 810,318 決算事項別明細書 P234～235

国保連合会への審査依頼(福祉係)

予算事業名：審査支払手数料

当初予算額 812,000 円 最終予算額 812,000 円 決算額 810,318 円

介護給付費の審査のための手数料を国保連合会へ支払いました。

(1) 主な支出

・審査支払手数料 81 万円

(2) 活動指標

・審査件数 13,971 件

(3) 活動指標の推移

・審査支払手数料の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	13,646	13,279	12,910	12,835	13,971
手数料(万円)	79	77	74	74	81

4	高額介護サービス等諸費	14,477,253			
1	高額介護サービス費	14,436,324	決算事項別明細書	P236～237	
高額介護サービス費の支給（福祉係）					
予算事業名：高額介護サービス費					
当初予算額 12,900,000 円 最終予算額 14,440,000 円 決算額 14,436,324 円					
個人または世帯内で1カ月のサービスにかかる利用者負担の上限額を超える場合に、超えた分を支給しました。					
(1) 主な支出					
・高額介護サービス費 1,443 万円					
(2) 活動指標					
・高額介護サービス費の支給 1,164 件					
(3) 活動指標の推移					
・高額介護サービス費支給件数と給付額の推移					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	1,012	1,171	1,145	1,162	1,164
給付額(万円)	1,105	1,276	1,223	1,362	1,443
2	高額介護予防サービス費	40,929	決算事項別明細書	P236～237	
高額介護予防サービス費の支給（福祉係）					
予算事業名：高額介護予防サービス費					
当初予算額 100,000 円 最終予算額 100,000 円 決算額 40,929 円					
(1) 主な支出					
・高額介護予防サービス費 4 万円					
(2) 活動指標					
・高額介護予防サービス費の支給 15 件					
(3) 活動指標の推移					
・高額介護予防サービス費支給件数と給付額の推移					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	16	27	12	11	15
給付額(万円)	1	3	1	1	4
5	高額医療合算介護サービス等費	2,270,880			
1	高額医療合算介護サービス費	2,270,623	決算事項別明細書	P236～237	
高額医療合算介護サービス費の支給（福祉係）					
予算事業名：高額医療合算介護サービス費					
当初予算額 2,600,000 円 最終予算額 2,600,000 円 決算額 2,270,623 円					
個人または世帯内で1年間（8月～翌年7月）、医療と介護、両方のサービスの負担があった世帯で、一定の金額を超えた分について支給しました。					
(1) 主な支出					
・高額医療合算介護サービス費 227 万円					
(2) 活動指標					
・高額医療合算介護サービス費の支給 70 件					

(3) 活動指標の推移

- ・高額医療合算介護サービス費支給件数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	55	58	67	70	70
給付額(万円)	162	156	201	184	227

2 高額医療合算介護予防サービス費

257

決算事項別明細書

P236～237

高額医療合算介護予防サービス費の支給（福祉係）

予算事業名：高額医療合算介護予防サービス費

当初予算額 100,000 円 最終予算額 100,000 円 決算額 257 円

(1) 主な支出

- ・高額医療合算介護予防サービス費 0.02 万円

(2) 活動指標

- ・高額医療合算介護予防サービス費の支給 1 件

(3) 活動指標の推移

- ・高額医療合算介護サービス費支給件数と給付額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	1	4	4	4	1
給付額(万円)	1	1	3	2	0.02

6

特定入所者介護サービス等諸費

18,939,564

1

特定入所者介護サービス給付費

18,937,994

決算事項別明細書

P236～237

特定入所介護サービス費の支給（福祉係）

予算事業名：特定入所者介護サービス給付費

当初予算額 27,900,000 円 最終予算額 27,900,000 円 決算額 18,937,994 円

低所得の被保険者が介護保険施設に入所（入院）したときや短期入所サービスを利用したときの負担を軽減するため、食費・居住費について補足的な給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・特定入所介護サービス費 1,894 万円

(2) 活動指標

- ・要介護別件数と給付費

	食費	居住費	総数	給付額(万円)
要介護1	14	10	24	15
要介護2	21	15	36	76
要介護3	76	75	151	290
要介護4	222	204	426	970
要介護5	145	136	281	543
計	478	440	918	1,894

(3) 活動指標の推移

- ・件数と給付費の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	1,170	1,231	1,263	1,087	918
給付額(万円)	2,834	2,740	2,702	2,315	1,894

2 特定入所者介護予防サービス給付費 1,570 決算事項別明細書 P236～237

特定入所介護予防サービス費の支給（福祉係）

予算事業名：特定入所者介護予防サービス給付費

当初予算額 100,000 円 最終予算額 100,000 円 決算額 1,570 円

(1) 主な支出

- ・特定入所介護サービス費 0.2 万円

(2) 活動指標

- ・要介護別件数と給付費

	食費	居住費	総数	給付額(万円)
要支援1	0	0	0	0
要支援2	1	1	2	0.2
計	1	1	2	0.2

(3) 活動指標の推移

- ・件数と給付費の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	0	0	0	0	2
給付額(万円)	0	0	0	0	0.2

3 地域支援事業費 75,315,922

1 介護予防・日常生活支援総合事業費 29,241,768

1 介護予防・生活支援サービス事業費 18,500,811

2 一般介護予防事業費 10,740,957

決算事項別明細書 P236～239

【重点】高齢者等の介護予防（地域包括支援センター）

予算事業名：訪問型サービス費、通所型サービス費、介護予防サービス調整費、生活支援サービス費、介護予防ケアマネジメント事業費、介護予防把握事業費、介護予防普及啓発事業費、地域介護予防活動支援事業費

当初予算額 35,432,000 円 最終予算額 35,406,000 円 決算額 29,241,768 円

介護予防・日常生活支援総合事業を実施しました。要介護状態とならないよう、地域で健康でいきいきと暮らし続けられるよう、地域での自主活動の支援や、ボランティア・介護サービス事業所等のご協力を得ながら事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・介護予防・生活支援サービス 1,843 万円
- ・社会福祉協議会等への事業の委託 832 万円
- ・二段階方式研修会 23 万円
- ・はつらつお笑い演芸会（敬老会含む）出演者謝礼等 136 万円
- ・在宅保健師等の賃金 14 万円
- ・各種教室講師、出演者等の謝礼 22 万円
- ・高齢者スポーツ大会への補助 12 万円
- ・消耗品等 29 万円

(2) 活動指標

①事業対象者の把握

基本チェックリスト実施数 43名

65歳以上すべてに配布していた基本チェックリストを廃止し、必要な人に実施。

②介護予防・生活支援サービス

事業名	内容等	回数	延人員 実人数	
訪問型サービス	介護予防訪問介護に相当するサービス、買い物等生活援助サービス	1,160	201人 -	
通所型サービス	介護予防通所・予防支援通所・ミニデイサービス	介護予防通所介護に相当するサービス、有償ボランティア等による基準緩和サービス	4,402	768人 -
	楽しく若返り教室（脳リハ教室）	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等、リズム運動、ゲーム、工作ほか	18	50人 11人
	骨コツ貯筋プログラム	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり、体力測定、ストレッチ、筋力づくりの運動	33	33 8人
生活支援サービス	栄養改善等を目的とした配食サービス	2,279	- 12人	
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント	訪問型サービス、通所型サービス、生活支援サービス利用のためのマネジメント	1,465	- 120人	

③一般介護予防事業

事業名	内容等	回数	延人員 実人数	
訪問指導（介護予防把握）	MMS脳機能テスト等により介護予防活動に結びつける	23	- 23人	
介護予防普及啓発	脳のリフレッシュ教室（東部：休止→再立上げ）	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会、散策等	6	73人 22人
	ダンスで脳元気教室	音楽で体を動かし、脳を刺激して認知症の予防と改善 レクリエーションダンス	11	207人 27人
	チャレンジのど自慢教室	歌をうたうことで心身ともにリフレッシュし、認知症の予防、カラオケ	11	128人 22人
	はつらつお笑い演芸会	9/18ふれあい寄席（363人） 9/29千年樹の里まつり（和太鼓、ユカリナ他）約360人 11/22交通安全教室寸劇（250人）	3	- 973人
	認知症予防講演会	「脳（前頭葉）を使って笑顔で長生き」 エイジングライフ研究所 高槻絹子氏	1	- 74人
	IADL訓練	料理や買い物等の日常生活関連動作の訓練	0	- -
	独居高齢者交流会	茶話会や民生委員とのお楽しみ交流会等（台風災害のため旅行は中止）	2	98人 59人
	脳のリフレッシュ教室交流会	2/21各教室（13地区）の交流、歌、踊り等	1	- 126人
	いきいきサロン	とじこもり予防として、（社）町社協、NPO法人しなのぐらし、（社）えがおによる健康維持等の活動	250	2,257人 64人
	転倒予防教室	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり、ストレッチほか	22	661人 62人
ダンスで脳元気教室：継続「フレッシュ」	音楽で体を動かし、脳を刺激して認知症の予防と改善、レクリエーションダンス	11	162人 29人	

地域 介護 予防 活動 支援 事業	脳のリフレッシュ教室 (山王島：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	11	172人 21人
	脳のリフレッシュ教室 (北部：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	10	77人 10人
	脳のリフレッシュ教室 (都住：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	11	125人 13人
	脳のリフレッシュ教室 (大島：休止)		-	- -
	脳のリフレッシュ教室 (飯田：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	10	81人 9人
	脳のリフレッシュ教室 (東町・上町：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	11	103人 11人
	脳のリフレッシュ教室 (上松川：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	11	38人 5人
	脳のリフレッシュ教室 (林・中扇：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	11	132人 19人
	脳のリフレッシュ教室 (中町・中央：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	11	98人 12人
	脳のリフレッシュ教室 (伊勢町：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	12	72人 17人
	脳のリフレッシュ教室 (六川：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	12	91人 9人
	脳のリフレッシュ教室 (横町：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	10	98人 16人
	脳のリフレッシュ教室 (栗ガ丘・福原：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、 クリスマス会、散策等	11	61人 9人

お茶のみサロン支援 10箇所 延べ102回開催 延べ1,271人参加

(3) 活動指標の推移

- 介護予防に最も重要なのは「認知症予防」であるという理念に立ち、他に先駆けて取り組んだ認知症予防活動のうち、住民自ら取り組む「脳のリフレッシュ教室」において、脳の生き生き度チェックを年度初期、年度末期の2回実施した者のうち8割以上者が状態の維持・改善ができていました。

2	包括的支援事業費	39,934,484	決算事項別明細書 P238～241
1	地域包括支援センターの運営	15,180,270	

地域包括支援センターの運営（地域包括支援センター）

予算事業名：介護予防ケアマネジメント事業費、総合相談支援・権利擁護事業費、
包括的・継続的マネジメント事業費、一般職人件費

当初予算額 21,211,000 円 最終予算額 17,990,000 円 決算額 15,180,270 円

在宅介護に関する総合的な相談に応じ、各種保健福祉サービスを総合的に受けられるよう、地域住民の助け合い活動なども含め、関係機関との連絡調整を行い、高齢者とその家族等の福祉の向上を図りました。

(1) 主な支出

・保健師等人件費	1,241 万円
・ケアマネ研修等講師謝礼	10 万円
・電話料金等	30 万円
・総合福祉事務支援システム等保守料・使用料	66 万円
・賃金	162 万円

・センター運営協議会委員等への謝礼

4万円

(2) 活動指標

・在宅介護等に関する総合相談・助言・指導（来所による面接・電話・訪問）
平日（8：30～5：15）

項目	延件数	主な内容
他機関との連絡調整	797	他機関への連絡調整
状況把握	214	身体状況の確認
福祉サービスに関する相談	162	サービス内容、利用の対象になるか等の相談
事業所からの相談	23	利用者の状況について
予防給付に関する相談	285	ケアプランの確認
介護保険に関する相談	150	介護保険、ケアプラン、在宅サービスの内容についての問い合わせ
認定調査	113	新規、困難事例、区分変更
認知症に関する相談	73	認知症かどうかの判断、認知症高齢者への対応の方法について
二段階方式実施	43	脳のいきいき度チェック
住宅改修に関する相談	16	段差改修、手すりの取付等について
介護用品に関する相談	60	介護用品の紹介、使用方法について
施設入所に関する相談	78	施設の紹介、入所申込み、施設の空き具合について
介護予防に関する相談	29	教室への参加
ケース検討会	17	ケースカンファレンス
介護方法に関する相談	12	在宅での介護方法について（体位交換、排泄介助等）
定期訪問指導	1	健康相談、生活指導等
医療等に関する相談	75	医療費、受診する病院についての問い合わせ
健康相談（状況確認）	15	健診結果について
高齢者虐待	12	介護人からの暴力、家庭内不和
療養上の精神的支援	34	介護者及び本人の精神的支援
特定高齢者把握	0	
お元気訪問	7	安否確認
サービス担当者会議	44	サービス担当者会議
その他（家庭内関係等）	180	経済、法律、家庭内関係等
計	2,440	

・時間外、土日祝日相談受付件数

- ・介護保険・町福祉サービス関係 20件
- ・その他 219件（教室等の問い合わせ、住民・業者から職員あての電話等）

※ 土日の昼間は社会福祉協議会の日直者が、時間外・祝日は携帯電話により地域包括支援センター職員が対応

・要援護高齢者の情報集約と実態把握

- ・要援護高齢者の家庭訪問 延訪問回数 431回
- 訪問指導者（介護認定自立判定者・要観察者等）274人
- 予防給付に関する相談2人、介護認定調査86人、認知症関連36人
- お元気訪問6人、その他27人

・地域ケア会議の開催

・保健・福祉・医療に係るサービスの総合調整を図るため、居宅介護支援事業所、サービス事業所等関係機関が集まり、定期または随時会議を開催しました。

項目	回数	出席者延べ数	主な内容

介護保険事業所等連絡会	0回	0人	今年度実績なし
在宅支援連絡会	11回	172人	事業所とセンターとの連絡調整、町からの連絡等（町高齢者福祉サービス、総合事業、研修案内等）
個別支援会議	0回	0人	今年度実績なし
多職種連携等に係る学習会等	0回	0人	民生児童委員とケアマネジャー等介護サービス事業者との懇談会を予定していたが中止
ケース検討会	5回	28人	個別の困難事例の検討等
合計	16回	200人	

・ケアマネジャー等サービス事業者の指導支援

項目	回数	出席者延べ数	主な内容
介護給付費適正化研修	2回	32人	事例を使って適正化の視点でグループワーク。「自立支援」というテーマで適正化研修まとめ。
相談援助職者研修（一般研修）	2回	28人	講師：新潟医療福祉大学社会福祉学科 教授 河野 聖夫氏 内容：利用者支援での『困った』にどう対応するか。 ：共感力を高めることでお互いの達成感を高める。
相談援助職者研修（専門研修）	1回	12人	講師：新潟医療福祉大学社会福祉学部准教授 河野 聖夫氏 内容：スーパービジョン
障がいについて学ぶ	1回	22人	講師：精神保健福祉士 小巻佳人氏 内容：統合失調症～その理解と支援
口腔ケア研修会	1回	23人	講師：歯科医師 黒岩恭子氏 内容：口腔ケアの重要性
在宅療養者の食支援のポイント	1回	14人	講師：管理栄養士 馬島園子氏 内容：在宅療養者の食支援のポイント
合計	8回	131人	

・地域包括（在宅介護）支援センター運営協議会 年1回

7月19日 平成30年度事業報告及び平成31年度（令和元年度）事業計画について

(3) 活動指標の推移

・相談件数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談件数	2,503件	2,016件	2,372件	2,734件	2,440件

24時間体制の総合相談は関係機関との連絡調整が何度も必要となる、複雑な事例が増加傾向にあります。

2	社会保障充実分	24,754,614	決算事項別明細書	P240～241
---	---------	------------	----------	----------

社会保障の充実（地域包括支援センター）

予算事業名：在宅医療介護連携推進事業費、認知症施策推進事業費、

生活支援サービス体制整備事業費、地域ケア会議事業費、一般職人件費

当初予算額 35,677,000 円 最終予算額 30,274,000 円 決算額 24,754,614 円

須高地域医療福祉推進協議会への参加を通じて、医療と介護の関係者の連携を推進しました。地域での多様な日常生活上の支援体制を構築するため、生活支援コーディネーターを2名を配置し、第2層協議体の設立に努めました。

(1) 主な支出

・臨時職員賃金	90 万円
・須高地域医療福祉推進協議会負担金	201 万円
・生活支援コーディネーター設置業務委託料	601 万円
・職員人件費	1,562 万円

(2) 活動指標

・須高地域医療福祉推進協議会 第2専門部会 定例会議 11回 多職種での研修会 2回	
・町政懇談会での協議体設立のPR	
・松村地区協議体（通称「松ぼっくり」）設立	
・中条地区勉強会（人権学習会）	
・認知症地域支援推進員の配置	1 名
・認知症初期集中支援チームによる個別事例対応	（継続5件・新規3件）
・認知症ケアパスの作成・印刷	
・オレンジ・カフェくりんこの開催	11回 延96人

3	任意事業費	6,048,268	
1	介護給付等費用適正化事業費	279,275	
3	その他事業費	2,098,146	決算事項別明細書 P240～243

その他事業（地域包括支援センター）

予算事業名：介護給付等費用適正化事業

地域自立生活支援事業費、成年後見制度利用支援事業費、認知サポーター養成事業費

当初予算額 3,956,000 円 最終予算額 3,951,000 円 決算額 2,377,421 円

高齢者が地域で自立した日常生活を送るため、地域住民等が協力し合い、安否確認等を行いました。また、介護給付費等適正化事業を行いました。

(1) 主な支出

・認定調査票のチェック等	25 万円
・夢工房福祉会への事業の委託（ふれあい給食）	210 万円

(2) 活動指標

・配食サービスふれあい給食（夢工房委託）	延べ 3,694食
・お元気コール（社会福祉協議会委託）	延べ 221回

(3) 活動指標の推移

・事業等への参加者数の推移

項 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
食の自立支援（ふれあい給食）	44	38	30	20	19
お元気コール	8	7	5	5	5

※ 平成29年度から食の自立支援（ふれあい給食）の一部を介護予防・生活支援サービスの対象としました。

2	家族介護支援事業費	3,670,847	決算事項別明細書 P242～243
---	-----------	-----------	-------------------

家族介護の支援（地域包括支援センター）

予算事業名：家族介護支援事業費

当初予算額 3,885,000 円 最終予算額 3,885,000 円 決算額 3,670,847 円

介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るため、家庭介護に携わっている方たちの交流事業などを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 社会福祉協議会への事業の委託（家族介護支援） 136 万円
- ・ おむつ給付事業 231 万円

(2) 活動指標

- ・ 在宅介護者のつどい（社会福祉協議会委託） 参加者 28人
- ・ 在宅介護者リフレッシュの旅（社会福祉協議会委託） 参加者 11人
- ・ おむつ給付サービス対象者 66人

(3) 活動指標の推移

- ・ 事業等への参加者数の推移

項 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
要援護高齢者を抱える家族の会 (29年度途中からはレッヅ・カエくりんこ)	35	26	113	252	96
在宅介護者のつどい	25	33	26	22	28
在宅介護者リフレッシュの旅	18	13	15	11	11
介護講座（地域の担い手はぐくみ講座）	34	18	36	-	-
おむつ給付サービス	80	78	72	58	66

4 その他諸費 91,002

1 審査支払手数料 91,002

決算事項別明細書 P242～243

国保連合会への審査依頼（福祉係）

予算事業名：審査支払手数料

当初予算額 87,000 円 最終予算額 92,000 円 決算額 91,002 円

介護予防・日常生活支援総合事業費の審査支払のための手数料を国保連合会へ支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 審査支払手数料 9 万円

(2) 活動指標

- ・ 審査件数 1,569件×単価@58円

(3) 活動指標の推移

- ・ 審査支払手数料の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件 数	923	1,422	1,569
手数料(万円)	5	8	9

4 基金積立金 20,024,000

1 基金積立金 20,024,000

1 介護給付費準備基金積立金 20,024,000

決算事項別明細書 P242～243

介護給付費準備基金積立金（福祉係）

予算事業名：介護給付費準備基金積立金

当初予算額 20,027,000 円 最終予算額 20,024,000 円 決算額 20,024,000 円

介護保険財政の健全な運営を行うため介護給付費準備基金に積み立てを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 介護給付費準備基金積立金（利子） 2,002 万円

5	諸支出金	4,169,381	
1	償還金及び還付加算金	4,169,381	
1	第1号被保険者保険料還付金	81,300	決算事項別明細書 P242~245
介護保険料の還付（福祉係）			
予算事業名：第1号被保険者保険料還付金			
当初予算額 150,000 円 最終予算額 150,000 円 決算額 81,300 円			
所得更正によって過年度に賦課した保険料額が減額変更した者に、還付金を支払いました。			
(1) 主な支出			
・ 過年度還付金 8 万円			
2	償還金	4,088,081	決算事項別明細書 P244~245
交付金に対する償還（福祉係）			
予算事業名：償還金			
当初予算額 3,000 円 最終予算額 4,089,000 円 決算額 4,088,081 円			
過年度の交付金と補助金の精算を行いました。			
(1) 主な支出			
・ 国に対するもの 307 万円			
・ 県に対するもの 102 万円			
3	第1号被保険者還付加算金	0	決算事項別明細書 P244~245
長期間経過後の介護保険料の還付（福祉係）			
予算事業名：第1号被保険者還付加算金			
当初予算額 1,000 円 最終予算額 1,000 円 決算額 0 円			
(1) 主な支出 なし			
2	繰出金	0	
1	他会計繰出金	0	決算事項別明細書 P244~245
繰出金（福祉係）			
予算事業名：他会計繰出金			
当初予算額 1,000 円 最終予算額 1,000 円 決算額 0 円			
(1) 主な支出 なし			
6	予備費	0	
1	予備費	0	
1	予備費	0	決算事項別明細書 P244~245
予備費（福祉係）			
予算事業名：予備費			
当初予算額 21,857,000 円 最終予算額 49,521,000 円 決算額 0 円			
(1) 主な支出 なし			

V 下水道事業特別会計

1 決算規模及び収支

令和元年度末の下水道への接続率は96.5%となりました。

決算額は歳入総額5億8,742万6千円、歳出総額5億8,638万9千円で、歳入歳出差引額は103万7千円で翌年度に繰り越すべき財源11万3千円を差し引いた実質収支額は92万4千円となりました。

これを前年と比較すると、歳入においては8,908万5千円、17.9%の増、歳出においては9,315万2千円、18.9%の増、実質収支においては41万円、79.8%の増となりました。

2 歳入

分担金及び負担金は507万3千円（前年度比64万2千円、14.5%の増）、諸収入は628万9千円（前年度比71万3千円、12.8%の増）、繰越金は前年度からの繰越事業分財源459万円を含め510万4千円（前年度比459万3千円、898.8%の増）となりました。国庫支出金5,461万6千円は、台風19号の災害復旧に伴うもので、町債1億4,670万円の内7,440万円は災害復旧分として借り入れをしたものです。

一般会計からの繰入金金は2億3,029万2千円（前年度比3,600万8千円、13.5%の減）となりました。

3 歳出

災害復旧費1億2,986万円は、台風19号の災害復旧に伴い支出したもので、3億8,085万7千円は令和2年度に繰り越しました。

公債費は3億240万3千円（前年度比6,152万1千円、16.9%の減）となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

令和元年度 下水道事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	5,073	0.8%	4,431	0.9%	642	14.5%
使用料及び手数料	139,352	23.7%	142,523	28.6%	△ 3,171	△ 2.2%
繰入金	230,292	39.2%	266,300	53.4%	△ 36,008	△ 13.5%
繰越金	5,104	0.9%	511	0.1%	4,593	898.8%
諸収入	6,289	1.1%	5,576	1.1%	713	12.8%
町 債	146,700	25.0%	79,000	15.9%	67,700	85.7%
国庫支出金	54,616	9.3%	0	0	54,616	皆増
合 計	587,426	100.0%	498,341	100.0%	89,085	17.9%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
下水道費	154,127	26.3%	129,313	26.2%	24,814	19.2%
公債費	302,402	51.6%	363,924	73.8%	△ 61,522	△ 16.9%
災害復旧費	129,860	22.1%	0	0	129,860	皆増
合 計	586,389	100.0%	493,237	100.0%	93,152	18.9%

歳入歳出差引額 1,037 千円 5,104 千円
(うち翌年度に繰り越すべき財源) (113千円) (4,590千円)

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績																																																		
1			下水道費	154,127,164	<div style="text-align: right;">決算事項別明細書 P254~255</div>																																																		
	1		総務管理費	26,034,264																																																			
		1	一般管理費	26,034,264																																																			
公共下水道事業の運営（上下水道係） 予算事業名：一般管理費 当初予算額 28,781,000 円 最終予算額 27,377,000 円 決算額 26,034,264 円																																																							
人件費・負担金等下水道事業を運営していくための経費です。																																																							
(1) 主な支出																																																							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員人件費 1,006 万円 ・ 検針業務、下水道台帳補正業務委託 225 万円 ・ O A 使用料、自動車使用料 208 万円 ・ 消費税納付金 1,164 万円 																																																							
(2) 活動指標																																																							
公共下水道事業の概要																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>整備状況</th> <th>区 分</th> <th>整備状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体計画面積</td> <td>284 ha</td> <td>処理区域内人口</td> <td>8,800 人</td> </tr> <tr> <td>整備面積</td> <td>284 ha</td> <td>水洗化人口</td> <td>8,552 人</td> </tr> <tr> <td>全体計画人口</td> <td>10,700 人</td> <td>管渠延長(污水管)</td> <td>53.5 km</td> </tr> <tr> <td>処理面積(告示)</td> <td>284 ha</td> <td>管渠延長(雨水管)</td> <td>4.4 km</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	整備状況	区 分	整備状況	全体計画面積	284 ha	処理区域内人口	8,800 人	整備面積	284 ha	水洗化人口	8,552 人	全体計画人口	10,700 人	管渠延長(污水管)	53.5 km	処理面積(告示)	284 ha	管渠延長(雨水管)	4.4 km																																
区 分	整備状況	区 分	整備状況																																																				
全体計画面積	284 ha	処理区域内人口	8,800 人																																																				
整備面積	284 ha	水洗化人口	8,552 人																																																				
全体計画人口	10,700 人	管渠延長(污水管)	53.5 km																																																				
処理面積(告示)	284 ha	管渠延長(雨水管)	4.4 km																																																				
公共下水道への接続状況 (単位：戸)																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接 続</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>累 計</td> <td>3,023</td> <td>3,026</td> <td>3,026</td> <td>3,027</td> <td>3,028</td> <td>3,035</td> <td>3,039</td> <td>3,042</td> <td>3,054</td> <td>3,054</td> <td>3,058</td> <td>3,062</td> <td>3,062</td> </tr> </tbody> </table>														区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	接 続	3	3	0	1	1	7	4	3	12	0	4	4	42	累 計	3,023	3,026	3,026	3,027	3,028	3,035	3,039	3,042	3,054	3,054	3,058	3,062	3,062
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																										
接 続	3	3	0	1	1	7	4	3	12	0	4	4	42																																										
累 計	3,023	3,026	3,026	3,027	3,028	3,035	3,039	3,042	3,054	3,054	3,058	3,062	3,062																																										
(3) 活動指標の推移																																																							
接続率の推移																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>平成27年度末</th> <th>平成28年度末</th> <th>平成29年度末</th> <th>平成30年度末</th> <th>令和元年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95.2%</td> <td>95.5%</td> <td>95.7%</td> <td>96.1%</td> <td>96.5%</td> </tr> </tbody> </table>														平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	95.2%	95.5%	95.7%	96.1%	96.5%																																
平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末																																																			
95.2%	95.5%	95.7%	96.1%	96.5%																																																			
注：世帯数ベースで算出																																																							
2			維持管理費	54,967,470	<div style="text-align: right;">決算事項別明細書 P254~255</div>																																																		
	1		施設管理費	54,967,470																																																			
公共下水道事業の維持管理（上下水道係） 予算事業名：施設管理費 当初予算額 39,101,000 円 最終予算額 44,381,000 円 決算額 41,210,670 円																																																							
下水道施設の機能を維持するため管渠・マンホールの清掃・修繕、また、マンホールポンプ・雨水排水ポンプ場の修繕・保守点検を行いました。																																																							
(1) 主な支出																																																							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚水マンホールポンプ維持点検の委託 187 万円 ・ 汚水マンホールポンプの修繕ほか 413 万円 ・ 汚水管渠、マンホール清掃委託 444 万円 ・ 雨水管渠の清掃 251 万円 																																																							

- ・ 管渠布設及び管渠更生工事 2,339 万円
- ・ 各施設光熱水費 253 万円

(2) 活動指標

施設管理費(委託費+修繕工事費)の推移 (単位:千円)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
28,550	31,481	15,366	27,690	33,568

- ・ マンホールポンプの管理 日常管理、異常時対応(年間延べ24回対応)
施設の老朽化による緊急時の対応について、専門家や専門業者への委託等により迅速な対応ができています。
- ・ 雨水排水ポンプ場保守点検業務 年3回×2箇所
河川の増水時に備え、定期点検と合わせ随時点検を行うことにより、正常なポンプ運転ができる体制を確保しています。
- ・ 管渠清掃L=3,830m、調査L=840m、管渠更生2箇所L=150m
定期的な管渠調査を行うことにより、施設の機能維持、破損箇所等の早期発見ができて迅速な対応ができています。

公共下水道事業の維持管理(繰越分)(上下水道係)

予算事業名:施設管理費

当初予算額 0 円 繰越予算額 13,790,000 円 決算額 13,756,800 円

下水道施設の機能を維持するため汚水マンホールポンプの更新と汚水管渠の布設替及び管渠更生を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 汚水マンホールポンプの更新 1基 249 万円
- ・ 汚水管渠の布設替 L=30.3m 566 万円
- ・ 汚水管渠の更生 L=51.8m 560 万円

3 流域下水道事業費 66,624,430

1 流域下水道事業費 66,624,430

決算事項別明細書 P254~257

流域下水道事業負担金(上下水道係)

予算事業名:流域下水道施設管理費・流域下水道施設整備事業費

当初予算額 71,010,000 円 最終予算額 68,178,000 円 決算額 66,624,430 円

町内から千曲川流域下水道下流処理区(クリーンピア千曲)へつなぎ込んでいる公共下水道の維持管理費と建設費の経費の一部を負担しました。

(1) 主な支出

- ・ 千曲川流域下水道事業費建設負担金 224 万円
- ・ 千曲川流域下水道維持管理負担金 6,438 万円

(2) 活動指標

- ・ 千曲川流域下水道事業建設に伴う負担金
- ・ 千曲川流域下水道維持管理負担金 年間汚水排除量837,814m³
59円(税抜)/m³、10月以降79.2円(税込)/m³

4	下水道建設費	6,501,000													
	1 公共下水道建設費	6,501,000	決算事項別明細書	P256~257											
公共下水道の施設整備（上下水道係）															
予算事業名：公共下水道施設整備事業費															
当初予算額 13,860,000 円 最終予算額 13,860,000 円 決算額 6,501,000 円															
町の公共下水道区域内の管渠整備を行いました。															
(1) 主な支出															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道管渠布設工事 386 万円 ・ 汚水マンホールポンプ更新 264 万円 															
(2) 活動指標															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道への管渠の布設 1路線 L=49m 															
2	公債費	302,402,017													
	1 公債費	302,402,017													
	1 元金	261,471,474													
	2 利子	40,930,543	決算事項別明細書	P256~257											
下水道施設の借金の返済（上下水道係）															
予算事業名：償還元金・支払利子															
当初予算額 303,001,000 円 最終予算額 303,001,000 円 決算額 302,402,017 円															
下水道施設を建設するために借りたお金の返済を行いました。															
(1) 主な支出															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 元金の返済 2億6,147 万円 ・ 利子の支払い 4,093 万円 															
(2) 活動指標 (単位：万円)															
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">償還金額</th> <th rowspan="2">未償還元金 (令和元年度末現在高)</th> </tr> <tr> <th>元金</th> <th>利子</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26,147</td> <td>4,093</td> <td>30,240</td> <td>160,942</td> </tr> </tbody> </table>				償還金額			未償還元金 (令和元年度末現在高)	元金	利子	計	26,147	4,093	30,240	160,942	
償還金額			未償還元金 (令和元年度末現在高)												
元金	利子	計													
26,147	4,093	30,240	160,942												
(3) 活動指標の推移 (単位：万円)															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 起債残高の推移 															
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>平成27年度末</th> <th>平成28年度末</th> <th>平成29年度末</th> <th>平成30年度末</th> <th>令和元年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>239,238</td> <td>218,391</td> <td>195,997</td> <td>172,420</td> <td>160,942</td> </tr> </tbody> </table>					平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	239,238	218,391	195,997	172,420	160,942	
平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末											
239,238	218,391	195,997	172,420	160,942											
3	予備費	0													
	1 予備費	0													
	1 予備費	0	決算事項別明細書	P256~257											
予備費（上下水道係）															
予算事業名：予備費															
当初予算額 500,000 円 最終予算額 614,000 円 決算額 0 円															
(1) 主な支出 なし															

4	災害復旧費	129,859,783	
1	公共土木施設災害復旧費	76,438,230	
1	公共下水道施設災害復旧費	76,438,230	決算事項別明細書 P256～259
公共下水道施設災害復旧事業(上下水道係)			
予算事業名：公共下水道施設災害復旧事業費 当初予算額 0円 最終予算額 457,613,000円 決算額 76,438,230円			
台風19号災害で被災した下水道施設の復旧工事を行いました。			
(1) 主な支出			
	・ 汚水汚泥引き抜き業務	848万円	
	・ 汚水マンホールポンプ制御盤仮復旧工事	175万円	
	・ 災害復旧工事実施設計業務	1,144万円	
	・ 雨水排水ポンプ場仮設ポンプ設置工事	5,476万円	
※3億8,086万円は、令和2年度に繰り越しました。			
2	流域下水道施設災害復旧費	53,421,553	
1	流域下水道施設災害復旧費	53,421,553	決算事項別明細書 P258～259
流域下水道施設災害復旧事業(上下水道係)			
予算事業名：流域下水道施設災害復旧事業費 当初予算額 0円 最終予算額 53,422,000円 決算額 53,421,553円			
台風19号災害で被災した千曲川流域下水道施設(クリーンピア千曲)の災害復旧費を負担しました。			
(1) 主な支出			
	・ 千曲川流域下水道建設費(災害復旧費)負担金	5,342万円	
(2) 活動指標			
	・ 負担金計画	(単位：万円)	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	5,342	5,030	3,783

VI 農業集落排水事業特別会計

1 決算規模及び収支

令和元年度末の農業集落排水への接続率は、96.5%となりました。

決算額は、歳入総額 5,234 万 9 千円、歳出総額 5,202 万 3 千円で実質収支額は 32 万 6 千円となりました。これを前年と比較すると、歳入においては 338 万 8 千円、6.9%の増、歳出においては 346 万 4 千円、7.1%の増、実質収支においては 7 万 6 千円、19.2%の減となりました。

2 歳入

繰入金は 1,997 万 2 千円(前年度比 537 万 2 千円、36.8%の増)となりました。

諸収入は前年度に比べ 165 万 8 千円減の 15 万 2 千円となりました。この減の要因は、平成 30 年度に消費税還付金収入があったことによるものです。

3 歳出

歳出は、集落排水事業費 4,366 万 8 千円(前年度比 193 万 5 千円、4.6%の増)、公債費 835 万 5 千円(前年度比 152 万 9 千円、22.4%の増)となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

令和元年度 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	689	1.3%	890	1.8%	△ 201	△ 22.6%
使用料及び手数料	27,134	51.8%	27,176	55.5%	△ 42	△ 0.2%
国庫支出金	4,000	7.6%	4,000	8.2%	0	0.0%
繰入金	19,972	38.2%	14,600	29.8%	5,372	36.8%
繰越金	402	0.8%	485	1.0%	△ 83	△ 17.1%
諸収入	152	0.3%	1,810	3.7%	△ 1,658	△ 91.6%
町債	0	0	—	—		
合 計	52,349	100.0%	48,961	100.0%	3,388	6.9%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
集落排水事業費	43,668	83.9%	41,733	85.9%	1,935	4.6%
公債費	8,355	16.1%	6,826	14.1%	1,529	22.4%
合 計	52,023	100.0%	48,559	100.0%	3,464	7.1%

歳入歳出差引額

326 千円

402 千円

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績								
1			集落排水事業費	43,668,188									
	1		総務管理費	10,458,299									
		1	一般管理費	10,458,299			決算事項別明細書 P268~269						
農業集落排水事業の運営（上下水道係）													
予算事業名：一般管理費													
当初予算額 13,641,000 円 最終予算額 11,135,000 円 決算額 10,458,299 円													
農業集落排水事業を運営していくための経費です。													
(1) 主な支出													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員人件費 941 万円 ・ 検針業務委託、ソフトウェア使用料 71 万円 													
(2) 活動指標													
農業集落排水事業の概要													
区 分		北 部			雁 中								
事 業 名		農業集落排水事業			農業集落排水事業								
地 区 名		小布施北部地区			雁中地区								
世帯数(計画)		410戸			192戸								
世帯数(現在)		453戸			235戸								
人 口(計画)		1,930人			886人								
人 口(現在)		1,446人			726人								
供用開始日		昭和63年3月1日			昭和63年3月1日								
供用人口		1,446人			726人								
供 用 率		100.0%			100.0%								
処 理 方 式		J A R U S - III			J A R U S - I								
管 種		V U 管			V U 管								
管 径		150mm~350mm			150mm~200mm								
管 路 延 長		L = 10,600m			L = 5,870m								
中継ポンプ		2箇所			-								
処理施設敷地面積		1,355㎡			995㎡								
計画日平均汚水量		521㎡/日			239㎡/日								
日最大汚水量		628㎡/日			473㎡/日								
放流水質(計画)		BOD20mg/l S S 30mg/l			BOD20mg/l S S 30mg/l								
放流水質(実績)		BOD 7.3mg/l S S 13.1mg/l			BOD 9.2mg/l S S 10.3mg/l								
放 流 先		準用河川 赤川			通 堰								
農業集落排水への接続状況 (単位：戸)													
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
接 続	2	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	8
累 計	665	665	666	667	668	668	669	670	670	670	670	671	671
(3) 活動指標の推移													
接続率の推移													
平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末									
95.7%	95.9%	96.1%	96.4%	96.5%									

2	維持管理費	29,117,889	
1	施設管理費	29,117,889	決算事項別明細書 P268~269
農業集落排水施設の維持管理（上下水道係）			
予算事業名：施設管理費			
当初予算額 33,346,000 円 最終予算額 33,346,000 円 決算額 29,117,889 円			
<p>下水道施設の機能を維持するため汚水管渠・マンホール清掃と修繕、汚水マンホールポンプ及び処理場の点検・修繕を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管渠・処理施設等の修繕 712 万円 ・ 処理場運転管理等の委託 1,450 万円 ・ 管の清掃委託 173 万円 ・ 処理施設等の維持管理費 59 万円 ・ 光熱水費 517 万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理施設の修繕 汚水原水ポンプ、流量調整ポンプ等の修繕 ・ 処理場運転管理 週2~3日 日頃の運転管理及び点検による破損箇所の早期発見により経費節減に努めています。 施設の長寿命化を図るため技術的な管理委託を実施するなどの取り組みを行っています。 ・ 管渠清掃業務 清掃延長 L=2,809m (L…延長) 定期的な清掃を行うことにより、施設の機能維持、破損箇所等の早期発見ができ迅速な対応が来ています。 ・ マンホールの修繕 腐食劣化による危険箇所の修繕 			
3	集落排水事業建設費	4,092,000	
1	施設改良費	4,092,000	決算事項別明細書 P268~271
農業集落排水施設の改良（上下水道係）			
予算事業名：施設改良事業費			
当初予算額 4,092,000 円 最終予算額 4,092,000 円 決算額 4,092,000 円			
<p>老朽化した農業集落排水処理施設・管渠等の修繕を計画的に行っていくため、最適整備構想を農山漁村地域整備交付金(農業集落排水事業)事業で策定しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業集落排水施設最適整備構想策定業務 409万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した汚水管路等の修繕を補助事業で行うための詳細調査等を行います。 H30年度 機能診断 処理場・管路の詳細調査 R元年度 最適整備構想策定 経営戦略等に沿った修繕計画 R2年度 汚水施設修繕事業 計画概要書策定 R3年度~汚水施設修繕事業計画に沿った修繕事業の実施 			

2	公債費	8,354,790			
1	公債費	8,354,790			
1	元 金	5,559,113			
2	利 子	2,795,677	決算事項別明細書	P270~271	
農業集落排水施設の借金返済（上下水道係）					
予算事業名：償還元金・支払利子					
当初予算額 8,356,000 円 最終予算額 8,356,000 円 決算額 8,354,790 円					
集落排水施設を建設するために借りたお金の返済を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 元金の返済 556 万円					
・ 利子の支払い 279 万円					
(2) 活動指標 (単位：万円)					
償 還 金 額			未 償 還 元 金		
元 金	利 子	計	(令和元年度末現在高)		
556	279	835	21,850		
(3) 活動指標の推移					
・ 起債残高の推移 (単位：万円)					
平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	
18,235	20,488	22,804	22,406	21,850	
3	予備費	0			
1	予備費	0			
1	予備費	0	決算事項別明細書	P270~271	
予備費（上下水道係）					
予算事業名：予備費					
当初予算額 500,000 円 最終予算額 502,000 円 決算額 0 円					
(1) 主な支出 なし					

VII 水道事業会計

(営業)

令和2年3月31日現在の給水人口は、11,003人で普及率は99.97%となりました。

給水戸数は3,794戸で、前年度と比較して給水人口は7人増加、給水戸数も58戸増加しました。

給水量については、夏場は高温であったことにより増加したが、全体として減少したため1,135,840 m³となり、前年度(1,150,641 m³)と比較して1.3%の減となりました。

給水収益を有収水量で除した供給単価は、162円で前年度と同じで、総費用から受託工事費及び長期前受金戻入を差し引いたものを有収水量で除した給水原価は110円85銭で前年度対比3円66銭の減となりました。

(建設改良)

令和元年度の建設改良工事の総事業費は746万7千円(消費税込み)で、福原で配水管布設替等44.7mを行いました。

また、裏町水源の取水ポンプ、中区配水池の送水ポンプ、雁田浄水場のサンプリングポンプの取り替えを行いました。

(経理)

令和元年度の収益的収支は、事業収益2億358万2千円(消費税抜き)に対し、事業費用1億4,055万7千円(消費税抜き)で、6,302万5千円の利益を生じました。

事業収益の内、給水収益は1億8,367万4千円で、前年度比1.5%(前年1億8,640万8千円)の減、受託工事収益は254万1千円、その他営業収益等は1,736万7千円で前年度対比72万7千円(前年1,664万円)の増となりました。事業費用の内、営業費用は1億3,094万7千円で前年度比0.7%(前年1億3,182万9千円)の減、営業外費用は961万円で前年度比22.7%(前年1,243万8千円)の減となりました。

資本的収支は、収入570万2千円(消費税込み)に対し、支出6,513万1千円(消費税込み)で、不足する額5,942万9千円は当年度分損益勘定留保資金3,930万4千円、当年度分消費税資本的収支調整額12万5千円及び減債積立金取崩額2,000万円で補てんしました。

資本的収入は、水道事業負担金が570万2千円で前年度比17.2%(前年689万円)の減となりました。資本的支出の内、建設改良費は746万7千円で前年度比42.4%(前年1,297万3千円)の減、企業債償還金は5,766万5千円で前年度比9.7%(前年6,387万円)の減となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

令和元年度 水道事業会計決算の状況

1. 収益的収入及び支出

【収 入】

(単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
第1款 水道事業収益	213,360	219,831	6,471	うち仮受消費税 16,249
第1項 営業収益	199,374	205,385	6,011	うち仮受消費税 16,079
第2項 営業外収益	13,986	14,446	460	うち仮受消費税 170

【支 出】

(単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	備 考
第1款 水道事業費用	183,333	156,673	26,660	うち仮払消費税 5,112
第1項 営業費用	161,662	136,059	25,603	うち仮払消費税 5,112
第2項 営業外費用	20,671	20,614	57	
第3項 予備費	1,000	0	1,000	

2. 資本的収入及び支出

【収 入】

(単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
第1款 資本的収入	7,974	5,702	△ 2,272	うち仮受消費税 452
第1項 負担金	7,974	5,702	△ 2,272	うち仮受消費税 452

【支 出】

(単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	備 考
第1款 資本的支出	67,548	65,131	2,417	うち仮払消費税 577
第1項 建設改良費	9,883	7,467	2,416	うち仮払消費税 577
第2項 企業債償還金	57,665	57,664	1	

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 5,942万9千円は、当年度分損益勘定留保資金 3,930万4千円、当年度分消費税資本的収支調整額 12万5千円及び減債積立金取崩額 2,000万円で補てんしました。

款 項 目	款 項 目 名	決 算 額 (円)																														
収益的支出			主要な施策の成果説明及び実績																													
1	水道事業費用	156,673,255																														
1	営業費用	136,059,134																														
2	営業外費用	20,614,121																														
3	予備費	0																														
水道事業費用（上下水道係）																																
<p>(1) 職 員 数 主幹1人 主任1人</p> <p>(2) 給 水</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画給水人口</td> <td>14,700人</td> <td>現在給水人口</td> <td>11,003人</td> </tr> </table> <p>(3) 業 務</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>配水能力</td> <td>8,400m³/日</td> <td>有収水量</td> <td>1,136千m³/年</td> </tr> </table> <p>(4) 料 金</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>基本料金（20mm 2ヶ月、消費税含む）</td> <td>3,146円</td> </tr> <tr> <td>20m³当たり料金（基本料金含む2ヶ月、消費税含む）</td> <td>3,838円</td> </tr> </table> <p>(5) 施 設</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>水 源 数</td> <td>5箇所</td> <td>浄水施設数</td> <td>2箇所</td> </tr> <tr> <td>消火栓数</td> <td>456基</td> <td>導配送水管延長</td> <td>89,353m</td> </tr> <tr> <td>配 水 池</td> <td>3箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					計画給水人口	14,700人	現在給水人口	11,003人	配水能力	8,400m ³ /日	有収水量	1,136千m ³ /年	基本料金（20mm 2ヶ月、消費税含む）	3,146円	20m ³ 当たり料金（基本料金含む2ヶ月、消費税含む）	3,838円	水 源 数	5箇所	浄水施設数	2箇所	消火栓数	456基	導配送水管延長	89,353m	配 水 池	3箇所						
計画給水人口	14,700人	現在給水人口	11,003人																													
配水能力	8,400m ³ /日	有収水量	1,136千m ³ /年																													
基本料金（20mm 2ヶ月、消費税含む）	3,146円																															
20m ³ 当たり料金（基本料金含む2ヶ月、消費税含む）	3,838円																															
水 源 数	5箇所	浄水施設数	2箇所																													
消火栓数	456基	導配送水管延長	89,353m																													
配 水 池	3箇所																															
水道事業の運営（上下水道係）																																
<p>人件費、営業経費等水道事業を運営していくための経費です。 老朽化した低区配水池更新事業プロポーザルを実施し、1社より企画提案書の提出がありましたが、10月に開催しました小布施町低区配水池更新事業に係る事業者選定審査委員会において選定には至りませんでした。 選定に至らなかった要因等を精査し、改めて本年2月にプロポーザル実施の公告をしました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>・ポンプの動力費</td> <td style="text-align: right;">2,642 万円</td> </tr> <tr> <td>・給水管などの修繕</td> <td style="text-align: right;">820 万円</td> </tr> <tr> <td>・電算システム保守・賃借料など</td> <td style="text-align: right;">371 万円</td> </tr> <tr> <td>・検針業務の委託</td> <td style="text-align: right;">496 万円</td> </tr> <tr> <td>・職員人件費</td> <td style="text-align: right;">1,591 万円</td> </tr> <tr> <td>・その他経費</td> <td style="text-align: right;">2,523 万円</td> </tr> </table> <p>(2) 活動指標</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>・深井戸ポンプ動力費</td> <td>4箇所</td> <td>送水ポンプ動力費</td> <td>3箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・水道料金・企業会計システム賃借</td> </tr> <tr> <td>・検針業務委託者数</td> <td>個人1人</td> <td>企業5社</td> <td>シルバー人材センター（2人）へ委託</td> </tr> <tr> <td>・福原地区給水管等布設替工事</td> <td>Φ 75mm</td> <td>L=2.0m</td> <td></td> </tr> </table>					・ポンプの動力費	2,642 万円	・給水管などの修繕	820 万円	・電算システム保守・賃借料など	371 万円	・検針業務の委託	496 万円	・職員人件費	1,591 万円	・その他経費	2,523 万円	・深井戸ポンプ動力費	4箇所	送水ポンプ動力費	3箇所	・水道料金・企業会計システム賃借				・検針業務委託者数	個人1人	企業5社	シルバー人材センター（2人）へ委託	・福原地区給水管等布設替工事	Φ 75mm	L=2.0m	
・ポンプの動力費	2,642 万円																															
・給水管などの修繕	820 万円																															
・電算システム保守・賃借料など	371 万円																															
・検針業務の委託	496 万円																															
・職員人件費	1,591 万円																															
・その他経費	2,523 万円																															
・深井戸ポンプ動力費	4箇所	送水ポンプ動力費	3箇所																													
・水道料金・企業会計システム賃借																																
・検針業務委託者数	個人1人	企業5社	シルバー人材センター（2人）へ委託																													
・福原地区給水管等布設替工事	Φ 75mm	L=2.0m																														

水道施設の減価償却(上下水道係)

水道施設の減価償却を行いました。

- (1) 主な支出
 - ・ 有形固定資産減価償却費 5,503 万円

水道施設の維持管理(上下水道係)

安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適正な維持管理、水質の検査を行い水道水の安全を確認しました。

- (1) 主な支出
 - ・ 水道施設の維持管理 615 万円
 - ・ 水道水質検査 145 万円

- (2) 活動指標
 - ・ 高圧受電盤保安業務
 - ・ 雁田浄水場浄水設備点検
 - ・ 水道施設保守点検
 - ・ 配水池清掃業務
 - ・ 水道施設草刈り委託
 - ・ 検満量水器交換業務

・ 令和2年3月5日付の水質調査結果

項 目	p h 値	塩化物イオン	有機物の量	一般細菌	大腸菌	臭気	味	色度	濁度
基準値	5.8以上 8.6以下	200mg/l以下	3mg/l以下	100CFU/以下	検出され ないこと	異常で ないこと	異常で ないこと	5度以下	2度以下
調査結果	7.0	24.6	0.2未満	0	検出なし	異臭なし	異味なし	0.5度未満	0.1度未満

水道施設の借金の返済[企業債利息] (上下水道係)

水道管や水道施設を建設するために借りたお金を返済しました。

- (1) 主な支出
 - ・ 利子の支払い 961 万円

資本的支出

1	資本的支出	65,131,285
1	建設改良費	7,466,600
2	企業債償還金	57,664,685

上水道配水管の布設替等(上下水道係)

老朽配水管の布設替を行いました。

- (1) 主な支出
 - ・ 布設替工事等 250 万円
- (2) 活動指標
 - ・ 福原地区配水管布設工事 Φ 100mm L = 44.7m

耐震化も兼ね耐用年数を過ぎた老朽管の取り換え等を行うことができました。

上水道ポンプ取替工事等(上下水道係)

設備更新に伴いポンプの取替工事等を行いました。

(1) 主な支出

- ・ ポンプ等更新工事 606 万円

(2) 活動指標

- ・ 裏町水源深井戸ポンプ取替工事
- ・ 残留塩素サンプリングポンプ取替修繕工事
- ・ 中区配水池送水ポンプ取替工事

水道施設の借金の返済[元金の返済](上下水道係)

水道管や水道施設を建設するために借りたお金を返済しました。

(1) 主な支出

- ・ 元金の返済 5,766 万円

量水器の購入(上下水道係)

新設に伴う量水器を購入しました。

(1) 主な支出

- ・ 新規用量水器の購入 11 万円